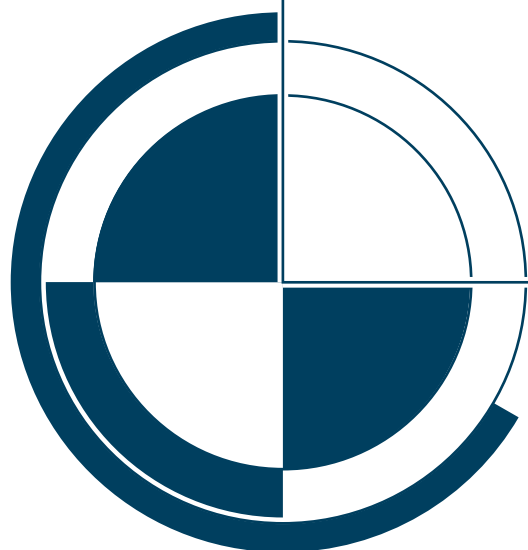




使用説明書

ファクス機能編

▶ **KM-4015w**
▶ **KM-4075w**

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。
お読みになった後は、本製品の近くに大切に保管してください。



はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

商標

Microsoft、Windows、Windows NT は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

PowerPC® は IBM Corporation の商標です。

NEC は、日本電気株式会社の登録商標です。

PC-9821 シリーズは、日本電気株式会社の製品です。

赤現像、ドキュメントボックス、RPCS、RPDL、RP-GL/2、RTIFF は株式会社リコーの商標または登録商標です。

Adobe、Acrobat Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステム社）の商標です。

Outlook の製品名は、Microsoft® Outlook® です。

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

Windows® 98 の製品名は、Microsoft® Windows® 98 です。

Windows® Me の製品名は、Microsoft® Windows® Millennium Edition（Windows Me）です。

Windows® XP の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® XP Professional

Microsoft® Windows® XP Home Edition

Windows® 2000 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 2000 Server

Microsoft® Windows® 2000 Professional

Windows Server® 2003 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 Web Edition

Windows NT® 4.0 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows NT® Server 4.0

Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0

●本書では、NTT グループ各社の総称を NTT と表記しています。

画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。

使用説明書の分冊構成

お使いになる目的に応じて、必要な使用説明書をお読みください。

★重要

- 本機の使用説明書は、紙マニュアルと電子マニュアル（PDF 形式）が用意されています。
- 電子マニュアルは、付属の CD-ROM に収録されています。
- 提供される形態は使用説明書により異なります。詳しくは、「マニュアル一覧表」を参照してください。
- PDF形式の使用説明書を表示するには、Adobe Acrobat Reader/Adobe Readerが必要です。

◆ 本機のご利用にあたって

「安全上のご注意」について記載しています。本機のご利用前に必ずお読みください。

また、本機で利用できる機能の概要、機械を使うための準備、操作部の説明、文字入力方法、付属 CD のインストール方法などについても説明しています。

◆ 初期設定編

本機を使うための各機能の初期設定方法、アドレス帳の登録方法、機器の接続方法などについて説明しています。

◆ こんなときには

困ったときの対処方法や、消耗品の交換などについて説明しています。

◆ セキュリティ編

管理者向けの説明書です。本機を不正な使用やデータの改ざんといった脅威から守るための方法、各管理者の設定方法、ユーザー認証の設定方法などについて説明しています。セキュリティ強化機能や認証の設定を行う前に必ずお読みください。

◆ コピー機能 / ドキュメントボックス機能編

コピーを使うための設定、機能と操作方法、原稿の設定方法について説明しています。また、ドキュメントボックスの使用方法についても説明しています。

◆ ファクス機能編

ファクスを使うための設定、機能と操作方法について説明しています。

◆ プリンター機能編

プリンターを使うための設定、機能と操作方法について説明しています。

◆ スキャナー機能編

スキャナーを使うための設定、機能と操作方法について説明しています。

◆ ネットワークガイド

ネットワーク環境で使う方法、付属のソフトウェアを使う方法について説明しています。

◆ RP-GL/2 編

RP-GL/2 エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

◆ RTIFF 編

RTIFF エミュレーションを使用して印刷するための設定や操作方法について説明しています。

◆ その他の使用説明書

- ・ クイックガイド
- ・ PostScript 3 編

↓ 補足

・ RPDL エミュレーションについては、販売店にご確認ください。

マニュアル一覧表

分冊名	紙マニュアル 	電子マニュアル (PDF 形式) 
本機のご利用にあたって	あり	なし
初期設定編	なし	あり
こんなときには	あり	なし
セキュリティ編	あり	なし
コピー機能 / ドキュメントボックス機能編	なし	あり
ファクス機能編	あり	なし
プリンター機能編	なし	あり
スキャナー機能編	なし	あり
ネットワークガイド	なし	あり
RP-GL/2 編	なし	あり
RTIFF 編	なし	あり
PostScript 3 編	なし	あり
クイックガイド	あり	なし

目次

使用説明書の分冊構成	1
マニュアル一覧表	2
この本の読みかた	10
マークについて	10
おもなオプションと略称	11
おもな機能の略称	11
原稿の向きとサイズの表し方について	12
画面について	13
表示画面とキー操作について	14
簡単画面について	16
初期設定項目一覧	17

1. 送信のしかた

送信の種類	21
宛先種別を選択する	22
メモリー送信で送る	23
原稿ガラスで複数の原稿を送信する（メモリー送信）	26
クイックメモリー送信	26
自動リダイヤル	27
デュアルアクセス	27
同報送信	28
直接送信で送る	29
原稿ガラスで複数の原稿を送信する（直接送信）	30
設定した内容を確認する	31
インターネットファクスとは	32
インターネットファクス使用上のご注意	34
送信時に使用できない機能	35
受信時に使用できない機能	35
メールの件名について	35
T.37 フルモード対応について	36
原稿をセットする	37
原稿セット方向を設定する	39
両面原稿を読み取る	40
大サイズ原稿の等倍送信	43
大サイズ原稿の分割送信	44
セットできる原稿のサイズと紙厚	46
原稿サイズと読み取り範囲	47
原稿ガラスにセットしているとき	47
自動原稿送り装置（ADF）にセットしているとき	48
サイズを読み取りにくい原稿	50
回転送信	51
読み取った原稿に印を付ける（済スタンプ）	51
読み取り条件を設定する	53
原稿種類を設定する	53
JBIG 送信	54
解像度を設定する	55
読み取りサイズを設定する	57
自動検知	57
定形サイズ	59

登録サイズ	60
サイズ混載	62
濃度を調整する	63
ページごとに読み取り条件を設定する	65
回線を選択する	66
G3 選択時の回線について	69
回線の自動識別	69
一斉同報送信	70
相手先を指定する	71
ファクス番号で送る	71
ポーズを入力する	72
[トーン] を押してプッシュ回線に切り替える	73
メールアドレスで送る	74
SMTP サーバーを経由しないで送信する	76
アドレス帳から選ぶ	79
見出しの種類を切り替える	80
グループで送信する	80
海外送信モード	81
宛先履歴から選択する	81
宛先をアドレス帳に登録する	83
直接入力した宛先をアドレス帳に登録する	84
アドレス帳から検索する	85
名前/ヨミガナから検索する	85
ファクス番号から検索する	88
メールアドレスから検索する	90
詳細条件を指定して検索する	92
登録番号から検索する	95
オンフックダイヤル（オンフックを使った送信）	97
マニュアルダイヤル（受話器を使った送信）	99
送信者を設定する	100
拡張宛先機能を活用する	103
F コード（SUB）を設定して送信する	103
パスワード（SID）を設定する	106
F コード（SEP）が設定された文書を受信する	106
設定されたパスワード（PWD）を入力する	108
F コード取り出し予約レポート	109
F コード取り出し結果レポート	110
サブアドレスを指定する	111
UUI を指定する	113
送信を取り消す	115
原稿の読み取り前	115
原稿の読み取り中	115
送信中	116
送信待機中	118
送信内容を確認する	121
蓄積した結果を確認する（蓄積結果レポート）	123

2. 拡張送信機能を活用する

時刻を指定して送信する	125
受信確認を要求する	127
メール宛先を BCC に設定する	129
送信結果をメールで確認する	130

件名を設定する	132
本文を設定する	135
オプションを設定する	137
定型文印字	137
自動縮小	139
宛名差し込み	140
ID 送信	142
F コード送信	143
F コード取り出し	144
発信元名称印字	145

3. 受信のしかた

受信の種類	147
直接受信	147
メモリー受信	148
代行受信	149
すべての文書を代行受信する	150
パラメーター設定にしたがって代行受信する	150
A2/B3 サイズの用紙しかセットされていないときに代行受信する	151
受信モードについて	152
自動切り替え	153
電話優先モード	154
ファクス優先モード	155
ダイヤルイン機能	155
手動受信	157
自動受信	158
受信モードの切り替えかた	159
インターネットファクスで受信する	160
メールの自動受信	160
メールの手動受信	161
受信イメージ	161
受信するときの機能	163
受信文書の配信	163
F コードを利用した配信	163
ダイヤルイン番号を利用した配信 (PSTN のとき)	164
ISDN ダイヤルイン番号を利用した配信	164
受信文書の中継	165
F コード中継結果レポート	166
受信文書の転送	168
インターネットファクスの SMTP 受信について	169
SMTP 受信したメールの配信	170
JBIG 受信	171
自動電源受信機能	171
出力するときの機能	172
印刷終了ブザー	172
しおり印字機能	172
センターマーク印字	173
受信時刻印字	173
両面印刷	174
180° 回転印刷	175
受信文書印刷部数設定	176
回転レシーブ	176
大サイズ原稿を等倍受信する	177

記録分割・縮小	178
受信側縮小	179
送信側情報印字	180
受信側・送信側情報印字	180
送信側情報印字（G4 用）	181
同じサイズの手紙がないとき	181
給紙トレイ優先設定	183
最適なサイズの手紙に印刷する	183
手差しトレイの手紙に受信・印刷する	184
受信紙に印字される機能	185
受信紙の排紙先について	186
回線別排紙先設定	186
排紙位置シフト機能	186

4. 通信情報の変更 / 確認をする

送信待機中文書の設定を変更する	187
同報送信した宛先の一部を消去する	187
宛先を追加する	189
送信時刻を変更する	191
SMTP サーバー経由を変更する	194
送信待機中の文書を印刷する	197
送信待機文書リストを印刷する	199
送信待機文書リスト	200
不達文書を送り直す	202
送信結果を確認する	204
画面で確認する	204
レポートで確認する	205
メールで確認する	206
レポートとメールで確認する	206
通信結果レポート	207
直接送信結果レポート	209
不達レポート	211
受信結果を確認する	214
画面で確認する	214
レポートで確認する	215
通信管理レポート	215
通信管理レポート印刷	216
通信管理レポートを印刷する	216
通常印刷	217
文書番号別印刷	218
ユーザー別印刷	219
通信管理レポート	220
通信管理情報のメール送信	222
通信管理情報のメール	223
蓄積受信文書を印刷 / 消去する	225
蓄積受信文書を印刷する	226
蓄積受信文書を消去する	227
封筒受信した文書を印刷する	228
F コード親展ボックスを使う	230
親展ボックスとは	230
親展ボックスの受信文書を印刷する	231
親展通知レポート	233

F コード掲示板ボックスを使う	234
掲示板ボックスとは	234
掲示板ボックスに文書を登録する	235
掲示板ボックスの文書を印刷する	237
掲示板ボックスの文書を消去する	238

5. 文書を蓄積する

文書蓄積を利用する	241
送信文書を蓄積する	243
ユーザー名を登録する	245
文書名を設定する	246
パスワードを設定する	247
蓄積した文書を送信する	248
[全文書表示] から検索する	250
[ユーザー名] から検索する	250
[文書名] から検索する	251
プレビュー表示する	252
蓄積した文書を印刷する	253
蓄積した文書情報を変更する	255
ユーザー名を変更する	256
文書名を変更する	257
パスワードを変更する	258
蓄積した文書を消去する	259

6. パソコンからファクス機能を活用する

パソコンからファクスを送信する	261
ご使用になる前に	262
ソフトウェアについて	263
PC FAX ドライバーについて	263
あて先表編集ツールについて	263
PC FAX 送付状エディターについて	264
オートランプログラムについて	264
ソフトウェアを個別にインストールする	265
TCP/IP を使ってポートを設定する	267
IPP を使ってポートを設定する	268
PC FAX ドライバーのプロパティを設定する	270
印刷設定をする	270
オプション構成を設定する	272
パソコンから送信する	274
機器本体に登録したアドレス帳・グループ宛先を使って相手先を指定する	275
あて先表を使って相手先を指定する	276
ファクス宛先またはインターネットファクス宛先を直接入力して相手先を指定する	277
送信オプションを指定する	278
時刻指定送信を設定する	278
発信元名称印字を設定する	279
送付状を付けて送信する	279
両面印刷を指定する	280
プレビューを表示する	280
送信イメージをファイルに出力する	281
文書蓄積を設定する	282
PC FAX ドライバーを使った送信を確認する	283
送信結果をメールで確認する	283
PC ファクス結果通知メール	284

PC ファクス結果レポート	285
送信イメージ出力機能	285
あて先表を編集する	286
相手先を新しく登録する	286
登録されている相手先を編集する	288
登録されている相手先を削除する	289
本機のアドレス帳のデータを PC ファクスのあて先表で使う	290
送付状を編集する	290
送付状を作成する	290
作成した送付状を添付する	292
Network Monitor for Admin でファクス機能を管理する	293
PC FAX ドライバーを使っているときに表示されるメッセージ	293
Web Image Monitor からファクス受信文書を見る	294
Web Image Monitor からファクス蓄積受信文書を閲覧する	294
Web Image Monitor からファクス蓄積受信文書を確認する	294
Web Image Monitor からファクス受信情報を印刷する	296
Web Image Monitor からファクス受信情報を削除する	298
Web Image Monitor から相手先の機種情報を登録する	300
登録された相手先の機種情報を編集する	300
新しい相手先を追加する	302

7. 付録

メモリー使用状況を確認する	305
プログラムを使う	306
プログラムを登録 / 変更する	306
プログラムの名称を変更する	308
プログラムを消去する	309
プログラムの使いかた	310
初期画面の初期値を登録する	311
ファクスを利用したサービスについて	313
ファクス情報サービスを利用する	313
音声ガイダンスにしたがって操作するとき	313
F コード取り出し機能を使うとき	316
マークシートを送信してサービスを受けるとき	316
通信網について	317
国際ダイヤル通話	317
(例) KDDI でニューヨークの 1234567 にファクスを送信するとき	317
国際オペレータ通話	318
F ネットのサービスを利用する	319
F ネットに送信する	320
F ネットから受信する	320
加入電話回線のとき	320
ISDN のとき	320
F ネットに送信以外の操作をする	321
加入電話回線のとき	321
オプション	322
FAX メモリー	322
ハンドセット	322
G4 ユニット	322
増設 G3 ユニット	322
仕様	323
W-NET FAX について	325
電波障害について	325

項目別最大値一覧	326
索引	328

この本の読みかた

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

警告

※安全上のご注意についての説明です。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

『本機のご利用にあたって』『安全上のご注意』にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

注意

※安全上のご注意についての説明です。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

『本機のご利用にあたって』『安全上のご注意』にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

重要

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になる項目も記載していますので、必ずお読みください。

補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

参照

説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を示しています。各タイトルの一番最後に記載しています。

[]

キーとボタンの名称を示します。

『』

本書以外の分冊名称を示します。

おもなオプションと略称

おもなオプションの名称と、本文中で使用している略称を示します。

商品名	略称
原稿カバー PN6000	原稿カバー
ドキュメントフィーダー TG3	自動原稿送り装置 (ADF：Auto Document Feeder の略)
インナー 1 ビントレイ TG3	上トレイ
フィニッシャー TG2	フィニッシャー
自動両面ユニット TG3	両面ユニット
A2FAX TG3	ファクスユニット
A2 コントローラー TG3	プリンター・スキャナーユニット
FAX メモリー TG3	FAX メモリー
増設 G3 チャンネルユニット タイプ 6	増設 G3 ユニット
G4FAX ユニット タイプ 6	G4 ユニット
ハンドセット TG3	ハンドセット
拡張 1284 ボード タイプ B	パラレルポート
拡張無線 LAN ボード タイプ J	無線 LAN

おもな機能の略称

おもな機能の、本文中で使用している略称を示します。

機能名	略称
インターネットファクス (メールアドレス指定型)	インターネットファクス

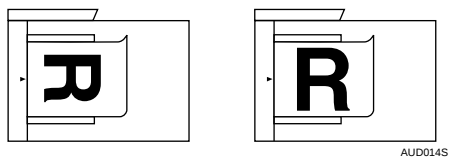
原稿の向きとサイズの表し方について

原稿の向きとサイズは次のように表します。図は自動原稿送り装置（ADF）を使用するときの例です。

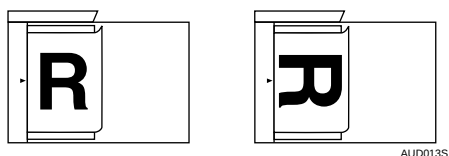
◆ 原稿の向きの表し方

原稿の向きは「横置き」と「縦置き」で表します。

- ・ 横置き

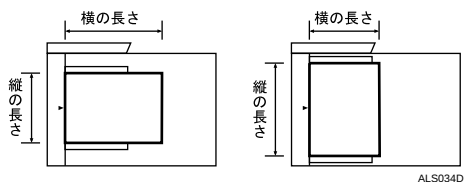


- ・ 縦置き



◆ 原稿のサイズの表し方

原稿のサイズを「縦の長さ」と「横の長さ」で表すときは、次の図のようになります。



画面について

操作部のボタンや画面に表示されるボタンの操作方法について説明します。
画面には、機械の状態や操作の手順、アドレス帳に登録済みの宛先が表示されます。
[ファクス] キー、または操作中に [リセット] キーを押すと、ファクス初期画面になります。

↓ 補足

- ・ファクスの操作後、一定時間何もしないと待機状態に戻ります。待機状態に戻るまでの時間は、「システム初期設定」の「ファクスオートリセット時間設定」で変更できます。
- ・1 通信ごとに電源を入れた直後の状態に戻すかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 17 ビット 3）で設定できます。
- ・手動で待機中の画面に戻すときは、次のいずれかの操作を行ってください。
 - ・自動原稿送り装置（ADF）に原稿をセットして送信の操作をしていたときは、セットした原稿を取り除きます。
 - ・原稿をセットしないで送信の操作をしていたときは、[リセット] キーを押します。
 - ・初期設定操作中は [初期設定 / カウンター / 問合せ情報] キーを押します。

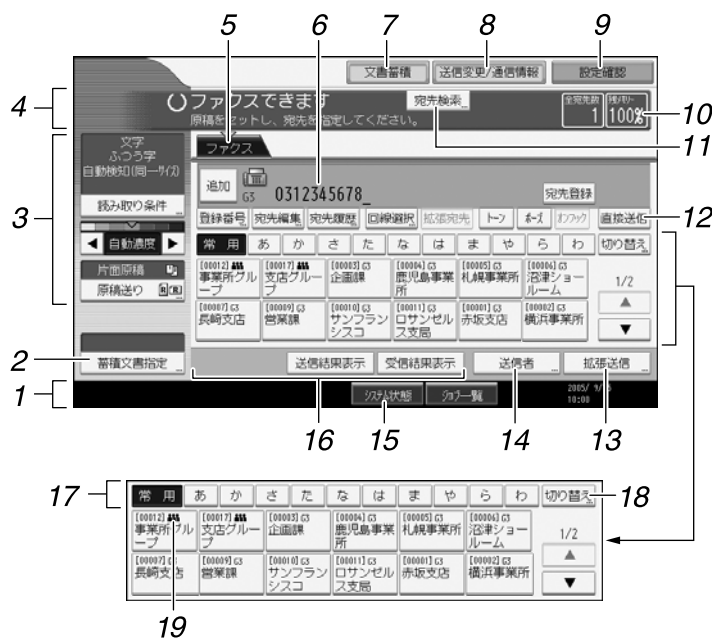
目 参照

- ・『初期設定編』「システム初期設定」
- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」
- ・『初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」

表示画面とキー操作について

画面に表示されるボタンのはたらきやメッセージについて説明します。

◆ ファクス初期画面



- 1 日時および本機の状態が表示されます。通信中は相手先の名称やファクス番号および原稿サイズが表示されます。
ユーザー認証しログインしている場合は、ユーザー名が表示されます。
- 2 ドキュメントボックスに蓄積した文書を送信または印刷できます。
- 3 読み取り条件・原稿送りを設定できます。
- 4 操作の状態やメッセージが表示されます。
- 5 ファクス宛先とインターネットファクス宛先を切り替えるときに押します。
「ファクス初期設定」の「インターネットファクス設定」を「使用する」に設定している場合は「インターネットファクス」が表示されます。
 - ・[ファクス] を選択しているときは、ファクス番号を指定できます。
 - ・[インターネットファクス] を選択しているときは、メールアドレスを指定できます。

-
- 6 入力した相手先を表示します。
 - 7 文書をドキュメントボックスに蓄積します。
 - 8 通信にかかわるいろいろな情報を知ることができます。
「通信情報の変更 / 確認をする」を参照してください。
 - 9 設定内容を確認できます。
 - 10 メモリー残量が表示されます。
 - 11 アドレス帳に登録した宛先を検索できます。
 - 12 直接送信に切り替えます。
[直接送信] が反転表示していないときは、メモリー送信が選択されています。
 - 13 送信するとき、いろいろな機能を付加できます。
「拡張送信機能を活用する」を参照してください。
 - 14 送信者を設定します。
 - 15 「送信待機文書」「封筒受信文書」および「受信印刷待機文書」の数を確認できます。
 - 16 よく使う機能をクイック操作キーとして登録しておく则表示されます。工場出荷時は
[送信結果表示] と [受信結果表示] が登録されています。
 - 17 見出しキーが表示されています。アドレス帳のページ (画面) を切り替えることができます。
 - 18 見出しの種類を切り替えることができます。
 - 19 グループ登録されている宛先に表示されます。

↓ 補足

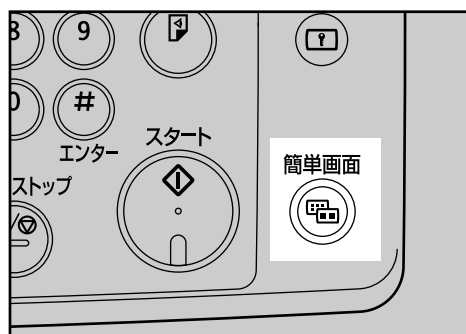
- ・表示される内容はオプションの有無によって異なります。
- ・インターネットファクス機能を利用するためにはプリンター・スキャナーユニットが必要です。
- ・「インターネットファクス設定」は「ファクス初期設定」の「導入設定」で変更できます。
- ・[ジョブ一覧] からは、ファクス機能を使って送信した文書の情報は確認できません。[送信変更 / 通信情報] で確認してください。

📖 参照

- ・P.21 「送信の種類」
- ・P.80 「見出しの種類を切り替える」
- ・P.85 「アドレス帳から検索する」
- ・P.241 「文書蓄積を利用する」
- ・P.305 「メモリー使用状況を確認する」
- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」
- ・『初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」

簡単画面について

簡単画面への切り替え方法や、表示されるキーについて説明します。
[簡単画面] キーを押すと、ファクス初期画面から簡単画面に切り替わります。
簡単画面とは、主な機能のみを表示した画面です。
文字サイズとキーサイズが拡大され、より簡単に操作することができます。



◆ ファクス簡単画面



1

1 [キー色反転]

キーの色を変更し、画面のコントラストを強めたいときに押します。
ファクス初期画面には適用されません。

補足

- ・ファクス初期画面に切り替えたいときは、再度 [簡単画面] キーを押してください。
- ・簡単画面では表示されないキーがあります。

初期設定項目一覧

ファクス初期設定で設定できる各種項目と概要について説明します。ファクス初期設定画面は〔初期設定 / カウンター / 問合せ情報〕キーを押して表示させます。詳しい設定方法については『初期設定編』「ファクス初期設定」を参照してください。

◆ 基本設定

初期設定値の項目名	概要
クイック操作キー（1、2、3）	よく使う機能をクイック操作キーとして登録すると、電源を入れた直後の画面に表示されます。
宛先表見出し切り替え	宛先表に表示される見出しを設定します。
宛先検索対象	宛先検索で使用する検索対象を設定します。
通信枚数カウンター	送信枚数、受信枚数の累積を画面に表示して確認できます。
音量調節	オンフックや直接送信時の音量を調節します。
Fコードボックス設定	ITU-Tの国際標準規格に従ったFコードを利用する「親展ボックス」、「掲示板ボックス」、「中継ボックス」を登録／変更／消去します。（ITU-T：国際電気通信連合の通信規格を制定する部門）
Fコードボックス設定：リスト印刷	本機に設定されている親展ボックス、掲示板ボックス、中継ボックスの一覧をリストにして印刷します。
オンフック解除時間	オンフックダイヤルを使って送信したときにオンフックが解除される時間を設定します。

◆ 読み取り設定

初期設定値の項目名	概要
読み取りサイズ登録／変更／消去	読み取りサイズ指定で送信するときによく使うサイズを登録します。

◆ 送信設定

初期設定値の項目名	概要
送信メールサイズ制限	相手先が受信できるメールのサイズを制限している場合など、あらかじめ送信するメールのファイルサイズを制限しておきたいときに設定します。
定型文登録／変更／消去	送信した相手先の原稿の1ページ目の先端に印字する定型文を登録します。
全文書転送	全文書転送をするかどうかの設定をします。

初期設定値の項目名	概要
バックアップ送信設定	メモリー送信で送信したファイルのバックアップを指定したフォルダーに送信するかしないかを設定します。

◆ 受信設定

初期設定値の項目名	概要
受信モード切替	受信のしかたを設定します。
受信モード自動切り替え時設定	電話がかかってくると、相手が電話かファクスかを判断し、自動的に電話とファクスを切り替えます。この自動切り替えのとき、ファクス優先か電話優先かを設定します。
受信モードタイマー切り替え	設定した時刻に自動的に受信モード（自動切り替え、手動受信、自動受信）を切り替えます。
特定相手先設定	特定の相手先を登録し、「相手先別迷惑ファクス防止設定」や「相手先別受信文書印刷部数」「相手先別メモリー転送設定」「相手先別両面印刷」「相手先別封筒受信」「相手先別給紙トレイ選択」「相手先別受信機能」「手差し用紙サイズ」といった機能を設定します。
特定相手先設定：リスト印刷	特定相手先のリストを印刷します。
メモリー転送設定	受信した原稿をあらかじめ登録してある相手先（転送先）へ転送するかしないかを設定します。
受信文書設定	ファクス受信した文書をハードディスクに蓄積するか、印刷するかを設定します。
蓄積受信文書ユーザー設定	ファクス受信し、ハードディスクに蓄積した文書を管理するユーザーを設定できます。
SMTP 受信ファイル配信設定	SMTP 受信したメールの配信が可能なときに有効な機能です。
両面印刷	受信文書を用紙の両面に印刷するかしないかを設定します。
しおり印字	受信紙の1枚目に、しおりのマークを印字するかしないかを設定します。
センターマーク印字	受信した文書、リストおよびレポートの左端と上端の中央にマークを印字するかしないかを設定します。
受信時刻印字	受信紙の下の部分に、受信した日付と時刻を印字するかしないかを設定します。
受信文書印刷部数	印刷する受信文書の部数を設定しています。

初期設定値の項目名	概要
給紙トレイ選択	特定の相手先から受信した文書と、それ以外の相手先からの文書を別々のトレイで印刷するかしないかを設定します。
回線別排紙先設定	回線（電話回線およびインターネットファクス）ごとに文書を排出させるトレイを設定するかしないかを設定します。
フォルダー転送結果メール通知	メモリー転送または相手先別メモリー転送の宛先にフォルダーが含まれていたとき、指定した宛先に転送結果をメールで通知します。
封筒受信	封筒受信をするかしないか設定します。

◆ 導入設定

初期設定値の項目名	概要
パラメーター設定	パラメーター設定で各種の機能を利用状況にあった設定に変更できます。
パラメーター設定：リスト印刷	パラメーター設定リストを印刷します。
ID 送受信 ID 登録	ID 送受信に必要な ID 送受信 ID を登録します。
封筒 ID 登録	封筒受信した文書を印刷するときに入力する ID を登録します。
インターネットファクス設定	インターネットファクスでの送信機能を使用するかどうか設定します。
ダイヤルイン設定	ダイヤルイン機能を使う場合に、電話用として使用する番号を設定します。
ダイヤル／プッシュ選択	G3 アナログ回線と接続しているときに接続した電話回線の種別を設定します。
発信元情報登録	相手のファクス機や受信紙に表示される本機の情報に登録します。
ISDN-G3 回線登録	ISDN を使って G3 規格で送信する場合に使用する設定です。
ISDN-G4 回線登録	ISDN を使って G4 規格で送信する場合に使用する設定です。
メニュープロテクト設定	管理者以外のユーザーでも設定を変更できる機能に対して、ユーザーのアクセス権のレベルを設定します。

📖 参照

- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

1. 送信のしかた

1

送信の種類や宛先の指定方法など、基本的な送信方法について説明します。

送信の種類

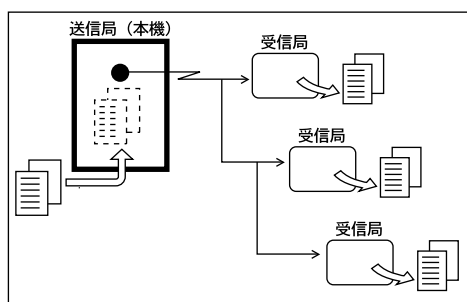
送信には、メモリー送信と直接送信の2つの種類があります。

★重要

- 大切な原稿を送信するときは、相手先に連絡して内容を確認することをお勧めします。

◆メモリー送信

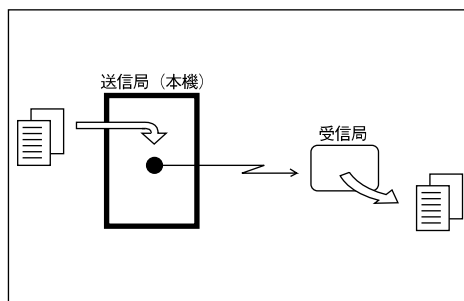
原稿を一度メモリーに蓄積してから自動的に送信を開始します。急いで原稿を持ち帰りたいときに便利です。同じ原稿を複数の相手先に送信（同報送信）できます。また、本機は工場出荷時にクイックメモリー送信に設定されています。



ALS012D

◆直接送信

すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送信します。急いで送信したいときや、送信している相手先を確認したいときに便利です。原稿はメモリーに蓄積されません。指定できる宛先は1件です。



ALS013D

通常はメモリー送信が選択されています。直接送信に切り替えるには、[直接送信] を押します。

補足

- ・電源を入れた直後や[リセット]キーを押したときの送信モードを、メモリー送信にするか直接送信にするか設定できます。詳しくは「初期画面の初期値を登録する」を参照してください。

参照

- ・P26 「クイックメモリー送信」
- ・P28 「同報送信」
- ・P311 「初期画面の初期値を登録する」

宛先種別を選択する

送信するファクスの宛先の種別を、ファクス宛先およびインターネットファクス宛先から選択します。

ファクス初期画面に表示されるタブを切り替えて選択します。

◆ 通常のファクスの宛先を選択するとき

[ファクス] が選択されていることを確認します。

◆ インターネットファクスの宛先を選択するとき

「インターネットファクス」を押して、インターネットファクス画面に切り替えます。

The screenshot shows the 'To:' field with a dropdown menu. The menu is open, displaying a list of destinations. The first row shows '常用' (Regular) and 'あ' (a). The second row shows 'か' (ka), 'さ' (sa), 'た' (ta), 'な' (na), 'は' (ha), 'ま' (ma), and 'や' (ya). The third row shows a grid of destinations: [00001] 赤坂支店, [00004] 鹿児島事業所, [00005] 札幌事業所, [00006] 沼津ショールーム, and [00008] 千葉工場.

目 参照

- ・ P32 「インターネットファクスとは」

メモリー送信で送る

メモリー送信で通常のファクス送信およびインターネットファクス送信ができます。

★ 重要

- ・ 停電時または電源コンセントが抜けた状態で約 1 時間経過すると、ファクスのメモリーに蓄積されている文書はすべて消去されます。消去された文書があると、主電源スイッチを「On」にしたとき自動的に「電源断レポート」が印刷されます。このレポートで消去された文書を確認できます。[電源] キーで電源を切っても文書は消去されません。詳しくは『こんなときには』「ファクス機能がうまく使えないとき」を参照してください。
- ・ 画面右上の「残メモリー」に 0% と表示されているときは、メモリー送信できません。直接送信で送信してください。

1 「直接送信」が反転表示していないことを確認します。

通常はメモリー送信が選択されています。

The screenshot shows the 'Direct Send' button (直接送信) highlighted. The interface includes a 'To:' field, a list of destinations, and a 'Direct Send' button. The 'Direct Send' button is highlighted, indicating it is the selected option for sending the document.

2 原稿をセットします。

3 読み取り条件を選択します。

4 テンキーまたはアドレス帳から相手先を指定します。

相手先を間違えたときは【クリア/ストップ】キーを押して入力し直します。
アドレス帳から相手先を選択するときは、「アドレス帳から選ぶ」を参照してください。

5 複数の相手先に同じ文書を送信するときは、【追加】を押します。

アドレス帳で相手先を追加の場合は、【追加】を押さなくても相手先が追加されます。

6 次の相手先を指定します。

【ファクス】または【インターネットファクス】を押して、ファクス宛先とインターネットファクス宛先を切り替えられます。

ファクス宛先およびインターネットファクス宛先は同時に指定できます。

7 【スタート】キーを押します。

補足

- すべての文書で指定している宛先の合計が最大値を超えると直接送信しかできなくなります。
- 以下の項目の最大値については、「項目別最大値一覧」を参照してください。
 - 1 文書で同報送信できる宛先数
 - すべての文書で指定できる宛先数（送信待機文書を含む）
 - メモリーに蓄積できるメモリー送信の文書数
 - メモリーに蓄積できる文書の枚数（ITU-T No.1 チャート、解像度「ふつう字」、文字原稿の標準原稿）

参照

- P.53 「原稿種類を設定する」
- P.55 「解像度を設定する」
- P.63 「濃度を調整する」
- P.71 「ファクス番号で送る」
- P.74 「メールアドレスで送る」
- P.79 「アドレス帳から選ぶ」
- P.80 「グループで送信する」
- P.81 「宛先履歴から選択する」
- P.326 「項目別最大値一覧」
- 『初期設定編』「ファクス初期設定」
- 『こんなときには』「ファクス機能がうまく使えないとき」

原稿ガラスで複数の原稿を送信する（メモリー送信）

次の手順で操作してください。

1

- 1 [直接送信] が反転表示していないことを確認します。
- 2 原稿をセットします。
- 3 相手先を指定します。
- 4 読み取り条件を設定します。
- 5 [スタート] キーを押します。
原稿が読み取られます。
- 6 読み取りが終了したら、60 秒以内に次の原稿をセットします。

- 7 1 ページごとに手順 4、5、6 を繰り返します。
- 8 最後の原稿の読み取りが終了したら [＃] キーを押します。
相手先を呼び出し、送信を開始します。

クイックメモリー送信

原稿を読み取りながら相手先を呼び出します。

本機は、工場出荷時にクイックメモリー送信になるように設定されています。

通常のメモリー送信はすべての原稿を一度メモリーに蓄積してから相手先を呼び出すので、それに比べて相手先への接続状況を早く確認できます。また、直接送信よりも早く読み取りが終わるので、原稿を急いで持ち帰りたいときにも便利です。

★重要

- ・ 次のときは通常のメモリー送信になります。
 - ・ 相手先が話し中などでつながらなかったとき
 - ・ 他の通信中にメモリー送信の予約をしたとき
 - ・ 複数の相手先を指定したとき
 - ・ 原稿ガラスに原稿をセットし、送信するとき
 - ・ ドキュメントボックスに蓄積した文書を送信するとき
 - ・ 時刻指定送信で文書を送信するとき

↓ 補足

- ・クイックメモリー送信は「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 07 ビット 2) で設定できます。工場出荷時は「ON (する)」に設定されています。
- ・メモリー残量が少なくなったとき、通常のメモリー送信になることがあります。通常のメモリー送信になるときのメモリー残量の目安は、オプションの有無によって変わります。
- ・クイックメモリー送信では、蓄積結果レポートは印刷されません。
- ・クイックメモリー送信中に[クリア/ストップ]キーを押したり、原稿がつまったり、メモリー残量がなくなると送信を終了し、通信結果レポートを印刷後、文書は消去されます。
- ・クイックメモリー送信時は、発信元名称印字の原稿総枚数が自動的に印字されず、原稿ページのみ印字されます。

目 参照

- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

自動リダイヤル

相手先が話し中でつながらなかったり、送信中のエラーで正しく送信できなかったときは、5分間隔で回線を切り替えて最大5回ダイヤルを繰り返します。

それでも送信できなかったときは送信を終了し、「通信結果レポート」または「不達レポート」が印刷されます。

この機能は、標準で設定されている機能です。

↓ 補足

- ・待機中の文書が多いときは、読み取った順番に送信されないことがあります。

目 参照

- ・P207 「通信結果レポート」
- ・P211 「不達レポート」

デュアルアクセス

メモリー送信中、受信中、レポートの自動印刷中にメモリー送信の原稿を読み取ります。通信が終わりしだい、ただちに送信を開始するので、回線を効率的に使用できます。

この機能は、標準で設定されている機能です。

↓ 補足

- ・直接送信中、初期設定操作中は原稿を読み取れません。

同報送信

1

同じ原稿を複数の相手先に送信します。

複数の相手先を指定するには、ひとつ目の相手先を指定したあとに、[追加] を押して次の相手先を追加します。

同報送信は、指定した相手先の順に送信されます。正しく送信されなかった相手先への自動リダイヤルは、最後に指定した相手先の次に行われます。たとえば相手先として ABCD の 4 個所を指定して、A と C への送信が話し中だったときは、ABCDAC の順にダイヤルされます。

どの相手先まで送信できたか途中経過を知りたいときは、「送信待機文書リスト」で確認できます。

G4 ユニットまたは増設 G3 ユニットの付いているときは、複数回線での一斉同報送信ができます。

また、複数の相手先に同報送信している途中で次の送信を指定すると、送信中のファイルの未送信宛先と、次のファイルの宛先への送信が交互に行われます。

たとえば、宛先 AB への同報送信を指定して、宛先 A への送信中に宛先 CD への同報送信を指定すると、ACBD の順に送信されます。

前のファイルと次のファイルがともに待機中の場合でも、同じように交互に送信されます。

↓ 補足

- ・誤って宛先キーを押してしまうなどの誤操作を防止するために、宛先キーで宛先を追加するときには必ず [追加] を押すように「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 17 ビット 2) で設定できます。工場出荷時は「押さない」に設定されています。

目 参照

- ・ P.70 「一斉同報送信」
- ・ P.200 「送信待機文書リスト」
- ・ 『初期設定編』 「ファクス初期設定」

直接送信で送る

直接送信で通常のファクス送信ができます。

★重要

- ・インターネットファクス送信は、必ずメモリー送信になります。直接送信を指定しているときにインターネットファクス宛先に切り替えると、自動的にメモリー送信に切り替わります。
- ・直接送信でグループ送信および同報送信はできません。指定できる相手先は 1 件です。グループ送信、同報送信を指定したときは、自動的にメモリー送信に切り替わります。

1 「直接送信」を押します。



2 原稿をセットします。

3 読み取り条件を選択します。



4 テンキーまたはアドレス帳から相手先を指定します。



アドレス帳から相手先を選択するときは、「アドレス帳から選ぶ」を参照してください。

相手を間違えたときは［クリア/ストップ］キーを押して、入力し直します。

5 〔スタート〕キーを押します。

相手先を呼び出します。

↓ 補足

- ・原稿はメモリーに蓄積されません。

目 参照

- ・P.53 「原稿種類を設定する」
- ・P.55 「解像度を設定する」
- ・P.63 「濃度を調整する」
- ・P.71 「ファクス番号で送る」
- ・P.79 「アドレス帳から選ぶ」
- ・P.80 「グループで送信する」
- ・P.81 「宛先履歴から選択する」

原稿ガラスで複数の原稿を送信する（直接送信）

次の手順で操作してください。

- 1 〔直接送信〕を押します。
- 2 原稿をセットします。
- 3 相手先を指定します。
- 4 読み取り条件を設定します。
- 5 〔スタート〕キーを押します。

6 読み取りが終了したら、10 秒以内に次の原稿をセットします。

7 1 ページごとに手順 4、5、6 を繰り返します。

8 最後の原稿の読み取りが終了したら [Enter] キーを押します。

設定した内容を確認する

送信される前に設定した相手先や拡張機能などの条件を画面で確認します。

1 [設定確認] を押し、設定内容を確認します。

設定内容が表示されます。

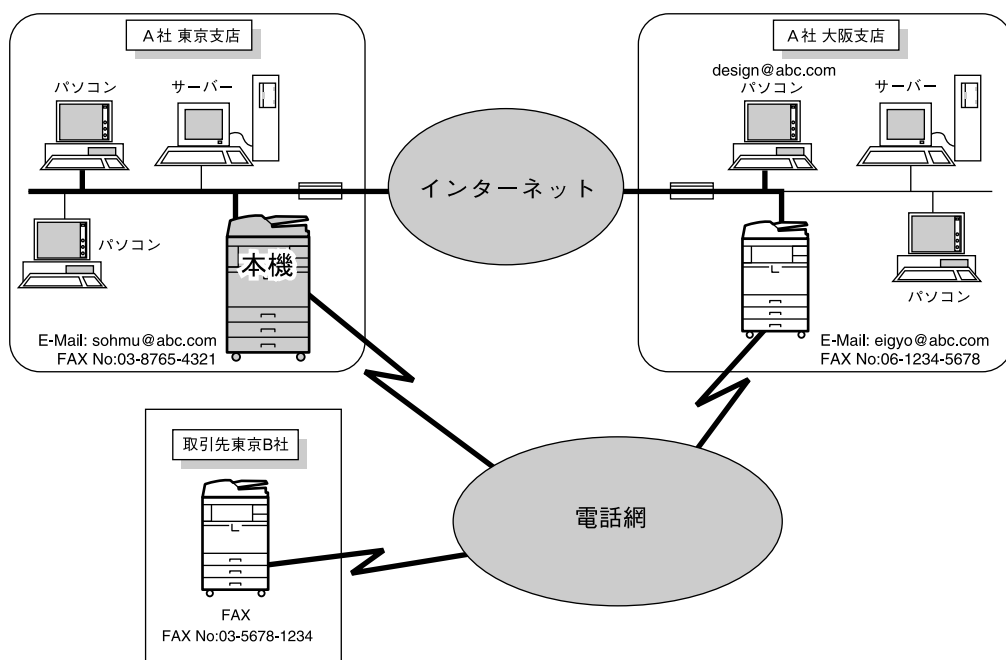
2 確認し終わったら [閉じる] を押します。

インターネットファクスとは

メモリーに読み込んだ原稿を電子メール（E-Mail）形式に変換し、インターネットを使って、インターネットファクス対応機やメールアドレスを持っているパソコンに送信します。操作は、ファクス番号の代わりにメールアドレスを指定して送信します。送信された電子メールは、インターネット対応ファクス（W-NET FAX 対応機種）または電子メールが使えるパソコンで受信できます。

文書は、TIFF-F 形式の画像データとして電子メールに添付されて送信されます。パソコンに送信されたメールを閲覧するには、MIME 対応のメールソフトが必要です。また、添付の画像データを閲覧するには TIFF-F 形式に対応したソフトが必要です。

また、パソコンから送信された電子メールや、インターネット対応ファクスから送信されたインターネットファクスを受信して、印刷したり転送することもできます。



ALU011D

★重要

- ・この機能を使うには、プリンター・スキャナーユニットが必要です。
- ・インターネットファクスを使うには、本機を LAN に接続し、「システム初期設定」で各種設定を行う必要があります。
- ・本機のファクス機能は、IPv6 には対応していません。
- ・インターネットファクスを送信するには、「ファクス初期設定」の「導入設定」で「インターネットファクス設定」を「使用する」に設定する必要があります。ただし、「使用しない」に設定しているときでも、インターネットファクス宛先への文書の転送や配信は可能です。
- ・インターネットファクスを受信するには、「システム初期設定」の「ファイル転送設定」で、「ファクスメールアカウント」の「アカウント」を「受信する」に設定する必要があります。

↓ 補足

- 本機のインターネットファクス機能は、ITU-T 勧告 T.37 に準拠しています。
- 通常のインターネットファクスは SMTP サーバーを経由して送信しますが、設定された SMTP サーバーを経由せずに送信する方法もあります。SMTP サーバーを経由せずに送信するときは、ファクス初期画面で経由するかしないか設定します。
- 送信するときに〔拡張送信〕の「件名」「本文」「受信確認」「Bcc 送信」を設定できます。
- ファクス初期設定で送信メールのサイズ制限ができます。
- 実際にどのようにパソコンで受信されるかは、「受信イメージ」を参照してください。
- 送信結果を確認する方法は「送信結果を確認する」を参照してください。

📖 参照

- P.76 「SMTP サーバーを経由しないで送信する」
- P.127 「受信確認を要求する」
- P.129 「メール宛先を BCC に設定する」
- P.132 「件名を設定する」
- P.135 「本文を設定する」
- P.161 「受信イメージ」
- P.204 「送信結果を確認する」
- 『初期設定編』「接続と設定」
- 『初期設定編』「システム初期設定」
- 『初期設定編』「ファクス初期設定」

インターネットファクス使用上のご注意

1

インターネットファクスを使う際の注意点について説明します。

- インターネットファクス送信時には A4 サイズで送信されます。A4 より大きな原稿を送信すると A4 サイズに縮小されます。ただし相手先が T.37 フルモード対応機の場合はアドレス帳に設定してある用紙サイズで送信できます。
- インターネットファクス送信では「微細字」を選択しても「小さな字」で送信されます。アドレス帳登録時にフルモードを設定すると「微細字」で送信できます。
- 送信が正常に行われなかったとき、通常はエラーメールを受信しますが、エラーメールが何らかの原因で受信できないこともあります。重要な文書を送信したときは、相手先に着信したかどうかを電話で確認してください。
- インターネットを使った通信は秘匿性が低いので、重要な書類は電話回線を使用した通常のファクス送信をお勧めします。
- LAN 経由の電話は使用できません。
- インターネットファクスはサーバーの混み具合によっては、送信まで時間がかかることがあります。緊急を要するファクスは、SMTP サーバーを経由しないで送信するか電話回線を利用した通常のファクス送信をお使いください。
- 停電時または電源コンセントが抜けた状態で約 1 時間経過すると、ファクスのメモリーに蓄積されている文書はすべて消去されます。消去された文書があると、主電源スイッチを「On」にしたとき自動的に「電源断レポート」が印刷されます。このレポートで消去された文書を確認できます。[電源] キーで電源を切っても文書は消去されません。詳しくは『こんなときには』「ファクス機能がうまく使えないとき」を参照してください。
- パソコンやネットワークなどの環境によっては、メールサイズが大きいと送信できないことがあります。
- メモリー残量が少ないときはインターネットファクスで送信できないことがあります。
- インターネットファクスは TIFF-F 形式の画像ファイルで送信されます。そのため、相手先がパソコンで受信したときはビューアーアプリケーションがないと文書の内容を見ることができません。
- メール送信は原稿をメモリーへ蓄積しファイル変換してから送信しますので、原稿の量によっては送信まで時間がかかることがあります。

参照

- P.36 「T.37 フルモード対応について」
- P.55 「解像度を設定する」
- P.76 「SMTP サーバーを経由しないで送信する」
- 『こんなときには』「ファクス機能がうまく使えないとき」

送信時に使用できない機能

次の機能は、通常のファクス送信では使用できますがインターネットファクスによる送信では使用できません。

- 直接送信
- F コード (SUB) を使った送信
- サブアドレス
- オンフックダイヤル
- マニュアルダイヤル
- ID 送信
- JBIG 送信
- ECM (Error Correction Mode)
- 全文書転送

受信時に使用できない機能

次の機能は、通常のファクス受信では使用できますがインターネットファクスによる受信では使用できません。

- 封筒受信
- F コード (SEP) を使った受信
- 相手先別迷惑ファクス防止
- 相手先別受信印刷部数設定 (受信文書印刷設定)

メールの件名について

件名入力を設定しないで送信すると、件名は自動的に設定されます。
「送信者名印字」の設定によって件名の内容が変わります。

◆「送信者名印字」が「する」に設定されているとき

From 送信者名 (Fax Message NO.xxxx)

◆「送信者名印字」が「しない」に設定されているとき

- 発信元ファクス番号と発信元名称 (表示用) の両方登録されている場合
From “ 発信元ファクス番号 ” (“ 発信元名称 (表示用) ”) (Fax Message NO.xxxx)
- 発信元ファクス番号だけが登録されている場合
From “ 発信元ファクス番号 ” (Fax Message NO.xxxx)
- 発信元名称 (表示用) だけが登録されている場合
From “ 発信元名称 (表示用) ” (Fax Message NO.xxxx)
- 発信元ファクス番号と発信元名称 (表示用) の両方未登録の場合
Fax Message NO.xxxx

↓ 補足

- 「xxxx」は通信管理レポートに記載される文書番号です。

目 参照

- P.100 「送信者を設定する」

T.37 フルモード対応について

本機はインターネットファクスの国際基準（ITU-T 勧告、RFC2532）である T.37 フルモードに対応しています。

T.37 フルモード対応機同士でインターネットファクスを送受信すると、送信側が受信確認を求めているときに、受信側が受信確認応答メールを送信します。

この受信確認には受信側の圧縮の種類・紙サイズ・解像度などの受信能力情報も付記されます。受信側がアドレス帳でフルモードに登録しているときは、自動的に受信確認にある受信能力情報をアドレス帳に登録し、次回その情報をもとにインターネットファクスを送信できます。

◆ 受信確認を送信する

送信側が受信確認を求めているときに、受信側は受信確認を送信します。この受信確認には受信側の圧縮の種類・紙サイズ・解像度などの受信能力情報も付記されます。

◆ 受信確認にある情報を登録する

送信側が受信確認を受信すると、アドレス帳に宛先が登録されているか確認します。受信側がフルモードに登録されているときは、自動的に受信確認にある情報をアドレス帳に登録します。アドレス帳の受信能力情報は受信確認を受信するたびに更新され、受信能力情報をもとにインターネットファクスを送信できます。たとえば、相手先がフルモード対応機および用紙サイズ A3 対応機の場合は、アドレス帳で用紙サイズが A3 に登録されると A3 で送信可能になります。相手先が未対応機の場合は A4 のみ送信可能です。受信側がアドレス帳でフルモードに登録されていないときは、受信側の受信能力情報は登録されません。

受信側の受信能力情報を手動で登録できます。

◆ 受信確認を要求する

受信側のファクス機が T.37 フルモードに対応し、アドレス帳でフルモードに登録されているときは、受信側に対し受信確認を要求します。その後に受信する受信確認には受信側の受信能力情報が付記されています。

↓ 補足

- ・受信側の受信能力情報をアドレス帳に手動で登録するには Web Image Monitor から登録してください。
- ・インターネットファクスは一度に複数の宛先に送信できますが、アドレス帳でフルモードに登録した宛先が含まれていると、受信側のそれぞれのファクス機に受信能力の違いがあるため、一件ずつ指定された順番に送信されます。

目 参照

- ・ P.127 「受信確認を要求する」
- ・ P.300 「Web Image Monitor から相手先の機種情報を登録する」

原稿をセットする

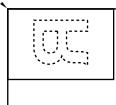
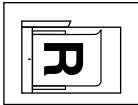
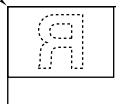
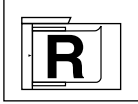
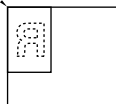
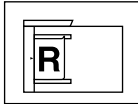
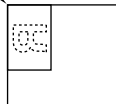
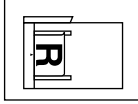
1

原稿ガラスまたは自動原稿送り装置（ADF）に原稿をセットします。セット方法については以下を参照してください。

- ・原稿ガラスにセットするとき
『コピー機能 / ドキュメントボックス機能編』「原稿ガラスにセットする」
- ・自動原稿送り装置（ADF）に原稿をセットするとき
『コピー機能 / ドキュメントボックス機能編』「自動原稿送り装置（ADF）にセットする」
『コピー機能 / ドキュメントボックス機能編』「自動原稿送り装置（ADF）にセットできない原稿」

ただし、ファクス機能ではコピー機能の〔特殊原稿設定〕は使用できません。

原稿は、用紙サイズに合わせて正しくセットしてください。

原稿サイズ	原稿ガラスにセットするとき	自動原稿送り装置（ADF）に セットするとき
B6、A4、B4、A3、B3、A2 		
B6、A4、B4、A3、B3、A2 		
A5、B5 		
A5、B5 		

★重要

- ・B6 サイズの原稿を原稿ガラスにセットすると、原稿サイズを検知できません。自動原稿送り装置（ADF）にセットしてください。
- ・自動原稿送り装置（ADF）を使用して原稿を読み取らせている間は、自動原稿送り装置（ADF）を上げないでください。

補足

- ・自動原稿送り装置（ADF）で原稿を読み取るときは、原稿を一度にまとめてセットしてください。
- ・重要な原稿を送信するときは、あらかじめ送信する原稿と同じサイズで同じ方向の用紙が相手先にセットされているか確認してください。画像が縮小されたり、両端が欠けたり、2枚以上に分割して印刷されることがあります。
- ・定形外の原稿を送信するときや、大きな原稿の一部だけを送信するときは、読み取りサイズを指定すると便利です。
- ・不定形なサイズの原稿は、相手先で余白ができたり画像が切れることがあります。「読み取りサイズ」を指定すると、原稿のサイズにかかわらず指定した範囲内を読み取ります。
- ・原稿がつまったときは、[クリア/ストップ] キーを押して原稿をゆっくり取り出してください。
- ・修正液やインクは完全に乾いてからセットしてください。原稿ガラスが汚れ、その汚れが送信されてしまいます。
- ・通常、A4、B4、A3 サイズの原稿は□にセットしますが、◇にセットすると 90° 回転して送信します。
- ・原稿ガラスで読み取り後、続けて自動原稿送り装置（ADF）で読み取ることができます。自動原稿送り装置（ADF）から原稿ガラスに変更はできません。
- ・インターネットファクス送信時には A4 サイズで送信されます。A4 より大きな原稿を送信すると A4 サイズに縮小されます。ただし、相手先が T.37 フルモード対応機の場合はアドレス帳に設定してある用紙サイズで送信できます。
- ・相手先が受信した原稿に発信元情報が印字されます。原稿を原稿ガラスにセットしたときは左側に来る辺に、自動原稿送り装置（ADF）にセットしたときは右側に来る辺に印字されます。ただし、A4、B4、A3 サイズの原稿を◇にセットしたときは、発信元情報も回転して印字されます。発信元情報については『初期設定編』『ファクス初期設定』を参照してください。
- ・原稿の取り扱いについては「セットできる原稿のサイズと紙厚」、「原稿サイズと読み取り範囲」および「サイズを読み取りにくい原稿」を参照してください。
- ・電源を入れた直後や[リセット] キーを押したときに選択される原稿送りの項目を設定できます。詳しくは、「初期画面の初期値を登録する」を参照してください。

参照

- ・P.26 「原稿ガラスで複数の原稿を送信する（メモリー送信）」
- ・P.30 「原稿ガラスで複数の原稿を送信する（直接送信）」
- ・P.36 「T.37 フルモード対応について」
- ・P.46 「セットできる原稿のサイズと紙厚」
- ・P.47 「原稿サイズと読み取り範囲」
- ・P.50 「サイズを読み取りにくい原稿」
- ・P.51 「回転送信」
- ・P.57 「読み取りサイズを設定する」
- ・P.311 「初期画面の初期値を登録する」
- ・『初期設定編』『ファクス初期設定』
- ・『コピー機能/ドキュメントボックス機能編』『原稿をセットする』

原稿セット方向を設定する

原稿をドキュメントボックスに蓄積するときは「原稿セット方向」を設定します。

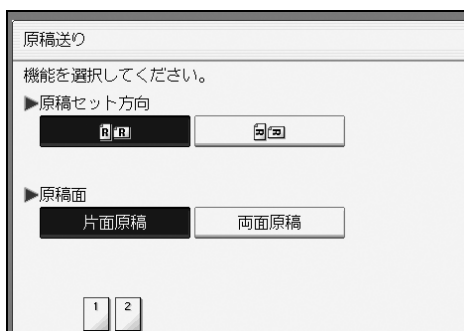
1 原稿をセットし、読み取り条件を選択します。

2 [原稿送り] を押します。



3 原稿セット方向を選択します。

原稿ガラスまたは自動原稿送り装置（ADF）にセットした原稿の方向を確認して、**[R/R]** または **[A/A]** を押します。



4 [OK] を押します。

「原稿送り」に選択した原稿セット方向が表示されます。

5 相手先を指定し、[スタート] キーを押します。

目 参照

- ・ P.243 「送信文書を蓄積する」

両面原稿を読み取る

両面の原稿を送信するとき、表と裏を1ページずつ読み取って送信します。

1

★重要

- ・この機能を使用するには自動原稿送り装置（ADF）が必要です。原稿ガラスにセットして送信することはできません。
- ・両面原稿送信時はメモリ送信で送信します。直接送信はできません。
- ・両面原稿送信で読み取れる原稿の長さは最大 432mm です。A2、B3、B6 サイズの原稿は両面原稿送信できません。送信しようとする、画面にメッセージが表示されます。[確認] を押し、原稿サイズを確認してください。

原稿の表面と裏面が同じ方向になるように送信するためには「原稿セット方向」と「ひらき方向」を次のように設定してください。「原稿セット方向」と「ひらき方向」が正しく設定されていないと、原稿の表面と裏面で上下が逆になって相手先に印刷されることがあります。

原 稿	⇒ セット方向	⇒ ひらき方向の設定	相手先の出力
A3・B4・A4		左右ひらき	
		上下ひらき	
		左右ひらき	
		上下ひらき	
B5・A5		左右ひらき	
		上下ひらき	
		左右ひらき	
		上下ひらき	

GFRY000J

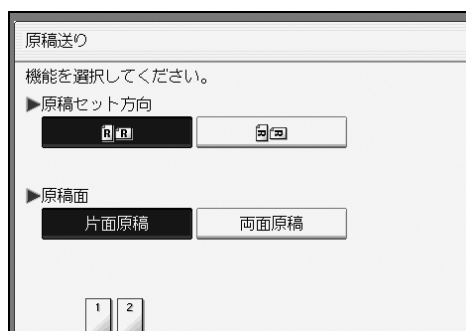
1 原稿をセットし、読み取り条件を選択します。

2 [原稿送り] を押します。



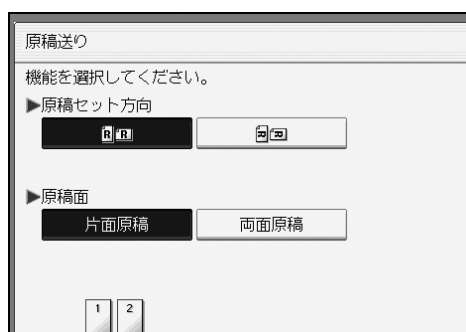
3 原稿セット方向を選択します。

自動原稿送り装置 (ADF) にセットした原稿の方向を確認して、**[R/R]** または **[D/D]** を押します。

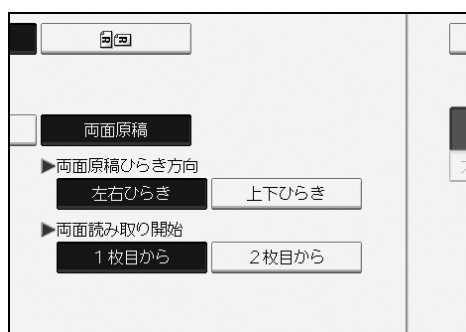


原稿セット方向は正しく設定してください。間違っていると、正しく送れないことがあります。

4 [両面原稿] を選択します。



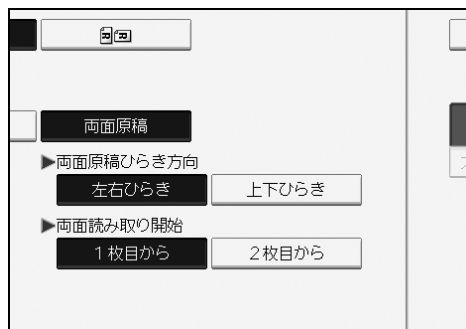
5 [左右ひらき] または [上下ひらき] を選択します。



6 [1枚目から] または [2枚目から] を選択します。

両面原稿送信を取り消すときは、[片面原稿] を押します。手順 **3** の画面に戻ります。
自動原稿送り装置 (ADF) を使って1枚目が送付状の文書などを送信するときは、「2枚目から」を選択します。

1



7 [OK] を押します。

「原稿送り」の上に「両面原稿」と表示されます。

8 相手先を指定し、[スタート] キーを押します。

補足

- 両面を正しく読み取れたかを済スタンプで確認できます。
- 電源を入れた直後や [リセット] キーを押したときに選択される原稿送りの項目を設定できます。詳しくは、「初期画面の初期値を登録する」を参照してください。

参照

- P.46 「セットできる原稿のサイズと紙厚」
- P.51 「読み取った原稿に印を付ける (済スタンプ)」
- P.311 「初期画面の初期値を登録する」

大サイズ原稿の等倍送信

大サイズ原稿を等倍で送信します。

通常、A2/B3 サイズの原稿は相手先のファクスの受信能力に応じて縮小して送信されますが、相手先が A2/B3 サイズに対応しているファクスをお使いのときは、A2/B3 サイズの原稿を縮小することなく、等倍で送信することができます。図面など大きな原稿を送信するときに便利です。

また、相手先が A2/B3 サイズに対応していないファクスをお使いのときは、A2 原稿は A3 サイズ 2 枚に、B3 原稿は B4 サイズ 2 枚に分割して、等倍で送信することができます。詳しくは、「大サイズ原稿の分割送信」を参照してください。

↓ 補足

- A2/B3 サイズの原稿は、原稿ガラス、自動原稿送り装置（ADF）のどちらにもセットできます。
- 相手先が大サイズ原稿の等倍受信ができるファクスをお使いのときに、大サイズ原稿を等倍送信することができます。送信する前に相手先に大サイズ等倍受信ができるかどうか確認してください。
- 相手先が大サイズ原稿の等倍受信ができるファクスをお使いの場合でも、相手先で大サイズ原稿を等倍受信しないように設定しているときは等倍送信できません。送信する前に相手先に確認してください。
- 本機で大サイズ原稿を等倍受信するときは「大サイズ原稿を等倍受信する」を参照してください。

📖 参照

- P.37 「原稿をセットする」
- P.44 「大サイズ原稿の分割送信」
- P.177 「大サイズ原稿を等倍受信する」

A2/B3 サイズの原稿を、2 枚に分割して等倍で送信します。A2/B3 サイズに対応していないファクスにも、縮小せずに送信することができます。



★重要

- ・原稿は原稿ガラスにセットしてください。この機能は自動原稿送り装置（ADF）では使用できません。
- ・大サイズ原稿指定を選択した場合は、メモリー送信になります。直接送信はできません。
- ・相手先にセットされている用紙のサイズと向きによっては、縮小して送信されることがあります。
- ・相手先が大サイズ原稿の等倍受信ができるファクスをお使いのときは、大サイズ原稿を等倍送信することができるため、大サイズ原稿指定をする必要はありません。送信する前に相手先に大サイズ等倍受信ができるかどうか確認してください。

1 原稿をセットし、読み取り条件を選択します。

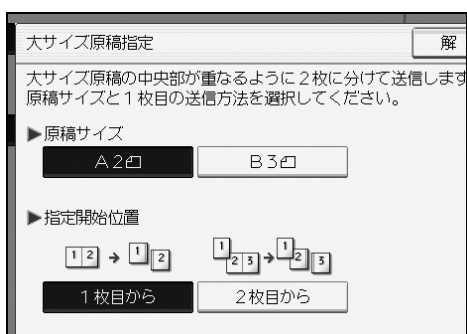
2 [原稿送り] を押します。



3 [大サイズ原稿指定] を押します。



4 送信する原稿サイズを押します。

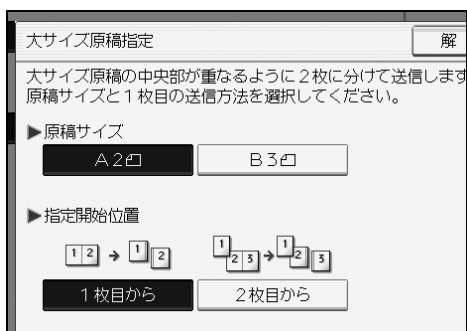


大サイズ原稿指定を取り消すときは[解除]を押します。手順3の画面に戻ります。

5 大サイズ原稿指定をする先頭ページを選択し、[OK]を押します。

[1枚目から] または [2枚目から] を押します。

1枚目から大サイズ原稿指定をするときは「1枚目から」を選択します。1枚目に送付状を付けるときなどは、「2枚目から」を選択します。



[大サイズ原稿指定] が反転表示され、その上に選択した原稿サイズが表示されます。

6 [OK] を押します。

「原稿送り」の上に「大サイズ原稿指定」と表示されます。

7 相手先を指定し、[スタート] キーを押します。

↓ 補足

- A2□サイズの原稿は A3□の用紙 2 枚、B3□サイズの原稿は B4□の用紙 2 枚に分割して送信します。
- 分割した原稿の中央部を重ねて読み取る幅を「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 09 ビット 4、5、6、7) で 0mm から 30mm まで 2mm ごとに調整できます。工場出荷時は 6mm に設定されています。
- 分割した原稿の中央部を重ねて読み取る幅を多くとると、原稿の端の画像が欠けることがあります。
- 原稿が複数あるときは、次の原稿をセットし直して [スタート] キーを押すことを繰り返します。最後の原稿の読み取りが終了したら [#] キーを押します。
- [#] キーを押さなくても、最後の原稿の読み取りが終了して 60 秒経過すると自動的に送信が開始されます。
- 大サイズ原稿指定送信を取り消す方法は、「送信を取り消す」を参照してください。
- 大サイズ原稿の分割送信の操作をクイック操作キーに登録できます。クイック操作キーを使うときは、手順 **2** と手順 **3** を省略できます。

目 参照

- P.115 「送信を取り消す」
- 『初期設定編』「ファクス初期設定」

セットできる原稿のサイズと紙厚

原稿セット先	原稿サイズ	セットできる用紙	原稿紙厚 (坪量 (連量))
原稿ガラス	A2 (420×594mm) まで 17"×22" (432×559mm) まで	1	-
自動原稿送り装置 (ADF) (片面)	A2□から B6□ 11"×17" (DLT) □□から 8 ¹ / ₂ "×11" (LT) □□	50 (普通上質紙 70g/m ² (60kg)) のとき ※ただし A3 を超える サイズのときは 30	52g/m ² から 128g/m ² (45kg から 110kg)
自動原稿送り装置 (ADF) (両面)	A3□□から B5□□ 11"×17" (DLT) □□から 8 ¹ / ₂ "×11" (LT) □□	50 (普通上質紙 70g/m ² (60kg)) のとき	52g/m ² から 105g/m ² (45kg から 90kg)

↓ 補足

- サイズ混載機能を使用するときは、A3□と B4□など、用紙の縦の長さが異なる原稿をセットしないでください。

原稿サイズと読み取り範囲

原稿ガラスまたは自動原稿送り装置（ADF）にセットした原稿のサイズ検知結果と読み取り範囲について説明します。

補足

- ・送信した画像と相手先で印刷された画像の大きさには多少の差があります。
- ・原稿ガラスまたは自動原稿送り装置（ADF）上に正しくセットしても、送信する原稿の周囲約 3mm は送信できないことがあります。
- ・相手先の用紙の縦の長さが送信する原稿の縦の長さより小さいときは、相手先の用紙の縦の長さに合わせて縮小して送信されます。

参照

- ・ P.139 「自動縮小」

原稿ガラスにセットしているとき

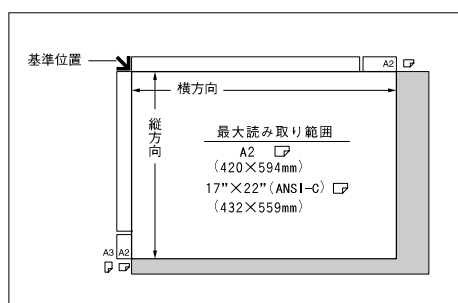
重要

- ・原稿ガラスに A2 より大きい原稿をセットしたときは、A2 の範囲内だけ読み取ります。

◆ 最大読み取り範囲

最大読み取り範囲は、次のようになります。

- ・縦の長さ 420×横の長さ 594mm



AUD017D

原稿ガラスにセットした原稿の読み取りは下記の表のようになります。なお、サイズ判別不可となるサイズの原稿については、読み取りサイズを指定してください。

		横の長さ				
		～約189mm	約190mm～約219mm	約220mm～約343mm	約344mm～約373mm	約374mm～約594mm
縦の長さ	～約189mm	サイズ判別不可	A5	B5	サイズ判別不可	サイズ判別不可
	約190mm～約219mm	A5	サイズ判別不可	A4	サイズ判別不可	サイズ判別不可
	約220mm～約339mm	B5	A4	サイズ判別不可	B4	A3
	約340mm～約369mm	サイズ判別不可	サイズ判別不可	B4	サイズ判別不可	B3
	約370mm～約420mm	サイズ判別不可	サイズ判別不可	A3	サイズ判別不可	A2

AUD005D

参照

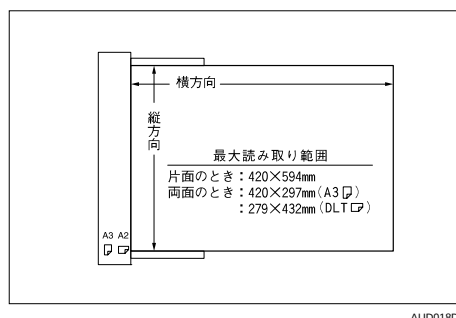
- ・ P.57 「読み取りサイズを設定する」

自動原稿送り装置（ADF）にセットしているとき

◆ 最大読み取り範囲

最大読み取り範囲は、次のようになります。

- ・メモリー送信時：縦の長さ 420×横の長さ 594mm
- ・直接送信時：縦の長さ 420×横の長さ 594mm



AUD018D

自動原稿送り装置（ADF）にセットした原稿の読み取りは下記の表のようになります。

縦の長さ：約 128mm～約 134mm

横の長さ	約 144mm～ 約 191mm	約 191mm～ 約 222mm	約 222mm～ 約 266mm	約 266mm～ 約 306mm	約 306mm～ 約 393mm
読み取りサイズ	B6	A5	B4	A4	B4

横の長さ	約 393mm～ 約 442mm	約 442mm～ 約 525mm	約 525mm～ 約 594mm	-	-
読み取りサイズ	A3	B3	A2	-	-

縦の長さ：約 134mm～約 165mm

横の長さ	約 144mm～ 約 222mm	約 222mm～ 約 266mm	約 266mm～ 約 287mm	約 287mm～ 約 306mm	約 306mm～ 約 393mm
読み取りサイズ	A5	B4	11"×15"	A4	B4

横の長さ	約 393mm～ 約 442mm	約 442mm～ 約 525mm	約 525mm～ 約 594mm	-	-
読み取りサイズ	A3	B3	A2	-	-

縦の長さ：約 165mm～約 207mm

横の長さ	約 144mm～ 約 266mm	約 266mm～ 約 287mm	約 287mm～ 約 306mm	約 306mm～ 約 594mm
読み取りサイズ	B5	DLT	A3	A2

縦の長さ：約 207mm～約 237mm

横の長さ	約 144mm～ 約 156mm	約 156mm～ 約 266mm	約 266mm～ 約 287mm	約 287mm～ 約 306mm	約 306mm～ 約 393mm
読み取りサイズ	A5□	A4□	LT□	A4□	B4□

横の長さ	約 393mm～ 約 442mm	約 442mm～ 約 525mm	約 525mm～ 約 594mm	-	-
読み取りサイズ	A3□	B3□	A2□	-	-

縦の長さ：約 237mm～約 273mm

横の長さ	約 144mm～ 約 191mm	約 191mm～ 約 375mm	約 375mm～ 約 442mm	約 442mm～ 約 525mm	約 525mm～ 約 594mm
読み取りサイズ	B5□	B4□	A3□	B3□	A2□

縦の長さ：約 273mm～約 319mm

横の長さ	約 144mm～ 約 214mm	約 214mm～ 約 222mm	約 222mm～ 約 375mm	約 375mm～ 約 393mm	約 393mm～ 約 425mm
読み取りサイズ	A4□	LT□	A3□	11"×15"□	A3□

横の長さ	約 425mm～ 約 442mm	約 442mm～ 約 525mm	約 525mm～ 約 594mm	-	-
読み取りサイズ	DLT□	B3□	A2□	-	-

縦の長さ：約 319mm～約 365mm

横の長さ	約 144mm～ 約 191mm	約 191mm～ 約 222mm	約 222mm～ 約 266mm	約 266mm～ 約 306mm	約 306mm～ 約 393mm
読み取りサイズ	B6□	A5□	B4□	A4□	B4□

横の長さ	約 393mm～ 約 442mm	約 442mm～ 約 525mm	約 525mm～ 約 594mm	-	-
読み取りサイズ	A3□	B3□	A2□	-	-

縦の長さ：約 365mm～約 396mm

横の長さ	約 144mm～ 約 222mm	約 222mm～ 約 266mm	約 266mm～ 約 287mm	約 287mm～ 約 306mm	約 306mm～ 約 393mm
読み取りサイズ	A5□	B4□	11"×15"□	A4□	B4□

横の長さ	約 393mm～ 約 442mm	約 442mm～ 約 525mm	約 525mm～ 約 594mm	-	-
読み取りサイズ	A3□	B3□	A2□	-	-

縦の長さ：約 396mm～約 432mm

横の長さ	約 144mm～ 約 266mm	約 266mm～ 約 287mm	約 287mm～ 約 306mm	約 306mm～ 約 594mm
読み取りサイズ	B5□	DLT□	A3□	A2□

F 参照

- ・ P57 「読み取りサイズを設定する」

サイズを読み取りにくい原稿

次のような原稿はサイズを読み取りにくいと、相手先で正しいサイズ of 用紙が選択されないことがあります。

- ・ A2□B3□A3□□B4□□A4□□B5□□A5□□以外の原稿（原稿ガラスにセットしたとき）
- ・ 付せんやインデックスなど、はみ出た部分のある原稿
- ・ OHP フィルムやトレーシングペーパー（第二原図用紙）のように透明な原稿
- ・ 文字や絵柄部などが多く、全体に黒っぽい原稿
- ・ 部分的に塗りつぶしてある原稿
- ・ 周囲が塗りつぶされている原稿
- ・ 表面がツルツルすべる原稿
- ・ 本などの原稿を開いてセットし、厚さが 10mm 以上のとき

自動的に読み取れる原稿サイズ（ファクス機能使用時）

原稿サイズ	国内で使われているサイズ								海外で使われているサイズ		
	A2 □	B3 □	A3 □□	B4 □□	A4 □□	B5 □□	A5 □□	B6 □	11"×17" □□ (DLT)	11"×15" □□	8 ¹ / ₂ "×11" □□ (LT)
原稿セット先											
原稿ガラス	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
自動原稿送り装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

AUD015D

○は、原稿サイズが自動的に読み取れることを表します。

×は、自動的に読み取れないことを表します。

回転送信

通常、A4、B4、A3 サイズの原稿は□にセットしますが、□にセットすると 90° 回転して送信します。相手先がそれぞれ A4□、B4□、A3□までしか受信できないファクスでも等倍で受信します。

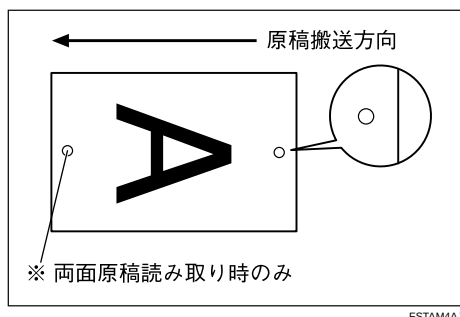
この機能は、標準で設定されている機能です。

↓ 補足

- ・直接送信では、この機能は働きません。

読み取った原稿に印を付ける（済スタンプ）

自動原稿送り装置（ADF）を使って送信するとき、原稿を読み取ったあと、片面原稿のときは送信する面の後端に、両面原稿のときは表面の先端と後端に丸印のスタンプを押します。



★ 重要

- ・この機能を利用するためには自動原稿送り装置（ADF）が必要です。
- ・済スタンプを押せるのは、原稿を自動原稿送り装置（ADF）にセットしたときだけです。

1 原稿をセットし、読み取り条件を選択します。

2 [原稿送り] を押します。



3 [済スタンプ] を押します。



済スタンプを取り消すときは、もう一度 [済スタンプ] を押します。

4 [OK] を押します。

5 相手先を指定し、[スタート] キーを押します。

補足

- 原稿に押された済スタンプは、メモリー送信のときは正しくメモリーに蓄積できたことを、直接送信のときは正しく送信できたことを表します。
- 済スタンプが薄くなってきたときは、カートリッジを交換してください。
- 原稿が重なって送られたりつまったりしたときは、原稿は正しく送信されず、済スタンプが押されません。済スタンプが押されていないページがあるときは、そのページだけもう一度送信し直してください。
- 電源を入れた直後や [リセット] キーを押したときに済スタンプを選択するかどうか設定できます。詳しくは、「初期画面の初期値を登録する」を参照してください。
- 済スタンプの操作をクイック操作キーに登録できます。クイック操作キーを使うときは、手順 **2** と手順 **4** を省略できます。
- クイックメモリー送信時に原稿がつまったりしたときは、済スタンプが押されていても送信できていないことがあります。
- 原稿の読み取り中に済スタンプの「ON」、「OFF」の切り替えはできません。
- 済みスタンプを設定した場合は、原稿読み取り動作が遅くなります。

参照

- P.311 「初期画面の初期値を登録する」
- 『初期設定編』 「ファクス初期設定」
- 『こんなときには』 「用紙やトナーなどがなくなったとき」

読み取り条件を設定する

送信する原稿に合わせて読み取り条件を設定します。

- ◆ **原稿種類**
文字、文字・図表、文字・写真、写真
- ◆ **解像度**
ふつう字、小さな字、微細字
- ◆ **読み取りサイズ**
自動検知、定型サイズ、登録サイズ、サイズ混載
- ◆ **読み取り濃度**
自動濃度調整、手動濃度調整、組み合わせ濃度調整

1

原稿種類を設定する

原稿の内容に合わせて種類を選択します。

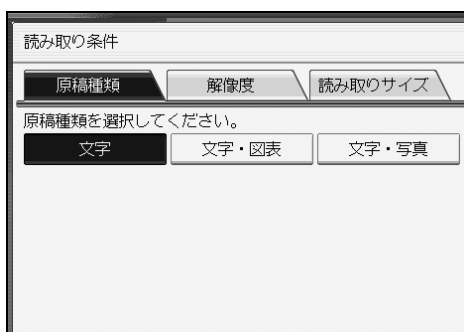
原稿の種類は次のとおりです。

- ◆ **文字**
文字のように黒白の濃度がはっきりしている画像のときに選択します。文字と写真が混在している原稿でも、文字の部分だけをきれいに送りたいときは「文字」を選択します。
- ◆ **文字・図表**
文字のように黒白の濃度がはっきりしている図形や表、グラフなどを、きれいに送りたいときに選択します。「文字」を選択したときは読み取り速度が優先されますが、「文字・図表」を選択したときは画質が優先されます。
- ◆ **文字・写真**
文字のように黒白の濃度がはっきりしている画像と、写真など濃淡のある画像とが混在しているときに選択します。
- ◆ **写真**
写真など濃淡のある画像やカラーの原稿のときに選択します。

1 **「読み取り条件」を押します。**



2 「原稿種類」が選択されていることを確認します。



3 設定する原稿種類のキーを押して、[OK] を押します。



補足

- ・「文字・図表」や「文字・写真」、または「写真」で送信すると、「文字」を選択しているときより送信時間が長くなります。
- ・「文字・図表」や「文字・写真」、または「写真」で送信すると、相手先の受信紙の地肌が汚れることがあります。そのときは、濃度を薄く設定して送信し直してください。
- ・電源を入れた直後や[リセット]キーを押したときの原稿種類を設定できます。詳しくは、「初期画面の初期値を登録する」を参照してください。

参照

- ・P63 「濃度を調整する」
- ・P311 「初期画面の初期値を登録する」

JBIG 送信

圧縮率の高い JBIG (Joint Bi-level image experts Group) で送信します。

「写真」で読み取った原稿でも速く送信します。

この機能は、標準で設定されている機能です。

★重要

- ・G4、直接送信およびインターネットファクスでは使用できません。
- ・G3-1 回線を使ったメモリー送信時に、A2/B3 サイズの原稿を含む場合は JBIG 送信できません。また、A2/B3 サイズの原稿を含まない場合でも、送信待機状態になることがあります。
- ・相手先のファクスに JBIG 受信機能および ECM 機能が付いていないと、JBIG 送信できません。ECM 機能は G3 で通信時のみ有効です。

解像度を設定する

解像度を設定します。

解像度とは原稿を点の集まりと見なしたとき個々の点の大きさを意味します。点を小さくするほど精細に送信できますが、原稿全体の点の数は増えるため、送信時間は長くなります。時間がかかっても精細に送りたいものや多少粗くても早く送りたいものなど、原稿と用途に応じて設定します。

解像度の種類は次のとおりです。

◆ ふつう字

線密度は 8×3.85 本 /mm、または 200×100dpi です。

ふつうの大きさの字で書かれた手書き原稿などに適しています。

◆ 小さな字

線密度は 8×7.7 本 /mm、または 200×200dpi です。

小さな字で書かれたワープロ原稿などに適しています。ふつうの大きさの字でも、なるべくきれいに送信するときに選択します。

◆ 微細字（FAX メモリーが必要）

線密度は 16×15.4 本 /mm、または 400×400dpi です。

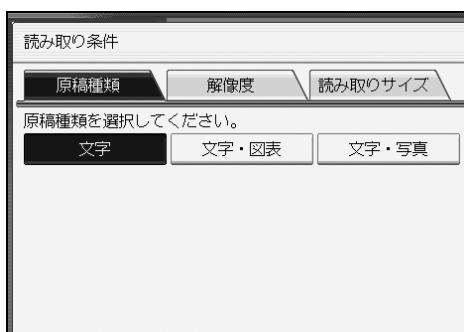
細かい字で書かれた新聞原稿などに適しています。ふつうの大きさや小さな字でも、できるだけ精細に送信するときに選択します。

原稿の文字	相手先に届いたときの写り
あいうえお (目安となる大きさ「ふつう字」)	あいうえお (ふつう字)
	あいうえお (小さな字)
	あいうえお (微細字)
あいうえお (目安となる大きさ「小さな字」)	あいうえお (ふつう字)
	あいうえお (小さな字)
	あいうえお (微細字)
あいうえお (目安となる大きさ「微細字」)	あいうえお (ふつう字)
	あいうえお (小さな字)
	あいうえお (微細字)

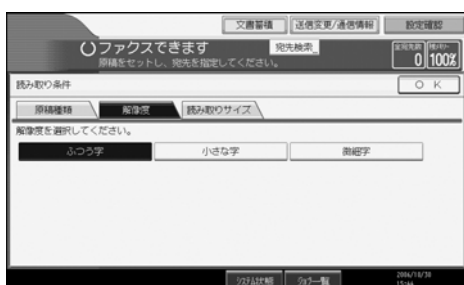
1 【読み取り条件】を押します。



2 [解像度] を押します。



3 設定する解像度のキーを押して、[OK] を押します。



補足

- ・FAX メモリーを装着しているときは、[微細字] が表示されます。
- ・相手のファクスに同じ解像度の機能がないときは、相手先の機能に合わせて送信されます。実際に送信した解像度は、通信管理レポートで確認できます。
- ・受信できる解像度は「ふつう字」「小さな字」「細かい字（G3 のみ、FAX メモリーが必要）」「微細字（FAX メモリーが必要）」です。
- ・電源を入れた直後や[リセット] キーを押したときの解像度を設定できます。詳しくは、「初期画面の初期値を登録する」を参照してください。
- ・インターネットファクス送信では、「微細字」を選択しても「小さな字」で送信されます。アドレス帳登録時にフルモードを設定すると「微細字」で送信できます。

参照

- ・P.36 「T.37 フルモード対応について」
- ・P.216 「通信管理レポート印刷」
- ・P.311 「初期画面の初期値を登録する」

読み取りサイズを設定する

読み取りサイズを指定すると、指定したサイズで読み取るため、送信した文書に余分な余白を付けることなく送信できます。

↓ 補足

- 異なるサイズ of 原稿を一度に自動原稿送り装置 (ADF) にセットするときは、「サイズ混載」を参照してください。

📖 参照

- P50 「サイズを読み取りにくい原稿」
- P62 「サイズ混載」

自動検知

セットされた原稿のサイズを自動で読み取ります。

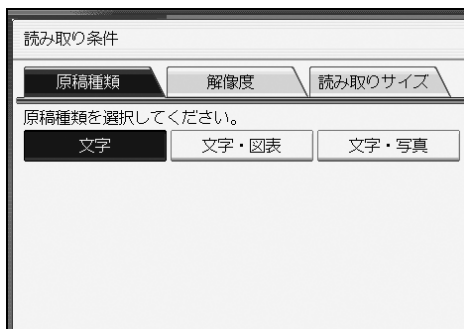
サイズが異なる原稿を読み取るときは、「サイズ混載」を使用してください。

自動検知で原稿サイズを正しく検知できないときは、原稿をセットし直してください。

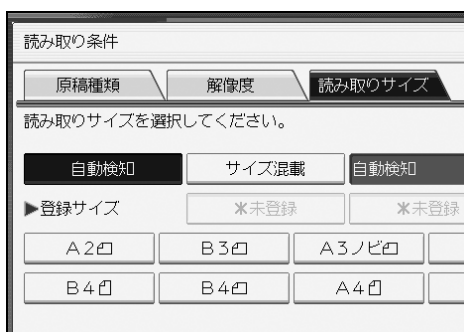
- 1 原稿をセットします。
- 2 「読み取り条件」を押します。



- 3 「読み取りサイズ」を押します。



4 「自動検知」が選択されていることを確認します。



5 「OK」を押します。



「読み取り条件」の上に「自動検知」と表示されます。

6 相手を指定し、[スタート] キーを押します。

↓ 補足

- A3 ノビの原稿を原稿ガラスにセットすると、A3 サイズとして自動検知され、相手先で画端が欠けて印刷されます。定型サイズで A3 ノビを指定してください。定型サイズで A3 ノビを指定すると、B3 サイズ原稿として送信されます。
- A3 ノビの原稿を自動原稿送り装置 (ADF) にセットすると、B3 サイズ原稿として自動検知されます。

定形サイズ

セットされた原稿のサイズにかかわらず指定した定形サイズで読み取られます。
指定できるサイズは、A4□□、B4□□、A3□□、A3ノビ□□、B3□□、A2□□、8.5×11 (LT)□□、8.5×14 (LG)□□、11×17 (DLT)□□、17×22 (ANSI-C)□□です。

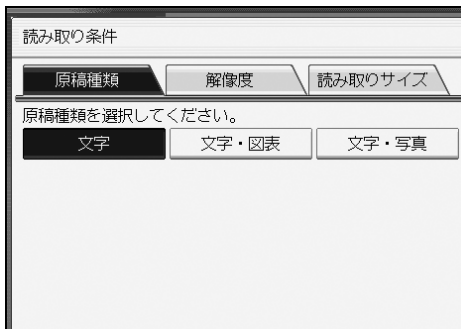
1

1 原稿をセットします。

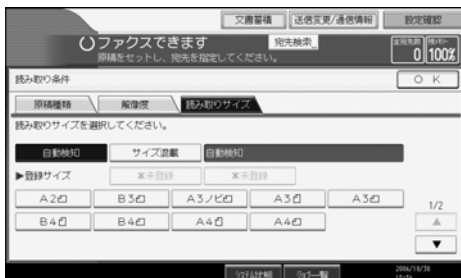
2 「読み取り条件」を押します。



3 「読み取りサイズ」を押します。



4 送信する原稿のサイズを押します。



8¹/₂×11 は LT、8¹/₂×14 は LG、11×17 は DLT、17×22 は ANSI-C を表しています。

5 [OK] を押します。



「読み取り条件」の上に指定したサイズが表示されます。

6 相手先を指定し、[スタート] キーを押します。

補足

- ・選択した読み取りサイズを解除するには、[自動検知] を押します。
- ・A3 ノビを指定すると、B3 サイズ原稿として送信されます。

登録サイズ

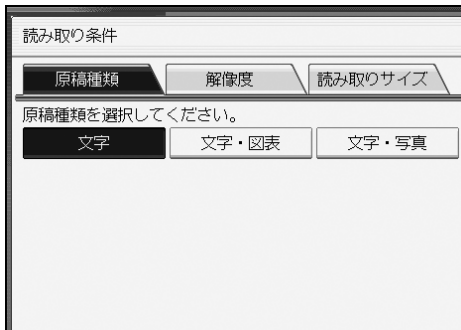
あらかじめ読み取るサイズを登録しておきます。セットされた原稿のサイズにかかわらず、登録されたサイズで読み取られます。

1 原稿をセットします。

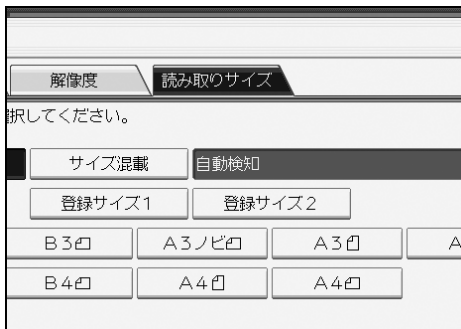
2 [読み取り条件] を押します。



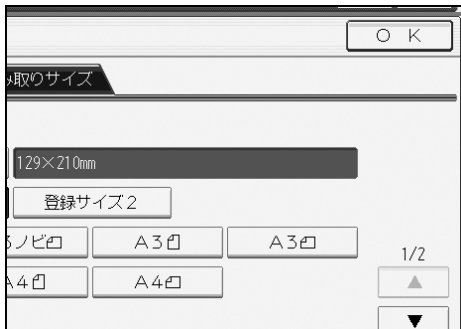
3 「読み取りサイズ」を押します。



4 「登録サイズ1」または「登録サイズ2」を押します。



5 「OK」を押します。



「読み取り条件」の上に、登録されたサイズが表示されます。

6 相手先を指定し、「スタート」キーを押します。

↓ 補足

- ・選択した読み取りサイズを解除するには、「自動検知」を押します。

サイズ混載

自動原稿送り装置（ADF）にセットされた原稿のサイズを 1 枚ごとに読み取らせるときに選択します。「サイズ混載」を選択するとそれぞれの原稿のサイズで読み取られます。

1

★重要

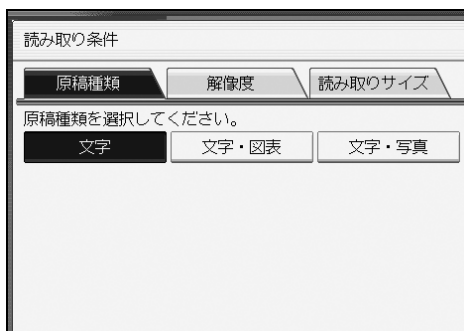
- ・セットできる原稿サイズは A2□・A3□、B3□・B4□、A3□・A4□、B4□・B5□、A4□・A5□の組み合わせです。縦の長さが異なる原稿を組み合わせることはできません。

1 原稿をセットします。

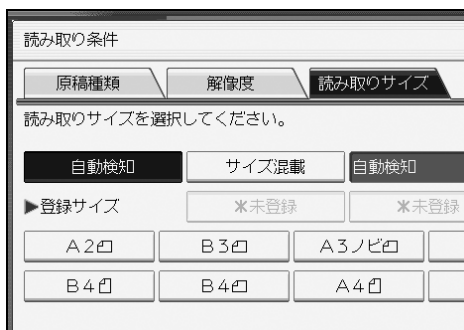
2 「読み取り条件」を押します。



3 「読み取りサイズ」を押します。



4 「サイズ混載」を押します。



5 [OK] を押します。



「読み取り条件」の上に、「自動検知 (サイズ混載)」と表示されます。

6 相手先を指定し、[スタート] キーを押します。

補足

- ・サイズ混載を解除するときは、手順 5 で [OK] キーを押す前にもう一度 [サイズ混載] を押します。
- ・電源を入れた直後や [リセット] キーを押したときにサイズ混載を選択するかどうか設定できます。詳しくは、「初期画面の初期値を登録する」を参照してください。

参照

- ・P.46 「セットできる原稿のサイズと紙厚」
- ・P.311 「初期画面の初期値を登録する」

濃度を調整する

原稿を読み取る濃度を調整します。

濃度設定には次の種類があります。

◆ 自動濃度調整

最適な濃度に自動で調整します。

- 1) [自動濃度] が選択されていることを確認します。



◆ 手動濃度調整

原稿の文字が薄いときは濃くなるように、濃いときは薄くなるように手動で調整します。濃度は7段階で調整できます。

- 1) [自動濃度] が選択されているときは、[自動濃度] を押して設定を取り消します。
- 2) [◀] または [▶] を押し、濃度を調整します。

濃度表示「▼」が移動します。



◆ 組み合わせ濃度調整

地肌が濃い原稿のとき、画像の濃度だけを調整します。濃度は7段階で調整できます。

- 1) [自動濃度] が選択されていることを確認します。
- 2) [◀] または [▶] を押し、濃度を調整します。

濃度表示「▼」が移動します。



↓ 補足

- ・原稿種類の「文字」、「文字・図表」、「文字・写真」を選択すると自動濃度に設定されます。
- ・電源を入れた直後や[リセット]キーを押したときに選択される濃度設定を設定できます。詳しくは、「初期画面の初期値を登録する」を参照してください。

📖 参照

- ・P.311 「初期画面の初期値を登録する」

ページごとに読み取り条件を設定する

原稿の読み取り中に条件を変更することで、ページごとに読み取り条件を設定します。読み取り条件を読み取り中に変更するときは、原稿ガラスにセットして送信することをお勧めします。

1

◆ 原稿ガラスにセットしているとき

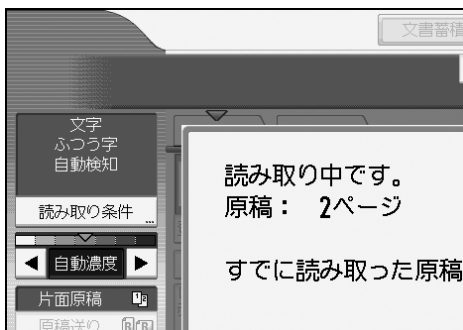
- 1) 変更するページを確認します。
- 2) 前のページの原稿を取り除き、次の原稿をセットします。
- 3) 読み取り条件を選択します。
「ピッピッ」という音がしている間に操作してください。メモリー送信時は約 60 秒、直接送信時は約 10 秒です。画面に残り時間が表示されます。



1 ページ目は「スタート」キーを押す前に設定します。2 ページ目以降は次に「スタート」キーを押す前に設定します。

◆ 自動原稿送り装置 (ADF) にセットしているとき

- 1) 変更するページを確認します。
- 2) 前のページが読み取られている間に、読み取り条件を変更するページの読み取り条件を設定します。



読み取り条件を変更するタイミングによっては、変更したいページの読み取り条件が変更されないことがあります。

回線を選択する

通常のファクス送信で使う回線を選択します。

本機は G4 ユニットまたは増設 G3 ユニートを装着して、接続できる回線を 3 回線まで増やせます。

★重要

- ・ファクスの回線を増やすには G4 ユニットまたは増設 G3 ユニットが必要です。

◆ G3

電源を入れた直後やリセットされた状態では、G3 が選択されています。増設 G3 ユニートを装着すると「G3-1」、「G3-2」、「G3-3」、「G3 空き回線使用」が選択できるようになります。

ファクス		インターネットファクス	
G3			
登録番号	直接入力	宛先履歴	回線選択
拡張宛先	トーン		
常用	あ	か	さ
た	な	は	ま
や			
[00001] G3 赤坂支店	[00002] G3 横浜事業所	[00003] G3 企画課	[00004] G3 鹿児島事業所
[00005] G3 札幌事業所	[00007] G3 長崎支店	[00008] G3 千葉工場	[00009] G3 営業課
[00011] G3 ロサンゼルス支局	[00014] G3 青山支店		
送信結果表示		受信結果表示	
送信			

◆ G4

ISDN が選択されます。

トーンは使用できません。

JBIG 送受信はできません。

ファクス		インターネットファクス	
G4			
登録番号	直接入力	宛先履歴	回線選択
拡張宛先	トーン		
常用	あ	か	さ
た	な	は	ま
や			
[00001] G3 赤坂支店	[00002] G3 横浜事業所	[00003] G3 企画課	[00004] G3 鹿児島事業所
[00005] G3 札幌事業所	[00007] G3 長崎支店	[00008] G3 千葉工場	[00009] G3 営業課
[00011] G3 ロサンゼルス支局	[00014] G3 青山支店		
送信結果表示		受信結果表示	
送信			

◆ マルチポート

G4 ユニットまたは増設 G3 ユニートを装着すると、接続する回線によって最大 3 つの通信を同時に行うことができます。接続している回線と、その場合に可能となる通信種類 (G3/G4) の組み合わせは次のとおりです。

オプション	接続する回線	可能となる通信種類
なし	加入者回線	G3
増設 G3 ユニット	加入者回線+加入者回線	G3+G3
G4 ユニット	加入者回線+ISDN	G3+G4 または G3 (ISDN)+G4
G4 ユニット	ISDN	G3 (ISDN)+G4
増設 G3 ユニット+ 増設 G3 ユニット	加入者回線+加入者回線+加入者回線	G3+G3+G3
増設 G3 ユニット+ G4 ユニット	加入者回線+加入者回線+ISDN	G3+G3+G4 または G3+G3 (ISDN)+G4
増設 G3 ユニット+G4 ユニット	加入者回線+ISDN	G3+G3 (ISDN)+G4 または G3 (ISDN)+G3 (ISDN)

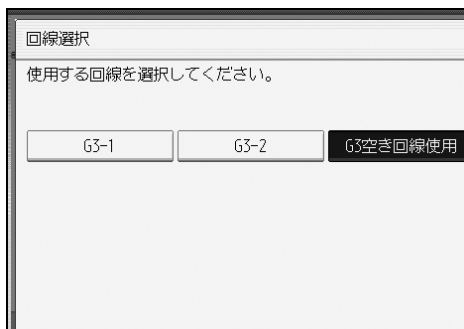
1 【回線選択】を押します。

2 使用する回線を押します。

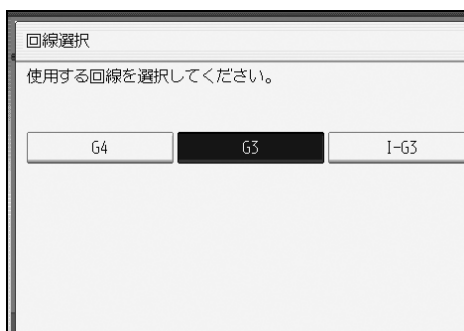
「G3 空き回線使用」を選択すると、空いている G3 回線から送信するので、より効率的になります。

増設 G3 ユニットの装着したとき

1



G4 ユニットの装着したとき



増設 G3 ユニットの 2 つ装着したとき



G4 ユニット／増設 G3 ユニットの装着したとき



3 [OK] を押します。

選択した回線が表示されます。

↓ 補足

- ・ G4 ユニットまたは増設 G3 ユニットの装着しているときは、通常使用する回線を設定できます。工場出荷時は、増設 G3 ユニットのみの装着しているときや増設 G3 ユニットと G4 ユニットの装着しているときは、「G3 空き回線使用」に設定されています。G4 ユニットのみの装着しているときは、「G3」に設定されています。詳しくは、「初期画面の初期値を登録する」を参照してください。
- ・ 送信操作の途中で回線を選択できるのは、相手先をテンキーで指定したときだけです。
- ・ 最大 3 通信まで同時に通信できます。ただし、直接送信では同時に 3 通信はできません。
- ・ 3 通信同時に通信しているとき、画面には先に開始した通信が表示されます。

E 参照

- ・ P311 「初期画面の初期値を登録する」
- ・ 『初期設定編』「ファクス初期設定」

G3 選択時の回線について

G4 での通信には必ず ISDN を使いますが、G3 での通信には加入電話回線と ISDN の両方を使うことができます。ISDN を G3 に接続したいときは、「I-G3」を選択します。

↓ 補足

- ・ G4 ユニットの設置時、G3 で使用する回線は ISDN に設定されていますが、設定を変更するときは最寄りのサービス実施店に連絡してください。
- ・ G3 に ISDN を使うと、サブアドレスと UII が使えるようになります。

E 参照

- ・ P111 「サブアドレスを指定する」
- ・ P113 「UII を指定する」

回線の自動識別

G4 を選択すると、回線を自動識別します。

最初は G4 でダイヤルしますが、相手先が加入電話回線だったとき G4 ではつながらないので、自動的に G3 に切り替えてダイヤルし直します。

↓ 補足

- ・ ISDN を G3 に接続している場合は「G4」と判断されるため、自動的には切り替わりません。
- ・ 海外への送信時は、国際回線からの信号により自動切り替えがきかず、送信できない場合があります。

一斉同報送信

1

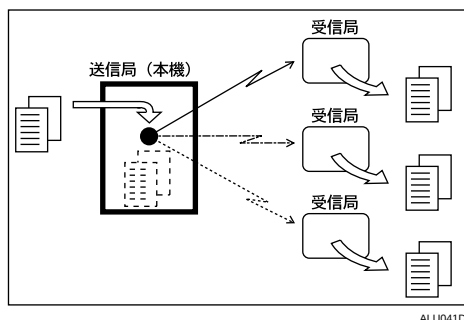
通常は複数の相手先を指定しても指定した順に 1 宛先ずつ送信されますが、一斉同報送信では異なる回線を使って、複数の相手先に同時に送信します。

従来の同報送信に比べて、すべての相手先へ送信する時間が短縮されます。

この機能は、標準で設定されている機能です。

★重要

- この機能を利用するためには G4 ユニットまたは増設 G3 ユニットが必要です。



↓補足

- 同時に送信できるのは LAN を含め最大 3 回線です。
- 増設 G3 ユニットを使うときは、宛先の回線種類を「G3 空き回線使用」に設定しておく
と、空いている G3 回線から送信するので、より効率的になります。

相手先を指定する

相手先を指定する方法について説明します。
ファクス番号、メールアドレスを指定できます。

↓ 補足

- 画面には原稿を蓄積しておくメモリーの残量が表示されます。ファクス番号・メールアドレスは別のメモリーに記憶されるため、画面のメモリー残量は変わりません。

1

ファクス番号で送る

相手先のファクス番号をテンキー（[1] [2] [3] [4] [5] [6] [7] [8] [9] [0] [＊] [#]）で入力します。

1 [ファクス] が選択されていることを確認します。

2 相手先のファクス番号をテンキーで入力します。



入力を間違えたときは [クリア / ストップ] キーを押して 1 桁ずつ消去し、入力し直します。

G4 ユニットまたは増設 G3 ユニットの付いているときは、[スタート] キーを押す前にどの回線を使うか選択できます。

アドレス帳から相手先を選択するときは、「アドレス帳から選ぶ」を参照してください。

3 [スタート] キーを押します。

原稿の読み取りを始めます。

終了すると、通信中ランプが点灯して送信を開始します。

↓ 補足

- ファクス番号の途中に、ポーズ（「-」）とトーンを入力できます。
- G4 ユニットの装着しているときは、サブアドレスと UUI を入力できます。
- 番号を入力したあとに [宛先登録] を押すと、入力したファクス番号をアドレス帳に登録する操作ができます。
- 宛先として入力できる最大桁数については、「項目別最大値一覧」を参照してください。

E 参照

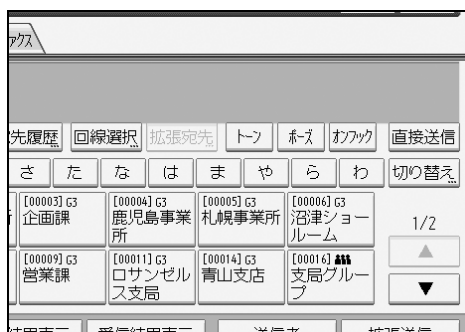
- ・P.66 「回線を選択する」
- ・P.72 「ポーズを入力する」
- ・P.73 「[トーン] を押してプッシュ回線に切り替える」
- ・P.79 「アドレス帳から選ぶ」
- ・P.84 「直接入力した宛先をアドレス帳に登録する」
- ・P.111 「サブアドレスを指定する」
- ・P.113 「UII を指定する」
- ・P.326 「項目別最大値一覧」

1

ポーズを入力する

構内交換機を経由して外線にダイヤルするときは、0 発信したあと外線につながるまで多少時間がかかることがあります。このようなときは 0 のあとに「ポーズ」を押してポーズを入力します。

ポーズを入力すると、入力した個所に約 2 秒間の待ち時間を入れてダイヤルします。



↓ 補足

- ・ポーズを入力した個所は「-」と表示されます。



- ・ポーズを入力した状態をアドレス帳に登録できます。

[トーン] を押してプッシュ回線に切り替える

ダイヤル回線でプッシュ回線のサービスを受けるときなど、プッシュ信号を送出する場合に使います。

ここではオンフックダイヤルでトーンを使う方法について説明します。

1

1 [オンフック] を押します。



2 相手先のファクス番号をテンキーで入力します。

3 [トーン] を押します。



4 サービスを受けるための暗証番号などをテンキーで入力します。

5 [スタート] キーを押します。

送信が開始されます。

送信が終わると、待機中の画面に戻ります。

↓ 補足

- ・トーンを使ってプッシュ信号を送出しても、利用できないサービスもあります。
- ・ファクス情報サービスなどから文書を受信するときは、「ファクス情報サービスを利用する」を参照してください。
- ・トーンを入力した個所は「T」と表示され、それ以降の番号がプッシュ信号となります。
- ・本機に ISDN だけしか接続されていないときでも、メモリー送信および直接送信のときは G3 の相手先にトーン（プッシュ信号）を送出できます。ただし、マニュアルダイヤルでは ISDN にダイヤルできません。また、オンフックダイヤルで ISDN にダイヤルするときは、サービス実施店にお問い合わせください。

E 参照

- ・P313 「ファクス情報サービスを利用する」

1

メールアドレスで送る

相手先をメールアドレスで指定して送る方法を説明します。

インターネットファクスで送信するときは、ファクス番号の代わりにメールアドレスを指定します。

★重要

- ・あらかじめ送信者をアドレス帳に登録してメールアドレスを設定し、さらに「システム初期設定」の「アドレス帳登録／変更／消去」で、「使用対象」を「送信者」として設定します。
- ・インターネットファクス送信は、必ずメモリー送信になります。直接送信を指定しているときにインターネットファクス宛先に切り替えると、自動的にメモリー送信に切り替わります。

1 [インターネットファクス] を押してインターネットファクス宛先に切り替えます。



2 送信者を設定します。

送信者の設定方法について詳しくは、「送信者を設定する」を参照してください。

3 [直接入力] を押します。



アドレス帳から相手先を選択するときは、「アドレス帳から選ぶ」を参照してください。

4 相手先のメールアドレスを入力し、[OK] を押します。

間違ったときは[後退] または[全消去] を押して入力し直します。

[OK] を押したあとにメールアドレスを変更するときは、[宛先編集] を押してメールアドレスを変更し、[OK] を押します。

5 複数の相手先に同じ文書を送信するときは、[追加] を押します。

[宛先登録] を押すと入力した宛先をアドレス帳に追加できます。

6 次の相手先を指定します。

さらに相手先を指定するときは、手順 **5**、**6** を繰り返します。

7 [スタート] キーを押します。

原稿の読み取りを始めます。

終了すると、通信中ランプが点灯して送信を開始します。

↓ 補足

- セキュリティの設定によっては[直接入力]が表示されず、入力できない場合があります。
- 送信を取り消す方法は「送信を取り消す」を参照してください。
- 誤って宛先キーを押してしまうなどの誤操作を防止するために、宛先キーで宛先を追加するときには必ず「追加」を押すように「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 17 ビット 2) で設定できます。工場出荷時は「押さない」に設定されています。
- 宛先として入力できる最大桁数については、「項目別最大値一覧」を参照してください。
- 「システム初期設定」の「送信者名自動指定」を「する」に設定しておく、送信者が自動で指定され、送信者を指定する手順を省略できます。「する」を選択した場合、指定されたメールアドレスが From: に使用されます。送信者のメールアドレスを指定しない場合、または指定されたメールアドレスが登録されていない場合は、メール送信できません。

目 参照

- P.32 「インターネットファクスとは」
- P.79 「アドレス帳から選ぶ」
- P.100 「送信者を設定する」
- P.115 「送信を取り消す」
- P.326 「項目別最大値一覧」
- 『本機のご利用にあたって』「文字入力のしかた」
- 『初期設定編』「システム初期設定」
- 『初期設定編』「ファクス初期設定」
- 『初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」

SMTP サーバーを経由しないで送信する

SMTP サーバーを経由せずに、相手先に直接インターネットファクスを送信します。

★ 重要

- この機能を使用するには以下の設定が必要です。設定方法については、『初期設定編』「システム初期設定」および『ネットワークガイド』「Windows の補足情報」を参照してください。
 - 「システム初期設定」の「ファイル転送設定」で、「SMTP サーバー」のポート番号を「25」に設定する
 - 宛先のメールアドレスのドメイン部分にホスト名を指定するときは、DNS サーバーに相手機のホスト名を登録する
- 相手機の IPv4 アドレスが DNS サーバーに登録されていないときは、宛先のメールアドレスのドメイン部分に IPv4 アドレスを指定する必要があります。
- この機能を使うには、送信相手のファクスが次の条件を満たしている必要があります。
 - インターネットファクスに対応している
 - 本機と同じ LAN 環境内に設置されている
 - 受信プロトコルが SMTP に設定されている
- この機能を使ってインターネットファクスを送信するときは、相手機で SMTP 認証機能が設定されていても無効になります。
- この機能を使って相手機からインターネットファクスが送信されたときは、正常に受信できない場合でもエラー通知メールは送信元に送信されません。

- ・この機能を使ってインターネットファクスを送信するときは、正常に送信できない場合でもサーバーからのエラーメールは送信されません。
- ・本機に登録した管理者メールアドレスへインターネットファクスを送信するときは、この機能は使えません。

通常のインターネットファクスは SMTP サーバーを経由して送信しますが、この機能を使うと指定した宛先のメールアドレスのドメイン部分を SMTP サーバーと見なし、設定された SMTP サーバーを経由せずに送信します。サーバーに負担をかけずに送信できるので、サーバーからの転送による時間差を気にせず送信できます。

宛先の指定方法は以下の 2 通りあります。

◆ メールアドレスのドメイン部分に相手機のホスト名を追加する

宛先を指定するとき、メールアドレスのドメイン部分に相手機のホスト名を追加します。メールアドレスの @ 以降が、「ホスト名」「(ドット)」「ドメイン」の順になるように指定します。

xxxx@ 相手機のホスト名 . ドメイン

例) 相手機のメールアドレスが「abc@defcompany.com」で、ホスト名が「HOST」の場合
abc@HOST.defcompany.com

◆ メールアドレスのドメイン部分に相手機の IPv4 アドレスを指定する

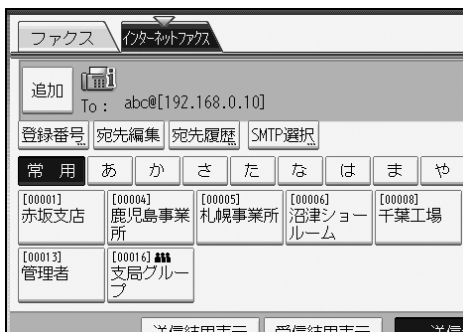
宛先を指定するとき、メールアドレスのドメイン部分に相手機の IPv4 アドレスを指定します。

xxxx@[相手機の IPv4 アドレス]

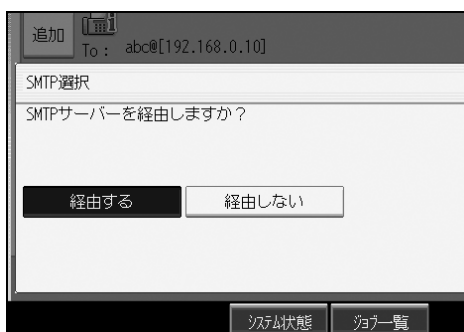
例) 相手機のメールアドレスが「abc@defcompany.com」で、IPv4 アドレスが「192.168.1.10」の場合
abc@[192.168.1.10]

次の手順で操作します。

1 【SMTP 選択】を押します。



2 [経由しない] を押します。



3 [OK] を押します。



↓ 補足

- 宛先を直接入力して送信するときは、宛先ごとに SMTP サーバーを経由しないで送信するかどうか設定できます。
- アドレス帳から選択した宛先に送信するときは、アドレス帳に登録された SMTP サーバー経由の設定が有効になります。
- パソコンからファクスを送信するときは、PC FAX ドライバー上で SMTP サーバーを経由しないで送信するかどうか設定できます。「機器登録アドレスを使用する」チェックボックスにチェックマークを付けて送信する場合は、本機に登録されている SMTP サーバー経由の設定が優先されます。

☰ 参照

- P.261 「パソコンからファクスを送信する」
- 『初期設定編』「システム初期設定」
- 『初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」
- 『ネットワークガイド』「Windows の補足情報」

アドレス帳から選ぶ

相手先を登録してある宛先キーを押して相手先を指定します。

宛先キーには、登録した相手先の名称が表示されます。

〔ファクス〕または〔インターネットファクス〕を押して、ファクス宛先とインターネットファクス宛先を切り替えられます。

1

★重要

- ・あらかじめアドレス帳に相手先のファクス番号・メールアドレスを登録しておきます。

1 〔ファクス〕または〔インターネットファクス〕を押して、ファクス宛先またはインターネットファクス宛先に切り替えます。

2 相手先が登録してある見出しキーを押します。

例：「か」の見出しに登録した「鹿児島事業所」を指定するときは〔か〕を押します。



3 送信する相手先の宛先キーを押します。



送信する相手先が表示されていないときは、[▲] または [▼] を押して探します。

指定を取り消すときは、選択されている宛先キーをもう一度押します。〔クリア/ストップ〕キーを押して指定し直すこともできます。

次の相手先を指定するときは、手順 **2**、**3** を繰り返します。

相手先が確定し、宛先キーが反転表示されます。

4 〔スタート〕キーを押します。

↓補足

- ・登録した内容は、宛先リストで確認できます。

E 参照

- ・『初期設定編』「システム初期設定」
- ・『初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」

1

見出しの種類を切り替える

アドレス帳には【見出し1】【見出し2】【見出し3】の3つの見出しがあります。

1 【切り替え】を押します。

2 見出しの種類を選択し、【設定】を押します。

グループで送信する

複数の相手先をまとめて1つのグループとして登録すると、複数の相手先を簡単に指定できます。グループ登録された宛先には■が表示されます。

★重要

- ・あらかじめグループを登録しておきます。
- ・グループは、直接送信では使用できません。メモリー送信に自動的に切り替わります。
- ・複数グループに登録してある相手先の合計が、1文書で同報送信できる最大宛先数を超えるときは指定できません。詳しくは、「項目別最大値一覧」を参照してください。

1 【ファクス】または【インターネットファクス】を押して、ファクス宛先またはインターネットファクス宛先に切り替えます。

2 グループに登録している宛先キーを押します。



相手先が確定し、宛先キーが反転表示されます。

次のグループを指定するときは、手順**2**を繰り返します。

3 【スタート】キーを押します。

補足

- ・アドレス帳のグループに登録した宛先は、「システム初期設定」の「グループ宛先印刷」で確認できます。
- ・指定したグループに、ファクス番号およびメールアドレスがどれも登録されていない宛先が含まれていると、確認メッセージが表示されます。[選択] を押すと、登録された宛先のみ指定されます。[選択中止] を押すと、相手先を指定し直すことができます。また、指定した宛先種別の宛先が存在しない場合、どの宛先を優先に引用するかを「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 32 ビット 0) で設定できます。工場出荷時は「電子優先」に設定されています。
- ・グループに含まれる特定の相手先だけ送信をキャンセルするときは、[設定確認] の [グループ宛先展開] を押します。ファクス初期画面で [▲] または [▼] を押して送信をキャンセルしたい相手先を表示させ、[クリア/ストップ] キーを押します。また、反転表示されている宛先キーを押して選択を解除し、送信をキャンセルすることもできます。

参照

- ・P326 「項目別最大値一覧」
- ・『初期設定編』「システム初期設定」
- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」
- ・『初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」

海外送信モード

海外にファクスを送るときに発生するエラーを軽減します。

海外にファクスするとき、相手先によってはエラーが頻繁に発生する場合があります。そのような相手先にファクスを送信するときは、海外送信モードで送信すると、通信速度を遅くしてより確実に送信します。

海外送信モードで送信するには、あらかじめアドレス帳に海外送信モードを「ON (使用する)」にして相手先を登録しておき、送信するときに登録した宛先を指定します。

参照

- ・『初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」

宛先履歴から選択する

これまでに指定した各送信方法での最新の相手先を記憶しています。続けて同じ相手先に送信するときに使うと、相手先を入力し直さなくてもいいので便利です。

重要

- ・次の相手先は履歴として残りません。
 - ・アドレス帳で指定した相手先
 - ・グループ宛先で指定した相手先
 - ・全文書転送で指定した転送先
 - ・ハンドセットのテンキーで指定した相手先
 - ・宛先履歴から選択した相手先 (すでに記憶済みと見なします)
 - ・同報送信した文書の、2 宛先目以降

- ・パソコンから PC FAX ドライバーで指定した宛先

1 原稿をセットし、読み取り条件を選択します。

2 [宛先履歴] を押します。



3 使用する宛先を選択し、[OK] を押します。



4 [スタート] キーを押します。

補足

- ・インターネットファクス宛先も宛先履歴から選択できます。
- ・[宛先登録] を押すと、選択した相手先をアドレス帳に登録する操作ができます。
- ・記憶できる宛先履歴の最大件数については、「項目別最大値一覧」を参照してください。

参照

- ・P84 「直接入力した宛先をアドレス帳に登録する」
- ・P326 「項目別最大値一覧」

宛先をアドレス帳に登録する

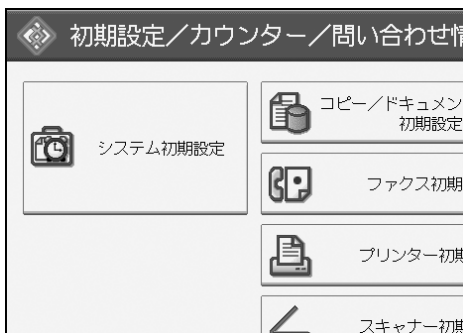
相手先のファクス宛先・メール宛先・フォルダー宛先は、「システム初期設定」の「管理者用設定」にある「アドレス帳登録／変更／消去」で登録します。

1

1 【初期設定 / カウンター / 問合せ情報】 キーを押します。



2 【システム初期設定】を押します。



3 【管理者用設定】を押します。

4 【アドレス帳登録／変更／消去】を押します。

5 【登録／変更】が選択されていることを確認します。

6 【新規登録】を押します。

以降の操作は、『初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」を参照してください。

補足

- 登録したファクス宛先・メール宛先・フォルダー宛先は、グループにも登録できます。
- アドレス帳の内容を変更すると、ファクス初期画面を表示させたときに、「宛先表／機器設定が更新されました。」と表示されます。[確認]を押すと、ファクス初期画面が表示されます。
- Web Image Monitor を使用してアドレス帳に登録することもできます。インストール方法など詳しい操作方法については『ネットワークガイド』「機器の監視」、アドレス帳についてはそれぞれのヘルプを参照してください。

参照

- ・『初期設定編』「システム初期設定」
- ・『初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」
- ・『ネットワークガイド』「機器の監視」

1

直接入力した宛先をアドレス帳に登録する

直接入力したファクス番号・メールアドレスをアドレス帳に登録します。

直接入力した宛先や宛先履歴画面で表示される宛先をアドレス帳に登録できる場合は、宛先欄に「宛先登録」が表示されます。

1 「宛先登録」を押します。



2 「登録情報」を押し、その他の情報を入力します。



宛先登録についての詳細は『初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」を参照してください。

3 「設定」を押します。

補足

- ・セキュリティの設定によっては「宛先登録」が表示されず、登録できない場合があります。

参照

- ・P81 「宛先履歴から選択する」
- ・『初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」

アドレス帳から検索する

本機のアドレス帳や LDAP サーバーに登録された宛先を検索します。

★ 重要

- LDAP サーバーから宛先を検索するには、あらかじめ LDAP サーバーに登録する必要があります。LDAP サーバーの登録方法については『初期設定編』「システム初期設定」を参照してください。

↓ 補足

- 検索画面で【ファクス】または【インターネットファクス】を押すと、ファクス宛先とインターネットファクス宛先を切り替えられます。
- 部分一致で一致した宛先が、検索結果に表示されます。
- 検索結果が一度に検索できる最大宛先数を越えた場合、画面にメッセージが表示されます。【確認】を押し、検索文字を変更して、宛先を絞り込んでください。
- 一度に検索できる最大宛先数については、「項目別最大値一覧」を参照してください。
- メールアドレスは 1 人で複数登録できますが、検索でヒットするのは 1 人につき 1 件だけです。どれがヒットするかは LDAP サーバーがサポートする方式に依存しますが、一般的には最初に登録したアドレスです。

📖 参照

- P.326 「項目別最大値一覧」
- 『初期設定編』「システム初期設定」

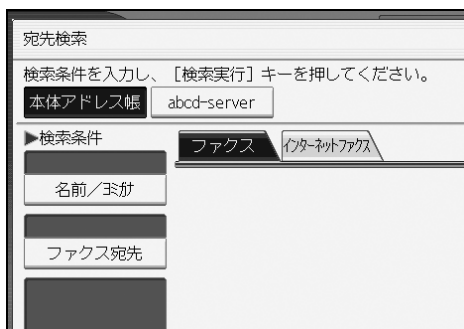
名前／ヨミガナから検索する

アドレス帳に登録された宛先を、名前およびヨミガナから検索します。

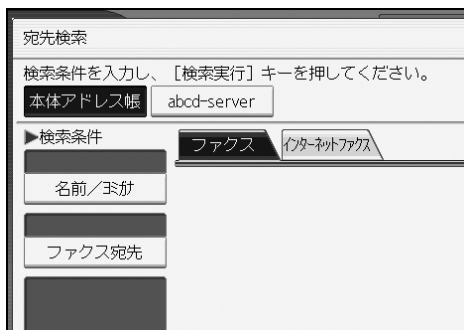
1 【宛先検索】を押します。

2 検索対象を選択します。

本機のアドレス帳から検索するときは「本体アドレス帳」を選択します。
LDAP サーバーから検索するときは、検索したい LDAP サーバーを選択します。

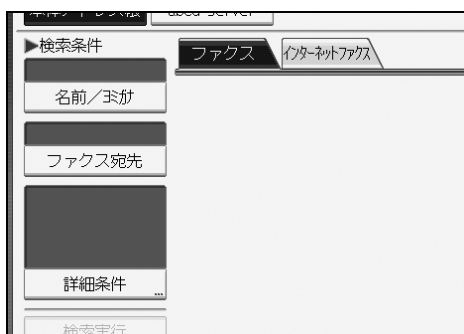


3 「ファクス」または「インターネットファクス」を押して、ファクス宛先またはインターネットファクス宛先に切り替えます。



4 「名前/ヨミガナ」を押します。

LDAP サーバーから検索するときは、「名前」を押します。



5 検索文字を入力し、[OK] を押します。

入力を間違えたときは [←] [→] [後退] または [全消去] を押して修正します。
ひらがな・カタカナ・漢字・英数字・記号で検索できます。

6 名前/ヨミガナの条件欄に入力された文字を確認し、[検索実行] を押します。

検索が終了すると検索結果が表示されます。

7 宛先を選択します。

送信する宛先が表示されていないときは、[▲] または [▼] を押して表示させます。
[詳細] を押すと、選択した送信先の宛先詳細情報が表示されます。

目 参照

- ・『本機のご利用にあたって』「文字入力のしかた」

ファクス番号から検索する

アドレス帳に登録された宛先を、ファクス番号から検索します。

1

1 【宛先検索】を押します。

2 検索対象を選択します。

本機のアドレス帳から検索するときは【本体アドレス帳】を選択します。
LDAP サーバーから検索するときは、検索したい LDAP サーバーを選択します。

3 【ファクス宛先】を押します。

4 検索する番号を入力し、[OK] を押します。

入力を間違えたときは [←] [→] [後退] または [全消去] を押して修正します。

5 ファクス宛先の条件欄に入力された番号を確認し、[検索実行] を押します。

検索が終了すると検索結果が表示されます。

6 宛先を選択します。

選択	コード	名前	電話番号
☐	[00001]	赤坂支店	0312345678
☐	[00003]	企画課	0312345671
☐	[00009]	営業課	0312345670

送信する宛先が表示されていないときは、[▲] または [▼] を押して表示させます。
[詳細] を押すと、選択した送信先の宛先詳細情報が表示されます。

メールアドレスから検索する

アドレス帳に登録された宛先を、メールアドレスから検索します。

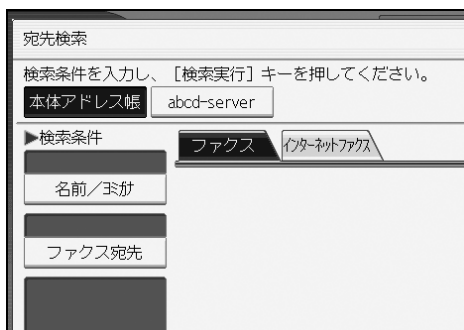
1

1 「宛先検索」を押します。

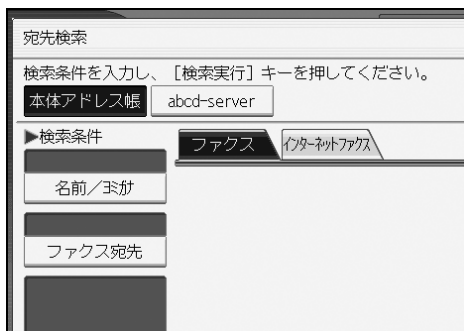


2 検索対象を選択します。

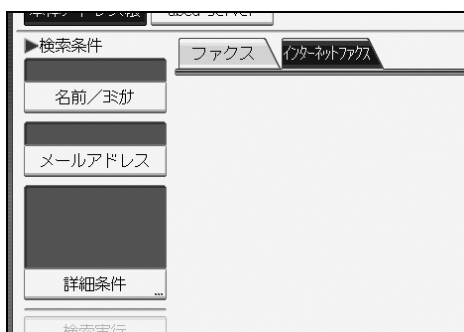
本機のアドレス帳から検索するときは「本体アドレス帳」を選択します。
LDAP サーバーから検索するときは、検索したい LDAP サーバーを選択します。



3 「インターネットファクス」を押してインターネットファクス宛先に切り替えます。

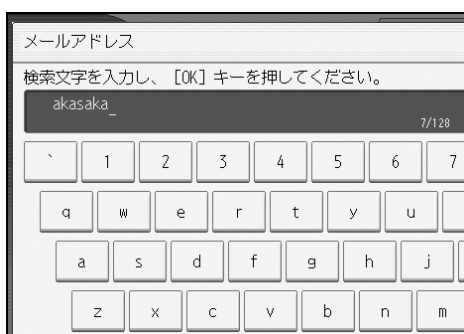


4 [メールアドレス] を押します。



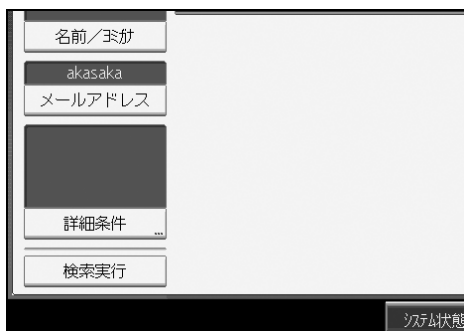
1

5 検索するメールアドレスを入力し、[OK] を押します。



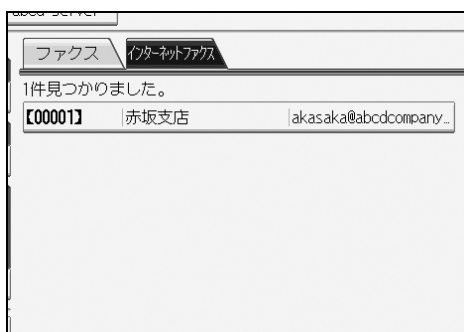
入力を間違えたときは [←] [→] [後退] または [全消去] を押して修正します。

6 メールアドレスの条件欄に入力された文字を確認し、[検索実行] を押します。



検索が終了すると検索結果が表示されます。

7 宛先を選択します。

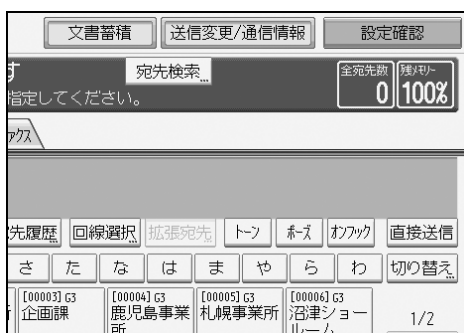


送信する宛先が表示されていないときは、[▲] または [▼] を押して表示させます。
[詳細] を押すと、選択した送信先の宛先詳細情報が表示されます。

詳細条件を指定して検索する

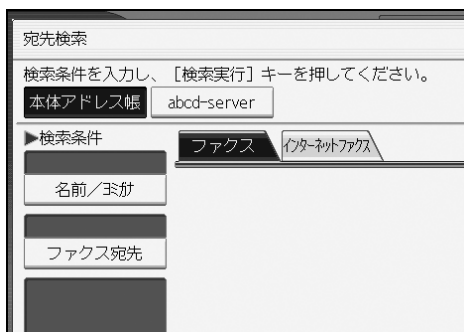
アドレス帳に登録された宛先を、詳細条件を指定して検索します。

1 [宛先検索] を押します。

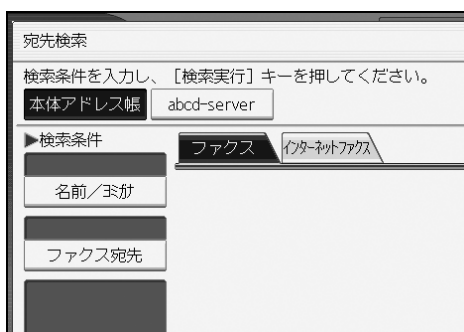


2 検索対象を選択します。

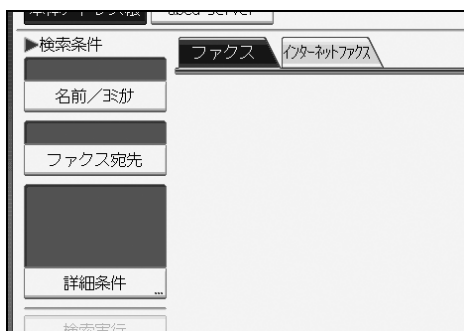
本機のアドレス帳から検索するときは「本体アドレス帳」を選択します。
LDAP サーバーから検索するときは、検索したい LDAP サーバーを選択します。



- 3** [ファクス] または [インターネットファクス] を押して、ファクス宛先またはインターネットファクス宛先に切り替えます。



- 4** [詳細条件] を押します。



- 5** 検索条件の各項目のキーを押して、検索する送信先に関連する文字列の一部を入力します。



本機のアドレス帳から検索するときは、名前/ヨミガナ、ファクス宛先、メールアドレス、フォルダーといった検索条件を指定できます。

LDAP サーバーから検索するときは、名前、ファクス宛先、メールアドレス、会社名、部署名といった検索条件を指定できます。

6 入力した各項目に対応する一致条件を選択します。

検索条件を指定してください。	前方一致	後方一致	一致	含む	含まない
名前/通称			☒		
03			☒		
ファクス宛先			☒		
abcdefghijklm.com			☒		
メールアドレス			☒		
フォルダー			☒		

選択する一致条件と使用方法は次のとおりです。

- ・[前方一致]：入力した文字が前方に位置する名称を検索
例) “ABC” を検索したい場合は “A” を入力
- ・[後方一致]：入力した文字が後方に位置する名称を検索
例) “ABC” を検索したい場合は “C” を入力
- ・[一致]：入力した文字と一致する名称を検索
例) “ABC” を検索したい場合は “ABC” を入力
- ・[含む]：入力した文字を含む名称を検索
例) “ABC” を検索したい場合は “A” か “B” か “C” を入力
- ・[含まない]：入力した文字を含まない名称を検索
例) “ABC” を検索したい場合は “D” を入力
- ・[あいまい]：あいまい検索

手順 **2** で LDAP サーバーを選択したときに表示されます。あいまい検索の機能は LDAP サーバーがサポートする方式に依存します。

7 [OK] を押します。

8 [検索実行] を押します。

検索が終了すると検索結果が表示されます。

9 宛先を選択します。

送信する宛先が表示されていないときは、[▲] または [▼] を押して表示させてください。

[詳細] を押すと、選択した送信先の宛先詳細情報が表示されます。

↓ 補足

- LDAP サーバーから検索するとき、「システム初期設定」の「管理者用設定」にある「LDAP サーバー登録／変更／消去」で「任意検索条件」を設定しておく、検索する項目を 1 つ追加できます。「任意検索条件」の設定方法については『初期設定編』『システム初期設定』を参照してください。
- 手順 5 で検索条件の「名前」で検索する場合、苗字で検索するか、名前で検索するかは、管理者の設定によります。たとえば「John Doe」を検索したいとき、「John」を入力するか、「Doe」を入力するかは、管理者におたずねください。

📖 参照

- 『本機のご利用にあたって』『文字入力のしかた』
- 『初期設定編』『システム初期設定』

1

登録番号から検索する

アドレス帳に登録されている登録番号を指定して、宛先を検索します。

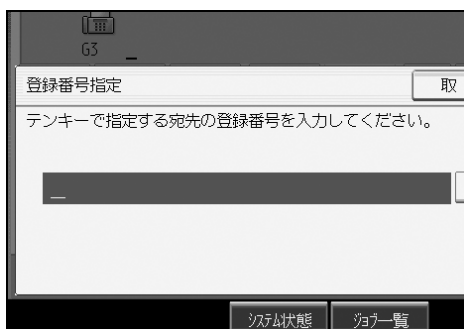
- 1 [ファクス] または [インターネットファクス] を押して、ファクス宛先またはインターネットファクス宛先に切り替えます。



- 2 [登録番号] を押します。

登録番号の入力画面が表示されます。

- 3 登録番号をテンキーで入力して、[Ⓢ] を押します。



登録番号は通常 5 桁で表示されますが、頭の 0 を入力せずに指定できます。間違えたときは [クリア] を押して入力し直します。

4 [OK] を押します。

該当する宛先が表示されます。

↓ 補足

- ・「指定した登録番号はありません。」というメッセージが表示された場合は、登録番号が正しくないか、またはファクス宛先とインターネットファクス宛先の切り替えが正しくありません。[確認] を押して登録番号を再度確認し、手順 **1** または手順 **3** から操作します。

オンフックダイヤル（オンフックを使った送信）

1

受話器を置いたまま、発信音を聞きながらダイヤルします。相手先が電話の場合は、つながったあと受話器を取ると、相手と会話できます。

★重要

- ・増設 G3 回線およびインターネットファクスでは使用できません。

1 原稿をセットし、読み取り条件を選択します。

2 [オンフック] を押します。



受話器を上げたのと同じ状態になり、「ツー」という音が本体内部のスピーカーから聞こえます。

もう一度 [オンフック] を押すと、受話器を置いたのと同じ状態になります。

3 相手先を指定します。



指定したファクス番号がすぐにダイヤルされます。

間違えたときは [オンフック] または [リセット] キーを押して、操作をやり直します。アドレス帳から相手先を選択するときは、「アドレス帳から選ぶ」を参照してください。

4 相手先とつながり「ピー」という音が聞こえたら【スタート】キーを押します。

送信が開始されます。

【スタート】キーを押す前に相手の声が聞こえたときは、ハンドセットを取ってファクスを送信することを伝え、受信操作をしてもらいます。

送信を途中で中止するときは、[クリア/ストップ]キーを押し、原稿を取り除きます。送信が終わると、待機中の画面に戻ります。

↓ 補足

- ISDN でオンフックダイヤルをお使いになるときは、最寄りのサービス実施店にお問い合わせください。
- [音量] を押して音量調節画面を表示させ、[大きく] または [小さく] を押してオンフック時の音量を調節できます。あらかじめ初期設定で音量を調節しておくこともできます。
- オンフックの解除時間については、『初期設定編』「ファクス初期設定」を参照してください。

📖 参照

- P.79 「アドレス帳から選ぶ」
- 『初期設定編』「ファクス初期設定」

マニュアルダイヤル（受話器を使った送信）

1

ハンドセットまたは外付け電話機の受話器を上げてダイヤルします。相手先が電話の場合は、そのまま電話として会話できます。

★重要

- ・ G4 回線、増設 G3 回線およびインターネットファクスでは使用できません。

1 原稿をセットし、読み取り条件を選択します。

2 受話器を上げます。

「ツー」という音が受話器から聞こえます。

3 相手先を指定します。

指定したファクス番号がすぐにダイヤルされます。

相手先の指定を間違えたときは受話器を置いて、手順 **2** から繰り返します。

アドレス帳から相手先を選択するときは、「アドレス帳から選ぶ」を参照してください。

4 相手先とつながり「ピー」という音が聞こえたら、[スタート] キーを押します。

相手が電話にでたときは、ファクスを送信することを伝え、受信操作をしてもらいます。送信が開始されます。

5 受話器を置きます。

送信を途中で中止するときは[クリア/ストップ] キーを押し、原稿を取り除きます。送信が終わると、待機中の画面に戻ります。

↓補足

- ・ 主電源スイッチが「On」になっていても、[電源] キーのランプが消灯しているスリープモード時では、ハンドセットまたは外付け電話機の受話器を上げても本機は作動しません。この状態から操作するときは、[電源] キーを押して、本機の電源を入れます。

目 参照

- ・ P.79 「アドレス帳から選ぶ」

送信者を設定する

送信者を設定します。

指定した送信者のメールアドレスがアドレス帳に登録してある場合は、送信結果をメールで受け取る設定ができます。

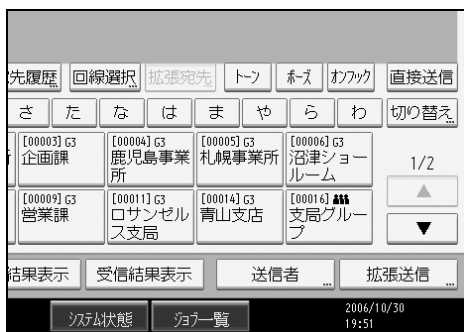
また、「送信者名印字」を設定すると相手先の用紙、各種のリストやレポートに送信者の名称（ユーザー名）を載せることができます。

★重要

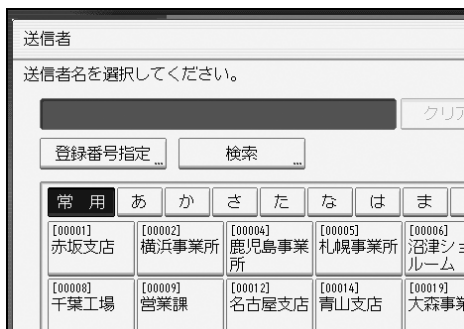
- ・あらかじめ送信者をアドレス帳に登録してメールアドレスを設定し、さらに「システム初期設定」の「アドレス帳登録／変更／消去」で、「使用対象」を「送信者」として設定する必要があります。
- ・「ユーザー認証」を設定しているときは、ログインしたユーザーが送信者として設定されます。送信結果メールはログインしたユーザーのメールアドレスに送信されます。

1 原稿をセットし、読み取り条件を選択します。

2 [送信者] を押します。



3 送信者を選択します。



アドレス帳に登録されている登録番号を指定するときは、[登録番号指定] を押します。

アドレス帳から検索するときは [検索] を押します。

宛先保護コードが設定されている場合は、入力画面が表示されます。テンキーで宛先保護コードを入力し、[実行] を押します。

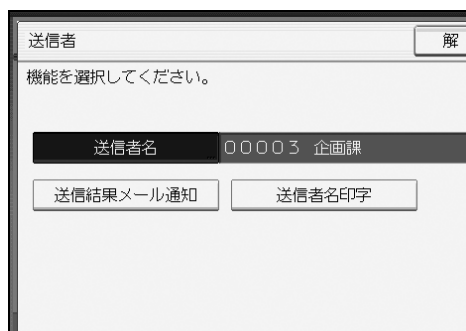
4 選択した送信者名を確認し、[OK] を押します。



1

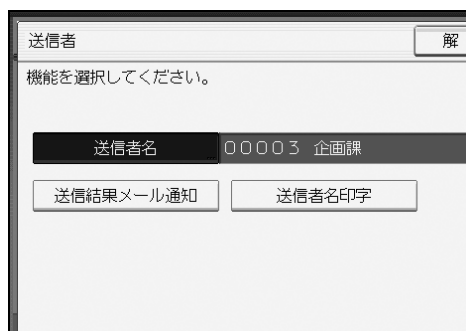
5 相手先の用紙に送信者名を印字するときは、[送信者名印字] を押して反転表示させます。

相手先の用紙、各種のリストやレポートに送信者の名称（ユーザー名）を印字できます。



6 送信結果をメールで確認するときは、[送信結果メール通知] を押して反転表示させます。

指定した送信者にメールアドレスが登録されている場合は、送信結果のメール通知を登録してあるメールアドレスに送信できます。



7 [OK] を押します。

待機中の画面に戻ります。

設定内容を確認するときは、[送信者] を押します。

8 相手先を指定し、[スタート] キーを押します。

↓ 補足

- 「送信結果メール通知」と「通信結果レポート」を併用して送信結果を確認するには、「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 10 ビット 6）を「する」に設定します。工場出荷時は「しない」に設定されています。
- 指定したユーザーごとに、通信管理レポートなどで利用状況を確認できます。「ユーザー認証」を設定しているときは、ログインしたユーザーで確認できます。また、送信者にユーザーコードが設定してあると、ユーザー別に利用状況をカウントできます。
- 送信者設定を取り消すときは「送信を取り消す」を参照してください。

📖 参照

- P.115 「送信を取り消す」
- 『初期設定編』「ファクス初期設定」
- 『初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」

拡張宛先機能を活用する

拡張宛先機能を使って宛先を指定する方法を説明します。

1

Fコード（SUB）を設定して送信する

Fコード（SUB）を付けて親展送信します。

Fコードとは、数字、スペース、「#」、「※」を使って設定する暗証番号のようなものです。Fコード（SUB）を付けて送信した原稿は相手先のメモリーに蓄積され、自動的に印刷されません。相手先はFコード（SUB）を入力して受信した文書を印刷します。特定の人以外に見せたくない機密文書などを送信すると、Fコード（SUB）を知っている人しか印刷できないのでお互いにプライバシーが守れます。

また、Fコードの中継局機能が付いているファクスを経由させて、相手先に送信できます。遠くの複数の相手先に送信するとき、遠距離通信は中継局までの1回ですむので通信料金が節約できます。1回の操作で複数の相手先に送信できるので同じ操作を何回も繰り返す必要がありません。

★重要

- ・Fコード親展ボックス機能を持つファクスへ送信できます。
- ・Fコード（SUB）はG4およびインターネットファクスでは使用できません。
- ・この機能を使用するには、[Fコード送信]を「ON」にする必要があります。
- ・あらかじめ相手先のFコード（SUB）を確認しておきます。
- ・親展送信するときは、あらかじめ相手先にFコード（SUB）を連絡しておきます。

1 原稿をセットし、読み取り条件を選択します。

2 [拡張送信] を押します。

3 [オプション設定] を押します。

4 [F コード送信] を押します。

5 [OK] を 2 回押します。

待機中の画面に戻ります。

6 相手先のファクス番号を入力します。

7 [拡張宛先] を押します。

8 [F コード (SUB)] が選択されていることを確認します。

9 [送信用 F コード (SUB)] を押します。

10 Fコード（SUB）を入力し、[OK] を押します。

間違えたときは、[OK] を押す前に [クリア] を押して、入力し直します。

11 パスワードを入力するときは、[パスワード（SID）] を押して入力し、[OK] を押します。

12 [OK] を押します。

13 [スタート] キーを押します。

直接送信のときは、相手先のファクスに「Fコード」機能がないと、画面にメッセージが表示されます。[確認] を押して送信を中止します。

↓ 補足

- 入力する桁数は相手先のファクスの仕様に合わせてください。また、本機で入力できる最大桁数については、「項目別最大値一覧」を参照してください。
- アドレス帳、プログラム登録には相手先の名称やファクス番号だけでなく、Fコード(SUB)も登録できます。
- アドレス帳に Fコード（SUB）を登録しているときは、宛先キーで宛先を選択したあとに Fコード（SUB）を変更または削除できます。
- Fコード（SUB）は各種リスト / レポートに印字されます。

📖 参照

- P.143 「Fコード送信」
- P.165 「受信文書の中継」
- P.306 「プログラムを登録 / 変更する」
- P.326 「項目別最大値一覧」
- 『初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」

パスワード（SID）を設定する

F コード（SUB）を使って送信するときに、パスワードとしてF コード（SID）の入力が必要です。

また、F コード中継ボックスにパスワードが設定されているときは、F コード（SUB）のほかにパスワードとしてF コード（SID）を入力します。

↓ 補足

- ・入力できる最大桁数については、「項目別最大値一覧」を参照してください。
- ・入力できる文字は数字、スペース、「#」、「*」です。
- ・アドレス帳、プログラム登録には相手先の名称やファクス番号だけでなく、F コード（SID）も登録できます。
- ・F コード（SID）は各種リスト / レポートに印字されます。

📖 参照

- ・P306 「プログラムを登録 / 変更する」
- ・P326 「項目別最大値一覧」
- ・『初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」

F コード（SEP）が設定された文書を受信する

F コード（SEP）を入力して、相手先に送信の依頼をします。

相手先のメモリーに、入力した F コード（SEP）と同じ F コード（SEP）の付いた文書が蓄積されていれば、その文書を受信します。

また、この機能は、ポーリング機能を使ったファクス情報サービスを利用するときや、複数の相手先から原稿を集めたいときに使います。

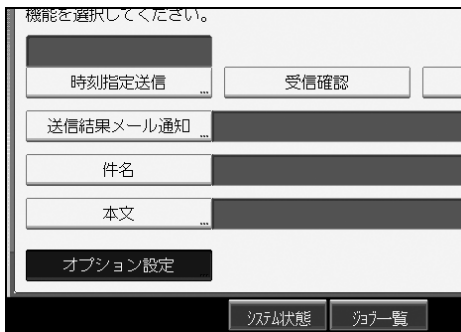
★ 重要

- ・F コード掲示板ボックスまたは、ポーリング送信機能を持つファクスから受信できます。
- ・F コード（SEP）は G4 およびインターネットファクスでは使用できません。
- ・この機能を使用するには、[F コード取り出し] を「ON」にする必要があります。

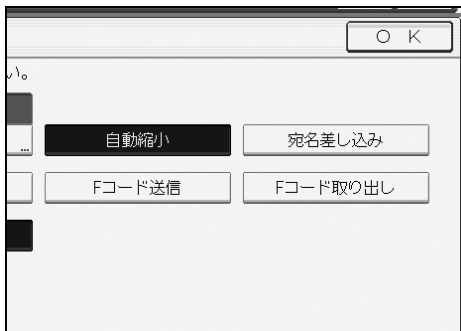
1. [拡張送信] を押します。



2 [オプション設定] を押します。



3 [F コード取り出し] を押します。



4 [OK] を 2 回押します。

待機中の画面に戻ります。

5 相手先のファクス番号を入力します。

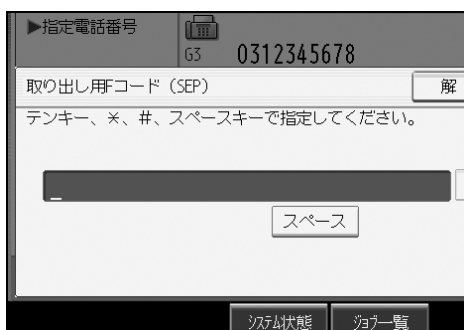
6 [拡張宛先] を押します。



7 [F コード (SEP)] が選択されていることを確認します。

8 [取出し用 F コード (SEP)] を押します。

9 Fコード（SEP）を入力し、[OK] を押します。



間違えたときは [OK] を押す前に [クリア] を押して、入力し直します。

10 パスワードを入力するときは、[パスワード（PWD）] を押して入力し、[OK] を押します。

11 [OK] を押します。

12 [スタート] キーを押します。

補足

- 入力する桁数は相手先のファクスの仕様に合わせてください。また、本機で入力できる最大桁数については、「項目別最大値一覧」を参照してください。
- 入力できる文字は数字、スペース、「#」、「＊」です。
- アドレス帳、プログラム登録には相手先の名称やファクス番号だけでなく、Fコード（SEP）も登録できます。
- アドレス帳に Fコード（SEP）を登録しているときは、宛先キーで宛先を選択したあとに Fコード（SEP）を変更または削除できます。
- Fコード（SEP）は各種リスト / レポートに印字されます。

参照

- P.144 「Fコード取り出し」
- P.306 「プログラムを登録 / 変更する」
- P.326 「項目別最大値一覧」
- 『初期設定編』 「宛先・ユーザーを登録する」

設定されたパスワード（PWD）を入力する

Fコード（SEP）を使って Fコード取り出しを行うとき、パスワードとして Fコード（PWD）の入力が必要なことがあります。

補足

- 入力できる最大桁数については、「項目別最大値一覧」を参照してください。
- 入力できる文字は数字、スペース、「#」、「＊」です。
- アドレス帳、プログラム登録には相手先の名称やファクス番号だけでなく、Fコード（PWD）も登録できます。
- Fコード（PWD）は各種リスト / レポートに印字されます。

目 参照

- ・P306 「プログラムを登録 / 変更する」
- ・P326 「項目別最大値一覧」
- ・『初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」

1

Fコード取り出し予約レポート

Fコード取り出しの操作をしたあとに印刷されます。Fコード取り出しの予約内容を確認できます。

印刷イメージの構成要素:

- 文書番号:** 0163
- 送信条件:** Fコード取り出し
- 相手先:** 1) 青山支店, 2) AOYAMA OFFICE
- Fコード取り出し:** G3-1 : 札幌支店, SEP : ××××
- ページ情報:** P.1, ALU013D
- 日付/時刻:** 2005年 9月15日 14時00分

1 文書番号

文書の管理番号です。

2 送信条件

「Fコード取り出し」と記載されます。その下にユーザー名称が記載されます。

3 相手先

テンキーで入力したファクス番号またはアドレス帳に登録されている名称が記載されます。

- ・増設 G3 ユニットを装着しているとき

回線の種類が「G3-1」「G3-2」「G3-3」「G3 (空)」のいずれかで記載されます。

↓ 補足

- ・このレポートを自動的に印刷するかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 03 ビット 3) で設定できます。工場出荷時は「OFF (印刷しない)」に設定されています。
- ・相手先を表示するかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 04 ビット 4) で設定できます。工場出荷時は「ON (表示する)」に設定されています。
- ・ユーザー名称を表示するかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 04 ビット 5) で設定できます。工場出荷時は「ON (表示する)」に設定されています。

目 参照

- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

Fコード取り出し結果レポート

Fコード取り出しが終わったあとに印刷されます。Fコード取り出しの結果を確認できます。また、「送信結果メール通知」をクイック操作キーに登録しておくと、通信終了後にこのレポートをメールで送信するかどうか設定できます。

*** Fコード取り出し結果レポート (2005年 9月15日 14時00分) *** P.1

1 文書番号 2 送信条件 3 相手先 4 結果

0163 Fコード取り出し G3(空) : 1234 OK

SEP : ××××

料金 --

エラーの内容 エラー1) 通信中断 エラー2) 話し中 エラー3) 応答なし エラー4) 相手先がファクシミリでない
エラー5) メールサイズオーバー

ALU014D

1 文書番号

文書の管理番号です。

2 送信条件

「Fコード取り出し」と記載されます。その下にユーザー名称が記載されます。

3 相手先

テンキーで入力したファクス番号またはアドレス帳に登録されている名称が記載されます。

- 増設 G3 ユニットを装着しているとき
回線の種類が「G3-1」「G3-2」「G3-3」「G3 (空)」のいずれかで記載されます。

4 結果

Fコード取り出しの結果が記載されます。

- OK
全ページ正しく F コード取り出しできました。
- エラー
正しく F コード取り出しできませんでした。「エラー」のあとにエラーの内容、つまり F コード取り出しできなかった理由を示す番号が記載されます。自動リダイヤルの機能によりダイヤルを繰り返したときは、ダイヤルごとの理由を順に記載します。
エラー 1) 通信中断：ファクスの不具合や電話回線に雑音が入ったため、通信が途中で中断されました。
エラー 2) 話し中：相手先が話し中でした。
エラー 3) 応答なし：呼び出しましたが、相手先が電話にでませんでした。
エラー 4) 相手先がファクシミリでない：相手先が電話にはでしたが、ファクシミリではありませんでした。電話などが接続されている可能性があります。この場

合は2回でダイヤルを中止します。

エラー5) メールサイズオーバー：本機に設定してある上限のメールサイズを超えたため、インターネットファクス送信が中断されました。

5 料金

I-G3 を使った送信の通信料金が記載されます。

記載されるのは、G4 ユニットを装着しているときです。

ただし、通信料金が64999 円を超えると「*****円」と記載されます。

海外から受信したときは料金が計算されないことがあります。

補足

- ・Fコード取り出しの結果は「通信管理レポート」でも確認できます。
- ・このレポートを自動的に印刷するかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 03 ビット 4) で設定できます。工場出荷時は「ON (印刷する)」に設定されています。
- ・レポートをメールで確認する場合、文字の桁がずれないように表示するには、パソコンのメールソフトの設定でフォントを等幅フォントに設定してください。
- ・相手先を表示するかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 04 ビット 4) で設定できます。工場出荷時は「ON (表示する)」に設定されています。
- ・ユーザー名称を表示するかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 04 ビット 5) で設定できます。工場出荷時は「ON (表示する)」に設定されています。

参照

- ・P220 「通信管理レポート」
- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

サブアドレスを指定する

ISDN では1つの回線にファクスやデジタル電話など複数の端末を接続できます。これらの端末をそれぞれ識別するために付ける番号をサブアドレスといいます。相手先の端末にサブアドレスが割り付けられているときは、こちら側でサブアドレスを指定すると、1つの回線に接続されている複数の端末の中から特定の端末に送信できます。

重要

- ・この機能を利用するためには G4 ユニットが必要です。
- ・サブアドレスを使えるのは ISDN のときだけです。

1 G4、または G3 の ISDN 回線を選択します。

2 相手先のファクス番号をテンキーで入力します。

1

3 [拡張宛先] を押します。

4 [サブアドレス / UUI] が選択されていることを確認します。

5 [サブアドレス] を押します。

6 相手先のサブアドレスの番号をテンキーで入力し、[OK] を押します。

間違えたときは [OK] を押す前に [クリア] を押して入力し直します。

7 [OK] を押します。

8 [スタート] キーを押します。

補足

- ・サブアドレスの番号はアドレス帳にも登録できます。
- ・入力できる最大桁数については、「項目別最大値一覧」を参照してください。

参照

- ・P66 「回線を選択する」
- ・P326 「項目別最大値一覧」
- ・『初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」

UII を指定する

UII (User-User Information) はメールシステムのサービスコードを指定するときなどに使います。

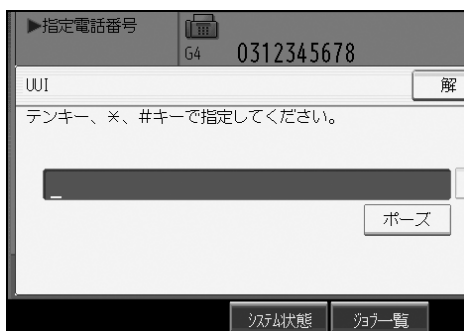
★重要

- ・この機能を利用するためには G4 ユニットが必要です。
- ・UII を使えるのは ISDN のときだけです。

- 1 G4、または G3 の ISDN 回線を選択します。
- 2 相手先のファクス番号をテンキーで入力します。
- 3 [拡張宛先] を押します。



- 4 [サブアドレス / UII] が選択されていることを確認します。
- 5 [UII] を押します。
- 6 UII の番号をテンキーで入力し、[OK] を押します。



間違えたときは [OK] を押す前に [クリア] を押して入力し直します。

- 7 [OK] を押します。
- 8 [スタート] キーを押します。

↓補足

- ・UII の番号はアドレス帳にも登録できます。

- ・入力できる最大桁数については、「項目別最大値一覧」を参照してください。

 参照

- ・P66 「回線を選択する」
- ・P326 「項目別最大値一覧」
- ・『初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」

送信を取り消す

ファクスの送信を取り消す方法を説明します。

★重要

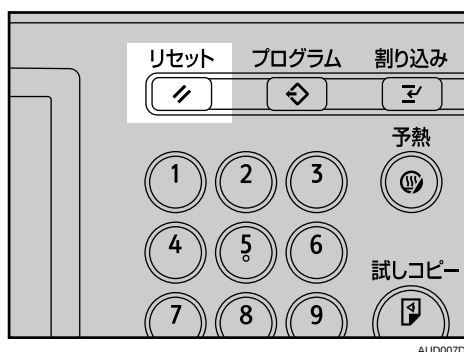
- ・インターネットファクスの場合は、通信中ランプの点灯時間が短いのでご注意ください。

1

原稿の読み取り前

〔スタート〕キーを押す前に取り消します。

1 〔リセット〕キーを押します。



AUD007D

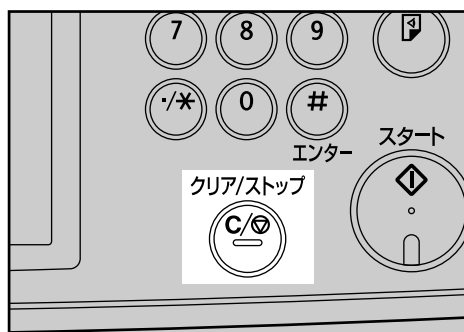
↓補足

- ・自動原稿送り装置（ADF）に原稿をセットしているときは、セットした原稿を取り除いても送信を取り消すことができます。

原稿の読み取り中

〔スタート〕キーを押した後、原稿を読み取っている最中に取り消します。

1 〔クリア/ストップ〕キーを押します。



AUD008D

読み取りを中止します。

↓ 補足

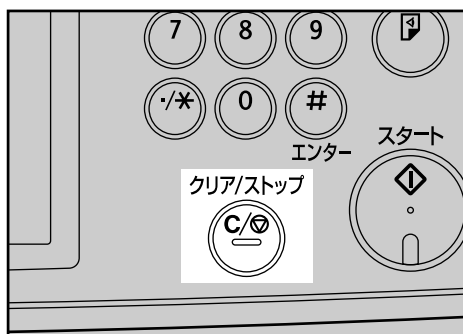
- ・取り消しの操作をしている間に読み取りが完了してしまう場合があります。

1

送信中

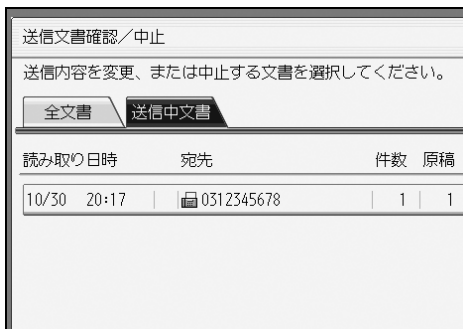
通信中ランプが点灯しているときに取り消します。

1 [クリア/ストップ] キーを押します。



[送信変更 / 通信情報] を押して取り消すこともできます。

2 中止する送信文書を選択します。



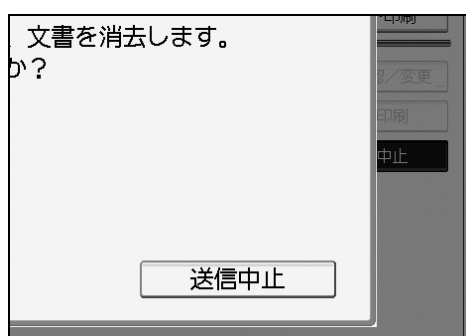
中止する文書が画面に表示されていないときは [▲] または [▼] を押して表示させます。

セキュリティの設定によっては、宛先が*で表示され、選択できない場合があります。

3 [送信中止] を押します。

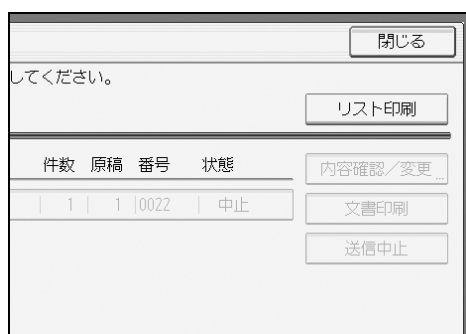


4 [送信中止] を押します。



続けて中止するときは、手順 **2** から繰り返します。
送信中止を取り消すには、[継続待機] を押します。

5 [閉じる] を押します。



待機中の画面に戻ります。

↓ 補足

- 文書が送信中のときに取り消しの操作をした場合は、操作を行ったあとすぐに通信を中断して取り消します。すでに送信が完了したページは取り消せません。
- 取り消しの操作をしている間に送信が終了してしまい、中止できない場合もあります。
- 送信時に複数の相手先を指定しても、画面に表示されるのは 1 件だけです。

送信待機中

原稿の読み取りが終了したあとに取り消します。

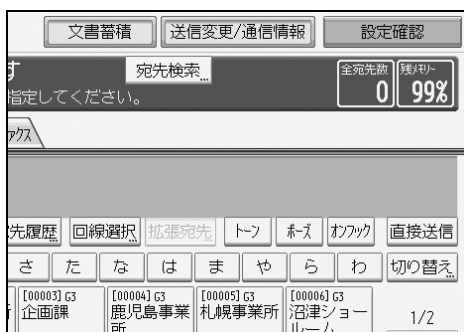
原稿の読み取りが終わったあとで相手先や原稿の間違いに気づいたとき、送信を取りやめることができます。送信を取り消すには、メモリーに蓄積されている文書の中から、取り消す文書を探して消去します。

送信を中止できるのは状態が「送信中」「待機中」「不達」と表示されているときです。読み取った文書はすべてメモリーから消去されます。

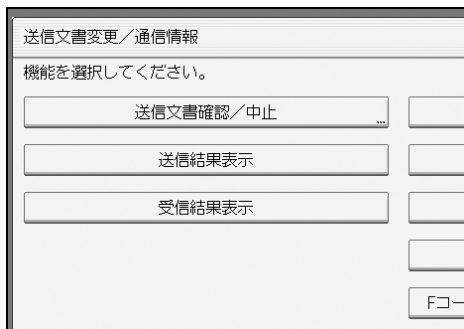
★重要

- ・直接送信ではこの機能は使用できません。

1 「送信変更 / 通信情報」を押します。



2 「送信文書確認 / 中止」を押します。



メモリーに蓄積されている、待機中または送信中の文書のリストが表示されます。送信中の文書だけを表示させたいときは「送信中文書」を押します。

3 中止する送信文書を選択します。

読み取り日時	宛先	件数	原稿
10/30 20:32	0312345678	1	1
10/30 20:31	鹿児島事業所	1	1
10/30 20:31	青山支店	1	1

中止する文書が画面に表示されていないときは [▲] または [▼] を押して表示させます。

セキュリティの設定によっては、宛先が＊で表示され、選択できない場合があります。

4 [送信中止] を押します。

件数	原稿	番号	状態
1	1	0025	待機中
1	1	0024	待機中
1	1	0023	待機中

5 [送信中止] を押します。

続けて中止するときは、手順 3 から繰り返します。
送信中止を取り消すには、[継続待機] を押します。

6 「閉じる」を2回押します。

件数	原稿	番号	状態
1	1	0025	中止
1	1	0024	待機中
1	1	0023	待機中

待機中の画面に戻ります。

補足

- ・ 同報送信として設定していた相手先の一部を消去するには「同報送信した宛先の一部を消去する」を参照してください。
- ・ 送信中に取り消しの操作をした場合は、操作を終えた直後に通信を中断して取り消します。すでに送信が完了したページは取り消せません。
- ・ 取り消し操作をしている間に送信が終了したときは、中止できません。
- ・ 複数の相手先を指定した文書には、未送信の相手先だけが宛先数に表示されます。すでに送信が完了した相手先は含まれません。
- ・ 送信時に複数の相手先を指定しても、画面に表示されるのは1件だけです。すべての相手先を見たいときは「内容確認/変更」を押します。

参照

- ・ P.187 「同報送信した宛先の一部を消去する」

送信内容を確認する

1 「送信変更 / 通信情報」を押します。

2 「送信文書確認 / 中止」を押します。

3 確認する文書を押します。

複数の相手先を指定した文書には、最初に指定した相手先が表示されています。
 複数の相手先を指定した文書には、未送信の相手先件数だけが宛先数に表示されま
 す。すでに送信が完了した相手先は含まれません。

4 【内容確認／変更】を押します。

件数	原稿	番号	状態
1	1	0028	▶送信中
1	1	0027	待機中
1	1	0026	待機中

Buttons: 内容確認／変更..., 文書印刷, 送信中止

5 送信内容を確認し、【閉じる】を押します。

6 【閉じる】を2回押します。

待機中の画面に戻ります。

蓄積した結果を確認する（蓄積結果レポート）

原稿の蓄積が終わると印刷されます。メモリー送信で蓄積した原稿や相手先を確認できます。

★重要

- ・クイックメモリー送信のとき、このレポートは印刷されません。

The diagram shows a form titled "蓄積結果レポート (2004年 8月 20日 14時00分)" with a printer icon (P.I) on the right. The form is divided into sections by dashed lines. Callouts point to specific fields: 1 points to the title, 2 points to the recipient list (1) 青山支店, 2) AOYAMA OFFICE, 3 points to the document number (文書番号), 4 points to the transmission condition (送信条件), 5 points to the recipient (相手先), and 6 points to the number of original documents (原稿枚数). The form contains the following data: 文書番号: 0162, 送信条件: メモリー送信, 相手先: G3 : 神奈川工場, 原稿枚数: 2枚. The code ADI017D is at the bottom right.

1 印刷日時

レポートを印刷した日付と時間が記載されます。

2 発信元名称（印字用）登録内容

発信元名称（印字用）に登録されている内容が記載されます。

3 文書番号

文書の管理番号です。

4 送信条件

送信の種類、ユーザー名称などが記載されます。

5 相手先

・ファクス宛先の場合

回線の種類のあとに、テンキーで入力したファクス番号またはアドレス帳に登録されている名称が記載されます。

G4 ユニットを装着しているとき：回線の種類が「G3」「I-G3」「G4」のいずれかで記載されます。

増設 G3 ユニットを装着しているとき：回線の種類が「G3-1」「G3-2」「G3-3」「G3 (空)」のいずれかで記載されます。

F コード (SEP/SUB/PWD/SID)、サブアドレスを登録しているとき：F コード (SEP/SUB/PWD/SID)、サブアドレスを印字します。

・インターネットファクス宛先の場合

「Mail」のあとに、入力したメールアドレスまたはアドレス帳に登録されている名称が記載されます。

6 原稿枚数

蓄積した原稿の枚数です。

↓ 補足

- このレポートを自動的に印刷するかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 03 ビット 2) で設定できます。工場出荷時は「OFF (印刷しない)」に設定されています。
- レポートを印刷しないように設定していても、正常に蓄積できなかったときは、自動的に印刷されます。
- このレポートに画像を載せるかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 04 ビット 7) で設定できます。工場出荷時は「ON (画像を載せる)」に設定されています。
- 相手先を表示するかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 04 ビット 4) で設定できます。工場出荷時は「ON (表示する)」に設定されています。
- ユーザー名称を表示するかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 04 ビット 5) で設定できます。工場出荷時は「ON (表示する)」に設定されています。

📖 参照

- 『初期設定編』「ファクス初期設定」

2. 拡張送信機能を活用する

〔拡張送信〕の機能について説明します。送信するとき、いろいろな機能を付加できます。

時刻を指定して送信する

2

送信やFコード取り出しを行う時刻を指定すると、指定した時刻に自動的に送信やFコード取り出しを開始します。

深夜などに割引料金で送信できるので、通信料金を節約できます。

★重要

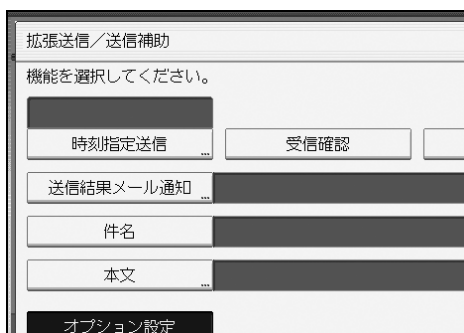
- ・主電源スイッチが「Off」の状態が1時間以上続くと、メモリーに蓄積されている文書はすべて消去されます。消去された文書があると、主電源スイッチを「On」にしたとき自動的に「電源断レポート」が印刷されます。このレポートで消去された文書を確認できます。詳しくは『こんなときには』『ファクス機能がうまく使えないとき』を参照してください。
- ・直接送信では使用できません。メモリー送信を使用してください。

1 原稿をセットし、読み取り条件を選択します。

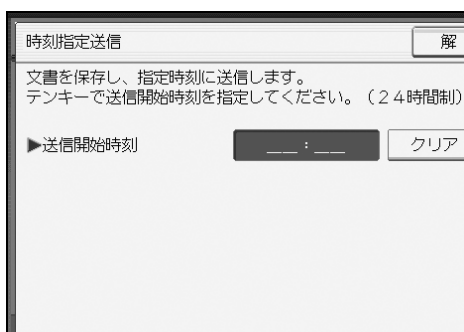
2 〔拡張送信〕を押します。



3 〔時刻指定送信〕を押します。



4 指定時刻をテンキーで入力し、[OK] を押します。



24 時間制の 4 桁で入力します。

1 桁の数値を入力するときは、先頭に 0 を付けます。

間違えたときは [OK] を押す前に [クリア] を押して入力し直します。

操作を取り消すときは [解除] を押します。手順 **3** の画面に戻ります。

[時刻指定送信] が反転表示され、指定した時刻が表示されます。

5 [OK] を押します。

待機中の画面に戻ります。

設定内容を確認するときは、[拡張送信] を押します。

6 相手先を指定し、[スタート] キーを押します。

↓ 補足

- ・指定できる時刻は、現在から 23 時間 59 分以内です。
- ・表示された現在時刻が合っていないときは、正しく調整してください。
- ・時刻指定送信の操作をクイック操作キーに登録できます。クイック操作キーを使うときは、手順 **2** を省略できます。
- ・時刻指定送信を取り消すときは「送信を取り消す」を参照してください。

📖 参照

- ・P.115 「送信を取り消す」
- ・『初期設定編』「システム初期設定」
- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」
- ・『こんなときには』「ファクス機能がうまく使えないとき」

受信確認を要求する

送信したメールが正しく受信されたかどうか、電子メールまたは通信管理レポート上で確認できます。

相手先がメールを受信すると受信確認応答メールを返信します。受信確認応答メールを受信すると、通信管理レポートの「結果」の欄に「OK」が表示され、相手先がメールを受信したことを確認できます。

★重要

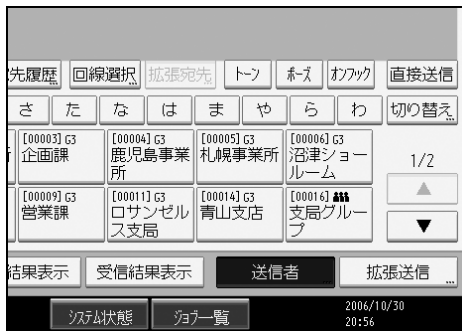
- ・受信確認の機能は、メール受信側が MDN (Message Disposition Notification) をサポートしていないと使用できません。

1 原稿をセットし、読み取り条件を選択します。

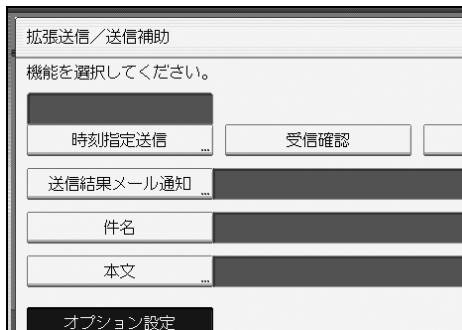
2 送信者を設定します。

送信者の設定方法については、「送信者を設定する」を参照してください。

3 [拡張送信] を押します。



4 [受信確認] を押して反転表示させます。



5 [OK] を押します。

待機中の画面に戻ります。

設定内容を確認するときは、[拡張送信] を押します。

6 相手先を指定し、[スタート] キーを押します。

↓ 補足

- 相手先でメールが正常に受信されなかった場合、「結果」の欄には「エラー」が表示されます。
- 通信管理レポートに一度に記載できるのは最新の 50 通信分までのため、最新の 50 通信以内に受信確認の OK メールが受信できない場合、通信管理レポートの結果欄に「OK」と記載されないことがあります。
- 送信先がメーリングリストのときは、受信確認を「ON」に設定しないでください。送信先がメーリングリストだったときは、複数の宛先から受信確認応答メールを受信してしまい、通信管理レポートの「結果」の欄が上書きされてしまいます。ただし、ひとつでもエラーがあった場合、「結果」の欄には「エラー」が表示され、その後受信確認が「OK」のものを受信しても上書きされません。
- 受信確認の結果が表示されるのは通信管理レポートのみです。他のファイル／リストや送信結果レポートなどの結果欄には「--」で表示されます。
- 受信確認応答メールの受信そのものは、通信管理レポートには記載されません。
- 受信確認応答メールを受信したときに、受信確認メールをいつ印刷するかを「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 21 ビット 0）で設定できます。工場出荷時は「エラー時のみ印字する」に設定されています。
- 受信確認の操作をクイック操作キーに登録できます。クイック操作キーを使うときは、手順 **3**、**5** を省略できます。
- 受信確認を使用すると、メールの同報はできません。文書は指定した順に 1 宛先ずつ別の文書として送信されます。

目 参照

- P.100 「送信者を設定する」
- 『初期設定編』「ファクス初期設定」

メール宛先を BCC に設定する

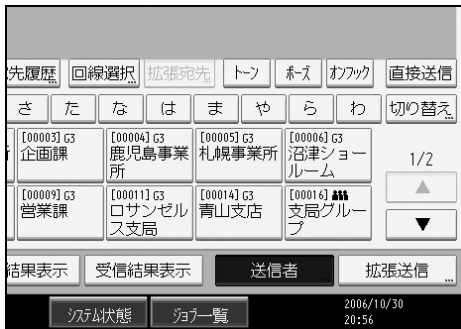
指定したすべての宛先に、BCC としてメールを送信します。

1 原稿をセットし、読み取り条件を選択します。

2 送信者を設定します。

送信者の設定方法については、「送信者を設定する」を参照してください。

3 [拡張送信] を押します。



4 [Bcc 送信] を押して反転表示させます。



5 [OK] を押します。

待機中の画面に戻ります。

設定内容を確認するときは、[拡張送信] を押します。

6 相手先を指定し、[スタート] キーを押します。

↓ 補足

- Bcc 送信の操作をクイック操作キーに登録できます。クイック操作キーを使うときは、手順 **3**、**5** を省略できます。

目 参照

- P.100 「送信者を設定する」
- 『初期設定編』「ファクス初期設定」

送信結果をメールで確認する

通知先を指定し、送信結果をメールで通知して確認します。

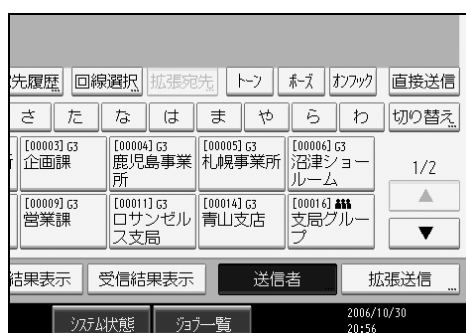
★重要

- ・あらかじめ、アドレス帳に通知先のメールアドレスを登録しておきます。

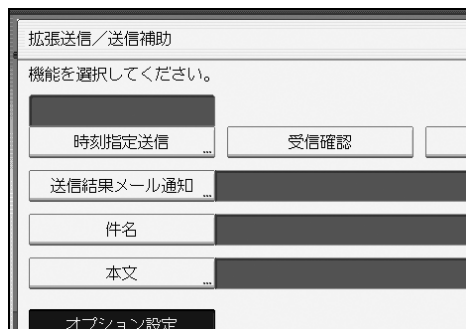
2 **1** 原稿をセットし、読み取り条件を選択します。

2 送信者を設定します。
送信者の設定方法については、「送信者を設定する」を参照してください。

3 [拡張送信] を押します。



4 [送信結果メール通知] を押します。



5 送信結果メール通知の通知先を選択し、[OK] を押します。

間違えたときは [OK] を押す前に [クリア] を押すか、選択した宛先キーをもう一度押して反転表示を取り消します。

[送信結果メール通知] が反転表示され、選択した通知先が表示されます。

6 [OK] を押します。

待機中の画面に戻ります。

設定内容を確認するときは、[拡張送信] を押します。

7 相手先を指定し、[スタート] キーを押します。

補足

- 送信結果メール通知の操作をクイック操作キーに登録できます。クイック操作キーを使うときは、手順 **3**、**6** を省略できます。

参照

- P.100 「送信者を設定する」
- 『初期設定編』「ファクス初期設定」

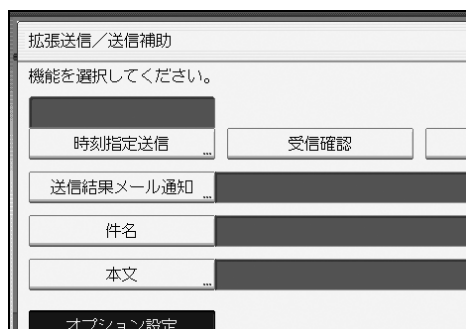
件名を設定する

送信するメールの件名を入力します。

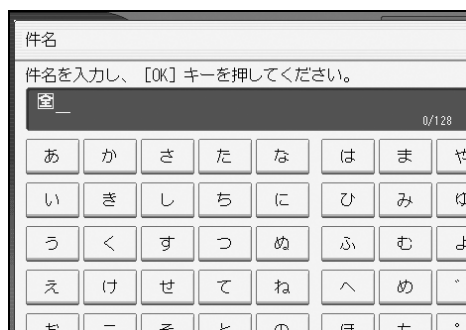
- 1 原稿をセットし、読み取り条件を選択します。
- 2 送信者を設定します。
送信者の設定方法については、「送信者を設定する」を参照してください。
- 3 [拡張送信] を押します。



- 4 [件名] を押します。



- 5 件名を入力します。



- 6** 本機に登録してある文字列を入力するときは、[定型文字列] を押して、入力したい文字列を選択します。



- 7** [OK] を押します。



入力した文字が件名の欄に表示されます。

- 8** [OK] を押します。

待機中の画面に戻ります。

- 9** 相手先を指定し、[スタート] キーを押します。

↓ 補足

- よく使う件名をあらかじめ「システム初期設定」の「定型文字列登録／変更／消去」で登録しておくとう便利です。
- メール送信するときに、件名を指定しないで送信した場合、自動的に件名が付けられます。件名の付けられ方については「メールの件名について」、「受信イメージ」を参照してください。
- 原稿を送らずに、件名だけをメールとして送信することはできません。
- 件名を設定する操作をクイック操作キーに登録できます。クイック操作キーを使うときは、手順 **3**、**8** を省略できます。
- 件名として入力できる最大文字数については、「項目別最大値一覧」を参照してください。

 参照

- P.35 「メールの件名について」
- P.100 「送信者を設定する」
- P.161 「受信イメージ」
- P.326 「項目別最大値一覧」
- 『本機のご利用にあたって』「文字入力のしかた」
- 『初期設定編』「システム初期設定」
- 『初期設定編』「ファクス初期設定」

本文を設定する

送信するメールの本文を入力します。

★重要

- ・あらかじめ「システム初期設定」の「送信メール本文登録／変更／消去」で本文を登録しておく必要があります。

1 原稿をセットし、読み取り条件を選択します。

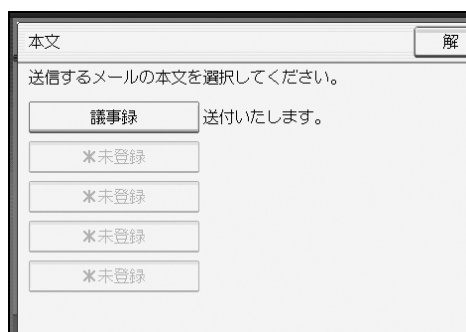
2 送信者を設定します。

送信者の設定方法については、「送信者を設定する」を参照してください。

3 [拡張送信] を押します。

4 [本文] を押します。

5 本文を選択し、[OK] を押します。



6 [OK] を押します。

待機中の画面に戻ります。

7 相手先を指定し、[スタート] キーを押します。

補足

- 原稿を送らずに、本文だけをメールとして送信することはできません。
- 本文を設定する操作をクイック操作キーに登録できます。クイック操作キーを使うときは、手順 **3**、**6** を省略できます。

参照

- P100 「送信者を設定する」
- 『初期設定編』 「システム初期設定」
- 『初期設定編』 「ファクス初期設定」

オプションを設定する

送信ごとに定型文印字、自動縮小、宛名差し込み、ID 送信、F コード送信、F コード取り出し、発信元名称印字の ON/OFF を設定します。

定型文印字

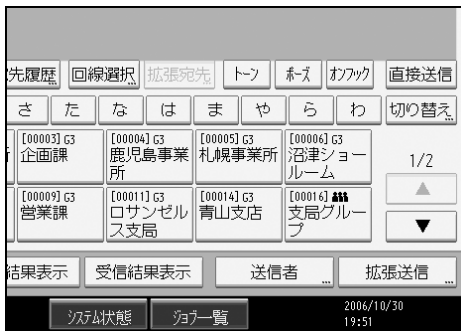
送信した相手先の原稿の 1 ページ目の先端に、定型文を印字します。
定型文は「マル秘」「至急」「電話ください」「関係区に配布してください」の 4 種類があります。
ほかの文を登録することもできます。

★重要

- ・この機能を使用するときは、宛名差し込みの 3 行目は印字されません。
- ・定型文を印字する範囲に画像があるとき、画像は消去されます。
- ・あらかじめ、「ファクス初期設定」の「定型文登録／変更／消去」で定型文を登録しておきます。詳しくは、『初期設定編』『ファクス初期設定』を参照してください。

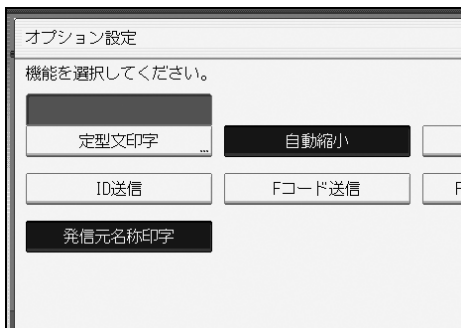
1 原稿をセットし、読み取り条件を選択します。

2 [拡張送信] を押します。

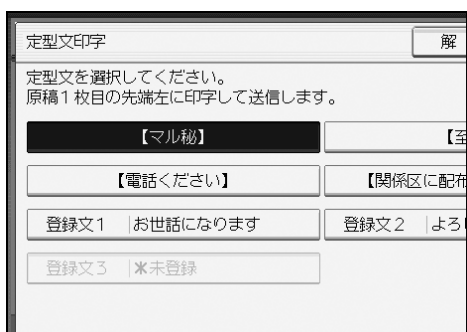


3 [オプション設定] を押します。

4 [定型文印字] を押します。



5 印字する定型文を選択し、[OK] を押します。



[定型文印字] が反転表示され、その上に選択した定型文が表示されます。

6 [OK] を2回押します。

7 相手先を指定し、[スタート] キーを押します。

複数の定型文を印字することはできません。

補足

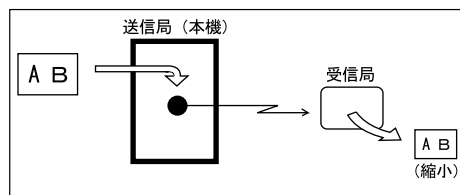
- 定型文印字の操作をクイック操作キーに登録できます。クイック操作キーを使うときは、手順 **2**、**3**、**6** を省略できます。

参照

- P140 「宛名差し込み」
- 『初期設定編』 「ファクス初期設定」

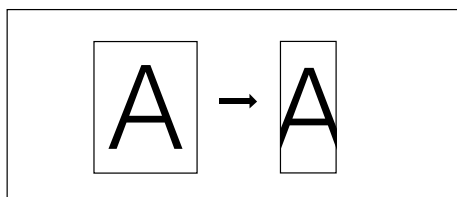
自動縮小

「ON」にすると送信側の原稿の縦の長さより受信側の用紙の縦の長さが小さいとき、受信側の用紙の縦の長さに合わせ、縮小して送信します。「OFF」にすると自動縮小送信は解除されます。



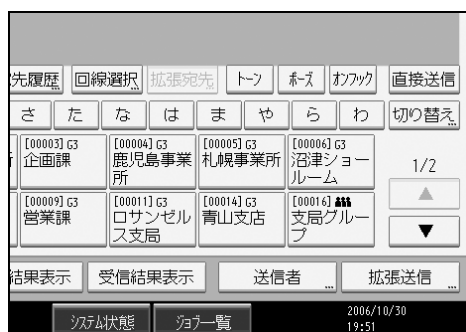
★重要

- ・自動縮小しないと、常に等倍で送信するので、送信側の原稿の縦の長さより受信側の用紙の縦の長さが小さいと、画像が欠けることがあります。



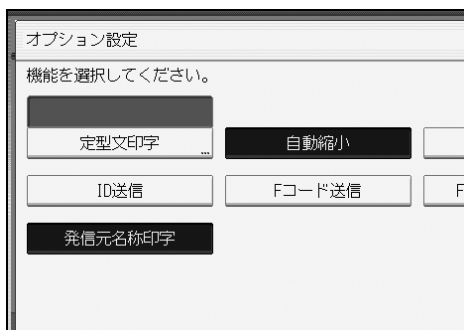
1 原稿をセットし、読み取り条件を選択します。

2 [拡張送信] を押します。



3 [オプション設定] を押します。

4 「自動縮小」が反転表示していることを確認します。



自動縮小送信しないときは「自動縮小」を押して反転表示を取り消します。

5 「OK」を2回押します。

6 相手先を指定し、「スタート」キーを押します。

補足

- 工場出荷時は「ON（自動縮小する）」に設定されています。

宛名差し込み

相手先の受信紙に宛先名を印字します。

★重要

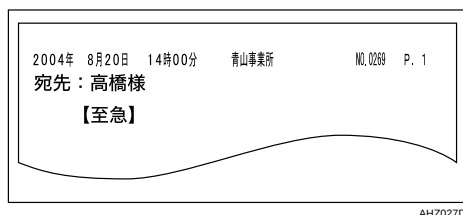
- 宛名差し込みを使用するには、アドレス帳にファクス宛先を登録するときに宛名差し込みを「ON」に設定し、さらにファクスを送信するときに「宛名差し込み」を「ON」に設定してください。
- 宛名差し込みを「ON」にしたとき、宛先名が印刷される範囲に画像があると、その画像は消去されます。「OFF」にすると宛名差し込みは印字されません。

相手先の受信紙に次のように印字します。

- 宛先名：ファクス宛先で登録した「宛先名」の後ろに「様」を付けて先頭行に印字する。
- 定型文：登録した文章を「宛先名」の次の行から2行にわたって印字する。

設定方法は次のとおりです。

- ファクス宛先を登録するとき、宛名差し込みを「ON（使用する）」に設定する。
- ファクス送信時に、宛名差し込みを「ON」に設定する。
- 定型文を印字するには、定型文印字画面で印字したい定型文を選択する。



AH2027D

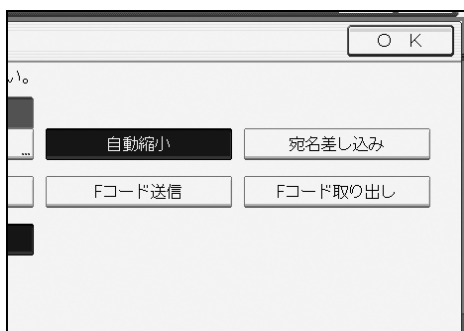
1 原稿をセットし、読み取り条件を選択します。

2 [拡張送信] を押します。



3 [オプション設定] を押します。

4 [宛名差し込み] を押して反転表示させます。



宛名差し込みしないときはもう一度 [宛名差し込み] を押します。

5 [OK] を2回押します。

6 相手先を指定し、[スタート] キーを押します。

補足

- ・工場出荷時は「OFF（宛名差し込みしない）」に設定されています。
- ・宛名差し込みの操作をクイック操作キーに登録できます。クイック操作キーを使うときは、手順 **2**、**3**、**5** を省略できます。
- ・工場出荷時に本機に登録されていない定型文を印字させるときは、あらかじめ「ファクス初期設定」の「定型文登録／変更／消去」で定型文を登録しておきます。

参照

- ・P.137 「定型文印字」
- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

ID 送信

「ON」にすると本機に登録されている ID 送受信用 ID と同じ ID が登録されている、当社シリーズ機のファクスだけに送信します。送信できる相手先を限定することができます。「OFF」にすると ID 送信は解除されます。

★重要

- ・あらかじめ、「ファクス初期設定」で ID 送受信用 ID を登録しておく必要があります。
- ・この機能は、インターネットファクスでは使用できません。

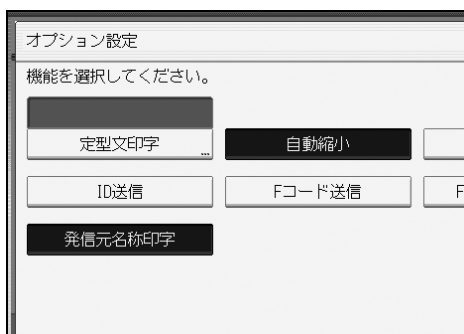
1 原稿をセットし、読み取り条件を選択します。

2 [拡張送信] を押します。



3 [オプション設定] を押します。

4 [ID 送信] を押して反転表示させます。



ID 送信しないときはもう一度 [ID 送信] を押します。

5 [OK] を 2 回押します。

6 相手先を指定し、[スタート] キーを押します。

↓補足

- ・工場出荷時は「OFF (ID 送信しない)」に設定されています。
- ・ID 送信の操作をクイック操作キーに登録できます。クイック操作キーを使うときは、手順 **2**、**3**、**5** を省略できます。

参照

- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

Fコード送信

Fコード送信を行うときはこの機能を「ON」にします。

★重要

- ・Fコード送信は G4 およびインターネットファクスでは使用できません。
- ・Fコード送信を行うには、[拡張宛先] またはアドレス帳登録、プログラム登録などで Fコード (SUB) を設定する必要があります。Fコード送信を「ON」に設定しても、宛先に Fコード (SUB) を付加しないで送信したときは、通常のファクス送信となります。
- ・Fコード (SUB) が登録された宛先をアドレス帳から選択して送信するとき、Fコード送信が「OFF」になっていると、Fコード (SUB) は付加されず通常のファクス送信となります。

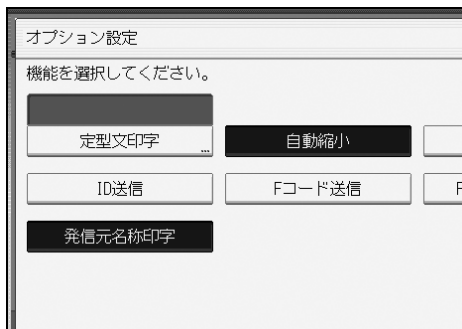
1 原稿をセットし、読み取り条件を選択します。

2 [拡張送信] を押します。



3 [オプション設定] を押します。

4 [Fコード送信] を押して反転表示させます。



Fコード送信しないときは、もう一度 [Fコード送信] を押します。

5 [OK] を 2 回押します。

6 相手先を指定し、[スタート] キーを押します。

補足

- ・Fコード送信の操作をクイック操作キーに登録できます。クイック操作キーを使うときは、手順 **2**、**3**、**5** を省略できます。

参照

- ・P.103 「Fコード（SUB）を設定して送信する」
- ・P.306 「プログラムを登録 / 変更する」
- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」
- ・『初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」

2

Fコード取り出し

Fコード取り出しを行うときはこの機能を「ON」にします。

★重要

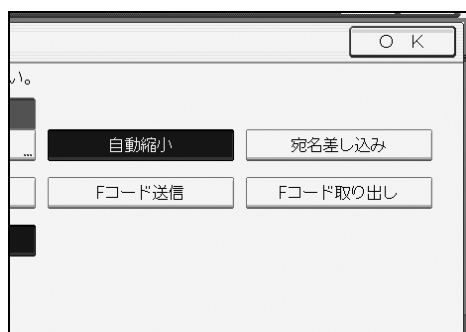
- ・Fコード取り出しは G4 およびインターネットファクスでは使用できません。
- ・Fコード取り出しを行うには、[拡張宛先] またはアドレス帳登録、プログラム登録などで Fコード（SEP）を設定する必要があります。Fコード取り出しを「ON」に設定しても、送信できません。また、相手先のファクスにポーリング送信機能が付いている場合は、ポーリング受信します。
- ・Fコード（SEP）が登録された宛先をアドレス帳から選択して送信するとき、Fコード取り出しが「OFF」になっていると、Fコード（SEP）は付加されず通常のファクス送信となります。

1 [拡張送信] を押します。



2 [オプション設定] を押します。

3 [Fコード取り出し] を押して反転表示させます。



Fコード取り出ししないときは、もう一度 [Fコード取り出し] を押します。

4 [OK] を2回押します。

5 相手先を指定し、[スタート] キーを押します。

補足

- ・Fコード取り出しの操作をクイック操作キーに登録できます。クイック操作キーを使うときは、手順 **1**、**2**、**4** を省略できます。

参照

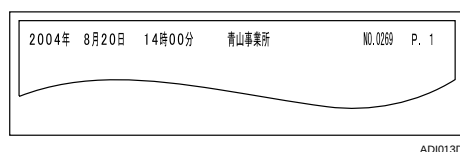
- ・P.106 「Fコード（SEP）が設定された文書を受信する」
- ・P.306 「プログラムを登録 / 変更する」
- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」
- ・『初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」

発信元名称印字

発信元名称印字を「ON」にすると、登録した名称を相手先の用紙に印字します。

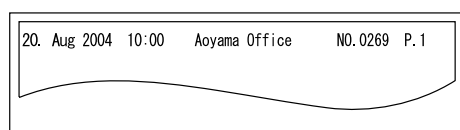
「OFF」にすると印字されません。発信元名称（印字用）は2種類登録でき、相手先ごとにどちらの発信元名称（印字用）を印字させるか設定できます。どちらの発信元名称（印字用）を印字させるかは相手先をアドレス帳に登録するときに、あらかじめ設定しておきます。

第1 発信元名称の例



AD1013D

第2 発信元名称の例



AD1014S

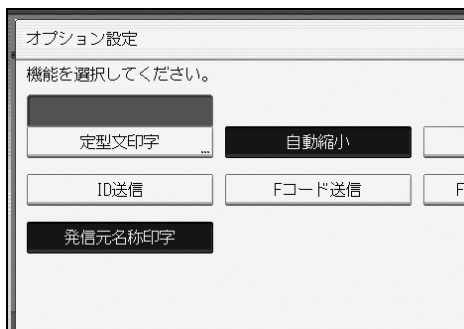
1 原稿をセットし、読み取り条件を選択します。

2 [拡張送信] を押します。



3 [オプション設定] を押します。

4 [発信元名称印字] が反転表示していることを確認します。



発信元名称を印字しないときは「発信元名称印字」を押して反転表示を取り消します。

5 [OK] を2回押します。

6 相手先を指定し、[スタート] キーを押します。

↓ 補足

- ・発信元名称（印字用）は「ファクス初期設定」の「発信元情報登録」で登録できます。
- ・「日付」「発信元名称」「文書番号」「ページ番号」ごとに印字する／しないを「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 18 ビット 3、2、1、0）で設定できます。工場出荷時はそれぞれ「ON（印字する）」に設定されています。
- ・テンキーで相手先を指定したときは、第 1 発信元名称が印字されます。第 2 発信元名称を印字させたいときは、サービス実施店にお問い合わせください。
- ・発信元名称印字の操作をクイック操作キーに登録できます。クイック操作キーを使うときは、手順 **2**、**3**、**5** を省略できます。

📖 参照

- ・『初期設定編』『ファクス初期設定』

3. 受信のしかた

受信方法や、受信した文書を本機で出力したり他のファクスへ配信したりする機能について説明します。

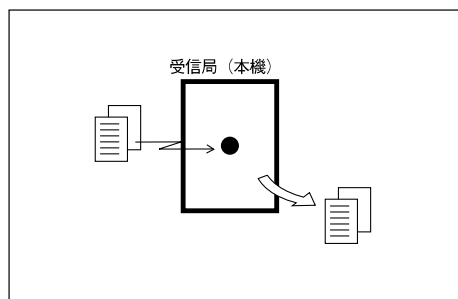
受信の種類

ファクスを受信するときの、受信方法の種類について説明します。

3

直接受信

受信した文書をメモリーに蓄積せずに、1 ページ受信するたびに印刷します。



★ 重要

- ・大切な原稿を受信したときは、相手先に連絡して内容を確認することをお勧めします。
- ・ファクスのメモリー残量が少ないときは受信できないことがあります。
- ・直接受信中にメモリー残量が 0% になると、それ以上は受信できず、その時点で通信が終了します。

↓ 補足

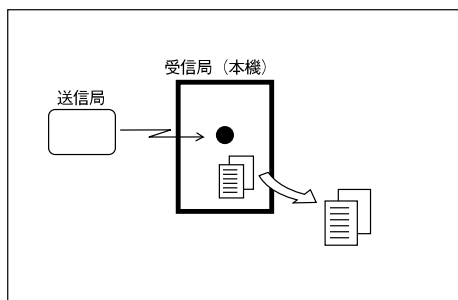
- ・通常、本機は直接受信しますが、「両面印刷」をする、または「受信文書印刷部数」を 2 部以上に設定しているときは、メモリー受信します。
- ・代行受信する条件が発生しているときは、印刷せずにメモリーに蓄積します。
- ・本機が受信できる解像度は「ふつう字」「小さな字」「細かい字（FAX メモリーが必要）」「微細字（FAX メモリーが必要）」です。
- ・FAX メモリーを装着していないときは、送信側が解像度を「細かい字」または「微細字」に設定して送信してきても、本機は「小さな字」で受信します。このため送信側の思いどおりに受信されないことがあります。また、FAX メモリーを装着していても、送信側が「細かい字」に設定して送信してきた場合は「微細字」で受信せずに「細かい字」で受信します。

E 参照

- P.55 「解像度を設定する」
- P.148 「メモリー受信」
- P.149 「代行受信」
- P.172 「出力するときの機能」

メモリー受信

受信した文書を一度メモリーに蓄積し、全ページを受信したあとで印刷します。



★ 重要

- 停電時や電源コンセントを抜いたとき、または主電源スイッチを「Off」にしたときそのまま約 1 時間経過すると、ファクスのメモリーに蓄積されている文書はすべて消去されます。消去された文書があると、主電源スイッチを「On」にしたとき自動的に「電源断レポート」が印刷されます。このレポートで消去された文書を確認できます。詳しくは『こんなときには』「ファクス機能がうまく使えないとき」を参照してください。
- メモリー受信する設定にしていると、大量の文書や、細かい内容の文書を受信できないことがあります。そのときは、「受信文書印刷部数」を 1 部に設定する、または「両面印刷」の設定を解除するか、メモリーを増設することをお勧めします。
- メモリー残量が少ないときは受信できないことがあります。
- メモリー受信中にメモリー残量が 0% になると、それ以上は受信できず、その時点で通信が終了します。

↓ 補足

- 通常、本機は直接受信しますが、「両面印刷」をする、または「受信文書印刷部数」を 2 部以上に設定しているときは、メモリー受信します。
- 受信文書設定で「蓄積する」に設定しているときは、通常のメモリー受信とは異なり、受信してもすぐに印刷せず、必要に応じてパソコンや本体から印刷、消去します。

E 参照

- 『初期設定編』「ファクス初期設定」
- 『こんなときには』「ファクス機能がうまく使えないとき」

代行受信

本機が印刷できない状態のときに着信があった場合、本機は代行受信します。

代行受信すると、文書はメモリー受信されたまま、印刷されずに待機状態となります。代行受信した文書は、代行受信の原因が取り除かれると自動的に印刷されます。

代行受信になる原因によって、すべての文書を無条件で代行受信する場合と、「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」で設定した条件に合う文書だけを代行受信する場合、さらに A2/B3 サイズの用紙しかセットされていないときに A2/B3 サイズ以外の文書を代行受信する場合があります。

代行受信すると、代行受信ランプが点灯します。



★ 重要

- ・メモリー残量が少ないときは受信できないことがあります。
- ・代行受信中にメモリー残量が 0% になると、それ以上は受信できず、その時点で通信が終了します。

↓ 補足

- ・「ファクス初期設定」の「受信文書設定」が「蓄積する」に設定されているときは、受信すると代行受信ランプが点灯します。
- ・ファクスを直接受信したときに、代行受信ランプが点灯することがあります。

📖 参照

- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

すべての文書を代行受信する

本機が次の状態になったときは、すべての文書を代行受信します。

代行受信の原因	状態	対処方法
他の機能を使用している。	コピーなど他の機能の印刷が行われている。	現在行われている印刷が終了したあと、自動的に印刷されます。急いでいるときは現在行われている印刷を中止してください。
排紙先のトレイに用紙が一杯になっている。	「排紙先が満杯です。用紙を取り除いてください。」と表示されている。	トレイから用紙を取り除いてください。
カバーが開いている。	⚡が点灯。	画面で指示されたカバーを閉めてください。

パラメーター設定にしたがって代行受信する

本機が次の状態になったときは、「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 05 ビット 2、1）で設定した条件に合う文書だけを代行受信します。

代行受信の原因	状態	対処方法
用紙がつまっている。	⚡が点灯。	用紙を取り除いてください。用紙の除去方法については『こんなときには』「用紙や原稿などがつまったとき」を参照してください。
すべての給紙トレイに用紙がない。	⚡が点灯。	用紙を補給してください。用紙の補給方法については『こんなときには』「用紙やトナーなどがなくなったとき」を参照してください。
トナーがない。	⚡が点灯。	トナーカートリッジを交換してください。トナーカートリッジの交換方法については『こんなときには』「用紙やトナーなどがなくなったとき」を参照してください。
すべての給紙トレイが故障している。	「このトレイは故障しています。」と画面に表示されている。	サービス実施店に連絡してください。

「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」では、次の条件を設定できます。工場出荷時は「発信元名称（表示用）/ 発信元ファクス番号を受けたときに代行受信する」に設定されています。

- ・ 発信元名称（表示用）または発信元ファクス番号を受けたとき代行受信する
相手先に発信元名称（表示用）または発信元ファクス番号が登録してあるときだけ、代行受信します。受信した文書をメモリーに蓄積したまま電源が切れ、そのまま 1 時間以上経過すると、受信した文書が消えてしまいますが、このようなときでも、通信管理レポートを使って、消えてしまった文書の相手先を確認できるので、送信し直してもらうことができます。また、相手先に発信元名称（表示用）または発信元ファクス番号が登録されていないと、大切な原稿を受信できないことがあります。できるだけ相手先に発信元名称（表示用）または発信元ファクス番号を登録してもらうことをお勧めします。
- ・ 無条件に代行受信する
相手先の発信元名称（表示用）または発信元ファクス番号の登録にかかわらず代行受信します。
- ・ ID 送受信 ID が一致したとき代行受信する
相手先のファクスに登録されている ID 送受信 ID と、本機に登録してある ID 送受信 ID が一致したときだけ受信します。
- ・ 着信しない
すべての受信を受けつけません。

参照

- ・ 『初期設定編』 「ファクス初期設定」
- ・ 『こんなときには』 「用紙やトナーなどがなくなったとき」
- ・ 『こんなときには』 「用紙や原稿などがつまったとき」

A2/B3 サイズの用紙しかセットされていないときに代行受信する

本機に A2/B3 サイズの用紙しかセットされていない場合、A2/B3 サイズ以外の文書は代行受信します。

画面で指示された用紙を補給してください。

補足

- ・ 「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 09 ビット 0）で、A2/B3 サイズの原稿を等倍で受信しないように設定している場合、A2/B3 サイズの用紙しかセットされていないときは、すべての文書を代行受信します。工場出荷値は「する」に設定されています。

参照

- ・ 『初期設定編』 「ファクス初期設定」

受信モードについて

受信モードには「自動切り替え」、「手動受信」、および「自動受信」の3つがあります。標準の G3 回線を使用しているときだけ、受信モードを変更できます。標準の G3 以外の回線（G3-2、G3-3、I-G3、G4）では受信モードを変更できません。常に自動受信になります。

★重要

- ・NTT とナンバー・ディスプレイの契約をしていると、自動受信またはファクス優先モードでは、ファクスを受信できません。手動受信または電話優先モードに設定すると、ファクスの受信はできますが、ナンバー・ディスプレイは利用できません。
- ・「自動切り替え」および「手動受信」は、ハンドセットまたは外付け電話機が付いているときに使用できます。

◆自動切り替え

電話がかかってくる相手先に合わせて自動的に電話とファクスを切り替えます。自動切り替えには「電話優先」モードと「ファクス優先」モードがあります。また、ダイヤルイン機能を使って自動切り替えすることもできます。

◆手動受信

電話がかかってくるとベルを鳴らします。相手がファクスのときは手動でファクスに切り替えます。

◆自動受信

電話がかかってくるとファクスとして自動的に受信します。相手が電話のときは手動で電話に切り替えます。

受信モードは次の表を参考に設定してください。

使用状況	受信モード
電話がかかってくることが多い	手動受信 自動切り替え（電話優先モード）
電話もファクスも同じくらい	自動切り替え（電話優先モード） 自動切り替え（ファクス優先モード）
ファクスを受信することが多い	自動切り替え（ファクス優先モード） 自動受信
留守番電話機を接続する	自動切り替え（電話優先モード）

↓ 補足

- ・本機を電話として使用するには、ハンドセットが必要です。
- ・受信モードタイマー切り替え機能を使って、受信のしかた（自動切り替え、手動受信、自動受信）を時刻によって自動的に切り替えることができます。切り替えは1日2回、1週間分設定できます。「受信モードタイマー切り替え」は、ダイヤルイン機能とは併用できません。
- ・受信モードが「自動切り替え（ファクス優先モード）」または「自動受信」に設定されているとき、相手先からの呼び出しに対し、ハンドセットまたは外付け電話機のベルを鳴らさずに着信します（無鳴動着信）。夜間など静かに受信するときにこのモードにしておくとう便利です。
- ・ベルを鳴らさないように設定していても、本機が着信できない状態のときはベルが鳴ります。受信モードが「自動切り替え（電話優先モード）」または「手動受信」のときはベルを鳴らします。呼び出し音を鳴らすようにするかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 07 ビット 0）で設定できます。工場出荷値は「鳴らない」に設定されています。

目 参照

- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

自動切り替え

電話がかかってくると、相手が電話なのかファクスなのかを判断し、自動的に電話とファクスを切り替えます。

自動切り替えには「電話優先」モードと「ファクス優先」モードがあります。

比較的ファクスとして使うことが多いときは「ファクス優先」モードに設定します。電話として使うことが多いとき、または外付け電話機として留守番電話機を接続するときは「電話優先」モードに設定します。

また、ダイヤルイン機能を使って自動切り替えすると、早く正確に切り替えることができます。

↓ 補足

- ・優先モードを電話優先モードにするかファクス優先モードにするか「ファクス初期設定」の「受信モード自動切り替え時設定」で選択できます。工場出荷時は「ファクス優先」に設定されています。

目 参照

- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

電話優先モード

相手先から電話がかかってくると呼び出しベルを 8 回鳴らします。呼び出し中に受話器を取ると会話できます。

呼び出しベルが鳴っていても受話器を取らないでそのままにしておくと、自動的にファクスに切り替わります。

◆ 留守番電話機を接続する

外付け電話機として留守番電話機を接続できます。このとき受信モードは自動切り替え（電話優先モード）に設定してください。

電話がかかってくると留守番電話機が応答します。

- ・ 相手先が自動送信ファクスの場合は、応答メッセージ中か応答メッセージ後に「ポー」というファクス信号音を検出すると、自動的にファクスに切り替わります。
留守番電話機に音のない空白が録音され、録音件数に加算されることがあります。
- ・ 相手先が電話の場合は、相手からのメッセージを留守番電話機に録音します（通常の留守番電話機と同じです）。
- ・ 留守番電話機を使用して自動切り替え機能がうまく働かないときは、留守番電話機の応答メッセージのはじめの 4 秒間を無音状態にしてください。
- ・ 留守番電話機によってはうまく動作しない場合があります。
- ・ 留守番電話機を留守録セットした場合は、留守番電話機側で設定した回数だけベルが鳴ったあと、相手先とつながります。留守番電話機のベルを鳴らす回数はリングング回数の設定（工場出荷値 8 回）より少なくしてください。

◆ リングング回数設定

「電話優先」モードに設定すると、相手先の状態（自動送信、手動送信、電話）にかかわらず、こちら側のハンドセットまたは電話機のベルを一定の回数鳴らします。ベルの回数（リングング回数）は設定できます。

- ・ リングング回数は、1 回から 29 回の範囲で設定できます。工場出荷時は、8 回です。

↓ 補足

- ・ ハンドセットまたは外付け電話機のベルが鳴ります。
- ・ ナンバー・ディスプレイの契約をしていると、はじめに短い呼び出しベルが数回鳴り、その後、通常の呼び出しベルが鳴ります。ハンドセットまたは外付け電話機で応答するときは、通常の呼び出しベルが鳴ってから応答してください。

ファクス優先モード

ハンドセットや外付け電話機のベルを鳴らせずに受信します。

相手先がファクスのときは自動的に受信します。相手先が電話のときはベルを 6 回鳴らしますので、受話器を取って会話をしてください。呼び出しベルが鳴っていても受話器を取らないでそのままにしておくと、自動的にファクスに切り替わります。

◆ 呼び出し回数設定

「ファクス優先」モードに設定すると、相手先が手動送信や電話のときにはこちらの電話機のベルを鳴らします。そのときに鳴らすベルの回数（呼び出し回数）を設定できます。

- ・ 呼び出し回数は 1 回から 29 回の範囲で設定できます。工場出荷時は、6 回です。

↓ 補足

- ・ ファクス優先モード時の音声メッセージ「電話の方はそのままお待ちください。ファクスの方はスタートボタンを押してください。」を相手先に流すかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 07 ビット 1）で設定できます（音声応答）。工場出荷値は「ON（流す）」に設定されています。
- ・ ファクス優先モードにした場合、相手から電話があると呼び出し中でも電話料金がかかります。あらかじめ相手先に伝えてください。

E 参照

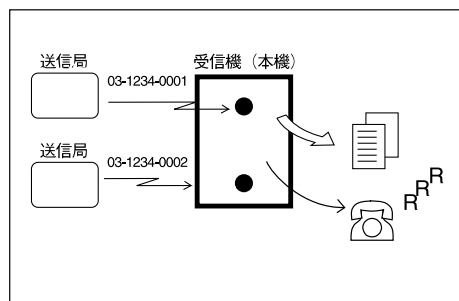
- ・ 『初期設定編』「ファクス初期設定」

ダイヤルイン機能

NTT とダイヤルインサービスの契約をすると、1 本の電話回線で複数の番号を利用できます。

本機の場合は 2 つの番号を利用でき、この 2 つの番号をそれぞれ電話用、ファクス用として、あらかじめ相手に知らせておきます。

相手が電話をするときは電話用の番号に、ファクスを送りたいときはファクス用の番号にダイヤルしてもらうと、自動的に電話とファクスを切り替えて応答します。



- ・ 電話用の番号にかかってくるとベルを鳴らします。ファクス用の番号にかかってくるとファクスとして自動的に受信します。
- ・ 電話用の番号にファクスが送信されると、受話器を上げたときに「ポーッ、ポーッ」という音が聞こえます。このときは手動受信の操作をしてファクスに切り替えてください。

★ 重要

- ・ダイヤルイン契約は有料です。
- ・電話用の番号を登録してください。
- ・ダイヤルインの利用開始日（局内工事が行われる時刻）からダイヤルイン機能が利用できます。
- ・ダイヤルインサービスを受けられない地域があります。詳しくは NTT の営業窓口におたずねください。ダイヤルインには PB 信号方式とモデム信号方式があり、本機は PB 信号方式のみに対応しています。また、ISDN のダイヤルインには対応していません。
- ・増設 G3 または G4 に接続している回線では使用できません。

3

1 NTT の営業窓口でダイヤルインサービスが利用可能か問い合わせ、利用可能であれば申し込みます。

2 NTT から電話用とファクス用の番号をもらいます。

3 「ファクス初期設定」の「ダイヤルイン設定」で電話用のダイヤルイン番号を登録します。

4 「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」で「ON（使う）」を選択します。（スイッチ 25 ビット 3）

工場出荷時は「使わない」に設定されています。

◆ 停電のときの電話の受けかた

ダイヤルイン機能を使用しているときに停電すると、ファクスの受信はできなくなりますが、電話を受けることはできます。

電話を受けるときは次のとおり操作してください。

- 1) ベルが 1、2 回だけ鳴ります。鳴り終わる前に受話器を上げます。
- 2) 「ピポパポ」という信号音が聞こえます。信号音が聞こえなくなったら受話器を置きます。
- 3) 1、2 秒後に受話器を上げます。相手と会話できます。

↓ 補足

- ・現在使用中の回線をダイヤルイン契約すると、電話番号が変わることがあります。
- ・先にダイヤルイン機能を「ON」に設定するとそれ以前に設定していた受信モードは無視され自動切り替え（ファクス優先モード）で受信します。
- ・電話とファクスを同時に使うことはできません。
- ・受信モードタイマー切り替えとは併用できません。

📖 参照

- ・P.157 「手動受信」
- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

手動受信

電話がかかってくるとベルが鳴るので、ハンドセットまたは外付け電話機で応答してください。相手が会話しようとしているときは、そのまま会話をします。

◆ ファクスへ切り替える

相手がファクスを送信するといってきたときや、「ポーツ、ポーツ」という音が聞こえるときは、次の手順でファクスに切り替えます。

- ・ハンドセットで応答したとき（手動受信）

原稿がセットされていないことを確認して、[スタート] キーを押します。または、[ファクス] キーを 2、3 秒押し続けます。ハンドセットを置きます。

ハンドセットの [2] を押して切り替えることもできます。使用している回線がダイヤル回線のときは 1 回、プッシュ回線のときは 2 回押します。

- ・外付け電話機で応答したとき（リモート切替）

外付け電話機の [2] を押して受話器を置きます。使用している回線がダイヤル回線のときは 1 回、プッシュ回線のときは 2 回押してください。

↓ 補足

- ・「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 17 ビット 7）で「受信する」に設定すると、[スタート] キーを押して受信できます。工場出荷時は「[スタート] キーを押す（受信する）」に設定されています。
- ・リモート切替は電話機によっては使えないことがあります。
- ・増設 G3 回線のときは、ハンドセットでの切り替えやリモート切替はできません。
- ・ファクスと電話の切り替えをハンドセットや外付け電話機からできるようにするかどうかは「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 07 ビット 5）で設定できます。工場出荷時は「ON（する）」に設定されています。
- ・主電源スイッチが「On」になっていても、[電源] キーのランプが消灯しているスリープモード時では、ハンドセットまたは外付け電話機の手話器を上げても本機でのキーの操作はできません。この状態から操作するときは、[電源] キーを押して、本機の電源を入れます。
- ・[スタート] キーを押して手動受信するときは、ファクス機能が選択されていて、さらに原稿がセットされていないことを確認してください。
- ・ナンバー・ディスプレイの契約をしていると、はじめに短い呼び出しベルが数回鳴り、その後、通常の呼び出しベルが鳴ります。ハンドセットまたは外付け電話機で応答するときは、通常の呼び出しベルが鳴ってから応答してください。

☰ 参照

- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

自動受信

電話がかかってくるとファクスとして自動的に受信します。

◆ 電話へ切り替える

本体内部のスピーカーから人の声が聞こえるときは、相手が会話をしようとしています。そのときは次の手順で電話に切り替え、相手と会話します。

- ハンドセットで応答したとき
ハンドセットの〔2〕を、使用している回線がダイヤル回線のときは1回、プッシュ回線のときは2回押してください。
- 外付け電話機で応答したとき（リモート切替）
外付け電話機の〔2〕を、使用している回線がダイヤル回線のときは1回、プッシュ回線のときは2回押してください。

↓ 補足

- リモート切替は、電話機によっては使えないことがあります。
- 増設 G3 回線のときは、ハンドセットでの切り替えやリモート切替はできません。
- ファクスと電話の切り替えをハンドセットや外付け電話機からできるようにするかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 07 ビット 5）で設定できます。工場出荷時は「ON（する）」に設定されています。
- スピーカーから聞こえる音量を調節できます。

📖 参照

- 『初期設定編』「ファクス初期設定」

受信モードの切り替えかた

受信モードは「受信設定」の「受信モード切替」で設定できます。
「受信モード切替」はクイック操作キーに登録できます。ここでは、クイック操作キーで切り替える方法を説明します。

1 「受信モード切替」を押します。



2 受信モードを選択して、「設定」を押します。



待機中の画面に戻ります。

取り消すときは「取消」を押します。

参照

- 『初期設定編』「ファクス初期設定」

インターネットファクスで受信する

インターネットファクスでは電子メール形式の文書を受信します。

メールを受信するには、自動で受信する方法と手動で受信する方法があります。

★ 重要

- TIFF-F 形式以外のファイルがメールに添付された場合、受信できません。受信メールに添付ファイルがあった場合、送信先にエラーメッセージが返送されます。ただし、エラーメッセージを送信しないように「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 21 ビット 7）で設定できます。工場出荷時は「送信する」に設定されています。
- Windows Server 2003 で [すべてのクライアント接続にセキュリティで保護されたパスワード認証を要求] にチェックを入れている場合には受信できません。

↓ 補足

- 受信プロトコルを POP3 または IMAP4 に設定している場合は、メールを受信した後、サーバー上からメールを削除するか保持するかを「システム初期設定」で設定できます。
- メール受信文書の受信確認要求に対して応答するかどうかを「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 21 ビット 1）で設定できます。工場出荷時は「応答する」に設定されています。

E 参照

- 『初期設定編』「システム初期設定」
- 『初期設定編』「ファクス初期設定」

メールの自動受信

メールサーバーへ自動的にアクセスしてメールを受信します。

↓ 補足

- メモリーの残量が少なくなっているときは、メール受信時間になっても受信しません。メモリー残量が多くなってから受信します。
- 自動メール受信を行うかどうか、行う場合には何分ごとに受信するか、「システム初期設定」で設定します。
- メールは手動で受信することもできます。

E 参照

- P.161 「メールの手動受信」
- 『初期設定編』「システム初期設定」

メールの手動受信

手動でメールサーバーへアクセスしてメールを受信します。

★重要

- ・あらかじめ「手動メール受信」の操作をクイック操作キーに登録しておきます。

1 【手動メール受信】を押します。



サーバーにアクセスしてメールが届いているかどうか確認し、メールがあれば受信します。

2 【確認】を押します。



待機中の画面に戻ります。

目 参照

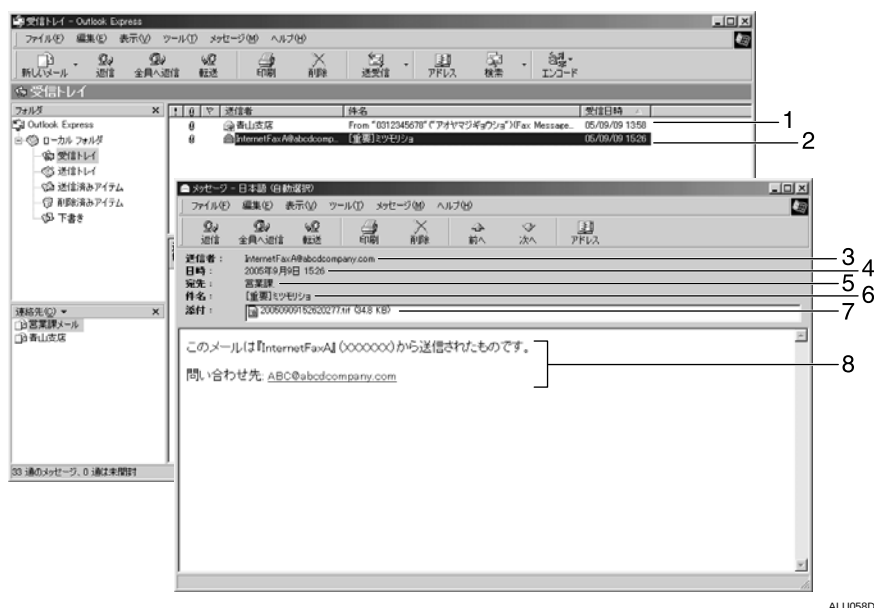
- ・『初期設定編』『ファクス初期設定』

受信イメージ

本機からパソコンにインターネットファクスを送ったときの受信イメージの例です。メールソフトに Outlook Express を使った例です。受信イメージはメールソフトにより異なります。

★重要

- ・パソコンでインターネットファクスを受信したとき、メールの本文には必ず「このメールは「ホスト名」(“商品名”)から送信されたものです。問い合わせ先: “管理者メールアドレス”という書式の文が挿入されます。ホスト名と管理者メールアドレスは「システム初期設定」で確認できます。



- 1 「拡張送信」で、件名および重要度を指定しないで送信されたメール
- 2 「拡張送信」で、件名および重要度を指定して送信されたメール
- 3 送信者
送信元の名前（メールアドレス）が表示されます。
- 4 日時
メールが送信された日時が表示されます。
- 5 宛先
受信元のメールアドレスが表示されます。
- 6 件名
送信時に「拡張送信」で指定した件名が表示されます。
件名を指定しないで送信したときは、1のように自動的に件名が付けられます。
- 7 添付
送信元が作成したメッセージが添付書類として表示されます。
- 8 メール本文
すべてのメールにこのメッセージが挿入されます。

↓ 補足

- ・送信者名印字などの設定によって、送信者の表示方法は異なります。
- ・送信者名印字などの設定によって、件名の書式が異なります。

📖 参照

- ・P35 「メールの件名について」
- ・『初期設定編』「システム初期設定」

受信するときの機能

ファクスを受信するときに使うと便利な機能について説明します。

受信文書の配信

F コード (SUB) やダイヤルイン番号を利用して、受信した文書を配信する方法について説明します。

★重要

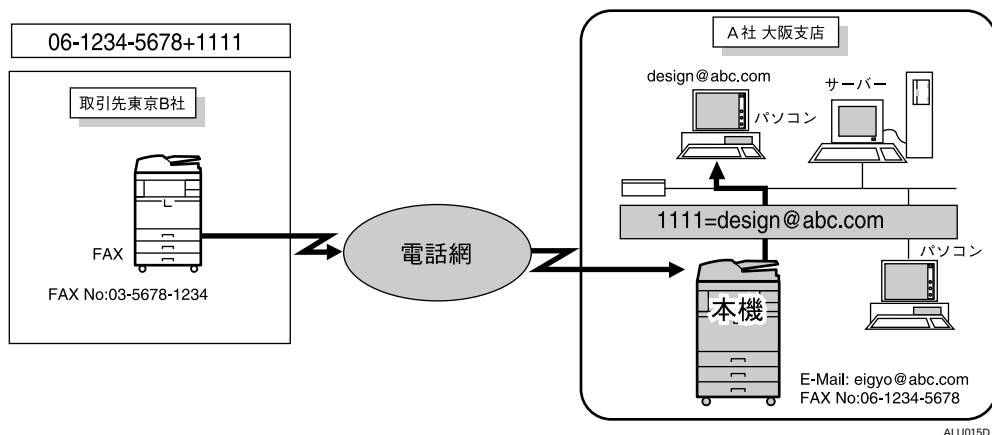
- ・この機能を使用して、フォルダー宛先に文書を配信することはできません。

3

F コードを利用した配信

F コード (SUB) を利用して、受信したファクス文書を配信します。

受信文書の F コード (SUB) を本機に登録されている親展ボックスの F コードと比較し、一致する F コードがあったとき、その F コードに登録されている配信先に配信します。



★重要

- ・あらかじめ、親展ボックスを設定し配信先を登録する必要があります。親展ボックスは「ファクス初期設定」の「F コードボックス設定」で登録できます。

↓補足

- ・配信先にメールアドレスが登録されていれば、受信文書を電子メール形式で配信先に配信します。
- ・当社のファクスだけでなく他社のファクスからの受信も配信できます。

📖参照

- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

ダイヤルイン番号を利用した配信（PSTN のとき）

PSTN のダイヤルイン番号を使って、受信したファクス文書を配信します。

ダイヤルイン番号を使って配信するためには、ダイヤルイン契約をして取得した電話番号（下 4 桁）のうち、配信に使用する電話番号で 4 桁の親展ボックスの F コードを登録しておきます。（「ダイヤルイン設定」で登録した電話用のダイヤルイン番号は除きます）

また、親展ボックスの F コードには配信先のファクス番号またはインターネットファクス宛先を登録しておきます。

ダイヤルされた番号の下 4 桁が親展ボックスの F コードと一致すると、受信文書を配信先に配信します。

★重要

- ・あらかじめ、親展ボックスを設定し配信先を登録する必要があります。
- ・ダイヤルイン番号を使用するためには、NTT とのダイヤルイン契約（有料）が必要です。

↓補足

- ・配信先にメールアドレスが登録されていれば、電子メール形式で配信します。
- ・この機能を使用するときは、最寄りのサービス実施店に連絡してください。
- ・「ファクス初期設定」の「ダイヤルイン設定」で登録した電話用のダイヤルイン番号と同じ番号で 4 桁の親展ボックスの F コードを登録した場合、この番号にファクスが送信されても電話として受信します。手動受信に切り替えてファクスを受信しても配信はされません。
- ・ダイヤルされた番号の下 4 桁が親展ボックスの F コードと一致しても、親展ボックスに配信先が登録されていないと配信されず、親展受信になります。

📖参照

- ・P.66 「回線を選択する」
- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

ISDN ダイヤルイン番号を利用した配信

ISDN のダイヤルイン番号を使って、受信したファクス文書を配信します。

ISDN ダイヤルイン番号を使って配信するためには、以下の設定が必要です。

- ・ダイヤルイン契約をして取得した電話番号のうち、配信に使用する電話番号を「ファクス初期設定」の「ISDN-G4 回線登録」に登録しておきます。電話番号は「市外局番」「-(ポーズ)」「電話番号」のように登録します。必ず「市外局番」から登録してください。
- ・「ファクス初期設定」の「F コードボックス設定」で、親展ボックスを登録します。F コードには、「ファクス初期設定」の「ISDN-G4 回線登録」で登録した配信用の電話番号の、「市外局番」「-(ポーズ)」を除いた電話番号を登録します。また、配信先をアドレス帳から選択して指定します。相手先からダイヤルされた番号が親展ボックスの F コードと一致すると、受信文書が配信先に配信されます。たとえば、相手先からダイヤルされた番号が「03-12345678」で、F コードが「12345678」の親展ボックスが本機に登録されているときは、電話番号「12345678」が F コードと一致するので、登録された配信先に受信文書が配信されます。

★ 重要

- この機能を利用するためには G4 ユニットが必要です。
- あらかじめ、親展ボックスを設定し配信先を登録する必要があります。
- ダイヤルイン番号を使用するためには、NTT とのダイヤルイン契約（有料）が必要です。

↓ 補足

- 配信先にメールアドレスが登録されていれば、電子メール形式で配信します。
- この機能を使用するときは、最寄りのサービス実施店に連絡してください。
- サブアドレスを使って配信することもできます。ダイヤルイン番号を使うか、サブアドレスを使うかの設定はカスタマーエンジニアが行います。
- ダイヤルされた番号が親展ボックスの F コードと一致しても、親展ボックスに配信先が登録されていないと配信されず、親展受信になります。

📖 参照

- P66 「回線を選択する」
- 『初期設定編』「ファクス初期設定」

受信文書の中継

F コード（SUB）を利用して、受信した文書の中継します。

受信文書の F コード（SUB）を、本機に登録されている中継ボックスの F コードと比較し、一致する F コードがあったとき、その中継ボックスに登録されている受信局に中継します。

★ 重要

- あらかじめ中継ボックスの登録と受信局を設定しておきます。中継ボックスは「ファクス初期設定」の「F コードボックス設定」で登録できます。

↓ 補足

- 受信局にメールアドレスが登録されていれば、受信文書を電子メール形式で受信局に中継します。
- 中継の結果は、中継依頼局には通知されません。
- 当社のファクスだけでなく、他社のファクスからの受信も中継できます。

📖 参照

- 『初期設定編』「ファクス初期設定」

Fコード中継結果レポート

受信局への送信の結果を確認できます。Fコード中継ボックスに設定された受信局への送信をすべて終えたとき、本機から出力されます。

*** Fコード中継結果レポート (2005年 9月15日 14時00分) ***

P. 1
1) 青山支店
2) AOYAMA OFFICE

1 → 中継依頼受付時刻
2 → 文書番号
3 → 受信局

9月15日 13時55分
0125

原稿枚数	料 金	結 果
1枚	10 円	OK
1枚	--	OK
1枚	--	OK

送れなかったページ

エラーの内容
エラー1) 通信中断 エラー2) 話し中 エラー3) 応答なし エラー4) 相手先がファクシミリでない
エラー5) メールサイズオーバー

ALU016D

1 中継依頼受付時刻

中継依頼を受けた日時が記載されます。

2 文書番号

文書の管理番号です。

3 受信局

・ファクス宛先の場合

回線の種類のあとに、中継局（本機）のアドレス帳に登録されている名称が記載されます。

G4 ユニットを装着しているとき：回線の種類が「G3」「I-G3」「G4」のいずれかで記載されます。

増設 G3 ユニットを装着しているとき：回線の種類が「G3-1」「G3-2」「G3-3」「G3 (空)」のいずれかで記載されます。

・インターネットファクス宛先の場合

「Mail」のあとに、中継局（本機）のアドレス帳に登録されている名称が記載されます。

4 原稿枚数

中継依頼局から中継を依頼されて、受信した原稿の枚数です。

5 料金

G4 または I-G3 を使った送信の通信料金が記載されます。

記載されるのは、G4 ユニットを装着しているときです。ただし、通信料金が 64999 円を超えると「*****円」と記載されます。

海外に送信したときは料金が計算されないことがあります。

6 結果

送信の結果が記載されます。

- OK

全ページ正しく送信できました。

- エラー

正しく送信できませんでした。「エラー」のあとにエラーの内容（送信できなかった理由）を示す番号が記載されます。自動リダイヤルの機能によりダイヤルを繰り返したときは、ダイヤルごとの理由を順に記載します。

エラー 1) 通信中断：ファクスの不具合や電話回線に雑音が入ったため、通信が途中で中断されました。

エラー 2) 話し中：相手先が話し中でした。

エラー 3) 応答なし：呼び出しましたが、相手先が電話にでませんでした。

エラー 4) 相手先がファクシミリでない：相手先が電話にはでしたが、ファクシミリではありませんでした。電話などが接続されている可能性があります。この場合は 2 回でダイヤルを中止します。

エラー 5) メールサイズオーバー：本機に設定してある上限のメールサイズを超えたため、インターネットファクス送信が中断されました。

- 未登録宛先

受信局が登録されていないため、正しく送信できませんでした。

- 未送信

受信局の中に未登録宛先があったため、送信できませんでした。

- 無効宛先

登録されている宛先数が最大値を超えているグループを指定した場合、またはファクス番号が正しくない場合に記載されます。

グループを指定しているときはアドレス帳で件数を確認してください。

文書は送信されていませんので、送り直してください。

- --

本機に登録されているメールサーバーまでインターネットファクス送信されました（相手先までメールが到達したことを示すものではありません）。

7 送れなかったページ

結果が「エラー」のとき、送信していないページ数を記載します。

補足

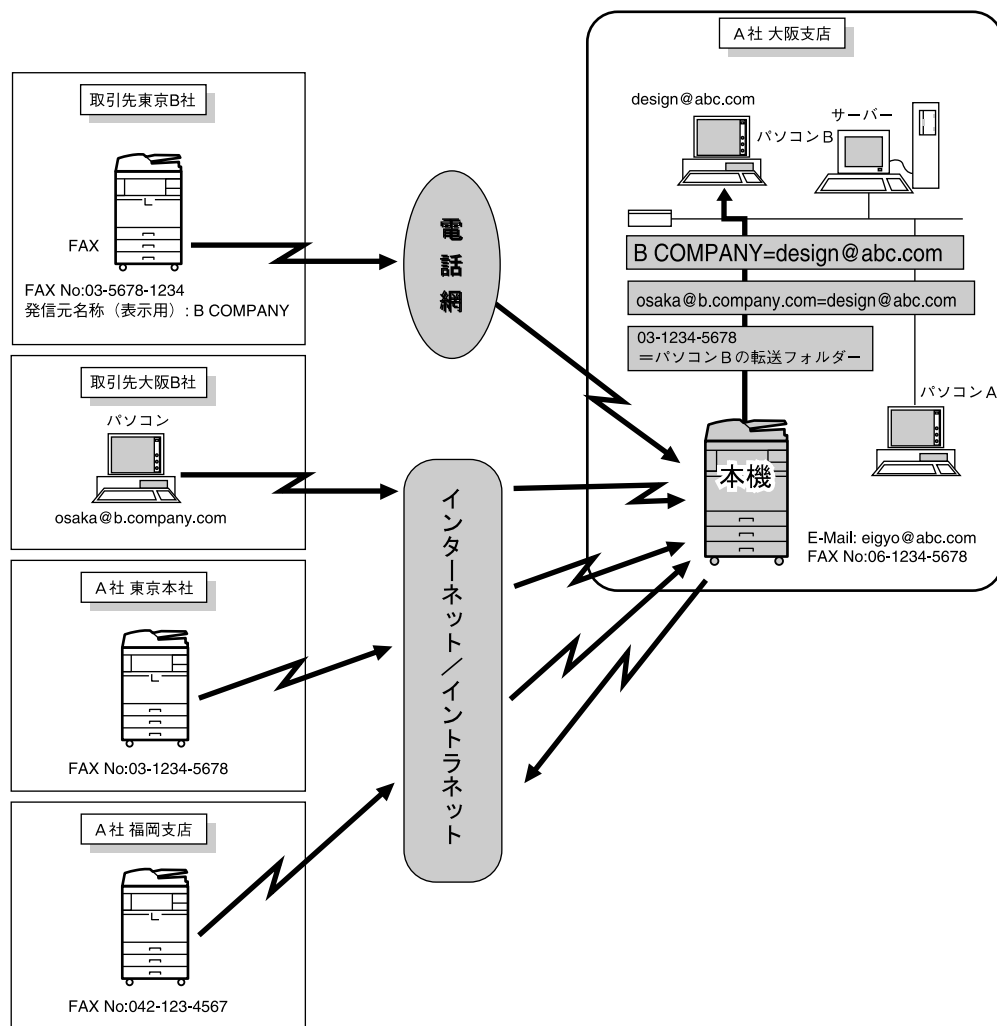
- F コード中継結果レポートを自動的に印刷するかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 04 ビット 1）で設定できます。工場出荷時は「ON（印刷する）」に設定されています。
- このレポートに画像（原稿の一部）を載せるかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 04 ビット 7）で設定できます。工場出荷時は「ON（画像を載せる）」に設定されています。
- 1 グループに登録できる最大宛先数については、「項目別最大値一覧」を参照してください。

参照

- P.326 「項目別最大値一覧」
- 『初期設定編』「ファクス初期設定」

受信文書の転送

本体に登録されているメモリー転送先に受信した文書を転送します。



ALU017D

★ 重要

- ・メモリー転送先の登録が必要です。メモリー転送は、「ファクス初期設定」の「受信設定」で設定できます。

↓ 補足

- ・メモリー転送先にはファクス、インターネットファクスおよびフォルダーが設定できます。
- ・メモリー転送先にメールアドレスが登録されていれば、受信文書を電子メール形式でメモリー転送先に転送します。
- ・相手先によって転送先を変えたいときは、「ファクス初期設定」の「受信設定」の「特定相手先設定」で相手先ごとに転送先を設定します。設定しない相手先から受信した文書は、この機能で設定した転送先に転送されます。

- ・転送された文書を本機で印刷するかどうかを「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 11 ビット 6）で設定できます。工場出荷時は「印刷する」に設定されています。
- ・メモリー転送または相手先別メモリー転送の宛先にフォルダーが登録されているとき、指定したメールアドレスに転送結果をメールで通知できます。設定方法は『初期設定編』「ファクス初期設定」を参照してください。
- ・グループでまとめて指定できる最大宛先数については、「項目別最大値一覧」を参照してください。

参照

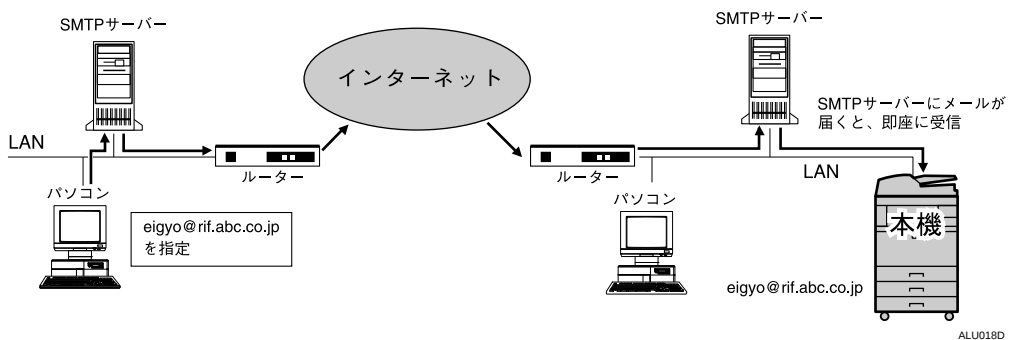
- ・P.326 「項目別最大値一覧」
- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

3

インターネットファクスの SMTP 受信について

インターネットファクスで送られてきた文書を SMTP 受信します。

SMTP 受信のときは、本機に設定したメールアドレスにメールが送られると、即座に受信します。



★重要

- ・あらかじめ、DNS サーバーの MX レコードで本機が SMTP 受信するように設定してください。
- ・「システム初期設定」で受信プロトコルを SMTP に設定します。

↓補足

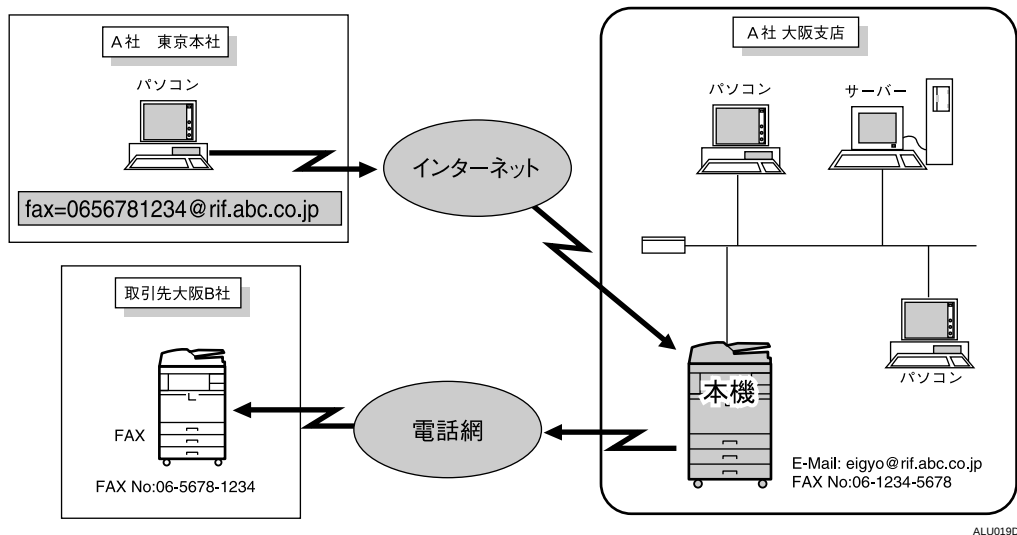
- ・受信したメールを他のファクスへ配信することもできます。
- ・DNS サーバーで SMTP 受信できるように設定されていても、「システム初期設定」で受信プロトコルが SMTP に設定されていないときは、SMTP サーバーからメールが送信されても受信は行わずにエラーを応答します。また SMTP サーバーから送信元へエラーメールが送信されます。
- ・受信したメールにエラーがあったときは受信を中断し、メールを破棄してエラーレポートを出力します。また SMTP サーバーから送信元へエラーメールが送信されます。
- ・本機のメール送信処理中に SMTP サーバーからの受信があった場合、SMTP サーバーへはビジーで応答します。通常、SMTP サーバーは設定されたタイムアウトの時間になるまで再送を試みます。

E 参照

- ・P.160 「メールの自動受信」
- ・『初期設定編』「システム初期設定」

SMTP 受信したメールの配信

SMTP 受信によって受信したメールを、他のファクスへ配信します。



★ 重要

- ・SMTP 受信したメールを配信するときは、あらかじめ「ファクス初期設定」の「SMTP 受信ファイル配信設定」を「する」に設定します。工場出荷時は「しない」に設定されています。
 - ・セキュリティの設定によっては、この機能は使用できません。
- 本機に送信されたメールを他のファクスへ配信させるには、送信側は次のようにメールアドレスを指定します。

◆ ファクス番号

fax= 配信先のファクス番号 @ 本機のホスト名・ドメイン名

例) ファクス番号「0312345678」へ配信する

fax=0312345678@rif.abc.co.jp

◆ 本機のアドレス帳に登録されているファクス宛先

fax=#5桁以下の登録番号 @ 本機のホスト名・ドメイン名

例) 登録番号 00001 の相手先へ配信する

fax=#00001@rif.abc.co.jp

◆ 本機のアドレス帳に登録されているグループ

fax=#*#5桁以下の登録番号 @ 本機のホスト名・ドメイン名

例) 登録番号 00004 のグループへ配信する

fax=#*#00004@rif.abc.co.jp

↓ 補足

- ・本機のアドレス帳に登録されているファクス宛先、グループへ配信することもできます。
- ・「ファクス初期設定」で SMTP 受信した文書の配信を「しない」に設定しているときに、配信を指定したメールを受信すると、SMTP サーバーに対してエラー応答します。
- ・設定した送信元からのメールだけを配信するように設定できます。
- ・本機の配信機能を使用して、メールソフトからメールアドレスと G3/G4 ファクスの宛先に同時に送信できます。
- ・グループでまとめて指定できる最大宛先数については、「項目別最大値一覧」を参照してください。

E 参照

- ・P326 「項目別最大値一覧」
- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

3

JBIG 受信

圧縮率の高い JBIG (Joint Bi-level image experts Group) を使うと、「写真原稿」で読み取った原稿でも速く送信できます。JBIG 受信機能を使うと、JBIG 送信で送信された文書を受信できます。

この機能は、標準で設定されている機能です。

★ 重要

- ・回線が G4 のときには使えません。
- ・G3-1 回線を使ったメモリー受信時は JBIG 受信できません。

自動電源受信機能

本機は、[電源] キーのランプが消灯しているときでも主電源スイッチが「On」になっているスリープモード時であれば、文書を受信して印刷します。

夜間や休日などの不在時、主電源スイッチは「On」のまま、[電源] キーを押して電源を切っておくと電気代を節約できます。

★ 重要

- ・[電源] キーと主電源スイッチの両方を「Off」にしているときは、受信できません。

↓ 補足

- ・スリープモード時に受信した文書をいつ印刷するか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 14 ビット 0) で設定できます。工場出荷時は「ON (すぐに印刷する)」に設定されています。
- ・メモリーで受信 (代行受信) し、電源を入れたあとまとめて印刷するように設定することもできます。

E 参照

- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

出力するときの機能

受信した文書を出力するときに使うと便利な機能について説明します。

印刷終了ブザー

受信文書の印刷終了時にブザーを鳴らして知らせます。離れたところからでも受信したことがわかります。

↓ 補足

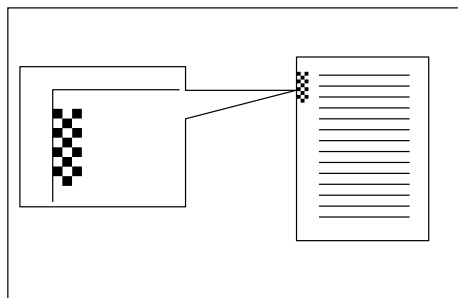
- ・ブザーの音量を「ファクス初期設定」の「音量調節」で調節できます。鳴らしたくないときは最小に設定します。

📖 参照

- ・『こんなときには』「ファクス機能がうまく使えないとき」

しおり印字機能

受信紙の 1 枚目に、しおりのマークを印字します。複数の文書を受信したときなど文書の区切りがわかり便利です。



↓ 補足

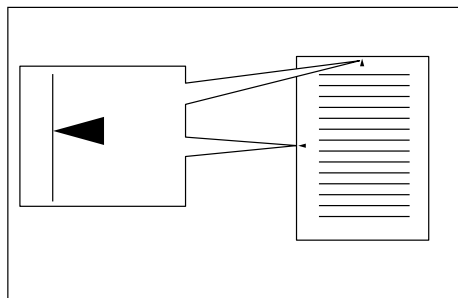
- ・しおり印字機能を使用するかどうか「ファクス初期設定」の「しおり印字」で設定できます。工場出荷時は「する」に設定されています。

📖 参照

- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

センターマーク印字

受信した文書、リストおよびレポートの左端と上端の中央にマークを印字します。
ファイリングなどのためにパンチ穴を開けるときの目印になります。



補足

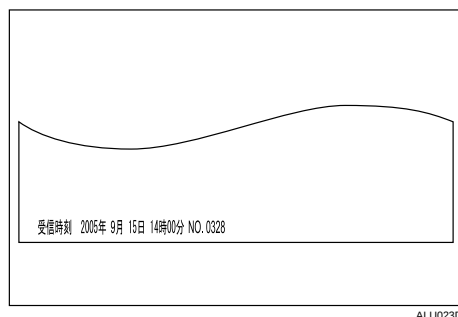
- ・センターマーク印字するかしないか「ファクス初期設定」の「センターマーク印字」で設定できます。工場出荷時は「する」に設定されています。
- ・左端のセンターマークはセンター位置から多少ずれることがあります。

参照

- ・『初期設定編』『ファクス初期設定』

受信時刻印字

受信紙の下の部分に、受信した日付、時刻、文書番号を印字します。



補足

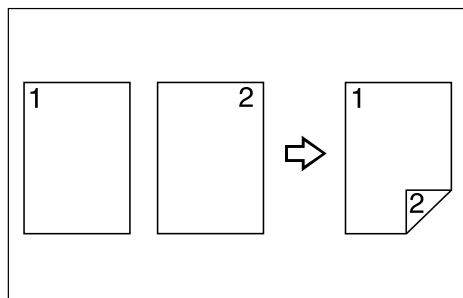
- ・受信時刻印字は「ファクス初期設定」の「受信時刻印字」で設定できます。工場出荷時は「しない」に設定されています。
- ・記録分割したページは、最後の用紙にだけ印字されます。
- ・印刷した時刻もあわせて印刷するように設定することもできます。サービス実施店に連絡してください。

参照

- ・『初期設定編』『ファクス初期設定』

両面印刷

受信文書を用紙の両面に印刷します。また、本機に蓄積されている送信待機文書、蓄積文書を用紙の両面に印刷します。



★重要

- ・この機能を利用するためには両面ユニットが必要です。
- ・この機能を使用する場合は、受信文書がすべてのページが同じサイズになるように、相手先に送信してもらう必要があります。また、相手先が送信してきた原稿と同じサイズの用紙を本機にセットしておく必要があります。(A4 → A4、B4 → B4 などが一般的な例です。B5・A3 サイズは、ファクスによっては正しいサイズで読み取れないことがあります。) 本機では A3□、B4□、A4□□、B5□□、A5□が正しいサイズで読み取れます。送受信とも本機を使用した場合は次のとおりです。

	原 稿	上とじ	左とじ
A 5			
A 4 ・ B 5			
A 3 ・ B 4			

AUD016D

- ・ A2、B3、A3□、B4□の用紙には両面印刷できません。
- ・ 相手のファクスが原稿サイズを正しく読み取れずに送信してきたときや、相手先の原稿サイズとこちらの用紙サイズが一致しないときは、分割・縮小されたり、余白ができることがあります。(例：相手のファクスが B5 サイズの原稿を検知できず、B4 サイズとして送信してきたときは、こちら側に B5 サイズの用紙がセットされていても、B4 の用紙に印刷されます。)
- ・ この機能が有効になるのは、受信文書の縦の長さがすべてのページを通して同じで、すべてのページをメモリーで受信できたときだけです。

↓ 補足

- ・ 両面印刷時のとじ方向（左とじ、上とじ）は、工場出荷時は「左とじ」に設定されています。設定を変更するときは最寄りのサービス実施店に連絡してください。
- ・ 両面印刷は「ファクス初期設定」の「両面印刷」で設定できます。工場出荷時は「しない」に設定されています。「する」に設定すると本機はメモリー受信ようになります。
- ・ 受信する原稿の向きによっては、原稿の表と裏の天地が逆になります。
- ・ 特定の相手先から受信した文書だけを両面印刷するように設定することもできます。
- ・ 蓄積文書を印刷するときは、同じサイズの文書ごとに両面印刷します。文書によっては片面にだけ印刷されます。

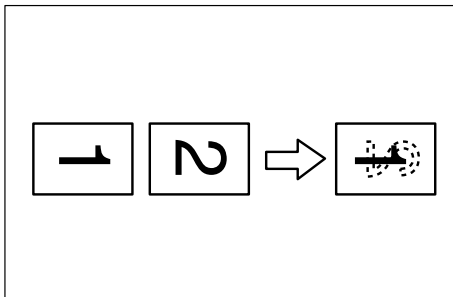
📖 参照

- ・ 『初期設定編』「ファクス初期設定」

180° 回転印刷

両面印刷時に表面 / 裏面の天地をそろえるために、裏面が 180° もしくは 270° 回転し、印刷されます。

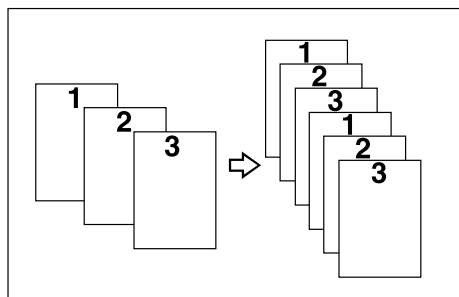
この機能は、標準で設定されている機能です。



受信文書印刷部数設定

受信文書を設定した部数だけ印刷します。

特定の相手先（特定相手先）からの受信文書だけを設定した部数印刷するなど、送信してきた相手先によって印刷部数を区別することもできます。



補足

- ・設定できる部数は1部から10部、特定相手先を指定したときも1部から10部です。
- ・この機能を使用するかどうかを「ファクス初期設定」の「受信文書印刷部数」で設定できます。工場出荷時は「1部」に設定されています。部数を変更すると、本機はメモリー受信するようになります。

参照

- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

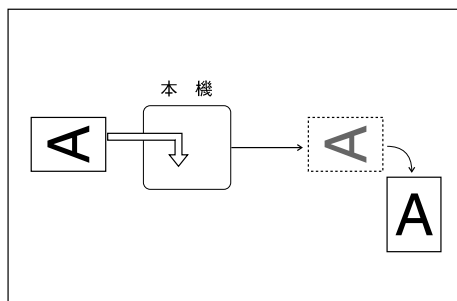
回転レシーブ

給紙トレイにセットされている用紙と同じサイズで向きだけが違う文書を受信したとき、自動的に画像を右回りに90°回転して印刷します。

この機能は、標準で設定されている機能です。

重要

- ・A2、B3の文書は回転レシーブしません。



補足

- ・「ファクス初期設定」の「給紙トレイ選択」で、給紙トレイを設定しているときは、そのトレイの用紙が選択されます。

 参照

- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

大サイズ原稿を等倍受信する

相手先が A2/B3 サイズに対応しているファクスをお使いの場合、相手先から送信された A2/B3 サイズの文書を等倍受信することができます。

等倍受信するかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 09 ビット 0）で設定できます。工場出荷時は「ON（大サイズ等倍受信する）」に設定されています。

 補足

- ・相手先が A2/B3 サイズの等倍送信ができるファクスをお使いの場合、本機で A2/B3 サイズ原稿を等倍受信することができます。
- ・「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 09 ビット 0）で、大サイズ等倍受信をするように設定している場合、A2/B3 サイズの受信文書は A2/B3 の用紙だけに印刷します。A2/B3 の用紙がないときに、A2/B3 以外の用紙がセットされていても、それらの用紙には印刷されません。
- ・「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 09 ビット 0）で、大サイズ等倍受信をしないように設定している場合、A2/B3 サイズの受信文書は A2/B3 以外の用紙に印刷します。A2/B3 の用紙がセットされていても A2/B3 の用紙には印刷されません。

 参照

- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

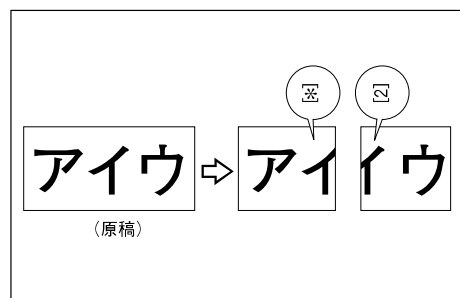
記録分割・縮小

セットしてある用紙より長い文書を受信したとき、1 ページを複数枚に分割したり、長さを縮小して 1 枚に印刷したりします。

この機能は、標準で設定されている機能です。

★重要

- ・ A2、B3 の用紙には記録分割・縮小しません。



分割と縮小の目安として、印刷する文書の長さが用紙に比べ約 20mm より長いときは分割し、それ以内のときは縮小して 1 枚に印刷します。

分割したときは分割位置に分割マーク（✱）を印字し、分割した部分を約 10mm 重ねて印刷します。

↓補足

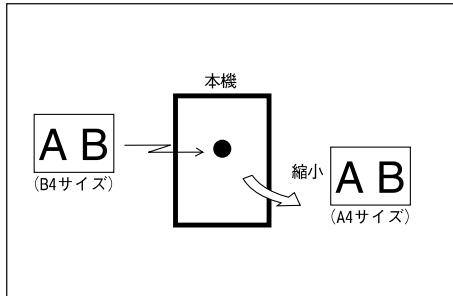
- ・ 以下の設定を変更できます。サービス実施店に連絡してください。（ ）内は工場出荷時の設定です。
 - ・ 縮小するかどうか（縮小する）
 - ・ 分割マークを印字するかどうか（印字する）
 - ・ 重ねて記録するかどうか（記録する）
 - ・ 分割した部分を何 mm 重ねて記録するか（10mm）
4mm、10mm、15mm の中から選択できます。
 - ・ 分割の目安（原稿の長さが用紙の長さより 20mm 長いとき）
5mm から 155mm の範囲で 5mm 単位で変更できます。

受信側縮小

通常は 2 枚に分割して印刷される文書を 1 枚の用紙に縮小して印刷します。

★重要

- 受信側縮小を「ON」にしても、A2、B3 の文書は受信側縮小しません。



次の場合に使用できます。

- A4□と B5□の用紙をセットしている場合に、B4□の文書を受信したときは、A4□1 枚に縮小して印刷します。
- B4□と A4□の用紙をセットしている場合に、A3□の文書を受信したときは、B4□1 枚に縮小して印刷します。

↓補足

- 受信側縮小は「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 10 ビット 3) で設定できます。工場出荷時は「OFF (縮小しない)」に設定されています。
- この機能を使用したときは、通常より印刷の品質が落ちることがあります。

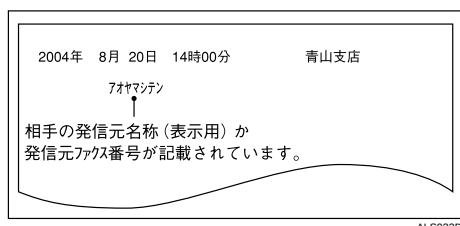
E 参照

- P.178 「記録分割・縮小」
- 『初期設定編』「ファクス初期設定」

送信側情報印字

G3 回線で受信したときに、相手先に登録してある発信元名称（表示用）または発信元ファクス番号を受信紙に印字します。

インターネットファクスを受信したときは、送信元のメールアドレスを印字します。相手先が発信元名称（印字用）を印字しないように設定して送信しても、どこから送られてきたかわかります。



補足

- ・送信側情報印字は「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 02 ビット 3）で設定できます。工場出荷時は「OFF（印字しない）」に設定されています。

参照

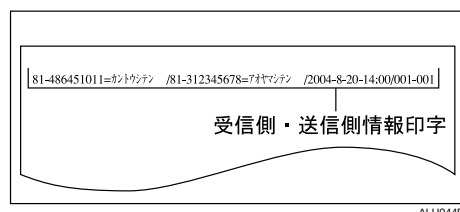
- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

受信側・送信側情報印字

G4 回線で受信したとき、受信した文書の全ページに、受信側（本機）の自局番号と自局名称、送信側の自局番号と自局名称、通信日時とページ番号を印字します。相手先の名称も印字されます。

重要

- ・この機能を利用するためには G4 ユニットが必要です。



補足

- ・受信側・送信側情報印字は「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 02 ビット 5）で設定できます。工場出荷時は「ON（印字する）」に設定されています。

参照

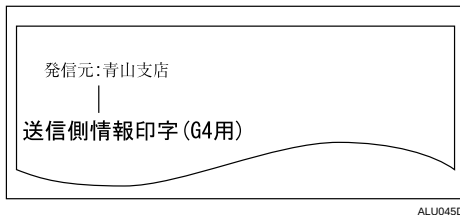
- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

送信側情報印字（G4 用）

G4 回線で受信したときに、相手先に登録してある発信元名称（印字用）を受信紙に印字します。

★ 重要

- ・この機能を利用するためには G4 ユニットが必要です。



↓ 補足

- ・送信側情報印字（G4 用）は「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 02 ビット 6）で設定できます。工場出荷時は「ON（印字する）」に設定されています。

目 参照

- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

同じサイズの下紙がないとき

受信した文書のサイズに合わせて、次の順位で用紙が選択されます。
この機能は、標準で設定されている機能です。

◆ 表の見かた

B4□と A5□の用紙がセットされているときに、A4□の原稿を受信したことを例に説明します。受信原稿 A4□の欄を上から順に調べます。セットされている用紙の中で最も優先順位の高い用紙に印刷されます。

この場合は B4□の方が A5□より優先順位が高いため、B4□に印刷されます。

◆ 優先順位表

受信 サイズ	A5 	B5 	A4 	A4 	B4 	B4 	A3 	A3 	B3 	A2
1	A5 	B5 	A4 	A4 	B4 	B4 	A3 	A3 	B3 	A2
2	A4 	B5 (回転) 	A4 (回転) 	A4 (回転) 	B4 (回転) 	B4 (回転) 	A3 (回転) 	A3 (回転) 	A2 	
3	A4 (回転) 	B4 	A3 	A3 	B3 	A3 	A2 	A4 		
4	B5 	B4 (回転) 	A3 (回転) 	A3 (回転) 	A3 	A3 (回転) 	B3 (回転) 	A4 (回転) 		
5	B5 (回転) 	A4 	B4 	B4 	A3 (回転) 	B5 		B4 		
6	A3 	A4 (回転) 	B4 (回転) 	B4 (回転) 	A2 	B5 (回転) 		B4 (回転) 		
7	A3 (回転) 	A3 		A5 		A4 				
8	B4 	A3 (回転) 		B5 		A4 (回転) 				
9	B4 (回転) 			B5 (回転) 						

AUD006D

- ・ B5□の用紙しかセットされていないときに A3□の文書を受信すると、代行受信したまま文書が印刷されません。
- ・ □□、□□は複数枚に記録分割して印刷します。
- ・ 表中に（回転）と書かれている用紙のときは、回転レシーブ機能により 90° 回転して印刷します。

★ 重要

- ・ A2/B3 サイズの用紙しかセットされていない場合、A2/B3 サイズ以外の文書は代行受信します。

↓ 補足

- ・ 手差しトレイの用紙は選択されません。ただし、「特定相手先設定」で、給紙トレイを手差しトレイに設定しているときは手差しトレイの用紙が選択されます。
- ・ ファクスで受信できる原稿の縦の長さは、210mm（A4□）、257mm（B4□）、297mm（A3□）、364mm（B3□）、420mm（A2□）の 5 種類に限られています。縦の長さが 210mm より狭い原稿はすべて 210mm として受信します。横の長さは原稿に応じて受信します。
- ・ 受信サイズは相手先が送った原稿サイズと異なることがあります。

E 参照

- ・ P.151 「A2/B3 サイズの用紙しかセットされていないときに代行受信する」
- ・ P.176 「回転レシーブ」
- ・ P.178 「記録分割・縮小」
- ・ P.179 「受信側縮小」
- ・ 『初期設定編』「ファクス初期設定」

給紙トレイ優先設定

複数のトレイに同じサイズの下紙をセットしているとき、優先的に給紙するトレイを設定します。

たとえば、トレイ 1 に A4 の白い下紙、トレイ 2 に A4 の黄色い下紙をセットし、ファクスはトレイ 2 から優先的に給紙するように、コピーはトレイ 1 から優先的に給紙するように設定します。A4 サイズの文書をファクスで受信したときは黄色の下紙に、A4 サイズのコピーをしたときは、白い下紙に印刷するので、ひと目で区別できます。優先的に給紙するトレイは「システム初期設定」の「給紙トレイ優先設定：ファクス」で設定します。

↓ 補足

- ・優先設定した給紙トレイと違うサイズの文書を受信したときは、受信したサイズの給紙トレイから給紙します。

目 参照

- ・『初期設定編』「システム初期設定」

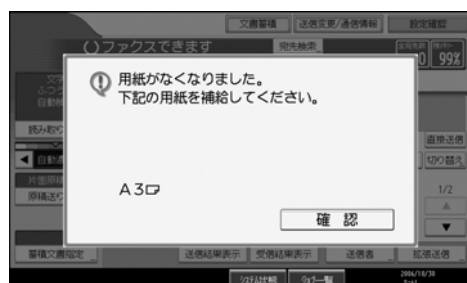
3

最適なサイズの下紙に印刷する

受信した文書を優先順位 1 位の下紙に限定して印刷します。

この機能は「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 05 ビット 5) で設定できます。工場出荷時は、「しない」に設定されています。

最適なサイズの下紙がトレイにないときは、「下紙がなくなりました。」と表示します。給紙トレイに適切なサイズの下紙を補給してから、[確認] を押してください。



↓ 補足

- ・「下紙がなくなりました。」のメッセージが表示されたとき、[確認] を押した後の動作は状況によって異なります。
 - ・受信文書やレポートが自動的に印刷されていたときは、印刷が中止されたところから、自動で印刷を再開します。
 - ・文書やレポート・リストを手動で印刷していたときは、印刷は再開されません。最初から操作し直してください。

目 参照

- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

手差しトレイの用紙に受信・印刷する

特定の相手先から受信した文書だけを、手差しトレイにセットした用紙に印刷します。
「ファクス初期設定」の「特定相手先設定」で、次のように設定してください。

- ・受信したい特定相手先を登録し、給紙トレイの設定を「手差しトレイ」にする。
- ・「機能設定」の「相手先別受信機能」を「使用する」にする。

↓ 補足

- ・手差しトレイには、普通紙で最大 50 枚までセットできます。
- ・手差しトレイには、給紙トレイにセットされていないサイズの用紙を使用できます。
- ・手差しトレイで自動検知できる用紙サイズは A2□、B3□、A3、B4、A4、B5、A5、B6 です。それ以外の用紙を手差しトレイにセットするときは、サイズを指定します。ただし、指定した用紙とセットした用紙のサイズが異なると、用紙がつまったり画像が欠けたりすることがあります。
- ・A4 よりも小さい用紙に受信させると、画像が欠けたり分割されたりすることがあります。
- ・594mm 以上の紙を使用すると、しわがでたり、用紙が送られなかったり、紙づまりをおこす原因となることがあります。
- ・FAX メモリーの有無、解像度、原稿サイズ（縦の長さ）により、印刷される領域は、横の長さが 128mm から 594mm です。
- ・この機能を使うときは、回転レシーブ、180° 回転印刷機能は使用できません。

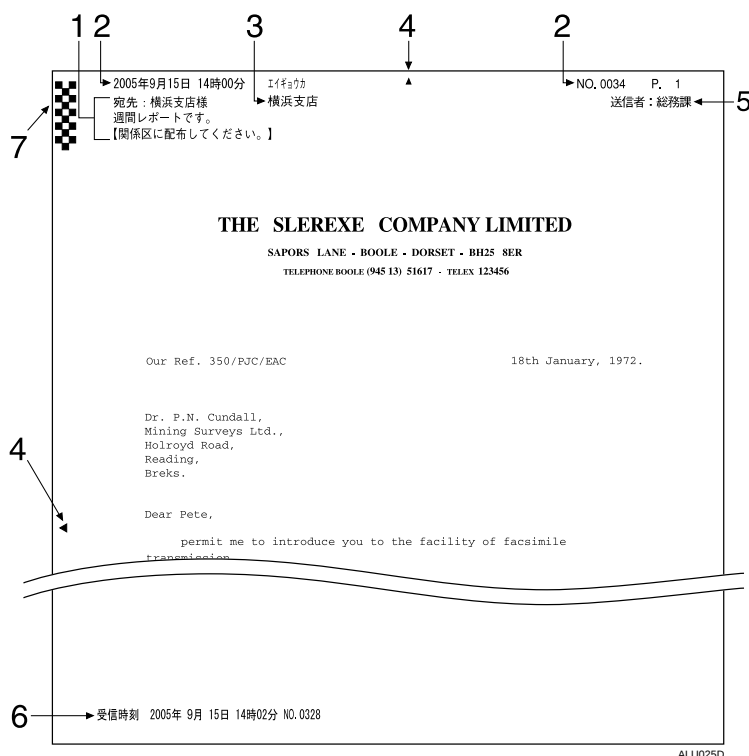
📖 参照

- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

受信紙に印字される機能

受信紙に印字される名称やマークは、送信側の設定によるものと、受信側の設定によるものの2種類があります。

加入電話回線を使った通信のときの例です。



- 1 宛名差し込み (送信側の設定)
- 2 発信元名称印字 (送信側の設定)
- 3 送信側情報印字 (受信側の設定)
- 4 センターマーク印字 (受信側の設定)
- 5 送信者名印字 (送信側の設定)
- 6 受信時刻印字 (受信側の設定)
- 7 しおり印字 (受信側の設定)

参照

- P.100 「送信者を設定する」
- P.137 「オプションを設定する」
- P.172 「しおり印字機能」
- P.173 「センターマーク印字」
- P.173 「受信時刻印字」
- P.180 「送信側情報印字」

受信紙の排出先について

受信した文書の仕分けを簡単にするために、排出先のトレイや排紙位置を設定します。

回線別排紙先設定

回線ごとに文書の排紙先を設定します。

電話回線およびインターネットファクスの回線ごとに文書を排出させるトレイを設定できます。たとえば G3 回線で受信した文書は「本体トレイ」に、G4 回線で受信した文書は「上トレイ」に排出されるように設定しておく、文書の仕分けが簡単になります。同様に、インターネットファクス受信した文書と通常のファクス受信の文書とで別々のトレイに排出されるよう設定しておくこともできます。

★ 重要

- ・増設 G3 回線および G4 回線を使用するには、増設 G3 ユニットまたは G4 ユニットが必要です。

↓ 補足

- ・この機能を使用するときは、「ファクス初期設定」の「回線別排紙先設定」で回線と排紙先を設定します。

📖 参照

- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

排紙位置シフト機能

文書ごとに受信紙の排紙位置をずらして、仕分けをしやすくします。

ファクスの受信紙をフィニッシャーに排出するように設定していると、排紙位置シフト機能が使えます。

受信文書やレポートを印刷するとき、文書ごとに手前と奥に振り分けて印刷します。たとえば、先に受信した文書を手前に排出していると、次の受信文書は奥に排出されます。文書単位で振り分けるので、トレイにたまった文書を仕分けるときに便利です。

★ 重要

- ・この機能を利用するためにはフィニッシャーが必要です。
- ・A3Dを超える受信紙をフィニッシャーに排紙することはできません。

↓ 補足

- ・排紙位置シフト機能を使うかどうかは「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 19 ビット 0）で設定できます。工場出荷時は「ON（使う）」に設定されています。

📖 参照

- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

4. 通信情報の変更 / 確認をする

[送信変更 / 通信情報] の機能を説明します。通信情報を画面やレポートで確認できます。

送信待機中文書の設定を変更する

[スタート] キーを押して原稿を読み取ったあとに、宛先や条件を確認・変更または取り消す方法を説明します。待機中の文書や待機中文書のリストを印刷することもできます。

↓ 補足

- ・[送信文書確認／中止] を押すと画面に「送信文書はありません。」と表示されるときは、メモリー送信中または待機中の文書はありません。
- ・状態が「送信中」の文書およびレポート印刷の待機中の文書は確認 / 変更できません。
- ・セキュリティの設定によっては、宛先が✳で表示され、選択できない場合があります。

4

同報送信した宛先の一部を消去する

同報送信として複数設定していた相手先の一部を消去します。

★ 重要

- ・宛先を 1 件しか設定していないときに、宛先を消去すると、送信そのものが取り消されます。

1 [送信変更 / 通信情報] を押します。

先履歴	回線選択	拡張宛先	トップ	ホーム	オフライン	直接送信		
さ	た	な	は	ま	や	ら	わ	切り替え
[00003] G3 企画課	[00004] G3 鹿児島事業所	[00005] G3 札幌事業所	[00006] G3 沼津ショールーム				1/2	

2 [送信文書確認／中止] を押します。

送信文書変更／通信情報

機能を選択してください。

送信文書確認／中止 ...

送信結果表示

受信結果表示

Fコー

3 相手先を取り消す文書を押します。

4

送信文書確認／中止

送信内容を変更、または中止する文書を選択してください。

全文書 送信中文書

読み取り日時	宛先	件数	原稿
10/30 10:08	横浜事業所	4	1
10/30 10:07	赤坂支店	1	1
10/30 10:07	abc@defcompany.com	1	1
10/30 10:05	鹿児島事業所	1	1

4 [内容確認／変更] を押します。

件数 原稿 番号 状態

4	1	0055	待機中
1	1	0054	待機中
1	1	0053	待機中
1	1	0051	待機中
1	1	0050	待機中

内容確認／変更 ...

文書印刷

送信中止

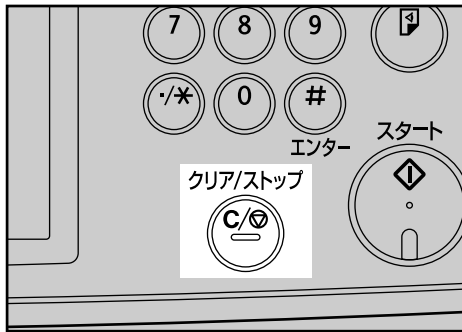
5 取り消す相手先の [変更] を押します。

全宛先数: 4件

宛先追加

事業所	変更 ...
0.10	
ンゼルス支局	変更 ...
5670	
課	変更 ...
570	
支店	変更 ...
578	

6 [クリア/ストップ] キーを押して相手先を消去し、[OK] を押します。



ファクス宛先の場合、[クリア/ストップ] キーを押すと1桁ずつ消去されます。インターネットファクス宛先の場合は、[クリア/ストップ] キーを押すとその宛先が1度で消去されます。

7 [閉じる] を押します。

続けて相手先を消去するときは、手順 **3** から操作します。

8 [閉じる] を2回押します。

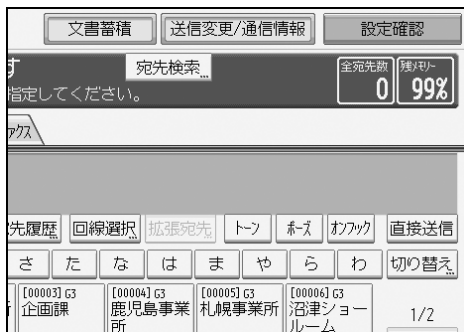
待機中の画面に戻ります。

4

宛先を追加する

同報送信する相手先を追加します。

1 [送信変更/通信情報] を押します。



2 [送信文書確認／中止] を押します。

送信文書変更／通信情報

機能を選択してください。

送信文書確認／中止 ...

送信結果表示

受信結果表示

Fコー

3 相手先を追加する文書を押します。

4

送信文書確認／中止

送信内容を変更、または中止する文書を選択してください。

全文書 送信中文書

読み取り日時	宛先	件数	原稿
10/30 10:08	横浜事業所	4	1
10/30 10:07	赤坂支店	1	1
10/30 10:07	abc@defcompany.com	1	1
10/30 10:05	鹿児島事業所	1	1

4 [内容確認／変更] を押します。

件数 原稿 番号 状態

4	1	0055	待機中
1	1	0054	待機中
1	1	0053	待機中
1	1	0051	待機中
1	1	0050	待機中

内容確認／変更 ...

文書印刷

送信中止

5 [宛先追加] を押します。

全宛先数:1件

変更 ... 宛先追加 ...

文書印刷

読み取り日時:
10/30 10:07

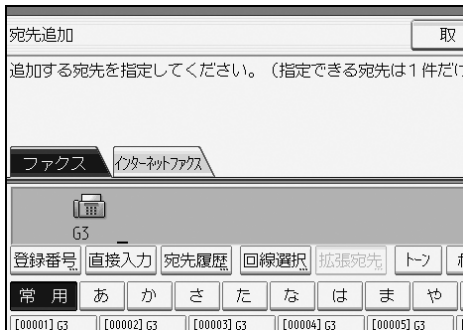
原稿枚数: 1

文書番号: 0054

送信指定時刻:
15:00

すぐに送信

- 6** 追加する相手先を操作部のテンキーまたは宛先キーで入力して、[OK] を押します。



同報送信の宛先にインターネットファクス宛先が含まれているときは、[ファクス] または [インターネットファクス] を押して、ファクス宛先とインターネットファクス宛先を切り替えられます。

追加する相手先がメールアドレスの場合は、[インターネットファクス] を押してインターネットファクス宛先に切り替え、宛先キーまたは [直接入力] を押して入力します。[拡張宛先] を押すと、F コードやサブアドレスなども登録できます。

- 7** [閉じる] を押します。

続けて相手先を追加するときは、手順 **3** から操作します。

- 8** [閉じる] を 2 回押します。

待機中の画面に戻ります。

4

送信時刻を変更する

時刻指定送信でメモリーに蓄積した文書の、指定時刻を変更します。

また、時刻指定そのものを取り消すこともできます。時刻指定を解除すると、解除後すぐに送信を開始します。

- 1** [送信変更 / 通信情報] を押します。



2 [送信文書確認／中止] を押します。

送信文書変更／通信情報

機能を選択してください。

送信文書確認／中止 ...	
送信結果表示	
受信結果表示	
	Fコー

3 送信時刻を変更／解除する文書を押します。

4

送信文書確認／中止

送信内容を変更、または中止する文書を選択してください。

全文書 送信中文書

読み取り日時	宛先	件数	原稿
10/30 10:08	横浜事業所	4	1
10/30 10:07	赤坂支店	1	1
10/30 10:07	abc@defcompany.com	1	1
10/30 10:05	鹿児島事業所	1	1

4 [内容確認／変更] を押します。

リスト印刷

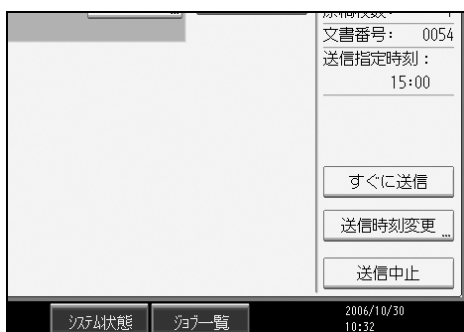
件数	原稿	番号	状態
4	1	0055	待機中
1	1	0054	待機中
1	1	0053	待機中
1	1	0051	待機中
1	1	0050	待機中

内容確認／変更 ...

文書印刷

送信中止

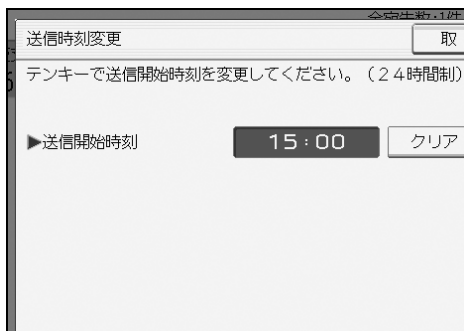
5 [送信時刻変更] を押します。



すぐに送信したいときは、[すぐに送信] を押します。ただし、送信中の文書がある場合には、その通信が終了してから送信されます。

6 [クリア] を押したあと、送信する時刻をテンキーで入力し、[OK] を押します。

4



7 [閉じる] を押します。

続けて送信時刻を変更するときは、手順 3 から操作します。

8 [閉じる] を 2 回押します。

待機中の画面に戻ります。

SMTP サーバー経由を変更する

インターネットファクス送信時に、SMTP サーバーを経由せずに送信するかどうかの設定を変更します。

1 「送信変更 / 通信情報」を押します。

2 「送信文書確認 / 中止」を押します。

3 SMTP サーバー経由を変更する文書を押します。

読み取り日時	宛先	件数	原稿
10/30 10:08	横浜事業所	4	1
10/30 10:07	赤坂支店	1	1
10/30 10:07	abc@defcompany.com	1	1
10/30 10:05	鹿児島事業所	1	1

4 [内容確認／変更] を押します。

件数	原稿	番号	状態
4	1	0055	待機中
1	1	0054	待機中
1	1	0053	待機中
1	1	0051	待機中
1	1	0050	待機中

Buttons: 内容確認／変更..., 文書印刷, 送信中止

5 [変更] を押します。

変更ができます。
company.com

全宛先数:1件

変更... 宛先追加

any.com

6 [SMTP 選択] を押します。

変更ができます
company.com

宛先変更

宛先の設定内容を変更できます。

To: abc@defcompany.com

宛先編集 SMTP選択...

7 [経由する] または [経由しない] を選択し、[OK] を押します。

any.com

SMTP選択

SMTPサーバーを経由しますか？

経由する 経由しない

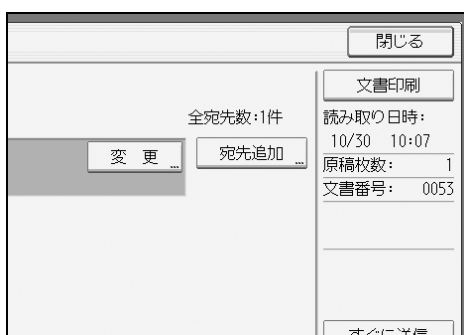
システム状態 ユーザー一覧

8 [OK] を押します。



9 [閉じる] を押します。

4



続けて SMTP サーバ経由を変更するときは、手順 **3** から操作します。

10 [閉じる] を 2 回押します。

待機中の画面に戻ります。

送信待機中の文書を印刷する

まだ送信されていない文を手動で印刷します。文書の内容を確認するときに便利です。

1 「送信変更 / 通信情報」を押します。

2 「送信文書確認 / 中止」を押します。

3 印刷する文書を押します。

複数の相手先を指定した文書には、未送信の相手先件数だけが宛先数に表示されます。すでに送信が完了した相手先は含まれません。

4 【文書印刷】を押します。

件数	原稿	番号	状態
4	1	0055	待機中
1	1	0054	待機中

Buttons: 内容確認/変更..., 文書印刷, 送信中止

両面印刷（両面ユニットが必要）をするときは【両面に印刷する】を押します。
印刷しないときは、【取消】を押します。手順 **4** の画面に戻ります。

4**5** 【スタート】キーを押します。

【スタート】キーを押したあとに印刷を中止するときは【印刷中止】を押します。手順 **4** の画面に戻ります。

続けて文書を印刷するときは、手順 **3** から操作します。

6 【閉じる】を2回押します。

待機中の画面に戻ります。

↓ 補足

- ・不達文書も印刷できます。

送信待機文書リストを印刷する

送信待機文書リストを印刷します。メモリーに蓄積されている文書を確認できます。

1 [送信変更 / 通信情報] を押します。

The screenshot shows a software interface with a top bar containing three buttons: '文書蓄積', '送信変更/通信情報', and '設定確認'. Below the bar is a search field labeled '宛先検索...' and a status display showing '全宛先数 0' and '残メモリ 99%'. A row of function buttons includes '先履歴', '回線選択', '拡張宛先', 'トフ', 'ホス', 'ワフク', and '直接送信'. Below these are character selection buttons 'さ', 'た', 'な', 'は', 'ま', 'や', 'ら', 'わ' and a '切り替え' button. At the bottom, there is a list of document entries with columns for ID, name, and status, and a '1/2' page indicator.

2 [送信文書確認 / 中止] を押します。

The screenshot shows a sub-menu titled '送信文書変更/通信情報'. It contains the instruction '機能を選択してください。' and three main buttons: '送信文書確認/中止', '送信結果表示', and '受信結果表示'. There are also several smaller buttons on the right side, including one labeled 'Fコー'.

3 [リスト印刷] を押します。

The screenshot shows a screen titled 'リスト印刷' with a '閉じる' button at the top right. Below the title is a 'リスト印刷' button. A table lists documents with columns for '件数', '原稿', '番号', and '状態'. To the right of the table are buttons for '内容確認/変更...', '文書印刷', and '送信中止'.

件数	原稿	番号	状態
4	1	0055	待機中
1	1	0054	待機中

印刷しないときは、[取消] を押します。手順 **3** の画面に戻ります。

4 [スタート] キーを押します。

印刷を中止するときは [印刷中止] を押します。手順 **3** の画面に戻ります。

5 [閉じる] を 2 回押します。

待機中の画面に戻ります。

補足

- ・蓄積されている文書の内容を印刷することもできます。
- ・ユーザー名称を表示するかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 04 ビット 5) で設定できます。工場出荷時は「ON (表示する)」に設定されています。

参照

- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

送信待機文書リスト

送信待機文書リストに印刷される内容を説明します。

4

*** 送信待機文書リスト (2005年 9月15日 14時00分) ***							P.1
							1) 青山支店 2) AOYAMA OFFICE
文書番号	受付時刻	送信条件	相手先	原稿枚数	結果	送っていないページ	
0001	10時10分	メモリー送信	G3-1: 新宿営業所 G3-2: 銀座営業所 G3-1: 千葉営業所	2枚	待機中 待機中 待機中	P. 1~2 P. 1~2 P. 1~2	2
0003	10時30分	蓄積文書送信 (蓄積文書) P.1~10: 会議資料	G3-1: 横浜営業所	10枚	待機中	P. 1~10	6
0005	11時25分	Fコード取り出し	G3-1: 0123456789 SEP: ××××	10枚	通信中	--	9
0035	12時45分	メモリー送信	G3-1: 0456345678 SUB: ××××	1枚	待機中	P. 1	8
0071	13時35分	メモリー送信 時刻指定 23時00分	Mail: abc@defcompany.com	1枚	待機中	P. 1	7

ALU020D

1 印刷日時

リストを印刷した日付と時間が記載されます。

2 発信元名称 (印字用) 登録内容

発信元名称 (印字用) に登録されている内容が記載されます。

3 文書番号

文書の管理番号です。

4 受付時刻

文書を受け付けた、つまりメモリーに蓄積した時刻です。

5 送信条件

通信の種類、ユーザー名称などが記載されます。

6 相手先

- ・ファクス宛先の場合

回線の種類のあとに、テンキーで入力したファクス番号またはアドレス帳に登録されている名称が記載されます。

G4 ユニットを装着しているとき：回線の種類が「G3」「I-G3」「G4」のいずれかで記載されます。

増設 G3 ユニットを装着しているとき：回線の種類が「G3-1」「G3-2」「G3-3」「G3 (空)」のいずれかで記載されます。

F コード (SEP/SUB/PWD/SID)、サブアドレスを登録しているとき：F コード (SEP/SUB/PWD/SID)、サブアドレスを印字します。

- ・インターネットファクス宛先の場合

「Mail」のあとに、直接入力したメールアドレスまたはアドレス帳に登録されている名称が記載されます。

7 原稿枚数

蓄積した原稿の枚数です。

8 結果

送信の結果が記載されます。

- ・OK

全ページ正しく送信できました。

- ・エラー

正しく送信できませんでした。

- ・--

本機に登録されているメールサーバーまでインターネットファクス送信されました (相手先までメールが到達したことを示すものではありません)。

- ・送信中

送信中です。

- ・通信中

受信中です。(F コード取り出しのときのみ)

- ・待機中

通信待機中です。

9 送っていないページ

メモリー送信のとき送っていないページが記載されます。999 枚を超えると「***枚」と記載されます。

不達文書を送り直す

メモリー送信できなかった文書は、ファクスのメモリー内に蓄積されています。その文書をもう一度送信します。

★重要

- ・「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 24 ビット 0）で「送信できなかった文書をメモリーに保持するかどうか」を「ON（保持する）」に設定しておきます。工場出荷時は「OFF（保持しない）」に設定されています。

1 「送信変更 / 通信情報」を押します。

The screenshot shows the main menu of the fax machine. At the top, there are three buttons: '文書蓄積' (Document Storage), '送信変更/通信情報' (Transmission Change/Communication Information), and '設定確認' (Setting Confirmation). Below these, there is a '宛先検索' (Destination Search) field and a display showing '全宛先' (All Destinations) with '0' and '99%'. A list of destinations is shown below, including '企画課' (Planning Dept), '鹿児島事業所' (Kagoshima Office), '札幌事業所' (Sapporo Office), and '沼津ショールーム' (Numazu Showroom). The bottom right shows '1/2' indicating the list continues.

2 「送信文書確認／中止」を押します。

The screenshot shows the '送信文書変更/通信情報' (Transmission Document Change/Communication Information) menu. It displays the text '機能を選択してください。' (Please select a function.). There are three main options listed: '送信文書確認／中止' (Transmission Document Confirmation/Cancel), '送信結果表示' (Transmission Result Display), and '受信結果表示' (Reception Result Display). The '送信文書確認／中止' option is highlighted with a light blue background. At the bottom right, there is a 'Fコード' (F Code) button.

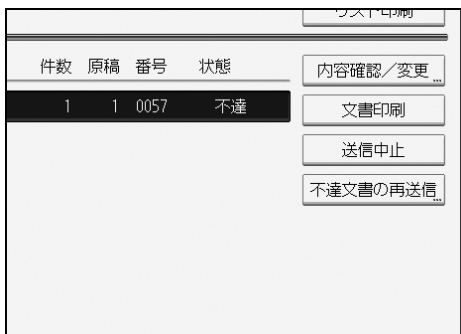
3 送り直す文書を押します。

送信できなかった文書は「不達」と表示されています。



複数の相手先を指定した文書には、最初に指定した相手先が表示されています。
 複数の相手先を指定した文書には、未送信の相手先件数だけが宛先数に表示されます。
 すでに送信が完了した相手先は含まれません。

4 [不達文書の再送信] を押します。



宛先を追加するときは、[宛先追加] を押して指定します。

5 [OK] を押します。

送信を開始します。

続けて不達文書を送り直すときは、手順 **3** から操作します。

送信しないときは[取消]を押します。手順 **4** の画面に戻ります。

6 [閉じる] を2回押します。

待機中の画面に戻ります。

補足

- 送信できなかった文書をメモリーに保持する時間を「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 24 ビット 1) で選択できます。工場出荷時は「24 時間」に設定されています。

参照

- 『初期設定編』「ファクス初期設定」

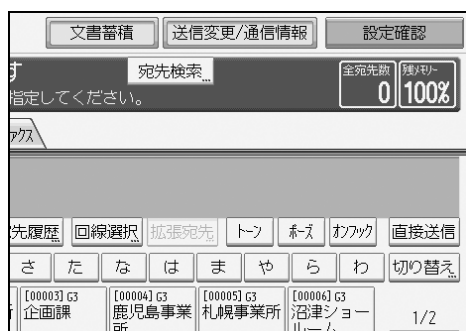
送信結果を確認する

送信の結果を画面上、レポート、またはメールにて確認します。

画面で確認する

本機から送信したファクスの送信結果を表示します。

1 [送信変更 / 通信情報] を押します。



2 [送信結果表示] を押します。

3 送信結果を確認します。



送信結果が新しい順に 9 通信分ずつ表示されます。

ファクスで送信したときの宛先には、発信元名称（表示用）または発信元ファクス番号が表示されます。インターネットファクスで送信したときの宛先には、入力したメールアドレスまたはアドレス帳に登録されている名称が表示されます。パソコンからファクス送信したときは、「--PC ファクス -->」と表示されます。セキュリティの設定によっては、宛先が*で表示される場合があります。

4 [閉じる] を 2 回押します。

待機中の画面に戻ります。

↓ 補足

- 最新の通信結果から送信結果だけを表示します。本機で確認できる通信結果の最大件数については、「項目別最大値一覧」を参照してください。
- Web Image Monitor から送信結果履歴を確認できます。詳しくは Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- 「送信結果表示」を表示している間に終了した送信の結果は表示されません。「送信結果表示」をいったん終了し、もう一度操作し直してください。
- 送信結果表示の操作をクイック操作キーに登録できます。工場出荷時はクイック操作キー 2 に登録されています。クイック操作キーを使うときは、手順 1 を省略できます。
- パソコンからファクス送信したときは、本機への通信結果として「--PC ファクス -->」と表示されます。相手先への送信結果は、同じ文書番号の送信結果を確認してください。

目 参照

- P.326 「項目別最大値一覧」
- 『初期設定編』「ファクス初期設定」

レポートで確認する

本機でレポートを印刷し、送信結果を確認できます。

◆ メモリー送信時

メモリー送信できなかった相手先があると、「不達レポート」が自動的に印刷されます。または送信結果にかかわらず 1 送信ごとに結果を確認したいときは「通信結果レポート」で確認します。

「通信結果レポート」は「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 03 ビット 0）を「印刷する」に設定すると、メモリー送信が終了するたびに自動的に印刷されます。工場出荷時は「印刷しない」に設定されています。

また、あらかじめ［送信結果レポート］をクイック操作キーに登録し、宛先を指定するときに［送信結果レポート］を選択して送信した場合も同様に「通信結果レポート」を出力します。

「通信結果レポート」を印刷する設定をすると、「不達レポート」は印刷されません。

◆ 直接送信時

「直接送信結果レポート」で確認します。

「直接送信結果レポート」は「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 03 ビット 5）を「印刷する」に設定すると、直接送信が終了するたびに自動的に印刷されます。工場出荷時は「印刷しない」に設定されています。

また、あらかじめ［送信結果レポート］をクイック操作キーに登録し、宛先を指定するときに［送信結果レポート］を選択して送信した場合も同様に「直接送信結果レポート」を出力します。

目 参照

- P.207 「通信結果レポート」
- P.209 「直接送信結果レポート」
- P.211 「不達レポート」
- 『初期設定編』「ファクス初期設定」

メールで確認する

「送信結果メール通知」機能で各種レポートの内容をメールで送信し、パソコン上で確認します。

送信されるレポートは以下のとおりです。

- ・通信結果レポート
- ・直接送信結果レポート
- ・Fコード取り出し結果

★重要

- ・あらかじめ、アドレス帳に通知先のメールアドレスを登録しておきます。

↓補足

- ・あらかじめ「送信結果メール通知」をクイック操作キーに登録しておく、通信終了後に送信結果をメールで通知するかどうか、ファクス送信時に設定できます。通知先はアドレス帳に登録されているインターネットファクス宛先の中から選択します。
- ・送信者設定機能を使って送信者を指定すると、登録してあるメールアドレスに送信結果をメールで通知します。送信者はアドレス帳に登録されているインターネットファクス宛先の中から選択します。
- ・パソコンからファクスを送信するときは、通信終了後に「PC ファクス結果通知メール」をパソコンへ送信するかどうか、PC FAX ドライバーで設定できます。

目 参照

- ・P100 「送信者を設定する」
- ・P110 「Fコード取り出し結果レポート」
- ・P207 「通信結果レポート」
- ・P209 「直接送信結果レポート」
- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」
- ・『初期設定編』「宛先・ユーザーを登録する」

レポートとメールで確認する

送信結果をメールで通知する「送信結果メール通知」機能と、メモリー送信の結果を本機から出力する「通信結果レポート」機能を併用して確認します。

「送信結果メール通知」と「通信結果レポート」の併用を「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 10 ビット 6）で設定できます。工場出荷時は「OFF（しない）」に設定されています。

目 参照

- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

通信結果レポート

メモリー送信が終わると印刷されます。メモリー送信の結果を確認できます。

The diagram shows a sample of a communication result report form. Numbered callouts point to the following elements:

- 1: Title bar area containing the report title and date/time.
- 2: Sender information (1) 青山支店, (2) AOYAMA OFFICE.
- 3: Document number (文書番号) 0161.
- 4: Transmission condition (送信条件) メモリー送信.
- 5: Recipient (相手先) G4: 神奈川工場.
- 6: Original document count (原稿枚数) 2枚.
- 7: Result (結果) エラー1).
- 8: Pages not sent (送れなかったページ).
- 9: Fee (料金) 10円.

Additional text on the form includes: "受信時刻は、2005年 3月15日 13時55分です。", "P.1", and a section for error details (エラーの内容) with codes like エラー1) 通信中断, エラー2) 話し中, etc. A note at the bottom states "結果欄に記載されるエラーの内容です。".

4

1 印刷日時

レポートを印刷した日付と時間が記載されます。

2 発信元名称（印字用）登録内容

発信元名称（印字用）に登録されている内容が記載されます。

3 文書番号

文書の管理番号です。

4 送信条件

「メモリー送信」「PC ファクス送信」「蓄積文書送信」のいずれかとユーザー名称などが記載されます。

「蓄積文書送信」のときは、文書の種類、ページ番号、文書名が記載されます。

5 相手先

・ファクス宛先の場合

回線の種類のあとに、テンキーで入力したファクス番号またはアドレス帳に登録されている名称が記載されます。

G4 ユニットを装着しているとき：回線の種類が「G3」「I-G3」「G4」のいずれかで記載されます。

増設 G3 ユニットを装着しているとき：回線の種類が「G3-1」「G3-2」「G3-3」「G3 (空)」のいずれかで記載されます。

F コード (SEP/SUB/PWD/SID)、サブアドレスを登録しているとき：F コード (SEP/SUB/PWD/SID)、サブアドレスを印字します。

・インターネットファクス宛先の場合

「Mail」のあとに、入力したメールアドレスまたはアドレス帳に登録されている名称が記載されます。

6 原稿枚数

送信した枚数が記載されます。

7 結果

送信の結果が記載されます。

- OK

全ページ正しく送信できました。

- エラー

正しく送信できませんでした。「エラー」のあとにエラーの内容（送信できなかった理由）を示す番号が記載されます。自動リダイヤルの機能によりダイヤルを繰り返したときは、ダイヤルごとの理由を順に記載します。

エラー 1) 通信中断：ファクスの不具合や電話回線に雑音が入ったため、通信が途中で中断されました。

エラー 2) 話し中：相手先が話し中でした。

エラー 3) 応答なし：呼び出しましたが、相手先が電話にでませんでした。

エラー 4) 相手先がファクシミリでない：相手先が電話にはでしたが、ファクシミリではありませんでした。電話などが接続されている可能性があります。この場合は 2 回でダイヤルを中止します。

エラー 5) メールサイズオーバー：本機に設定されている上限のメールサイズを超えたため、インターネットファクス送信が中断されました。

- --

本機に登録されているメールサーバーまでインターネットファクス送信されました（相手先までメールが到達したことを示すものではありません）。

8 送れなかったページ

相手先に送信できなかったページが記載されます。

9 料金

G4 または I-G3 を使った送信の通信料金が記載されます。

記載されるのは、G4 ユニットを装着しているときです。ただし、通信料金が 64999 円を超えると「***円」と記載されます。

海外に送信したときは料金が計算されないことがあります。

↓ 補足

- ・「送信結果メール通知」をクイック操作キーに登録しておくと、通信終了後にこのレポートをメールで送信するかどうか設定できます。
- ・複数の相手先を指定したときは、すべての相手先への送信が終わってから印刷されます。
- ・このレポートを印刷しないように設定していると、送信できなかった相手先があるときに「不達レポート」が印刷されます。
- ・このレポートを自動的に印刷するかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 03 ビット 0）で設定できます。工場出荷時は「OFF（印刷しない）」に設定されています。
- ・ユーザー名称を表示するかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 04 ビット 5）で設定できます。工場出荷時は「ON（表示する）」に設定されています。
- ・このレポートに画像を載せるかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 04 ビット 7）で設定できます。工場出荷時は「ON（画像を載せる）」に設定されています。
- ・レポートをメールで確認する場合、文字の桁がずれないように表示するには、パソコンのメールソフトの設定でフォントを等幅フォントに設定してください。
- ・相手先を表示するかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 04 ビット 4）で設定できます。工場出荷時は「ON（表示する）」に設定されています。

参照

- ・P211 「不達レポート」
- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

直接送信結果レポート

指定した相手先への送信が終わると印刷されます。直接送信の結果を確認できます。

1 直接送信結果 レポート (2005年 9月15日 14時00分) * * *

6 P.1

2 1) 青山支店
2) AOYAMA OFFICE

7

8

3 日付 時刻 相手先 送信モード 通信時間 枚数 結果 料金 ユーザー名 文書番号

4 9月15日 14時00分 カナガワコウジョウ G3送ES 0分42秒 2枚 OK

12 ***** 0162

11

10

9

: 列 信 C : 親 展 \$: 中 継 P : Fコード (SEP)
M : 審 積 L : 時刻指定 @ : メモリー転送 E : ECM
S : ふつう字 D : 小さな字 F : 細かい字 U : 微細字
> : 縮 小 H : ドキュメントボックス蓄積 * : PCファクス + : 配 信
Q : メール受信確認要求 A : メール受信確認応答 <=>: IP-FAX
□ : フォルダ

通信モード欄に記載される記号の内容です。

ALU022D

1 印刷日時

レポートを印刷した日付と時間が記載されます。

2 発信元名称（印字用）登録内容

発信元名称（印字用）に登録されている内容が記載されます。

3 日付

送信した月日です。

4 時刻

送信を開始した時刻です。

5 相手先

相手先に発信元名称（表示用）が登録してあるとき：発信元名称（表示用）が記載されます。

発信元名称（表示用）がなく発信元ファクス番号が登録してあるとき：発信元ファクス番号が記載されます。

発信元ファクス番号もないとき：入力したファクス番号またはアドレス帳の名称が記載されます。

6 送信モード

送信を表す「送」の文字のあとに、通信モードがアルファベットや記号で記載されます。

7 通信時間

送信にかかった時間です。

8 枚数

送信した枚数です。

9 結果

送信の結果が記載されます。

- ・ OK
全ページ正しく送信できました。
- ・ エラー
正しく送信できませんでした。

10 料金

G4 または I-G3 を使った送信の通信料金が記載されます。

記載されるのは、G4 ユニットを装着しているときです。ただし、通信料金が 9999 円を超えると、それ以上の通信料金がかかったときでも「9999 円」と記載されます。海外に送信したときは料金が計算されないことがあります。

11 ユーザー名

ユーザー名称が記載されます。

12 文書番号

文書の管理番号です。

↓ 補足

- ・ 「送信結果メール通知」をクイック操作キーに登録しておく、通信終了後にこのレポートをメールで送信するかどうか設定できます。
- ・ このレポートを自動的に印刷するかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 03 ビット 5) で設定できます。工場出荷時は「OFF (印刷しない)」に設定されています。
- ・ レポートをメールで確認する場合、文字の桁がずれないように表示するには、パソコンのメールソフトの設定でフォントを等幅フォントに設定してください。
- ・ 相手先を表示するかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 04 ビット 4) で設定できます。工場出荷時は「ON (表示する)」に設定されています。

📖 参照

- ・ 『初期設定編』 「ファクス初期設定」

不達レポート

メモリー送信できなかった相手先があると印刷されます。送れなかった相手先を確認できます。

The diagram shows a 'Not Delivered Report' form with the following fields and callouts:

- 1**: Title bar area containing the report title and date/time.
- 2**: Recipient address (相手先) section.
- 3**: Document number (文書番号) field.
- 4**: Transmission condition (送信条件) field.
- 5**: Original document count (原稿枚数) field.
- 6**: Result (結果) field.
- 7**: Page number (ページ) field.
- 8**: Fee (料金) field.
- 9**: Error content (エラーの内容) section.

The form content is as follows:

*** 不達レポート (2005年 3月15日 14時00分) *** P.1

受付時刻は、2005年 3月15日 13時55分です。

1) 青山支店
2) AOYAMA OFFICE

文書番号	送信条件	相手先	原稿枚数	結果	送れなかったページ	料金
0162	メモリー転送	フォルダー : PR03	2 枚	エラー 1)1)1)1)1)	P. 1 ~ 2	--
0858	メモリー送信	G4 : 神奈川工場	1 枚	エラー 1)1)1)1)1)	P. 1	8円

エラーの内容 エラー 1) 通信中断 エラー 2) 話し中 エラー 3) 応答なし エラー 4) 相手先がファクシミリでない
エラー 5) メールサイズオーバー

結果欄に記載されるエラーの内容です。

ALU054D

1 印刷日時

レポートを印刷した日付と時間が記載されます。

2 発信元名称（印字用）登録内容

発信元名称（印字用）に登録されている内容が記載されます。

3 文書番号

文書の管理番号です。

4 送信条件

「メモリー送信」「メモリー転送」「蓄積文書送信」「PC ファクス送信」「配信」のいずれかとユーザー名称などが記載されます。

5 相手先

・ファクス宛先の場合

回線の種類のあとに、送れなかった相手先が記載されます。

テンキーで入力したファクス番号またはアドレス帳に登録されている名称が記載されます。

G4 ユニットを装着しているとき：回線の種類が「G3」「I-G3」「G4」のいずれかで記載されます。

増設 G3 ユニットを装着しているとき：回線の種類が「G3-1」「G3-2」「G3-3」「G3 (空)」のいずれかで記載されます。

F コード (SEP/SUB/PWD/SID)、サブアドレスを登録しているとき：F コード (SEP/SUB/PWD/SID)、サブアドレスを印字します。

- ・インターネットファクス宛先の場合
送れなかった相手先が記載されます。
「Mail」のあとに、入力したメールアドレスまたはアドレス帳に登録されている名称が記載されます。
- ・フォルダー宛先の場合
送れなかった相手先が記載されます。「フォルダー」のあとに、アドレス帳に登録されている名称が記載されます。

6 原稿枚数

原稿の総ページ数です。

7 結果

送信の結果が記載されます。

- ・エラー
正しく送信できませんでした。「エラー」のあとにエラーの内容（送信できなかった理由）を示す番号が記載されます。自動リダイヤルの機能によりダイヤルを繰り返したときは、ダイヤルごとの理由を順に記載します。
エラー 1) 通信中断：ファクスの不具合や電話回線に雑音が入ったため、通信が途中で中断されました。
エラー 2) 話し中：相手先が話し中でした。
エラー 3) 応答なし：呼び出しましたが、相手先が電話にでませんでした。
エラー 4) 相手先がファクシミリでない：相手先が電話にはでしたが、ファクシミリではありませんでした。電話などが接続されている可能性があります。この場合は 2 回でダイヤルを中止します。
エラー 5) メールサイズオーバー：本機に設定されている上限のメールサイズを超えたため、インターネットファクス送信が中断されました。
- ・未登録宛先
転送先が登録されていないため、正しく送信できませんでした。
- ・無効宛先
登録されている宛先数が最大値を超えているグループを指定した場合、またはファクス番号が正しくない場合に記載されます。
グループを指定しているときはアドレス帳で件数を確認してください。
文書は送信されていませんので、送り直してください。
- ・--
本機に登録されているメールサーバーまでインターネットファクス送信されました（相手先までメールが到達したことを示すものではありません）。

8 送れなかったページ

相手先に送信できなかったページが記載されます。

9 料金

G4 または I-G3 を使った送信の通信料金が記載されます。

記載されるのは、G4 ユニットを装着しているときです。ただし、通信料金が 64999 円を超えると「*****円」と記載されます。

海外に送信したときは料金が計算されないことがあります。

↓ 補足

- 不達レポートを自動的に印刷するかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 04 ビット 1）で設定できます。工場出荷時は「ON（印刷する）」に設定されています。
- 不達レポートは、通信結果レポートを自動的に印刷しないように設定していて送信できなかった相手先があるときだけ、自動的に印刷されます。通信結果レポートを印刷するように設定しているとき、不達レポートは印刷されません。
- このレポートに画像を載せるかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 04 ビット 7）で設定できます。工場出荷時は「ON（画像を載せる）」に設定されています。
- 相手先を表示するかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 04 ビット 4）で設定できます。工場出荷時は「ON（表示する）」に設定されています。
- ユーザー名称を表示するかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 04 ビット 5）で設定できます。工場出荷時は「ON（表示する）」に設定されています。

目 参照

- 『初期設定編』「ファクス初期設定」

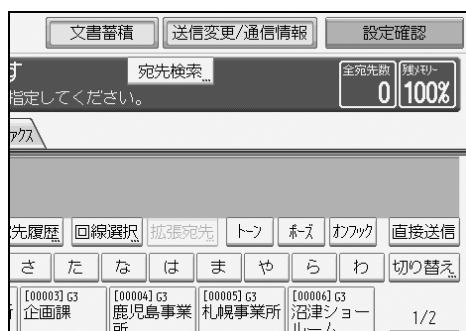
受信結果を確認する

受信結果を画面またはレポートで確認します。

画面で確認する

本機で受信したファクスの受信結果を表示します。

1 [送信変更 / 通信情報] を押します。



2 [受信結果表示] を押します。

3 受信結果を確認します。



受信結果が新しい順に 9 通信分ずつ表示されます。

ファクスで受信したときの送信元には、あらかじめ登録された発信元名称（表示用）または発信元ファクス番号が表示されます。インターネットファクスで受信したときの送信元には、送信元のメールアドレスが表示されます。

4 [閉じる] を 2 回押します。

待機中の画面に戻ります。

↓ 補足

- 最新の通信結果から受信結果だけを表示します。本機で確認できる通信結果の最大件数については、「項目別最大値一覧」を参照してください。
- Web Image Monitor から受信結果履歴を確認できます。詳しくは Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- 「受信結果表示」を表示している間に終了した受信の結果は表示されません。「受信結果表示」をいったん終了し、もう一度操作し直してください。
- 受信結果表示の操作をクイック操作キーに登録できます。工場出荷時はクイック操作キー 3 に登録されています。クイック操作キーを使うときは、手順 **7** を省略できます。

📖 参照

- P326 「項目別最大値一覧」
- 『初期設定編』「ファクス初期設定」

レポートで確認する

受信結果をレポートで出力して確認します。

通信管理レポート

最新の受信結果を、通信管理レポートを出力して確認できます。詳しくは「通信管理レポート」を参照してください。

📖 参照

- P.220 「通信管理レポート」

通信管理レポート印刷

通信管理レポートを手動で印刷します。

★ 重要

- 自動的に印刷された通信管理レポートに記載されている内容は、印刷後消去されます。過去の通信結果を管理するときは、自動的に印刷されたレポートを保管しておくことをお勧めします。

通信管理レポートを印刷する

通信管理レポートを手動で印刷させるには、「通常印刷」「文書番号別印刷」「ユーザー別印刷」から印刷方法を選択します。

↓ 補足

- G4 ユニットまたは増設 G3 ユニットの付いているときは、使用回線別に通信記録を印刷させることもできます。
- 50 通信ごとにこのレポートを自動的に印刷するかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 03 ビット 7) で設定できます。工場出荷時は「ON (印刷する)」に設定されています。
- セキュリティの設定によっては、レポートが自動で印刷されません。
- 通信結果を使用回線別に印刷させるかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 19 ビット 1) で設定します。工場出荷時は「OFF (しない)」に設定されています。
- ユーザー名称を表示するかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 04 ビット 5) で設定できます。工場出荷時は「ON (表示する)」に設定されています。
- 通信管理レポート印刷の操作をクイック操作キーに登録できます。クイック操作キーを使うときは、手順 1 を省略できます。
- セキュリティの設定によっては、相手先が表示されない場合があります。
- 通信管理レポートに印刷される通信結果の件数については、「項目別最大値一覧」を参照してください。

E 参照

- P326 「項目別最大値一覧」
- 『初期設定編』「ファクス初期設定」

通常印刷

送受信された順番に通信結果が印刷されます。

1 [送信変更 / 通信情報] を押します。

2 [通信管理レポート印刷] を押します。

3 [通常印刷] を押します。

4 [スタート] キーを押します。

印刷を中止するときは [印刷中止] を押します。手順 **3** の画面に戻ります。

5 [閉じる] を 2 回押します。

待機中の画面に戻ります。

文書番号別印刷

指定した文書番号の通信結果が印刷されます。

1 [送信変更 / 通信情報] を押します。

2 [通信管理レポート印刷] を押します。

3 [文書番号別印刷] を押します。

4 文書番号（4桁の数字）をテンキーで入力します。

間違えたときは [クリア] を押して入力し直します。

5 [スタート] キーを押します。

印刷を中止するときは [印刷中止] を押します。手順 **3** の画面に戻ります。

6 [閉じる] を2回押します。

待機中の画面に戻ります。

ユーザー別印刷

送信者別に通信結果が印刷されます。

1 [送信変更 / 通信情報] を押します。

2 [通信管理レポート印刷] を押します。

3 [ユーザー別印刷] を押します。

4 ユーザーを選択します。

ユーザーが登録されていない場合は[取消]を押してください。手順 **3** の画面に戻ります。

5 表示されたユーザー名を確認し、[OK] を押します。

ユーザーを間違えた場合は[取消]を押してください。手順 **3** の画面に戻ります。

6 【スタート】キーを押します。

印刷を中止するときは【印刷中止】を押します。手順**3**の画面に戻ります。

7 【閉じる】を2回押します。

待機中の画面に戻ります。

通信管理レポート

通信管理レポートに印字される項目について説明します。

4

1

6

5

4

3

2

7

8

12

11

10

9

*** 通信管理レポート (2005年 9月15日 14時00分) *** P.1

1) 青山支店
2) AOYAMA OFFICE

(随時印刷)

<送信>

日付	時刻	相手先	交信モード	通信時間	枚数	結果	料金	ユーザー名	文書番号
9月 14日	9時 23分	ヨコハマ	エイギョウシヨ	G 3送 E SM	0分42秒	2枚 OK	--	デザインキカク	0002
	12時09分	ギンザ	エイギョウシヨ	G 3送 D>	5分42秒	10枚 OK	--	デザインキカク	0023
	14時19分	サッポロ	シテン	G 3送 FM	1分12秒	3枚 OK	--		0107
	15時09分	--PCファクス-->		* DM	0分01秒	2枚 --	--	デザイン ミズノ	0112
	15時09分	アカサカシテン		G 3送 E DM	0分32秒	2枚 OK	--	デザイン ミズノ	0112
	15時19分	共有フォルダ		☐送 SM@	0分01秒	1枚 OK	--		0113
	15時24分	abc@defcompany.com		☞送 S	0分01秒	1枚 --	--		0114
	15時26分	abc@defcompany.com:2		☞送 S	0分01秒	1枚 --	--		0115
9月 15日	9時12分	8133543419		G 3送 D	1分34秒	2枚 OK	--		0147

<受信>

日付	時刻	相手先	交信モード	通信時間	枚数	結果	料金	ユーザー名	文書番号
9月 14日	9時04分	システム センター		G 3受 S	0分42秒	2枚 OK	--		0001
	12時59分	サイタマ シテン		G 3受 E S	5分42秒	10枚 OK	--		0004
	13時19分	シンヨコハマ オフィス		G 3受 E S	0分55秒	3枚 OK	--		0009
	14時05分	8135551234		G 3受 S	2分34秒	2枚 OK	--		0010
	16時12分	タケダ		☞>受 E S	0分45秒	1枚 OK	--		0012

送信 000017

: 列 信 C : 親 展 S : 中 継 P : Fコード (SEP)

M : 審 積 L : 時刻指定 @ : メモリー転送 E : ECM

S : ふつう字 D : 小さな字 F : 細かい字 U : 微細字

> : 縮 小 H : ドキュメントボックス蓄積 * : PCファクス + : 配 信

Q : メール受信確認要求 A : メール受信確認応答 ☞ : Mail

☐ : フォルダ

交信モード欄に記載される記号の内容です。

ALU024D

1 印刷日時

レポートを印刷した日付と時間が記載されます。

2 発信元名称（印字用）登録内容

発信元名称（印字用）に登録されている内容が記載されます。

3 日付

送受信した月日です。

4 時刻

送受信を開始した時刻です。

5 相手先

・ファクス宛先の場合

相手先に発信元名称（表示用）が登録されているとき：発信元名称（表示用）が記載されます。

発信元名称（表示用）がなく発信元ファクス番号が登録されているとき：その発信元ファクス番号が記載されます。

発信元名称（表示用）も発信元ファクス番号もないとき：送信時は入力したファクス番号またはアドレス帳に登録されている名称が記載されますが、受信時は何も記載されません。

・インターネットファクス宛先の場合

送信時は、入力したメールアドレスまたはアドレス帳に登録されている名称が記載されます。受信時は、送信者のメールアドレスが記載されます。

同報送信のときは、メールアドレスまたは相手先名称に続けて、同報送信の宛先件数が記載されます。

相手先の欄に「-PC ファクス ->」と表示されたときの通信結果は、PC から本機への通信結果になります。相手先への通信結果を確認するときは、同じ文書番号で相手先の欄に送信した相手先が表示されている行の結果欄を確認してください。

・フォルダー宛先の場合

アドレス帳に登録されている名称が記載されます。

6 交信モード

・ファクス送受信の場合

送信を表す「送」、受信を表す「受」の文字のあとに、通信モードがアルファベットや記号で記載されます。

G4 ユニット、増設 G3 ユニットの装着しているときは、回線の種類が「G3-1」「G3-2」「G3-3」「I-G3」「G4」のいずれかで記載されます。

・インターネットファクス送受信の場合

✉（メールマーク）、送信を表す「送」、受信を表す「受」の文字のあとに、通信モードがアルファベットや記号で記載されます。

「拡張送信」で受信確認を設定した送信メールには「Q」が記載されます。また、受信確認応答メールには「A」が記載されます。

・フォルダー転送の場合

□（フォルダーマーク）、送信を表す「送」の文字のあとに、通信モードがアルファベットや記号で記載されます。

7 通信時間

送受信にかかった時間です。99 分 59 秒を超えると、「**分**秒」と記載されます。

8 枚数

送受信した枚数です。999 枚を超えると、「***枚」と記載されます。

9 結果

送受信の結果が記載されます。

・OK

全ページ正しく送受信できました。インターネットファクス送信で「拡張送信」の受信確認を設定したときは、受信確認の応答メールを受信したことを示します。

受信配信のときは、「+」が記載されます。

- ・エラー

正しく送受信できませんでした。

- ・ --

本機に登録されているメールサーバーまでインターネットファクス送信されました（相手先までメールが到達したことを示すものではありません）。

PC ファクスの場合はパソコンから本機までの通信結果です。

- ・電源断

送信中に電源が切れました。一部原稿が送信されていません。

10 料金

G4 または I-G3 を使った送信の通信料金が記載されます。

記載されるのは、G4 ユニットを装着しているときです。ただし、通信料金が 9999 円を超えると、それ以上の通信料金がかかったときでも「9999 円」と記載されます。

海外に送信したときは料金が計算されないことがあります。

11 ユーザー名

送信者名が記載されます。

12 文書番号

文書の管理番号です。

↓ 補足

- ・入力したファクス番号やアドレス帳に登録されている名称が優先して記載されるようにしたいときは、サービス実施店にご連絡ください。

通信管理情報のメール送信

通信管理情報を、管理者のメールアドレスにメールで送信します。

50 通信ごとに自動的に送信します。通信管理情報は、CSV 形式のファイルとしてメールに添付されます。

★ 重要

- ・通信管理情報をメールで送信するときは、「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 21 ビット 4）で「通信管理情報をメールで送信するかどうか」を「送信する」に設定します。工場出荷時は「送信しない」に設定されています。
- ・送信された CSV ファイルは本機には残りません。管理者メールアドレスの設定に誤りがあると、大切な通信管理情報が失われる恐れがありますので、通信管理情報をメールで送信する場合は、管理者メールアドレスの設定を再度確認することをお勧めします。

6 結果 (Result)

送信、受信の結果が記載されます。

• OK

全ページ正しく送受信できました。インターネットファクス送信で「拡張送信」の受信確認を設定したときは、受信確認の応答メールを受信したことを示します。

• E

正しく送受信できませんでした。メールが正常に受信されなかった場合の受信確認応答メールにも表示されます。

• --

本機に登録されているメールサーバーまでインターネットファクス送信されました (相手先までメールが到達したことを示すものではありません)。

• D

送信中に電源が切れました。原稿の一部が送信されていません。

7 料金 (Charge)

G4 または I-G3 を使った送信の通信料金が記載されます。

記載されるのは G4 ユニットを装着しているときです。ただし、通信料金が 9999 円を超えると、それ以上の通信料金がかかったときでも「9999 円」と記載されます。

8 ユーザー名 (User Name)

ユーザー名称が記載されます。

9 文書番号 (File No.)

文書の管理番号です。

↓ 補足

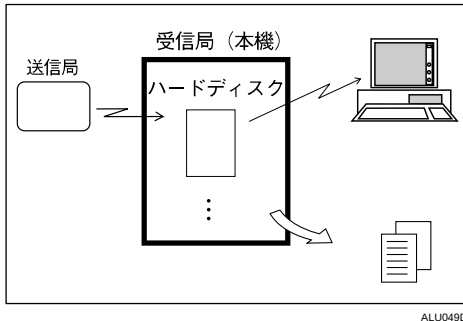
- 通信管理情報をメールで送信するには、「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 21 ビット 4) で「通信管理情報をメール送信するかどうか」を「送信する」に設定します。工場出荷時は「送信しない」に設定されています。
- ユーザー名称を表示するかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 04 ビット 5) で設定できます。工場出荷時は「ON (表示する)」に設定されています。
- 管理者メールアドレスは「システム初期設定」で設定します。
- セキュリティの設定によっては、相手先名 (Destination/Sender) が表示されない場合があります。

E 参照

- P.127 「受信確認を要求する」
- 『初期設定編』「システム初期設定」
- 『初期設定編』「ファクス初期設定」

蓄積受信文書を印刷 / 消去する

受信したファクス文書をハードディスクに蓄積しておき、必要に応じて印刷します。必要ないファクス文書は消去します。



★ 重要

- この機能を利用するときは、プリンター・スキャナーユニットが必要です。
- あらかじめ、「ファクス初期設定」の「受信文書設定」で受信文書を蓄積するように設定しておきます。

↓ 補足

- 受信文書を蓄積するように設定し、通知先を設定している場合、ファクス文書を受信したことをメールで通知できます。
- ハードディスクに蓄積できる受信文書の件数については、「項目別最大値一覧」を参照してください。
- 蓄積受信文書は Web Image Monitor から内容を確認したり印刷したりできます。

📖 参照

- P.294 「Web Image Monitor からファクス受信文書を見る」
- P.326 「項目別最大値一覧」
- 『初期設定編』「ファクス初期設定」

蓄積受信文書を印刷する

ハードディスクに蓄積されたファクス文書を印刷します。

1 [送信変更 / 通信情報] を押します。



2 [蓄積受信文書印刷 / 消去] を押します。

3 印刷する文書を選択し、[文書印刷] を押します。



操作を取り消すときは[取消]を押します。

印刷したあとに文書を消去するときは[印刷後消去する]を押します。

両面印刷(両面ユニットが必要)をするときは[スタート]キーを押す前に[両面に印刷する]を押します。

4 [スタート] キーを押します。

[スタート] キーを押したあとに印刷を中止するときは[印刷中止]を押します。手順3の画面に戻ります。

5 [閉じる] を2回押します。

待機中の画面に戻ります。

補足

- ・この機能で印刷できるのは、ファクス受信をして蓄積された文書だけです。
- ・受信した文書はドキュメントボックス機能では使用できません。
- ・蓄積受信文書印刷の操作をクイック操作キーに登録できます。クイック操作キーを使うときは、手順1を省略できます。
- ・複数の文書を指定して印刷できます。一度に印刷できる最大件数については「項目別最大値一覧」を参照してください。

参照

- ・ P.326 「項目別最大値一覧」
- ・ 『初期設定編』 「ファクス初期設定」

蓄積受信文書を消去する

ハードディスクに蓄積されたファクス文書を消去します。

1 [送信変更 / 通信情報] を押します。



2 [蓄積受信文書印刷／消去] を押します。

3 消去する文書を選択し、[文書消去] を押します。



4 [消去する] を押します。

操作を取り消すときは [消去しない] を押します。手順 **3** の画面に戻ります。

5 [閉じる] を 2 回押します。

待機中の画面に戻ります。

補足

- ・ Web Image Monitor から他の人が同じ文書を印刷しているときは消去できません。
- ・ 複数の文書を指定して消去できます。一度に消去できる最大件数については「項目別最大値一覧」を参照してください。

参照

- ・ P.326 「項目別最大値一覧」

封筒受信した文書を印刷する

封筒受信すると親展受信ランプ (㊦) が点滅します。封筒受信を設定しておく、受信した文書はメモリーに蓄積され、自動的に印刷されません。この文書はあらかじめ登録しておいた封筒 ID を入力して印刷します。

封筒 ID を知らない人は印刷できないので、内容を他人に見られずに済みます。

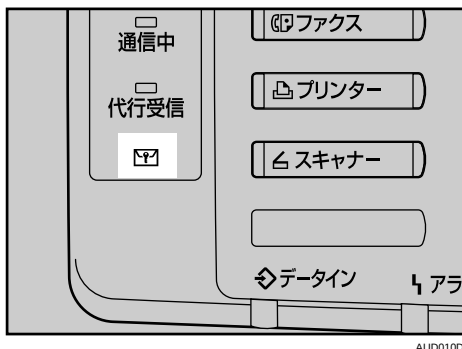
「ファクス初期設定」であらかじめ以下の準備が必要です。

- ・封筒 ID を登録しておきます。
- ・封筒受信の機能を「する」にしておきます。

★重要

- ・停電時や電源コンセントを抜いたときそのまま約 1 時間経過すると、封筒受信した文書はすべて消去されます。消去された文書は「電源断レポート」で確認します。詳しくは『こんなときには』『ファクス機能がうまく使えないとき』を参照してください。

1 親展受信ランプが点滅していることを確認します。



AUD0100

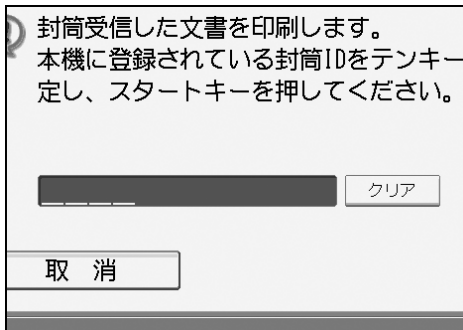
2 [送信変更 / 通信情報] を押します。



3 [封筒受信文書印刷] を押します。

封筒受信した文書がないときは「受信文書はありません。」と表示されます。[確認] を押してください。

4 封筒 ID (4 桁の数字) をテンキーで入力し、[スタート] キーを押します。



間違えたときは [クリア] を押して入力し直します。

操作を取り消すときは [取消] を押します。

封筒 ID が一致しないときは「指定したコードは登録されている封筒 ID と一致しません。」と表示されます。[確認] を押して操作を終了し、封筒 ID を確認してからもう一度操作し直してください。

5 [閉じる] を押します。

待機中の画面に戻ります。

↓ 補足

- ・封筒受信の機能を「する」にしても、受信文書を「蓄積する」に設定していると、封筒受信の機能は無効になり、受信した文書は蓄積文書になります。
- ・封筒受信の機能が有効になっているとき、文書を蓄積するメモリーの残量が少ないと、受信できなくなります。
- ・特定の相手先から受信した文書だけを封筒受信するように設定することもできます。
- ・F コード取り出した文書は封筒受信の対象とはならず、受信したあと自動的に印刷されます。
- ・封筒受信文書印刷の操作をクイック操作キーに登録できます。クイック操作キーを使うときは、手順 **2** と手順 **5** を省略できます。
- ・封筒受信した文書は印刷すると消去されます。

📖 参照

- ・P.225 「蓄積受信文書を印刷 / 消去する」
- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」
- ・『こんなときには』「ファクス機能がうまく使えないとき」

Fコード親展ボックスを使う

Fコード親展ボックスを利用して、相手先から親展送信された文書を受信します。

★重要

- ・あらかじめFコード親展ボックスを登録しておきます。

親展ボックスとは

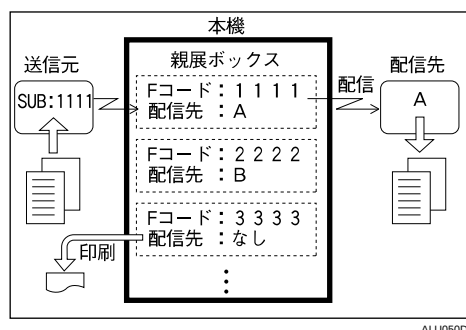
本機を利用者や部門ごとの私書箱のように利用するときを設定します。

親展ボックスを設定すると、送信文書を他人に見られることなく受信できます。また、親展ボックスに配信先を登録しておくと、受信した文書を自動的に配信先に送信します。配信先としてファクス番号またはインターネットファクス宛先を指定できます。

親展ボックスにファクスを受信するには、親展ボックスに登録したFコード(SUB)を送信元に伝え、登録したFコード(SUB)と一致するFコード(SUB)を付けて文書を送信してもらいます。文書を受信すると親展受信ランプが点灯し、親展通知レポートが印刷されます。

★重要

- ・停電時や電源コンセントを抜いたときそのまま約1時間経過すると、親展ボックスに受信した文書はすべて消去されます。消去された文書は「電源断レポート」で確認します。詳しくは『こんなときには』『ファクス機能がうまく使えないとき』を参照してください。
- ・親展ボックスに登録された配信先への配信が終わると、文書は消去されます。



↓補足

- ・親展ボックスに配信先を登録していないときは、受信した文書を印刷させます。詳しくは「親展ボックスの受信文書を印刷する」を参照してください。

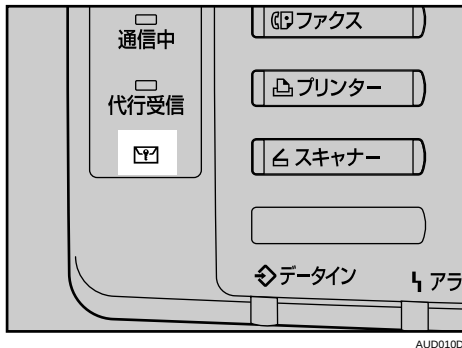
E参照

- ・P.231 「親展ボックスの受信文書を印刷する」
- ・P.233 「親展通知レポート」
- ・『こんなときには』『ファクス機能がうまく使えないとき』

親展ボックスの受信文書を印刷する

親展ボックスに受信した文書を印刷します。

- 1 親展受信文書ランプが点灯していることを確認します。



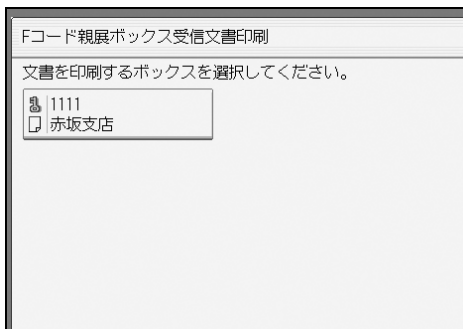
4

- 2 [送信変更 / 通信情報] を押します。

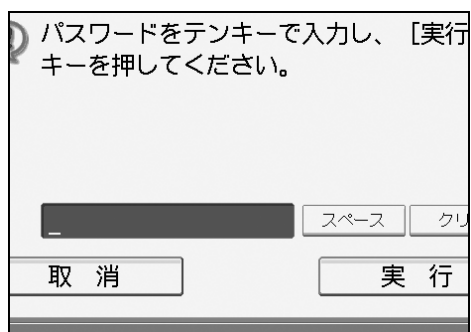


- 3 [Fコード親展ボックス受信文書印刷] を押します。

- 4 印刷する文書のボックスを押します。



- 5** 選択した親展ボックスにパスワードがあらかじめ設定されているとき、次の画面が表示されます。パスワードを入力し、[実行] を押します。



間違ったときは[実行] を押す前に[クリア] を押して、入力し直します。
[取消] を押すと、手順 **4** の画面に戻ります。

- 6** [スタート] キーを押します。

印刷を中止するときは[印刷中止] を押します。手順 **4** の画面に戻ります。中止した文書は消去されません。

続けて別の親展ボックスの文書を印刷するときは、手順 **4** から操作します。

- 7** [閉じる] を2回押します。

待機中の画面に戻ります。

↓ 補足

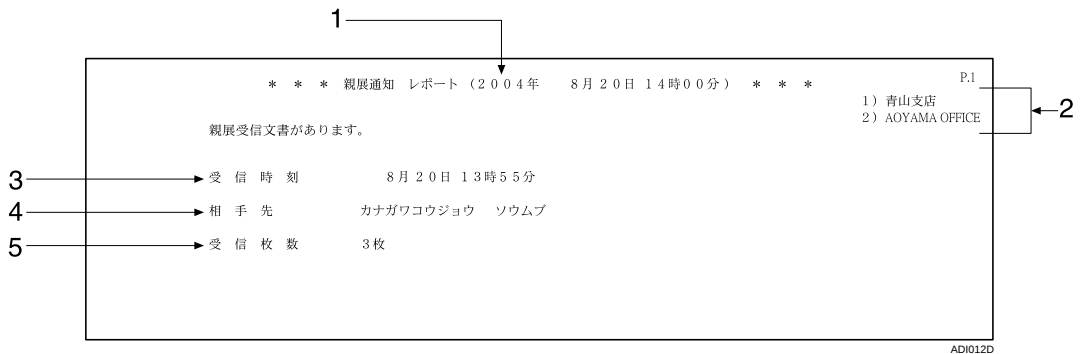
- ・Fコード親展文書は印刷すると消去されます。
- ・Fコード親展ボックスのパスワードは「ファクス初期設定」の「Fコードボックス設定」で登録できます。

📖 参照

- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

親展通知レポート

Fコード親展ボックスに文書を受信したことを確認できます。



1 印刷日時

レポートを印刷した日付と時間が記載されます。

2 発信元名称（印字用）登録内容

発信元名称（印字用）に登録されている内容が記載されます。

3 受信時刻

親展受信した時刻が記載されます。

4 相手先

相手先の発信元名称（表示用）または発信元ファクス番号が記載されます。

5 受信枚数

親展受信した枚数です。

↓ 補足

- Fコード親展ボックスに文書を受信したときにこのレポートを自動的に印刷するかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 04 ビット 0）で設定できます。工場出荷時は「ON（印刷する）」に設定されています。

📖 参照

- 『初期設定編』「ファクス初期設定」

Fコード掲示板ボックスを使う

Fコード掲示板ボックスの使い方を説明します。

★重要

- ・あらかじめFコード掲示板ボックスを登録しておきます。

掲示板ボックスとは

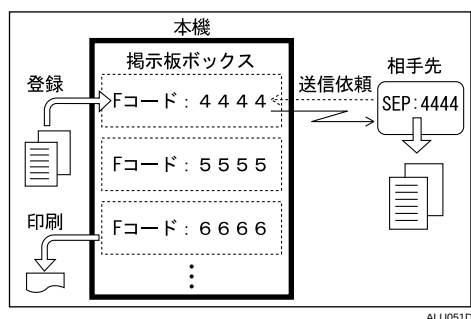
本機を掲示板として利用するとき、掲示する文書ごとに設定します。

掲示板ボックスに文書を登録し、相手先からの送信依頼を待ちます。相手先から送信依頼があると、相手先からのFコード(SEP)と掲示板ボックスに登録したFコード(SEP)を比較し、一致すると相手先に文書を送信します。

相手は必要に応じて都合のよい時間に文書を受信できます。

★重要

- ・停電時や電源コンセントを抜いたときそのまま約1時間経過すると、掲示板ボックスに登録した文書はすべて消去されます。消去された文書は「電源断レポート」で確認します。詳しくは『こんなときには』「ファクス機能がうまく使えないとき」を参照してください。
- ・あらかじめ掲示板ボックスに登録したFコード(SEP)を相手先に伝えておきます。



↓補足

- ・掲示板ボックスに文書を登録するには、「掲示板ボックスに文書を登録する」を参照してください。
- ・掲示板ボックスにあらかじめパスワードを設定しておくことができます。パスワードは「ファクス初期設定」の「Fコードボックス設定」で登録できます。

目 参照

- ・P.235 「掲示板ボックスに文書を登録する」
- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」
- ・『こんなときには』「ファクス機能がうまく使えないとき」

掲示板ボックスに文書を登録する

掲示板ボックスに文書を登録します。

1 [送信変更 / 通信情報] を押します。

2 [Fコード掲示板ボックス文書登録 / 消去 / 印刷] を押します。

3 文書を登録するボックスを押します。

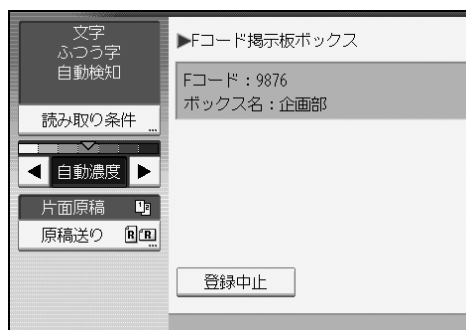
すでに登録された文書があるときは、ボックス名の前に文書を表すマークが表示されます。

文書が登録されているボックスを選択すると、メッセージが表示されます。文書を変更するときは[登録する]を押します。このとき、もともと登録されていた文書は上書きされます。

4 パスワードが設定されているときは、パスワードを入力し、[実行]を押します。

間違ったときは[実行]を押す前に[クリア]を押して、入力し直します。
[取消]を押すと、手順 **3** の画面に戻ります。

5 登録する原稿をセットし、読み取り条件を選択します。



読み取り条件のほかに次の機能が選択できます。

- ・「原稿セット方向」
- ・「原稿面」（自動原稿送り装置（ADF）が必要）
- ・「済スタンプ」（自動原稿送り装置（ADF）が必要）
- ・「大サイズ原稿指定」

6 [スタート] キーを押します。

原稿が読み取られます。

[スタート] キーを押した後に読み取りを中止するときは[読み取り中止]を押します。手順 **3** の画面に戻ります。

続けてほかのボックスに文書を登録するときは、手順 **3** から操作します。

7 [閉じる] を2回押します。

待機中の画面に戻ります。

補足

- ・1 個の掲示板ボックスに登録できる文書は1 件です。
- ・登録した文書は自動的に消去されません。登録済みの文書を消去するときは、「掲示板ボックスの文書を消去する」を参照してください。

参照

- ・P.238 「掲示板ボックスの文書を消去する」

掲示板ボックスの文書を印刷する

掲示板ボックスに登録されている文書を印刷します。

1 [送信変更 / 通信情報] を押します。

2 [Fコード掲示板ボックス文書登録／消去／印刷] を押します。

3 [文書印刷] を押します。

4 印刷する文書が登録されているボックスを押します。

文書が登録されているボックスがないときは、選択できません。

5 パスワードが設定されているときは、パスワードを入力し、[実行] を押します。

間違ったときは [実行] を押す前に [クリア] を押して、入力し直します。
[取消] を押すと、手順 4 の画面に戻ります。

6 【スタート】 キーを押します。

両面印刷（両面ユニットが必要）をするときは、【スタート】 キーを押す前に【両面に印刷する】を押します。

【スタート】 キーを押す前に印刷を中止するときは【取消】を押します。手順 **4** の画面に戻ります。

【スタート】 キーを押したあとに印刷を中止するときは【印刷中止】を押します。手順 **4** の画面に戻ります。

ほかの掲示板ボックスに登録した文書を印刷するときは、手順 **4** から繰り返します。

7 【閉じる】 を 2 回押します。

待機中の画面に戻ります。

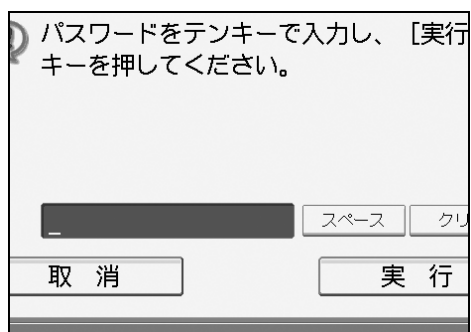
4 掲示板ボックスの文書を消去する

掲示板ボックスに登録されている文書を消去します。

1 【送信変更 / 通信情報】 を押します。

2 【F コード掲示板ボックス文書登録／消去／印刷】 を押します。**3** 【文書消去】 を押します。**4** 消去する文書が登録されているボックスを押します。

- 5** パスワードが設定されているときは、パスワードを入力し、[実行] を押します。



間違ったときは[実行]を押す前に[クリア]を押して、入力し直します。
[取消]を押すと、手順 **4** の画面に戻ります。

- 6** [消去する] を押します。

[消去しない] を押すと、文書を消去しないで手順 **4** の画面に戻ります。
ほかの掲示板ボックスに登録した文書を消去する場合には、手順 **4** から繰り返します。

- 7** [閉じる] を2回押します。

待機中の画面に戻ります。

5. 文書を蓄積する

文書をドキュメントボックスに蓄積して管理する方法を説明します。

文書蓄積を利用する

ファクス文書をドキュメントボックスに蓄積して管理する方法について説明します。

ドキュメントボックスには、コピー機能、ファクス機能、プリンター機能、およびスキャナー機能で読み取った文書を蓄積できます。

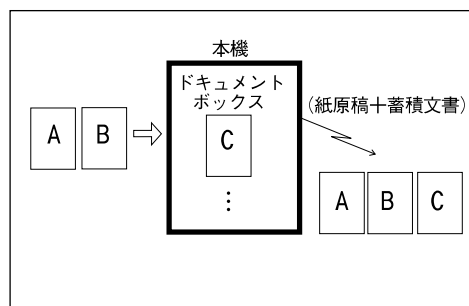
ファクス機能を使って蓄積した文書は、送信することができます。

ドキュメントボックスに蓄積すると次の点で便利です。

- ・一度蓄積しておくと、指定するだけで何回も送信できます。
- ・蓄積していてもファクスのメモリーを消費しません。

蓄積した複数の文書を 1 つの文書として送信・印刷したり、読み取った原稿と合わせて 1 つの文書として送信したりできます。

蓄積した文書を送信・印刷するときは「蓄積文書指定」を使います。



ALU052D

★重要

- ・万一、本体のハードディスクに不具合が発生した場合、記録保存したデータが消失することがあります。ハードディスクを重要なデータの記録保存には使用しないことをお勧めします。お客様のデータの消失による損害につきましては、当社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

↓ 補足

- ・蓄積した文書は、停電のときや主電源が「Off」になっても消去されません。
- ・ドキュメントボックスに蓄積された文書は、一定日数経過後に自動的に消去するかどうかが設定できます。工場出荷時には「3 日（文書を蓄積してから 72 時間）」経過後に消去するように設定されています。設定を変更するときは『初期設定編』『システム初期設定』を参照してください。
- ・蓄積受信文書はドキュメントボックスから確認することはできません。
- ・Web Image Monitor を使って、ドキュメントボックスに蓄積した文書を送信・印刷・消去できます。また、文書の情報を変更できます。
- ・Web Image Monitor を使って、ドキュメントボックスに蓄積した文書をパソコンにダウンロードして操作できます。詳しくは『コピー機能 / ドキュメントボックス機能編』『ドキュメントボックスの操作』を参照してください。
- ・以下の項目の最大値については、「項目別最大値一覧」を参照してください。
 - ・ファクス機能を使ってドキュメントボックスに蓄積できる文書数
 - ・ドキュメントボックスに蓄積できる 1 文書あたりの枚数
 - ・ドキュメントボックスに蓄積できる文書の枚数（コピー機能、ファクス機能、プリンター機能、およびスキャナー機能の合計）

目 参照

- ・P.326 「項目別最大値一覧」
- ・『本機のご利用にあたって』『文書を蓄積して活用する』
- ・『初期設定編』『システム初期設定』
- ・『コピー機能 / ドキュメントボックス機能編』『ドキュメントボックスの操作』

送信文書を蓄積する

ドキュメントボックスに文書を蓄積しながら送信します。送信しないで文書の蓄積だけすることもできます。

蓄積した文書ごとに以下の設定を登録できます。

◆ 文書名

読み取った文書には「FAX0001」「FAX0002」と文書名が自動的に付けられます。

◆ ユーザー名

蓄積した人や部門がわかるように、必要に応じて設定します。

◆ パスワード

不特定の人に送信されないように設定します。

★ 重要

- ・サイズの異なる複数ページの原稿を蓄積する場合は、サイズ混載機能を使用してください。

1 原稿をセットし、読み取り条件を選択します。

「原稿セット方向」を正しく設定しないと、蓄積した原稿をプレビュー表示させるときの、原稿の天地（上下）が正しく表示されません。

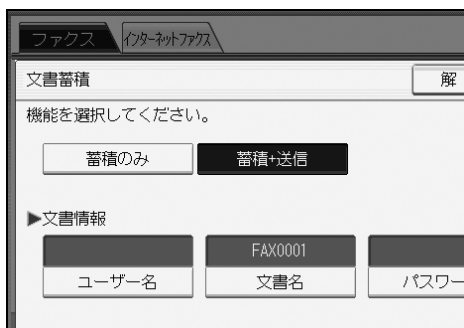
2 [文書蓄積] を押します。



3 [蓄積+送信] または [蓄積のみ] を押します。

文書を蓄積してから送信するときは [蓄積+送信] を押します。

文書を蓄積するときは [蓄積のみ] を押します。



4 ユーザー名、文書名、パスワードを設定します。

ユーザー名、文書名、パスワードを設定しないときは手順 **5** に進みます。
複数の文書を一度に変更することはできません。

5 [OK] を押します。

[文書蓄積] の左に文書名が表示されます。

5

6 [蓄積+送信] を選択したときは、相手先を指定します。

[蓄積のみ] を選択したときは、手順 **7** に進みます。

7 [スタート] キーを押します。

↓ 補足

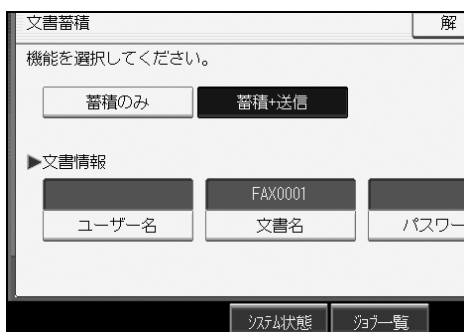
- ・文書名やユーザー名は変更できます。

☰ 参照

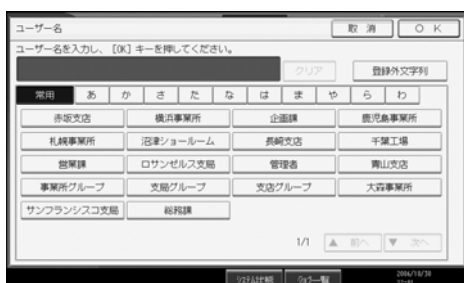
- ・P39 「原稿セット方向を設定する」
- ・P62 「サイズ混載」
- ・『初期設定編』 「システム初期設定」

ユーザー名を登録する

1 [ユーザー名] を押します。



2 設定するユーザー名を押します。



見出しキーを押すと、見出しを切り替えることができます。

登録されていないユーザー名を設定するときは、[登録外文字列] を押して入力します。ここで入力したユーザー名は、ユーザーコードには登録されません。

3 [OK] を押します。

補足

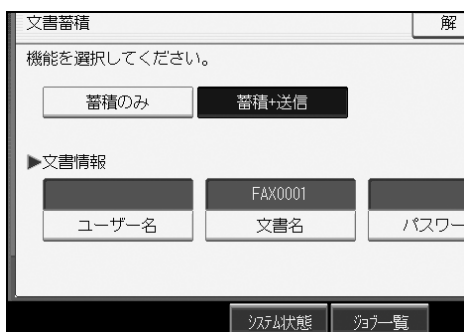
- ・セキュリティの設定によっては、[ユーザー名] が [アクセス権] と表示される場合があります。[アクセス権] の設定手順について詳しくは、管理者にお問い合わせください。

参照

- ・『本機のご利用にあたって』「文字入力のしかた」

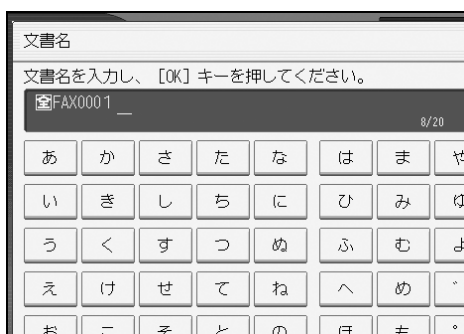
文書名を設定する

1 [文書名] を押します。



2 文書名を入力します。

5



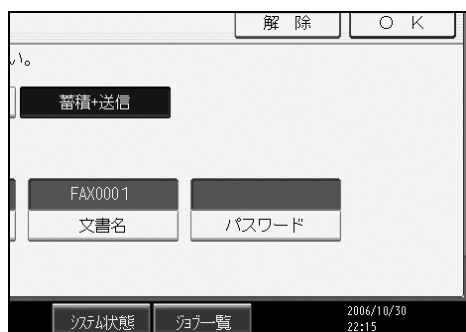
3 [OK] を押します。

参照

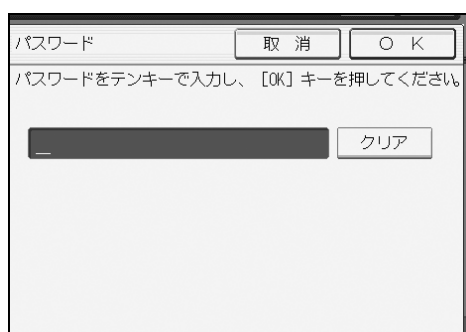
- ・『本機のご利用にあたって』「文字入力のしかた」

パスワードを設定する

1 [パスワード] を押します。



2 パスワードをテンキーで入力し、[OK] を押します。



間違えたときは [OK] を押す前に [クリア] を押して入力し直します。
入力できる数字は 4 桁から 8 桁です。

3 パスワードをもう一度入力し、[OK] を押します。

蓄積した文書を送信する

ドキュメントボックスに蓄積した文書を送信します。

ドキュメントボックスに蓄積した文書は、消去するまで何回でも送信できます。

一度送信しても文書はドキュメントボックスに蓄積されているので、原稿をセットしないで1回の操作で送信できます。

★重要

- ・あらかじめ、送信する文書を蓄積しておきます。また、パスワードを設定しておくこともできます。蓄積した文書のユーザー名、文書名、パスワードは変更できます。
- ・次の送信方法は使えません。
 - ・直接送信
 - ・クイックメモリー送信
 - ・オンフックダイヤル
 - ・マニュアルダイヤル

5

1 「蓄積文書指定」を押します。



2 送信する文書を選択します。

種別	ユーザー名	文書名	月日	ページ	送信
📄	企画課	地図	10/30	1	
📄	営業課	計画書	10/30	1	

複数の文書を選択したときは、選択した順に送信されます。

- ・文書を送信する順番に並べるときは、[送信順]を押します。
- ・文書を名前の順番に並べるときは、[文書名]を押します。
- ・文書を登録したユーザー名で並べるときは、[ユーザー名]を押します。
- ・文書を登録した月日順で並べるときは、[月日]を押します。

選択した文書の情報を知りたいときは[詳細]を押します。

サムネールのキーを押すとサムネール表示に切り替わります。

3 パスワードを設定している文書を選択したときは、パスワードを入力して【実行】を押します。

パスワードをテンキーで入力し、【実行】キーを押してください。

_____ クリア

取 消 実 行

パスワードを設定していないときは、手順 4 に進みます。

4 蓄積した文書に原稿を追加して送信するときは【紙原稿+蓄積文書】または【蓄積文書+紙原稿】を押します。

解

紙原稿+蓄積文書 蓄積文書+紙原稿

種別	ユーザー名	文書名	月日	ページ	送信
企画課	地図	10/30	1	1	
営業課	計画書	10/30	1		

蓄積文書だけを送信するときは、手順 5 に進みます。

【紙原稿+蓄積原稿】を指定すると、「原稿」→「蓄積した文書」の順に送信されます。【蓄積文書+紙原稿】を指定すると、「蓄積した文書」→「原稿」の順に送信されます。

5 【OK】を押します。

6 相手先を指定し、【スタート】キーを押します。

蓄積してある文書に原稿を追加して送るときは、原稿をセットして、読み取り条件を選択します。あとから追加した原稿は蓄積されません。

↓ 補足

- ・ファクス機能から蓄積した文書だけを送信できます。コピー機能、プリンター機能、およびスキャナー機能からドキュメントボックスに蓄積した文書は送信できません。
- ・指定した文書は蓄積したときの読み取り条件で送信されます。
- ・以下の項目の最大値については、「項目別最大値一覧」を参照してください。
 - ・一度に指定できる文書数
 - ・一度の操作で送信できる原稿の枚数

☞ 参照

- ・ P.326 「項目別最大値一覧」

[全文書表示] から検索する

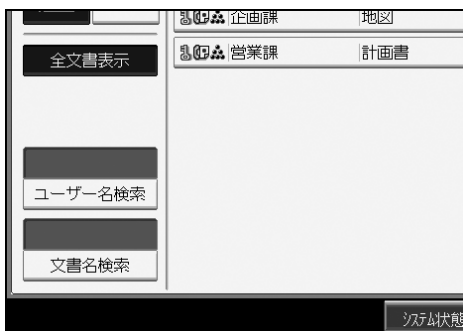
- 1 送信する文書を表示させます。
[▲] または [▼] を押して送信する文書を表示させます。



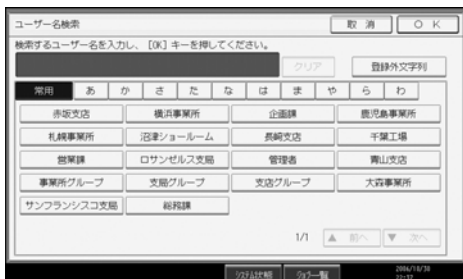
[ユーザー名] から検索する

5

- 1 [ユーザー名検索] を押します。



- 2 送信する文書を登録したユーザー名を選択し、[OK] を押します。

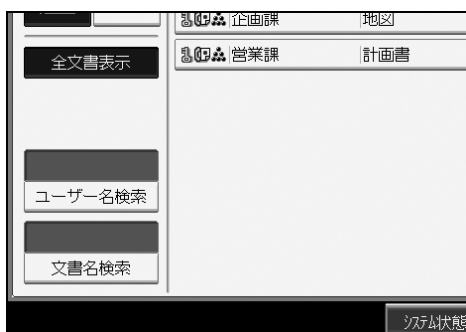


ユーザー名を入力して検索するときは[登録外文字列]を押したあと、ユーザー名を入力します。ユーザー名は前方一致で検索されます。

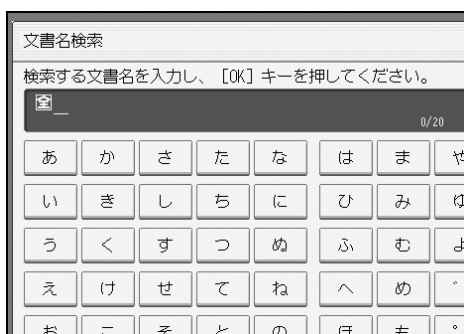
- 3 送信する文書を押します。

[文書名] から検索する

1 [文書名検索] を押します。



2 送信する文書の文書名を入力し、[OK] を押します。



文書名は前方一致で検索されます。

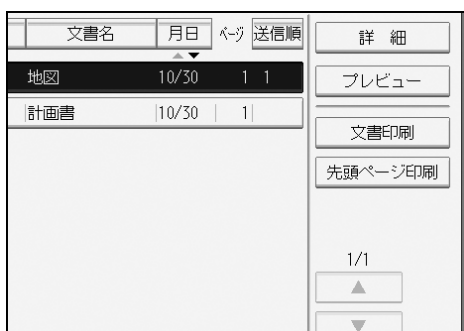
3 送信する文書を押します。

5

プレビュー表示する

- 1 送信する文書を選択します。
サムネールのキーを押すと、サムネール表示に切り替わります。

- 2 [プレビュー] を押します。



5

- 3 プレビューを確認します。



- [縮小表示] または [拡大表示] を押すと、文書を縮小または拡大して表示できます。
- [←] [→] [↑] [↓] を押すと、表示させる部分を移動できます。
- [表示文書切り替え] を押すと、選択した別の文書を表示できます。
- [表示ページ切り替え] を押すと、表示させるページを切り替えられます。

- 4 [閉じる] を押します。

↓ 補足

- 蓄積した画像ファイルが壊れている場合はプレビュー表示されません。蓄積し直してください。

蓄積した文書を印刷する

ドキュメントボックスに蓄積されている文書を印刷します。
先頭ページのみ印刷して原稿の内容を確認することもできます。

★重要

- ・「先頭ページ印刷」を選択したときは、A4 サイズより大きい原稿は、A4 サイズに縮小して印刷します。

1 「蓄積文書指定」を押します。

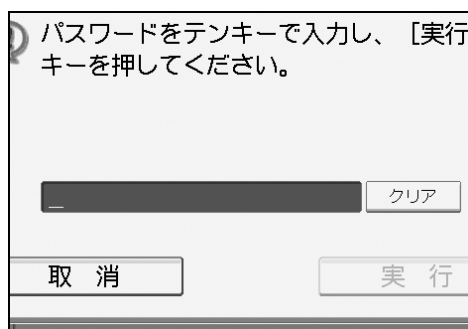


2 印刷する文書を選択します。



サムネールのキーを押すとサムネール表示に切り替わります。

3 パスワードを設定している文書を選択したときは、パスワードを入力して【実行】を押します。



パスワードを設定していないときは、手順 4 に進みます。

4 [文書印刷] または [先頭ページ印刷] を押します。

[文書印刷] を押したときは、全ページ印刷します。[先頭ページ印刷] を押したときは、一番初めのページのみ印刷します。

両面印刷（両面ユニットが必要）をするときは、[両面に印刷する] を押します。複数の文書を指定したときは、文書ごとに両面印刷します。

5 [スタート] キーを押します。

先頭ページのみ印刷したときは、用紙の先端に文書名が印字されます。

印刷を中止するときは [印刷中止] を押します。

6 [解除] を押します。

待機中の画面に戻ります。

↓ 補足

- この機能で印刷できるのは、ファクス機能から蓄積した文書だけです。
- サイズ混載機能を使用せずに蓄積した原稿を印刷するとき、ファクス機能から印刷するときとドキュメントボックス機能から印刷するときでは、2 ページ目以降の用紙サイズが異なる場合があります。
- 複数の文書を指定して印刷できます。
- 以下の項目の最大値については、「項目別最大値一覧」を参照してください。
 - [先頭ページ印刷] で印刷できる件数
 - 一度に印刷できる件数

F 参照

- P.326 「項目別最大値一覧」

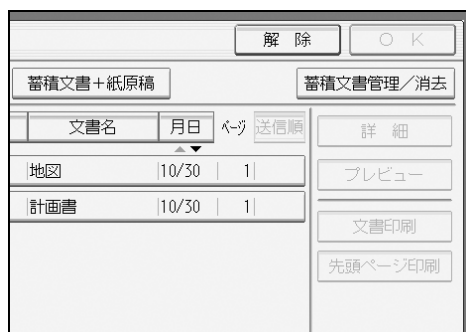
蓄積した文書情報を変更する

蓄積されている文書の文書名、ユーザー名、パスワードを変更します。
蓄積する文書を変更するときは、文書を消去したあとに登録し直します。

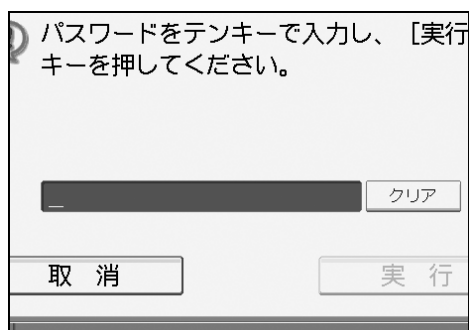
1 「蓄積文書指定」を押します。



2 「蓄積文書管理／消去」を押し、変更する文書を選択します。



3 パスワードを設定している文書を選択したときは、パスワードを入力して「実行」を押します。



パスワードを設定している文書を選択していないときは、手順 4 に進みます。

4 蓄積文書の情報を変更します。

変更する項目のキーを押します。

The screenshot shows a document management interface. At the top, there are tabs for '文書名' (Document Name), '月日' (Month/Day), 'ページ' (Page), and '送信順' (Send Order). Below these is a table with two rows: '地図' (Map) with date '10/30' and page '1 1', and '計画書' (Plan) with date '10/30' and page '1'. To the right of the table is a sidebar with buttons: '文書消去' (Delete Document), '企画課' (Planning Dept), 'ユーザー名変更' (Change Username), '地図' (Map), '文書名変更' (Change Document Name), 'パスワード変更' (Change Password), and a '1/1' indicator with up/down arrows.

5 [閉じる] を押します。

待機中の画面に戻ります。

5 ユーザー名を変更する**1 [ユーザー名変更] を押します。**

This screenshot is identical to the previous one, showing the document management interface. The 'ユーザー名変更' (Change Username) button in the sidebar is highlighted, indicating it is the next step in the process.

2 [クリア] を押します。

The screenshot shows a confirmation dialog for changing the user name. At the top are '取消' (Cancel) and 'OK' buttons. Below is a text input field with a 'クリア' (Clear) button. A label '登録外文字列' (Registered Character String) is next to it. Below this is a row of character selection buttons: 'な', 'は', 'ま', 'や', 'ら', 'わ'. At the bottom is a grid of department/location buttons: '企画課' (Planning Dept), '鹿児島事業所' (Kagoshima Office), '長崎支店' (Nagasaki Branch), '千葉工場' (Chiba Factory), '管理者' (Manager), '青山支店' (Aoyama Branch), '営業課' (Sales Dept), and '大森事業所' (Oomori Office).

ユーザー名が消去されます。

3 新たに設定するユーザー名を入力し、[OK] を押します。

見出しキーを押すと、見出しを切り替えることができます。

登録されていないユーザー名を設定するときは、設定されているユーザー名を消去したあと、[登録外文字列] を押して入力します。ここで入力したユーザー名は、ユーザーコードには登録されません。

↓ 補足

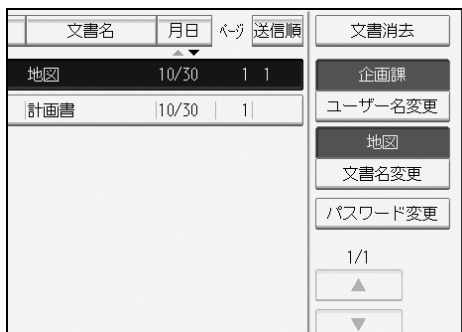
- ・セキュリティの設定によっては、[ユーザー名変更] が [アクセス権変更] と表示される場合があります。[アクセス権変更] の設定手順について詳しくは、管理者にお問い合わせください。

📖 参照

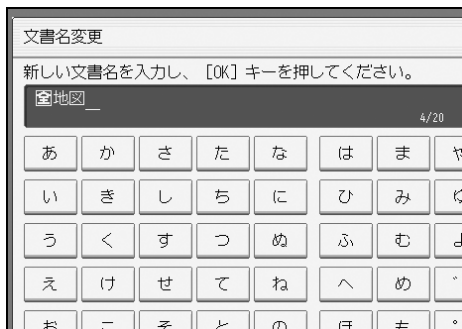
- ・『本機のご利用にあたって』「文字入力のしかた」

文書名を変更する

1 [文書名変更] を押します。



2 [後退] または [全消去] を押して文書名を入力し直します。



3 [OK] を押します。

📖 参照

- ・『本機のご利用にあたって』「文字入力のしかた」

パスワードを変更する

1 [パスワード変更] を押します。

The screenshot shows a document management interface. On the left, there is a table with columns '文書名' (Document Name), '月日' (Month/Day), 'ページ' (Page), and '送信順' (Send Order). The table contains two rows: '地図' (Map) with values '10/30', '1', '1' and '計画書' (Plan) with values '10/30', '1'. On the right, there is a sidebar with buttons: '文書消去' (Delete Document), '企画課' (Planning Dept), 'ユーザー名変更' (Change Username), '地図' (Map), '文書名変更' (Change Document Name), 'パスワード変更' (Change Password), and a '1/1' indicator with up/down arrows.

2 テンキーで新しいパスワードを入力し、[OK] を押します。

5

The screenshot shows a dialog box titled 'パスワード変更' (Change Password). It has buttons for '取 消' (Cancel) and 'O K'. The text inside says: '新しいパスワードをテンキーで入力し、[OK] キーを押してください。' (Enter the new password on the numeric keypad and press the [OK] key). Below the text is a numeric keypad input field and a 'クリア' (Clear) button.

3 新しいパスワードをもう一度入力し、[OK] を押します。

The screenshot shows a dialog box titled 'パスワード変更確認' (Change Password Confirmation). It has buttons for '取 消' (Cancel) and 'O K'. The text inside says: '確認のため、もう一度新しいパスワードをテンキーで入力し、[OK] キーを押してください。' (For confirmation, enter the new password on the numeric keypad again and press the [OK] key). Below the text is a numeric keypad input field and a 'クリア' (Clear) button.

蓄積した文書を消去する

蓄積した文書を消去します。

1 「蓄積文書指定」を押します。

The screenshot shows a software interface with a sidebar on the left containing buttons like '読み取り条件' (Read Conditions), '自動濃度' (Automatic Density), '片面原稿' (Single-sided Original), '原稿送り' (Original Feeding), and '蓄積文書指定' (Designate Accumulated Documents). The main area displays a grid of document thumbnails with labels such as '[00001] G3 赤坂支店', '[00002] G3 横浜事業所', '[00003] G3 企画課', '[00007] G3 長崎支店', '[00008] G3 千葉工場', and '[00009] G3 営業課'. Other buttons include '送信結果表示' (Display Transmission Results) and '受信' (Receive).

2 「蓄積文書管理／消去」を押します。

5

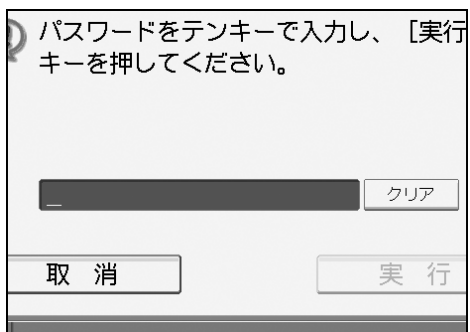
The screenshot shows a window titled '蓄積文書管理／消去'. It has a tab '蓄積文書+紙原稿' and a button '解除'. Below is a table with columns '文書名' (Document Name), '月日' (Month/Day), and 'ページ' (Page). The table lists '地図' (Map) and '計画書' (Plan) on '10/30' with '1' page. To the right are buttons for '詳細' (Details), 'プレビュー' (Preview), '文書印刷' (Document Print), and '先頭ページ印刷' (Print First Page).

3 消去する文書を押します。

The screenshot shows a table with columns '種別' (Type), 'ユーザー名' (User Name), '文書名' (Document Name), '月日' (Month/Day), 'ページ' (Page), and '送信' (Transmit). The table lists two documents: '企画課' (Planning Dept) with '地図' (Map) and '営業課' (Sales Dept) with '計画書' (Plan), both dated '10/30' with '1' page.

複数の文書を指定して、一度に消去することもできます。

- 4** パスワードが設定されているときは、テンキーでパスワードを入力し、**【実行】** を押します。



- 5** **【文書消去】** を押します。
- 6** **【消去する】** を押します。
消去しないときは **【消去しない】** を押します。
- 7** **【閉じる】** を押します。
待機中の画面に戻ります。

6. パソコンからファクス機能を活用する

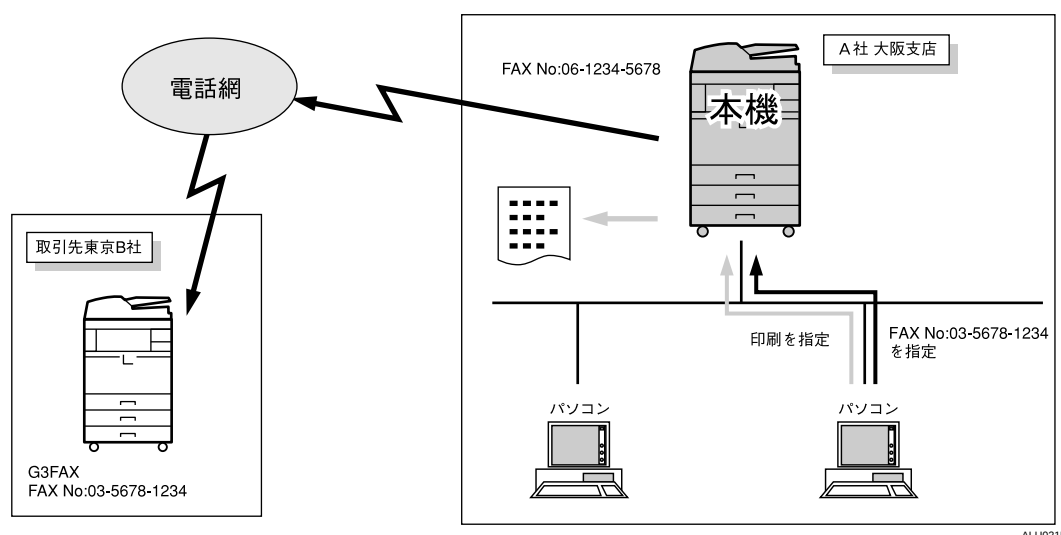
パソコンからネットワークを介して本機のファクス機能を利用する方法について説明します。

パソコンからファクスを送信する

Windows のアプリケーションで作成した文書を、パソコンに接続された本機から他のファクスへ送信します。

Windows のアプリケーションから文書を印刷する操作を行い、印刷先のプリンターとして PC FAX ドライバーを選択します。そして、ファクスの相手先を指定して送信します。パソコンと本機は、パラレルポート、LAN、IEEE 802.11b（無線 LAN）、または USB 2.0 を使って接続します。自分のパソコンから相手機まで、紙に出力することなくファクスを送信できます。

また、ファクス送信する原稿を印刷して、相手先が受信するイメージを確認できます。



★重要

- ・この機能を使うには、プリンター・スキャナーユニットが必要です。
- ・本機にエラーが発生しても、PC FAX ドライバー側ではエラーが表示されません。Web Image Monitor で確認してください。詳しくは Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- ・Windows 98 で PC ファクス機能を使用する場合は、USB 接続はご利用になれません。
- ・本機のファクス機能は、IPv6 には対応していません。

↓補足

- ・Web Image Monitor は、同一ネットワーク環境での使用を推奨します。URL をクリックしてもブラウザが開かずエラーとなることがあります。

ご使用になる前に

この機能を使うには、ご使用のパソコンに PC FAX ドライバーをインストールする必要があります。PC FAX ドライバーは、付属の CD-ROM に収録されているものをお使いください。また、パソコンと本機の接続方法に応じて設定が必要です。

↓ 補足

- ・パソコンと本機をパラレル接続しているときは『プリンター機能編』「印刷するための準備」を参照してください。
- ・パソコンと本機をイーサネット /IEEE 802.11b（無線 LAN）で接続しているときは『初期設定編』「接続と設定」を参照してください。

📖 参照

- ・『初期設定編』「接続と設定」
- ・『初期設定編』「システム初期設定」
- ・『プリンター機能編』「印刷するための準備」

ソフトウェアについて

ここでは、付属の CD-ROM に収録されているソフトウェアのうち、PC FAX ドライバー、あて先表編集ツール、および PC FAX 送付状エディターについて説明しています。

PC FAX ドライバーについて

PC ファクス機能を使用するためのドライバーです。

★重要

- Windows NT で使用する場合、RISC ベースのプロセッサ（MIPS R シリーズ、Alpha AXP、PowerPC）環境では動作しません。

◆ ファイル格納場所

付属の CD-ROM 内の次のフォルダーに格納されています。

- Windows 98/Me 用 PC FAX ドライバー
DRIVERS\PCFAX\WIN9X_ME
- Windows NT 4.0 用 PC FAX ドライバー
DRIVERS\PCFAX\NT4
- Windows 2000/XP、Windows Server 2003 用 PC FAX ドライバー
DRIVERS\PCFAX\WIN2K_XP

◆ PC FAX ドライバーの動作環境

- パソコン
対象 OS が問題なく動作する、PC/AT 互換機、NEC PC-9821 シリーズ
- 対象 OS
Microsoft Windows 98/Me 日本語版
Microsoft Windows 2000/XP 日本語版
Microsoft Windows Server 2003 日本語版
Microsoft Windows NT 4.0 日本語版
- ディスプレイ解像度
VGA 640×480 ドット以上

あて先表編集ツールについて

あて先表編集ツールは、PC ファクスの機能を使ってファクス送信するときの「あて先」を編集するユーティリティです。

◆ 対象 OS

- Microsoft Windows 98/Me 日本語版
- Microsoft Windows 2000/XP 日本語版
- Microsoft Windows Server 2003 日本語版
- Microsoft Windows NT 4.0 日本語版

PC FAX 送付状エディターについて

PC ファクスの機能を使ってファクス送信するときに「送付状」を付けることができます。PC FAX 送付状エディターはこの送付状を編集するユーティリティです。

◆ 対象 OS

Microsoft Windows 98/Me 日本語版
Microsoft Windows 2000/XP 日本語版
Microsoft Windows Server 2003 日本語版
Microsoft Windows NT 4.0 日本語版

オートランプログラムについて

CD-ROM をパソコンに挿入すると、オートランプログラムとしてプリンタードライバーやユーティリティなどの各種ソフトウェアのインストーラーが自動的に起動します。

★ 重要

- ・ プラグアンドプレイ機能が働いていると、Windows 2000/XP、Windows Server 2003 起動時には「新しいソフトウェアの検出ウィザード」が表示されます。Windows NT 4.0 起動時には「新しいソフトウェアの追加ウィザード」が表示されます。Windows 98/Me 起動時には、システムのバージョンにより「新しいソフトウェア」または、「デバイスドライバウィザード」が表示されます。この画面が表示されたときは、「キャンセル」をクリックして、本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、オートランでインストールしてください。
- ・ オートランを無効にしたいときは、左側の [Shift] キーを押しながら CD-ROM を挿入し、パソコンが CD-ROM ドライブにアクセスし終わるまで左側の [Shift] キーを押したままにします。
- ・ インストールの途中で「キャンセル」を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。キャンセルした場合は、再起動後、残りのソフトウェアまたはプリンタードライバーをインストールし直してください。

↓ 補足

- ・ Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 でインストーラーを使用するときは Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

ソフトウェアを個別にインストールする

ここでは、PC FAX ドライバー、あて先表編集ツールおよび PC FAX 送付状エディターの「個別インストール」について説明しています。プリンタードライバーなど、その他のソフトウェアと同時にインストールする「おすすめインストール」については、『プリンター機能編』「印刷するための準備」を参照してください。

★重要

- ・あらかじめ、Network Monitor for Client をインストールしておいてください。

- 1 他のアプリケーションをすべて閉じます。
- 2 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
インストーラーが起動します。
- 3 セットアップ画面が表示されたら、[PC FAX ドライバー] をクリックします。



[ドライバとユーティリティの追加ウィザード] が起動します。
[使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約書が表示されます。

- 4 すべての項目をお読みください。同意する場合は [同意します] をクリックし、[次へ] をクリックします。



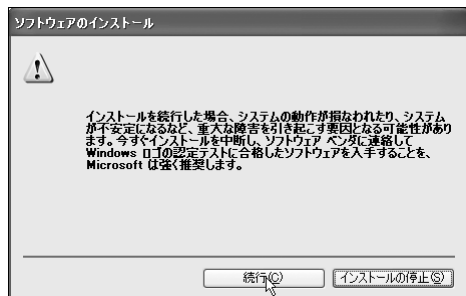
- 5 [プリンター名: <A2 PCFAX TG3>] をダブルクリックします。
- 6 [ポート] をクリックし、[追加] をクリックします。
- 7 「Network Monitor for Client」を選択し、[OK] をクリックします。

8 プロトコルを選択して本機をネットワークから検索します。

検索の方法については、「TCP/IP を使ってポートを設定する」、「IPP を使ってポートを設定する」を参照してください。

9 本機のポートが【ポート】に表示されていることを確認し、【完了】をクリックします。**10** 【完了】をクリックします。**↓ 補足****6**

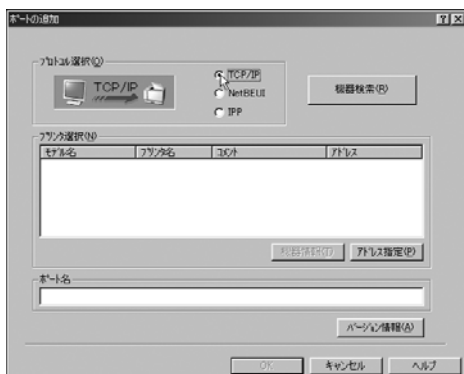
- ・インストールの途中で、「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、「インストールを続行した場合、システムの動作が損なわれたり、システムが不安定になるなど、重大な障害を引き起こす要因となる可能性があります。」という画面が表示されることがあります。その場合、【はい】または【続行】を選択して、インストールを続行します。

**目 参照**

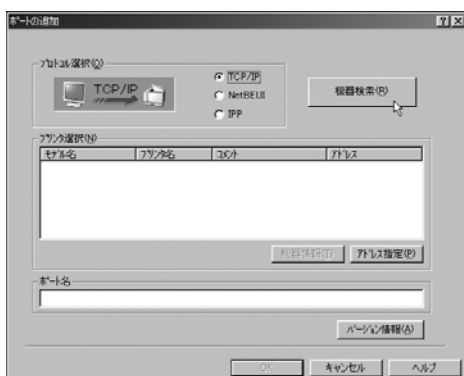
- ・P.267 「TCP/IP を使ってポートを設定する」
- ・P.268 「IPP を使ってポートを設定する」
- ・『プリンター機能編』「印刷するための準備」

TCP/IP を使ってポートを設定する

1 [TCP/IP] をクリックします。



2 [機器検索] をクリックします。



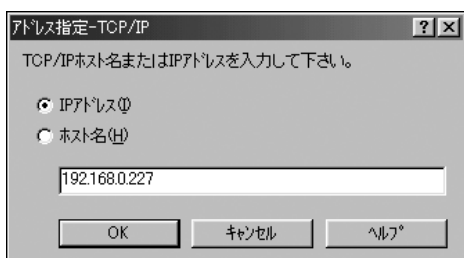
TCP/IP プロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。



3 本機をクリックして選択します。



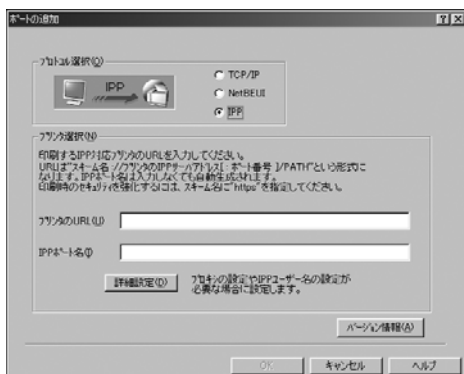
ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答した機器だけが表示されます。本機が表示されないときは、[アドレス指定] をクリックし、本機の IPv4 アドレスまたはホスト名を直接入力してください。



4 [OK] をクリックします。

IPP を使ってポートを設定する

1 [IPP] をクリックします。

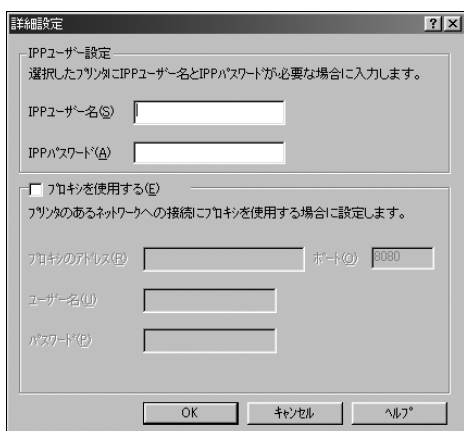


- 2** [プリンタの URL] に本機の IPv4 アドレスを「http:// (本機の IPv4 アドレス) /printer」のように入力します。



- 3** 必要に応じて[IPP ポート名]に本機を区別するための名前を入力します。すでにある他の IPP ポート名と違う名前を入力してください。入力を省略すると、[プリンタの URL] に入力したアドレスが IPP ポート名に設定されます。
- 4** プロキシサーバーや IPP ユーザー名などの設定を行う場合は、[詳細設定] をクリックし、必要な項目を設定し、[OK] をクリックします。

6



- 5** [OK] をクリックします。

↓ 補足

- 設定項目の詳細については、CD-ROM 収録のヘルプを参照してください。

PC FAX ドライバーのプロパティを設定する

PC FAX ドライバーを使うために必要な、プロパティの設定方法を説明します。

↓ 補足

- Windows NT 4.0、Windows 2000/XP、Windows Server 2003 をお使いのときは、Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

印刷設定をする

送信する原稿のサイズや画質などを設定します。

1 タスクバーの [スタート] → [設定] → [プリンタ] の順にクリックします。

Windows XP Professional、Windows Server 2003 のときは、[スタート] → [プリンタと FAX] の順にクリックします。

Windows XP Home Edition のときは、[スタート] → [コントロールパネル] → [プリンタとその他のハードウェア] → [プリンタと FAX] の順にクリックします。

2 「ご使用のタイプ名」を選択して反転表示させ、[ファイル] メニューから [プロパティ] を選択します。

Windows NT 4.0 のときは、[ドキュメントの既定値] を選択します。

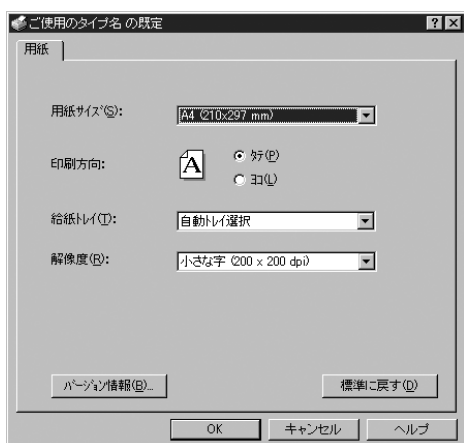
「ご使用のタイプ名のプロパティ」のダイアログが表示されます。

3 Windows 98/Me のときは、[用紙] タブをクリックしたあと、次の印刷設定を行います。



- 用紙サイズ
- 印刷方向
- 給紙トレイ
- 解像度
- 濃度
- True Type フォントをイメージで印刷する

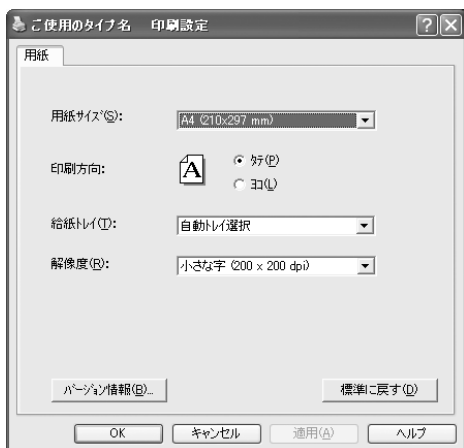
4 Windows NT 4.0 のときは、次の印刷設定を行います。



- ・用紙サイズ
- ・印刷方向
- ・給紙トレイ
- ・解像度

5 Windows 2000/XP、Windows Server 2003 のときは、[印刷設定] をクリックしたあと、次の印刷設定を行います。

6



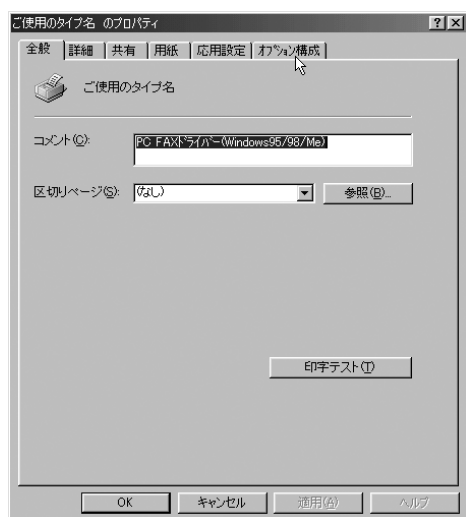
- ・用紙サイズ
- ・印刷方向
- ・給紙トレイ
- ・解像度

6 [OK] をクリックします。

オプション構成を設定する

本機に装着しているオプション構成に関する設定を行います。

- 1** タスクバーの[スタート] → [設定] → [プリンタ]の順にクリックします。
Windows XP Professional、Windows Server 2003 のときは、[スタート] → [プリンタとFAX]の順にクリックします。
Windows XP Home Edition のときは、[スタート] → [コントロールパネル] → [プリンタとその他のハードウェア] → [プリンタとFAX]の順にクリックします。
- 2** 「ご使用のタイプ名」を選択して反転表示させ、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択します。
「ご使用のタイプ名のプロパティ」のダイアログが表示されます。
- 3** [オプション構成] タブをクリックします。



- 4** ネットワーク接続しているときは、自動的にオプション構成を取得します。もし、本機のオプション構成と異なっているときは[機器情報を取得]をクリックします。

5 ローカル接続しているときは、本機に接続されているオプションの項目にチェックマークを付けます。



6 [適用] をクリックします。 オプション構成が設定されました。

7 [OK] をクリックします。

◆ オプション構成画面について

オプション構成画面には、オプション構成以外に下記のような項目の設定が含まれています。



- 直接あて先指定禁止

本機が直接あて先指定を禁止するときにチェックボックスにチェックマークを付けます。

- メールを使用する

PC ファクスでインターネットファクスを利用するときは、「メールを使用する」のチェックボックスにチェックマークを付けます。

補足

- ・本機に装着しているオプションと異なる設定をすると、正常に機能しないことがあります。
- ・本機がネットワーク接続されていて、ポートで Network Monitor for Client を使用しているときは、自動的にオプション構成を取得します。オプション構成の自動取得については、PC FAX ドライバーのヘルプを参照してください。

パソコンから送信する

パソコンのアプリケーションで作成した文書をファクス送信します。

Windows のアプリケーションから文書を印刷する操作を行います。印刷先のプリンターとして PC FAX ドライバーを選択し、PC FAX のダイアログが表示されたら、ファクスの相手先を指定します。

送信する文書をアプリケーションで開くか作成しておき、次の操作を行います。

詳しくは PC FAX ドライバーのヘルプを参照してください。

★重要

- ・ Network Monitor for Client を使用しているときは、複数のパソコンから本機に対し、PC ファクスを使って同時に送信することはできません。

6

1 【ファイル】メニューから【印刷】を選択します。

2 プリンタ名で「ご使用のタイプ名」を選択します。

3 【OK】をクリックします。

アプリケーションにより設定方法が多少異なることもあります。各アプリケーションの設定方法に従い、プリンタを「ご使用のタイプ名」に設定してください。

【PC FAX】のダイアログが表示されます。

4 相手先を指定します。



相手先の指定方法については PC FAX ドライバーのヘルプを参照してください。

機器本体でユーザー認証しているときは【ユーザー設定】をクリックして設定します。

5 必要に応じて送信オプションなどを指定します。

6 [送信] をクリックします。

[送信 & 印刷] をクリックすると、相手先へのファクス送信と本機からの印刷を行います。

補足

- ・ PC FAX ドライバーを使って送信された文書は、本機で送信待機文書として保持できます。保持できる件数については「項目別最大値一覧」を参照してください。
- ・ 一度に指定できる最大宛先数については、「項目別最大値一覧」を参照してください。

参照

- ・ P.275 「機器本体に登録したアドレス帳・グループ宛先を使って相手先を指定する」
- ・ P.276 「あて先表を使って相手先を指定する」
- ・ P.277 「ファクス宛先またはインターネットファクス宛先を直接入力して相手先を指定する」
- ・ P.278 「送信オプションを指定する」
- ・ P.283 「送信結果をメールで確認する」
- ・ P.286 「あて先表を編集する」
- ・ P.326 「項目別最大値一覧」

6

機器本体に登録したアドレス帳・グループ宛先を使って相手先を指定する

★重要

- ・ 機器本体に登録したアドレス帳・グループ宛先を使うには、あらかじめアドレス帳のデータを PC FAX ドライバーのあて先表に取り込んでおく必要があります。

1 「あて先表」タブまたは「直接あて先指定」タブをクリックします。

「あて先表」タブまたは「直接あて先指定」タブの画面が表示されます。

2 「機器登録アドレス」(または「機器登録アドレスを使用する」)のチェックボックスにチェックマークを付けます。

3 「あて先表」タブでは「機器登録アドレス」欄にアドレスが表示されます。「直接あて先指定」タブでは「機器登録アドレス」に宛先キーの登録番号を入力します。

4 [送信先一覧に追加] をクリックします。

間違えて追加した場合は、削除する相手先をクリックして反転表示させ、[一覧から削除] をクリックします。

入力した相手先が送信先として追加され、送信先一覧に表示されます。

5 複数の相手先を指定するときは、手順 3、4 を繰り返します。

参照

- ・ P.290 「本機のアドレス帳のデータを PC ファクスのあて先表で使う」

あて先表を使って相手先を指定する

★重要

- あて先表から相手先を選択するには、あらかじめ「あて先表編集ツール」で相手先をあて先表に登録しておく必要があります。

- 1 「あて先表」タブをクリックします。
「あて先表」タブの画面が表示されます。



- 2 使用するあて先表の CSV ファイルを、ドロップダウンメニューから選択します。

ドロップダウンメニューには最近使ったファイルが 3 ファイルまで表示されます。表示されていないあて先表を使用するときは、[参照] をクリックしてファイルを選択します。

- 3 あて先表の表示形式を「形式」のドロップダウンメニューから選択します。
選択した形式により、あて先一覧には次のように表示されます。

- ・個人：氏名、会社名、部門名、ファクス番号
- ・グループ：グループ

「グループ」を選択したときは、手順 5 に進みます。

- 4 手順 3 で「個人」を選択したときは、送信するファクスの種別を「種別」のドロップダウンメニューから選択します。

通常のファクスで送る場合は「ファクス」、インターネットファクスで送る場合は「メール」を選択します。

- 5 あて先一覧で送信するあて先をクリックして反転表示させ、[送信先一覧に追加] をクリックします。

選択したあて先が送信先として追加され、送信先一覧に表示されます。

間違えて追加した場合は、削除する相手先をクリックして反転表示させ、[一覧から削除] をクリックします。

あて先表一覧のリストボックス内で、探したい氏名を直接入力すると入力した文字までジャンプします。

6 複数の相手先を指定するときは、手順**2**から手順**5**を繰り返します。

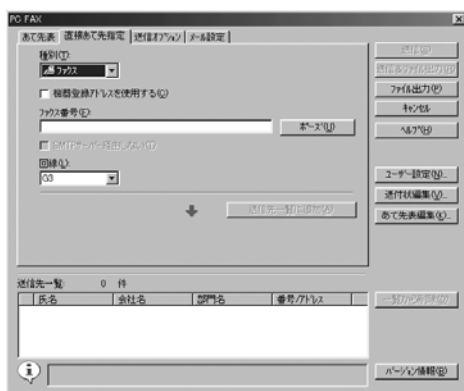
↓ 補足

- ・「検索」のドロップダウンメニューでは、氏名、会社名またはグループ名のよみがながら宛先を検索できます。

ファクス宛先またはインターネットファクス宛先を直接
入力して相手先を指定する

1 [直接あて先指定] タブをクリックします。

「直接あて先指定」タブの画面が表示されます。



2 送信するファクスの種別を「種別」のドロップダウンメニューから選択します。

通常のファクスで送る場合は「ファクス」、インターネットファクスで送る場合は「メール」を選択します。

種別を選択すると、選択した種別の画面に切り替わります。

3 宛先を入力します。

手順 **2** で選択した種別により、宛先は次のように入力します。

- ・「ファクス」を選択した場合：ファクス番号を半角数字で入力します。
- ・「メール」を選択した場合：メールアドレスを半角英数字で入力します。

ファクス番号の間にポーズを入力するときは、[ポーズ] をクリックします。手順 **2** で「メール」を選択した場合は、[ポーズ] は無効になります。

4 送信するファクスの種別により、必要な項目を設定します。

手順 **2** で選択した種別により、次のように設定します。

- ・「ファクス」を選択した場合:「回線」ドロップダウンリストから使用する回線またはプロトコルを選択します。
- ・「メール」を選択した場合:SMTP サーバーを経由せずに送信する場合は「SMTP サーバー経由しない」チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます。

5 「送信先一覧に追加」をクリックします。

入力した宛先が送信先として追加され、送信先一覧に表示されます。
間違えて追加した場合は、削除する相手先をクリックして反転表示させ、[一覧から削除] をクリックします。

6 複数の相手先を指定するときは、手順 2 から手順 5 を繰り返します。

補足

・宛先として入力できる最大桁数については、「項目別最大値一覧」を参照してください。

参照

- ・P.71 「ファクス番号で送る」
- ・P.74 「メールアドレスで送る」
- ・P.326 「項目別最大値一覧」

送信オプションを指定する

ファクスを送信するときに次の送信オプションを指定できます。
送信オプションの詳細については PC FAX ドライバーのヘルプを参照してください。

- ・時刻指定送信
- ・発信元名称印字
- ・送付状を添付する
- ・両面印刷
- ・プレビュー表示
- ・送信イメージ出力
- ・文書蓄積

6

時刻指定送信を設定する

- 1 [送信オプション] タブをクリックします。
「送信オプション」タブの画面が表示されます。



- 2 「時刻指定送信する」のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、送信する時刻を指定します。

発信元名称印字を設定する

- 1 「送信オプション」タブをクリックします。
「送信オプション」タブの画面が表示されます。

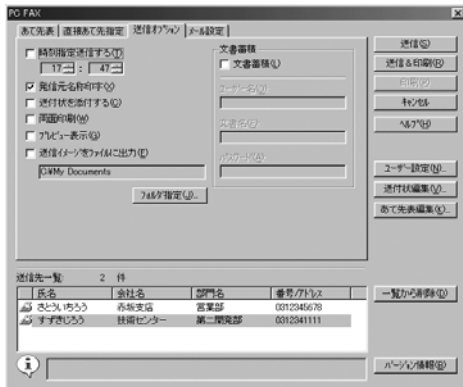


- 2 「発信元名称印字」のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます。

6

送付状を付けて送信する

- 1 「送信オプション」タブをクリックします。
「送信オプション」タブの画面が表示されます。



- 2 「送付状を添付する」のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます。

送信文書の先頭に送付状が添付されます。

「送付状編集」をクリックすると送付状の内容を編集できます。

参照

- ・P.290 「送付状を編集する」

両面印刷を指定する

★重要

- この機能を利用するためには両面ユニットが必要です。

- 1 「送信オプション」タブをクリックします。
「送信オプション」タブの画面が表示されます。



6

- 2 「両面印刷」のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます。
相手先の受信イメージを確認するときに、両面印刷できます。

プレビューを表示する

相手先の受信イメージを画面上で確認できます。

- 1 「送信オプション」タブをクリックします。
「送信オプション」タブの画面が表示されます。



- 2 「プレビュー表示」のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます。

- 3 [送信]、[印刷]、または[送信&印刷] をクリックします。
「プレビュー」ウィンドウが表示されます。
- 4 [次ページ] または [前ページ] をクリックして、受信イメージを確認します。
「プレビュー」ウィンドウを閉じるときは [キャンセル] をクリックします。

送信イメージをファイルに出力する

送信イメージを TIFF 形式 (TIFF-F) の画像ファイルとして出力します。

- 1 [送信オプション] タブをクリックします。
「送信オプション」タブの画面が表示されます。



- 2 「送信イメージをファイルに出力」のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます。
- 3 [フォルダ指定] をクリックします。
- 4 ツリーからファイルの出力先となるフォルダーをクリックして指定します。
- 5 名前の付け方を選択します。
[ファイル名を指定する] を選択すると、出力時にファイル名を付けることができます。[ファイル名を自動で作成する] を選択すると、自動的に名前を付け、保存します。
- 6 [OK] をクリックします。
- 7 [ファイル出力] または 「送信&ファイル出力」 をクリックします。
[ファイル名を自動で作成する] を選択したときは、この手順で終了します。
[ファイル名を自動で作成する] を選択したときのファイル名の付け方は、次のとおりです。

Ric HH MM SS.tif
出力した 分 秒
時間

- 8 ファイル名とファイルの種類を指定します。**
ここで保存先のフォルダーを選択し直すこともできます。

- 9 [保存] をクリックします。**
指定したフォルダーにファイルが出力されます。

↓ 補足

- 出力が 1 ページの場合はシングル TIFF ファイル、複数ページの場合はマルチ TIFF ファイルになります。

文書蓄積を設定する

★ 重要

- PC FAX ドライバーのプロパティの「オプション構成」で「増設ハードディスク」のチェックボックスにチェックマークを付けていないときは、文書蓄積は選択できません。

- 1 [送信オプション] タブをクリックします。**
「送信オプション」タブの画面が表示されます。



- 2 「文書蓄積」のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、ユーザー名、文書名、パスワードを入力します。**

PC FAX ドライバーを使った送信を確認する

「Network Monitor for Client」、「Network Monitor for Admin」および Web Image Monitor から、PC FAX ドライバーを使って送信した文書情報を確認できます。確認できる送信結果の件数については、「項目別最大値一覧」を参照してください。

補足

- ・「Network Monitor for Client」のポートを経由して PC FAX ドライバーからデータが送信されると、「データ転送完了」とパソコン画面上に表示され、通信経過を簡単に知ることができます。ただし、PC ファクスから本機への通信量が多くなると、本機と「Network Monitor for Client」の記憶領域の違いから、操作途中に表示されることがあります。ファクスの送信結果をより正確に確認するには、「送信結果メール通知」などで確認してください。
- ・ジョブ履歴が本機の送信履歴と異なる場合があります。そのときは本機の送信履歴を確認してください。
- ・詳しい使い方はそれぞれのヘルプを参照してください。

参照

- ・P.326 「項目別最大値一覧」

6

送信結果をメールで確認する

PC FAX ドライバーから通信した結果を、メールで送信します。

「送信」もしくは「送信&印刷」を行った場合は、通信が正しく行われると、「送信結果メール通知」（通信結果をメールで送信するもの）を送信します。

また、パソコンから本機への通信がエラーになった場合や印刷を行った場合は、「PC ファクス結果通知メール」を送信します。

1 「メール設定」タブをクリックします。

2 「送信結果メール通知」の「通知する」のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます。



3 送信結果通知メールの宛先を入力します。

直接送信先のメールアドレスを入力するときは、「直接あて先指定」のラジオボタンをクリックしたあと、「直接あて先指定」に送信先のメールアドレスを入力します。機器登録アドレスを入力するときは、「機器登録アドレス」のラジオボタンをクリックしたあと、「機器登録アドレス」に宛先キーの登録番号を入力します。「直接あて先指定」が選択されているときは、「機器登録アドレス」は無効となり、テキストボックスは入力できません。

4 [送信] または [送信 & 印刷] をクリックします。

補足

- ・本機のメール設定に不備がある、もしくは「送信者名自動指定」が「しない」に設定されているときは「PC ファクス結果通知メール」は送信されず、「PC ファクス結果レポート」を出力します。メール設定については『初期設定編』「システム初期設定」、「PC ファクス結果レポート」については「PC ファクス結果レポート」を参照してください。
- ・「送信結果メール通知」と「通信結果レポート」を併用して送信結果を確認するには、「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 10 ビット 6）を「する」に設定します。工場出荷時は「しない」に設定されています。

参照

- ・P.207 「通信結果レポート」
- ・P.285 「PC ファクス結果レポート」
- ・『初期設定編』「システム初期設定」
- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

6

PC ファクス結果通知メール

「PC ファクス結果通知メール」は、パソコンから本機への通信がエラーになった場合や印刷を行った場合に送信されます。

このメールは『InternetFax』（XXX）から送信されたものです。

問い合わせ先: abc@defcompany.com

***** P C ファクス結果レポート (2005. 3. 15 14:00) *****

送信者 : abc@defcompany.com

エラー原因: 送信要求を受け付けられませんでした。
ファクス番号が正しく指定されていません。

ご確認ください

ALS011D

PC ファクス結果レポート

「PC ファクス結果レポート」について説明します。

「送信結果メール通知」を「通知する」に設定している場合に、本機のメール設定に不備がある、または「送信者名自動指定」が「しない」に設定されているときは「PC ファクス結果通知メール」は送信されず、「PC ファクス結果レポート」を出力します。また「送信者設定」の「送信結果メール通知」を「ON」にしていない場合も、「PC ファクス結果レポート」を出力します。

↓ 補足

- ・「PC ファクス結果レポート」を印刷するかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 20 ビット 0）で設定できます。工場出荷時は「OFF（印刷しない）」に設定されています。
- ・PC FAX ドライバーで「送信」または「送信&印刷」を行った場合に、「送信結果メール通知」が送信できなかったときには、通信結果レポートを出力します。

P.1

*** PCファクス結果レポート (2004年 8月 20日 14時00分) ***

1) 青山支店

2) aoyama office

正常に処理を終了しました。

ADI031D

目 参照

- ・ P.207 「通信結果レポート」
- ・ 『初期設定編』 「ファクス初期設定」

送信イメージ出力機能

送信する原稿を印刷して、相手先が受信するイメージを確認します。
印刷する文書をアプリケーションで開くか作成しておき、次の操作を行います。
送信イメージ出力機能の詳細についてはヘルプを参照してください。

1 【ファイル】メニューから【印刷】を選択します。

2 プリンタ名から「ご使用のタイプ名」を選択します。

3 【OK】をクリックします。

アプリケーションにより設定方法が多少異なることもあります。各アプリケーションの設定方法に従い、プリンタを「ご使用のタイプ名」に設定してください。

[PC FAX] のダイアログが表示されます。

4 [印刷] または [送信&印刷] をクリックします。



補足

- ・送信イメージは TIFF 形式の画像ファイルとして出力することもできます。出力方法については、「送信イメージをファイルに出力する」を参照してください。
- ・本機の用紙がなくなったりつまったりして印刷できなかったときに本機がデータを保持する時間を、「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」(スイッチ 20 ビット 2、3、4、5) で設定できます。工場出荷時は「0 分」に設定されています。設定時間を過ぎるとデータは消去されます。

参照

- ・P.281 「送信イメージをファイルに出力する」
- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

あて先表を編集する

あて先表編集ツールを使って、あて先表に相手先を登録したり、登録した内容を編集したりします。

あて先表編集ツールの詳細についてはヘルプを参照してください。

補足

- ・CSV 形式で作成したファイルを、あて先表として利用することもできます。その場合は、CSV ファイルを一定のフォーマットにしたがって作成します。フォーマットについてはヘルプを参照してください。

相手先を新しく登録する

- 1 タスクバーの [スタート] → [プログラム] → [PC FAX ユーティリティ] → [あて先表編集ツール] の順にクリックします。

PC FAX ドライバーを起動しているときは、[あて先表編集] をクリックします。
[あて先表] のダイアログが表示されます。

- 2 [新規/参照] をクリックして、編集するあて先表の CSV ファイルを選択します。

3 相手先を入力します。

氏名	会社名	部門名
山田 一郎	株式会社	営業部
田中 太郎	株式会社	総務部
佐藤 三郎	株式会社	技術部

「氏名」、「(氏名) ふりがな」、「会社名」、「(会社名) ふりがな」、「部門名」、「ファクス番号」、「メールアドレス」を入力できます。「氏名」、「(氏名) ふりがな」および宛先(「ファクス番号」「メールアドレス」のいずれか1つ)は必ず入力してください。

4 [新規追加] をクリックします。

一覧にあて先が追加されます。

5 [閉じる] をクリックします。

6 あて先表を変更したときは、ダイアログが表示されます。変更した内容を保存するときは[はい] をクリックします。

変更を取り消して編集を終了するときは[いいえ] をクリックします。

あて先表の編集に戻るときは[キャンセル] をクリックします。

あて先表編集ツールを起動してから、何も変更していないときには表示されません。

↓ 補足

- ・「機器登録アドレスを使用する」のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、「機器登録アドレス」に宛先キーの登録番号を入力すると本機のアドレス帳データをPCファクスのあて先表に登録できます。
- ・氏名に付ける敬称を「なし」「様」「殿」「御中」から選択できます。
- ・「ファクス番号」の「回線」からは「G3」「G3-2」「G3-3」「G4」「G3 外線空き」「G3 内線空き」「I-G3」「内線」が選択できますが、本機では「内線」は使用できません。
- ・「メールアドレス」の「SMTP サーバー経由しない」チェックボックスでは、SMTP サーバーを経由せずに送信するかどうか選択できます。

登録されている相手先を編集する

- 1 タスクバーの[スタート]→[プログラム]→[PC FAX ユーティリティ]→[あて先表編集ツール]の順にクリックします。

PC FAX ドライバーを起動しているときは、[あて先表編集]をクリックします。
[あて先表]のダイアログが表示されます。

- 2 [新規/参照]をクリックして、編集するあて先表のCSVファイルを選択します。

- 3 一覧から編集する相手先を選択して、反転表示させます。

- 4 データを修正します。

- 5 [上書き]をクリックします。

一覧で選択されている相手先に上書きされます。

- 6 [閉じる]をクリックします。

- 7 あて先表を変更したときは、ダイアログが表示されます。変更した内容を保存するときは[はい]をクリックします。

変更を取り消して編集を終了するときは[いいえ]をクリックします。

あて先表の編集に戻るときは[キャンセル]をクリックします。

あて先表編集ツールを起動してから、何も変更していないときには表示されません。

登録されている相手先を削除する

- 1 タスクバーの[スタート]→[プログラム]→[PC FAX ユーティリティ]→[あて先表編集ツール]の順にクリックします。

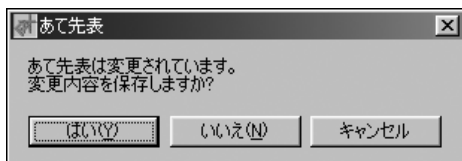
PC FAX ドライバーを起動しているときは、[あて先表編集]をクリックします。
[あて先表]のダイアログが表示されます。

- 2 [新規/参照]をクリックして、編集するあて先表のCSVファイルを選択します。

- 3 一覧から削除する相手先を選択して、反転表示させます。



- 4 [削除]をクリックします。
- 5 「あて先表」のダイアログで[はい]をクリックします。
- 6 [閉じる]をクリックします。
- 7 あて先表を変更したときは、ダイアログが表示されます。変更した内容を保存するときは[はい]をクリックします。



変更を取り消して編集を終了するときは[いいえ]をクリックします。
あて先表の編集に戻るときは[キャンセル]をクリックします。
あて先表編集ツールを起動してから、何も変更していないときには表示されません。

本機のアドレス帳のデータを PC ファクスのあて先表で使う

「Network Monitor for Admin」で[アドレス情報管理]を使うと、本機に登録されているファクス宛先の情報を、CSV ファイルとしてパソコンに保存できます。保存した CSV ファイルは、「あて先表編集ツール」の[新規 / 参照]で PC FAX ドライバーのあて先表に取り込むことができます。PC FAX ドライバー用に保存し直してください。

↓ 補足

- ・本機でグループ登録した宛先を「あて先表編集ツール」に取り込む場合、各個人のどの宛先に送るかは、以下の優先順位に従って決定されます。取り込みの際に確認し、必要に応じて変更してください。ファクス番号→メールアドレス
- ・詳しい使い方は「Network Monitor for Admin」のヘルプを参照してください。

送付状を編集する

PC FAX 送付状エディターを使って、ファクス文書を送信するときに添付する送付状のフォーマットを作成できます。

★ 重要

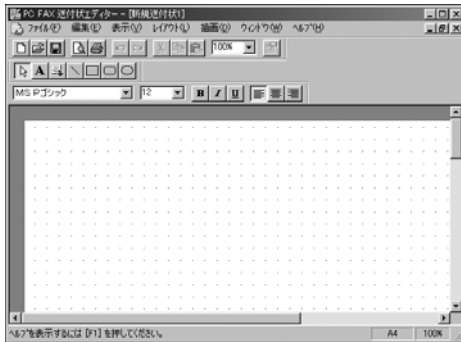
- ・PC FAX ドライバー上で作成した送付状フォーマットを使用するときには、あらかじめ送付状ファイルを作成しておく必要があります。

送付状を作成する

PC FAX 送付状エディターを使って、送付状のデータを作成します。
PC FAX 送付状エディターでは、以下のような項目が編集できます。

- ・送信先会社名
- ・送信先部門名
- ・送信先氏名
- ・送信先敬称
- ・発信元会社名
- ・発信元部門名
- ・発信元氏名
- ・発信元電話番号
- ・発信元ファクス番号
- ・日付
- ・メッセージ

- 1 タスクバーの[スタート]→[プログラム]→[PC FAX ユーティリティ]→[PC FAX 送付状エディター]の順にクリックします。
[PC FAX 送付状エディター]のウィンドウが表示されます。



- 2 送付状の内容を編集します。



詳しい使い方はヘルプを参照してください。

- 3 編集が終了したら、[ファイル]メニューから[名前を付けて保存]を選択します。
- 4 保存先のフォルダーを指定し、ファイル名を付けます。



- 5 [保存] をクリックします。

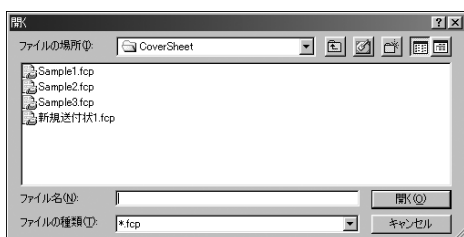
↓ 補足

- ・送付状のデータは送付状ファイル形式で保存されます。拡張子は fcp です。

作成した送付状を添付する

作成した送付状ファイルを実際にファクス文書に添付する方法を説明します。

- 1 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 2 プリント名から「ご使用のタイプ名」を選択します。
- 3 [OK] をクリックします。
[PC FAX] のダイアログが表示されます。
- 4 [送付状編集] をクリックします。
[送付状] のダイアログが表示されます。
- 5 [送付状選択] の [参照] をクリックし、送付状ファイルを選択して [開く] を押します。



[送付状選択] で指定した送付状ファイルは、使用するファイルを変更しない限り、変更されません。同じ送付状ファイルで送信先情報だけを変更するときは、手順 6 に進みます。

- 6 「送信先情報」から情報の種類を選択します。
「あて先表から転記（あて先表の内容を印字します）」、「各位（「各位」と印字します）」、「編集（独自に会社名、部門名、氏名を入力します）」、「なし（印字しません）」から選択します。



- 7 日付を印字するときは、[日付を印字する] のチェックボックスをクリックして、チェックマークを付けます。

8 発信元情報を入力します。

発信元の会社名、部門名、氏名、電話番号、ファクス番号などを入力します。

特別にメッセージを追記したい場合は「メッセージを印字する」のチェックボックスをクリックして、チェックマークを付け、メッセージを入力します。

9 [OK] をクリックします。**10 相手先を指定します。****11 [送信オプション] タブをクリックして、[送付状を添付する] のチェックボックスをクリックして、チェックマークを付けます。****12 [送信] または [送信&印刷] をクリックします。**

Network Monitor for Admin でファクス機能を管理する

Network Monitor for Admin を使って、本機のファクス機能に関する情報をパソコンから確認したり、パソコンにファイルとして保存したりできます。

↓ 補足

- Network Monitor for Admin およびインストール方法については、『ネットワークガイド』「機器の監視」を参照してください。
- 詳しい使い方については、ネットワークガイド、Network Monitor for Admin のヘルプを参照してください。

📖 参照

- 『ネットワークガイド』「機器の監視」

6

PC FAX ドライバーを使っているときに表示されるメッセージ

PC FAX ドライバーを使っているときにパソコンの画面に表示されるおもなメッセージと、その対処方法について説明します。

メッセージ	原因と対処方法
機器に接続できません。	• ネットワークに正しく接続されているか確認してください。 • 本機の電源が ON になっているか確認してください。
送信先件数が多すぎます。 最大 500 件までです。	一度に送信できる送信先の件数を超えています。一度に送信できるのは最大 500 件までです。
既に「PC FAX」は動作中です。 同時に複数の立ち上げはできません。	既に「PC FAX」のダイアログが表示されています。動作を終了させてから起動してください。
メモリーの確保に失敗しました。	パソコンのメモリーが不足しています。不要なアプリケーションを終了させてください。

Web Image Monitor からファクス受信文書を見る

ネットワーク上のパソコンから Web Image Monitor を使用して、ファクスが受信した文書の内容やリストを確認する方法を説明します。

★重要

- ・この機能を利用するときは、プリンター・スキャナーユニットが必要です。

↓補足

- ・Web Image Monitor は、同一ネットワーク環境での使用を推奨します。URL をクリックしてもブラウザが開かずエラーとなることがあります。
- ・「ファクス初期設定」で「受信文書設定」を「蓄積する」にあらかじめ設定しておく必要があります。

📖参照

- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」
- ・『ネットワークガイド』「機器の監視」

6

Web Image Monitor からファクス蓄積受信文書を閲覧する

Web Image Monitor からファクス蓄積受信文書を確認、印刷する方法を説明します。

Web Image Monitor からファクス蓄積受信文書を確認する

1 Web ブラウザを起動します。

2 アドレスに「http:// (状態を表示させたい機器の IPv4 アドレス) /」と入力します。



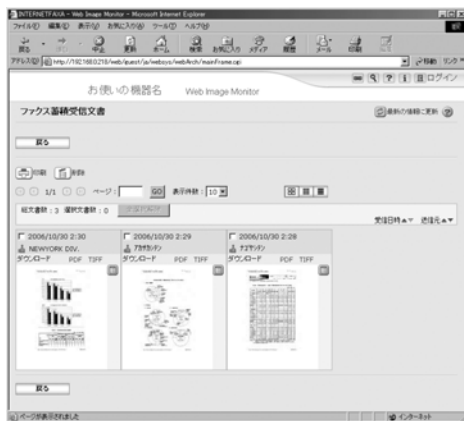
3 左フレームの「ファクス蓄積受信文書」をクリックします。

4 本機で蓄積受信文書ユーザーコードを設定しているときは、本機に登録している蓄積受信文書ユーザーコードを入力したあと、[OK] をクリックします。

受信文書の一覧が表示されます。

「システム初期設定」の「アドレス帳登録／変更／消去」で設定したユーザーコードを消去されたときは、「入力したユーザーコードが間違っています。」と表示されます。[蓄積受信文書ユーザー設定] で設定し直してください。

5 確認したい文書の  アイコンをクリックします。



受信文書の一覧はサムネイル表示・アイコン表示・詳細表示の3種類から選択できます。、またはをクリックしてください。

6 受信した文書の内容を確認します。

送付された文書のプレビューと受信日時、送信元、ページ数、文書番号、回線などの情報が表示されます。



さらに大きく表示したいときは、[拡大表示] をクリックします。[拡大表示] を使うときは、Acrobat Reader/Adobe Reader がインストールされている必要があります。詳しくは Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

7 受信文書をダウンロードするときは、[PDF] または [マルチページ TIFF] を選択して [ダウンロード] をクリックします。

「ダウンロード確認」画面が表示されます。

[PDF] を選択したときは、[ダウンロード] をクリックする前に、必要に応じて「PDF ファイルセキュリティ設定」を行います。Acrobat Reader が起動して、文書が表示されます。

↓ 補足

- ・Web Image Monitor に接続できないときは、『ネットワークガイド』を参照してください。
- ・受信文書の一覧画面から文書をダウンロードするときは、[TIFF] または [PDF] をクリックします。ダウンロードの方法は Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- ・ダウンロードの方法は、選択した形式によって異なります。詳しくは Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

📖 参照

- ・『ネットワークガイド』

Web Image Monitor からファクス受信情報を印刷する

6

1 Web ブラウザを起動します。

2 アドレスに「http:// (状態を表示させたい機器の IPv4 アドレス) /」と入力します。



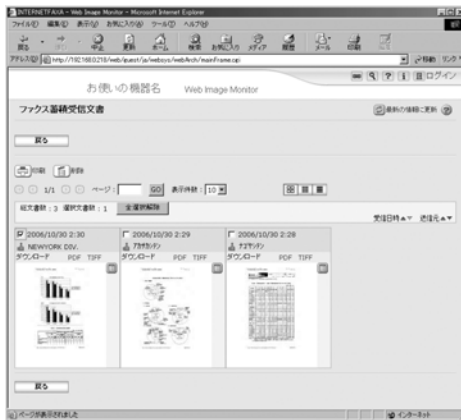
3 左フレームの [ファクス蓄積受信文書] をクリックします。

受信文書の一覧が表示されます。

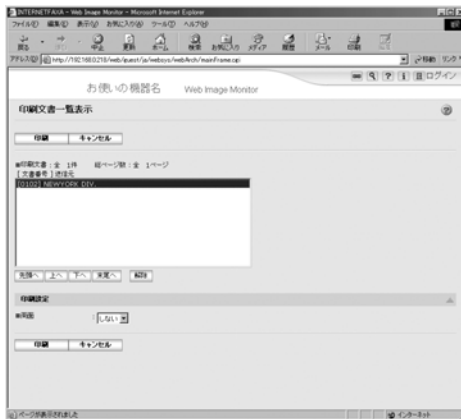
4 印刷したい文書のチェックボックスをクリックし、チェックマークを付けます。

受信文書の一覧はサムネイル表示・アイコン表示・詳細表示の 3 種類から選択できます。,  または  をクリックしてください。

5 [印刷] をクリックします。



6 [印刷] をクリックします。



6

印刷を取り消すときは、[印刷] を押す前に、[キャンセル] をクリックします。複数の文書を印刷するときの順番を変更したり、両面に印刷したりできます。詳しくは Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

7 [OK] をクリックします。

手順 5 の画面に戻ります。

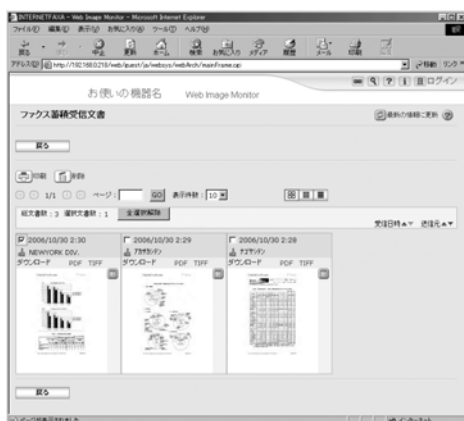
Web Image Monitor からファクス受信情報を削除する

- 1 Web ブラウザを起動します。
- 2 アドレスに「http:// (状態を表示させたい機器の IPv4 アドレス) /」と入力します。

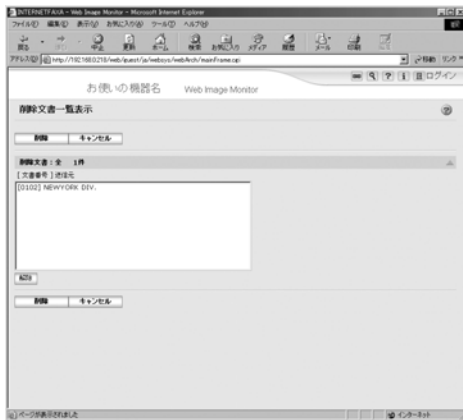


6

- 3 左フレームの「ファクス蓄積受信文書」をクリックします。
受信文書の一覧が表示されます。
- 4 削除したい文書のチェックボックスをクリックし、チェックマークを付けます。
- 5 [削除] をクリックします。



6 [削除] をクリックします。



削除を取り消すときは、[削除] を押す前に、[キャンセル] をクリックします。
複数の文書を選択したときに指定した文書だけ削除を取り消すことができます。詳しくは Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

7 [OK] をクリックします。

手順 5 の画面に戻ります。

Web Image Monitor から相手先の機種情報を登録する

アドレス帳に登録した受信側がインターネットファクス T.37 フルモードに対応しているときは、Web Image Monitor から相手先の機種情報を登録できます。

- ・圧縮方式
- ・用紙サイズ
- ・解像度

補足

- ・詳細は Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- ・アドレス帳にフルモードと登録してある相手先から受信確認応答メールが返信されると、アドレス帳の前のデータは上書きされます。

参照

- ・P36 「T.37 フルモード対応について」

登録された相手先の機種情報を編集する

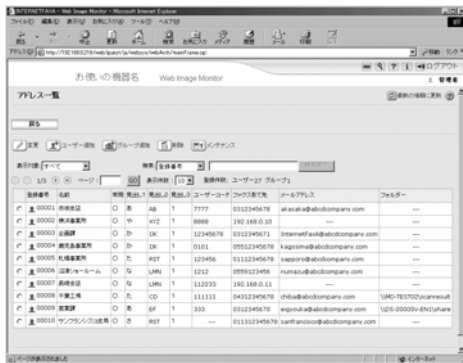
アドレス帳に登録された相手先の機種情報を、Web Image Monitor から編集する方法を説明します。

- 1 Web ブラウザを起動します。
- 2 アドレスに「http:// (状態を表示させたい機器の IPv4 アドレス) /」と入力します。
トップ画面が表示されます。

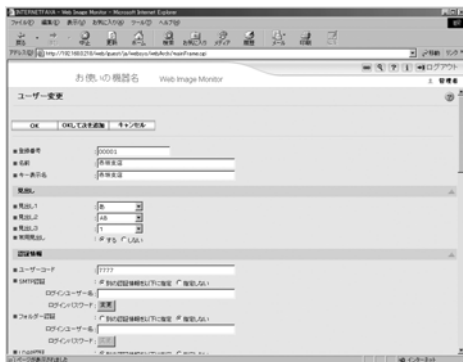


- 3 [ログイン] をクリックして、ユーザー名とパスワードを入力します。

- 4** 左フレームの【アドレス帳】をクリックします。
アドレス帳ページが表示されます。



- 5** 編集したい相手先登録番号の左のラジオボタンをクリックし、【変更】をクリックします。
ユーザー編集ページが表示されます。



6

- 6** モード選択を除く、インターネットファクスデータ形式の各項目を設定します。
シンプルモードに設定してしまうと相手先の機種情報が設定されません。

- 7** 左上の【OK】をクリックします。
取り消すときは、左上の【キャンセル】をクリックします。
アドレス帳ページが表示されます。

- 8** Web ブラウザを終了します。

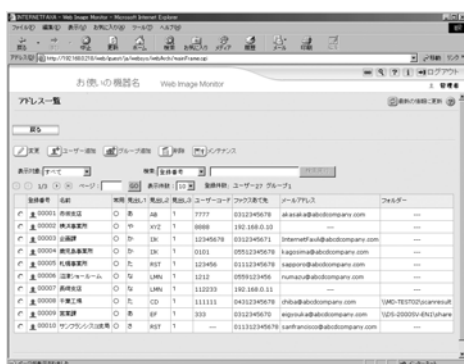
新しい相手先を追加する

Web Image Monitor からアドレス帳に新しい相手先を追加する方法を説明します。

- 1 Web ブラウザを起動します。
- 2 アドレスに「http:// (状態を表示させたい機器の IPv4 アドレス) /」と入力します。
トップ画面が表示されます。



- 3 [ログイン] をクリックして、ユーザー名とパスワードを入力します。
- 4 左フレームの [アドレス帳] をクリックします。
アドレス帳ページが表示されます。



- 5** [ユーザー追加] をクリックします。
ユーザー追加ページが表示されます。



- 6** 登録番号、名前、メールアドレスを入力し、必要に応じてほかの項目を設定します。
インターネットファクスデータ形式の項目はメールアドレスを入力すると設定できます。
- 7** インターネットファクスデータ形式の[フルモード] をクリックし、相手の機種情報にあわせてほかの項目を設定します。

6



シンプルモードに設定してしまうと相手の機種情報が設定されません。

- 8** 左上の [OK] をクリックします。
取り消すときは、左上の [キャンセル] をクリックします。
アドレス帳ページが表示されます。
- 9** Web ブラウザを終了します。

7. 付録

知っていると便利な機能やファクス機能の仕様について説明します。

メモリー使用状況を確認する

メモリーが何に使われているかを画面に表示します。

ファクス初期画面ではメモリー残量を確認できます。

また、[システム状態] では「送信待機文書」「封筒受信文書」および「受信印刷待機文書」の数を確認できます。「その他」には、Fコード掲示板ボックスに登録した文書の数、および F コード親展ボックスに受信した文書の数が表示されます。詳しくは、『こんなときには』「困ったときには」を参照してください。

↓ 補足

- ・「ファクス初期設定」の「受信文書設定」で受信文書を「蓄積する」に設定しているときは、受信した文書の数を「受信印刷待機文書」で確認できます。

📖 参照

- ・ P.14 「表示画面とキー操作について」
- ・ P.230 「親展ボックスとは」
- ・ P.234 「掲示板ボックスとは」
- ・ 『初期設定編』「ファクス初期設定」
- ・ 『こんなときには』「困ったときには」

プログラムを使う

よく行う操作の内容をプログラムとして登録します。プログラム登録した内容は、登録したキーを押すだけで繰り返し行うことができます。

プログラムを登録 / 変更する

登録できる内容は次のとおりです。

- ・メモリー送信、直接送信、宛先種別、宛先、原稿種類、解像度、読み取りサイズ、サイズ混載、自動濃度、手動濃度、原稿セット方向、原稿面、済スタンプ、回線選択、Fコード（SUB/SID/SEP/PWD）入力、サブアドレス、UII、時刻指定送信、受信確認、Bcc 送信、送信結果メール通知、本文、定型文印字、自動縮小、宛名差し込み、ID 送信、Fコード送信、Fコード取り出し、発信元名称印字、送信結果レポート、文書蓄積、大サイズ原稿指定
- ・プログラム名称

1 プログラムに登録する操作をします。

登録する内容によって操作が異なります。

〔リセット〕キーを押すと、何も操作していない状態に戻ります。

ファクス番号が 0123456789 の相手に時刻指定送信をする操作をプログラム登録するには、テンキーで [0] [1] [2] [3] [4] [5] [6] [7] [8] [9] を押したあと、時刻指定の操作で、〔OK〕を押して初期画面に戻る手順まで行います。

2 ファクス初期画面が表示されていることを確認します。

表示されていないときは〔ファクス〕キーを押します。

3 〔プログラム〕キーを押します。



AUV043D

4 [登録] を押します。

プログラムが1件も登録されていないときは、手順5に進みます。

5 「*未登録」と表示されているプログラム No. を押します。

間違えたときは[取消]を押して指定し直します。

プログラムを変更するときは、変更するプログラム No. を押したあと、[登録する]を押します。間違えたときは[登録しない]を押したあと、選択し直します。

6 プログラムの名称を入力し、[OK] を押します。

待機中の画面に戻ります。

すでに登録されているときは名称が表示されます。変更するときは[後退]、[全消去]を押して入力し直します。

プログラム名の登録は省略できません。必ず登録してください。

[取消]を押すと入力した内容を取り消して手順5の画面に戻ります。

補足

- ・変更は登録と同じ操作です。手順5で変更したいプログラム No. を選択してください。
- ・以下の項目の最大値については、「項目別最大値一覧」を参照してください。
 - ・登録できるプログラムの件数
 - ・プログラムの名称として登録できる文字数
 - ・プログラムに登録できる宛先の件数
- ・プログラムをファクス機能でご利用になる場合とコピー機能でご利用になる場合とでは、設定、変更の方法が異なります。それぞれの機能で実施してください。

参照

- ・P.125 「時刻を指定して送信する」
- ・P.326 「項目別最大値一覧」
- ・『本機のご利用にあたって』「文字入力のしかた」

プログラムの名称を変更する

プログラムの名称を変更します。

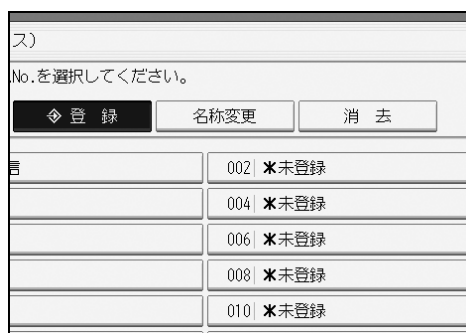
- 1 ファクス初期画面が表示されていることを確認します。
表示されていないときは〔ファクス〕キーを押します。

- 2 〔プログラム〕キーを押します。



AUV043D

- 3 〔名称変更〕を押します。



- 4 名称を変更するプログラム No. を選択します。



- 5 名称を入力し、〔OK〕を押します。
待機中の画面に戻ります。
変更を取り消すときは〔取消〕を押します。

プログラムを消去する

不要になったプログラムを消去します。

1 ファクス初期画面が表示されていることを確認します。
表示されていないときは［ファクス］キーを押します。

2 ［プログラム］キーを押します。



3 ［消去］を押します。



4 消去するプログラム No. を選択します。



5 ［消去する］を押します。

待機中の画面に戻ります。

［消去しない］を押すと、プログラムを消去しないで手順 **4** の画面に戻ります。

プログラムの使いかた

登録したプログラムを呼び出して使用します。

- 1** ファクス初期画面が表示されていることを確認します。
表示されていないときは［ファクス］キーを押します。
- 2** 原稿をセットします。
- 3** ［プログラム］キーを押します。



7

- 4** ［呼び出し］が選択されていることを確認し、登録しているプログラム No. を押します。



待機中の画面が表示されます。
登録した設定が呼び出されます。

- 5** ［スタート］キーを押します。
原稿の読み取りが始まります。
呼び出した設定で送信が始まります。

補足

- ・プログラムを使うときは、それまでの設定が解除されます。
- ・プログラムに相手先や読み取り条件を登録していないときは、プログラムを選択後に、相手先のファクス番号を入力して読み取り条件を選択します。

初期画面の初期値を登録する

電源を入れた直後、オートクリアしたとき、またはリセットしたときの初期画面の状態を設定する手順について説明します。

初期画面として設定可能な機能は、一部を除いてプログラムに登録可能な機能と同じです。登録できる内容については、「プログラムを登録 / 変更する」を参照してください。

★重要

- ・プログラムに登録可能な機能のうち、「宛先」、「F コード（SUB/SID/SEP/PWD）入力」、「サブアドレス」、「UUI」は初期値として登録できません。

1 初期画面で読み取り条件などの設定をします。

2 [プログラム] キーを押します。



3 [初期値として登録] を押します。



4 [登録] を押します。

5 確認画面が表示されますので、[登録する] を押します。

現在の設定が初期値として登録され、初期画面に戻ります。

↓補足

- ・[工場出荷時に戻す] を押すと、初期画面の初期値を工場出荷時の状態に戻すことができます。
- ・初期画面の初期値は、通常画面と簡単画面で別々に登録できます。

 参照

- P.306 「プログラムを登録 / 変更する」

ファクスを利用したサービスについて

ファクスを使って利用できる各種サービスの利用方法について説明します。

ファクス情報サービスを利用する

ファクス情報サービスを受信する方法を説明します。

次の2つの方法があります。

- ・相手の音声ガイダンスにしたがって操作する方法
- ・Fコード取り出し機能を使う方法

↓ 補足

- ・通話料金は受信側にかかります。また、通話料金のほかに情報料がかかることがあります。

音声ガイダンスにしたがって操作するとき

相手の音声ガイダンスにしたがって操作し、ファクス情報サービスを受信します。

★重要

- ・原稿をセットしないで操作します。
- ・使用している回線がダイヤル回線かプッシュ回線かを確認してください。

1 ファクス初期画面が表示されていることを確認します。
表示されていないときは「ファクス」キーを押します。

2 「オンフック」を押します。



3 情報提供元のファクス番号を指定します。

指定したファクス番号がすぐにダイヤルされます。

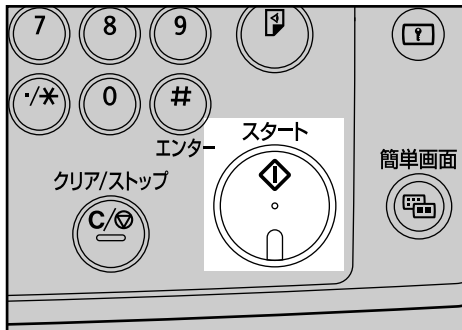
「音量」を押して音量調節画面を表示させ、「大きく」または「小さく」を押してオンフック時の音量を調節できます。

4 ダイヤル回線をお使いのときは「トーン」を押します。

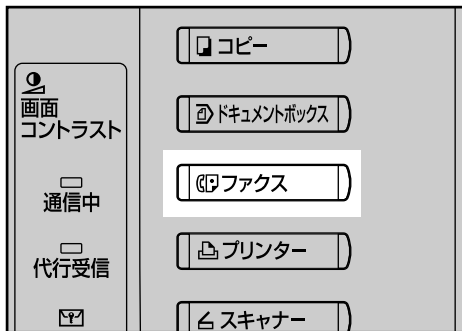
プッシュ回線をお使いのときは、手順 5 に進みます。

5 相手のガイダンスにしたがって操作します。

- 6** 「スタートボタンを押してください」と流れたら、[スタート] キーを押します。または [ファクス] キーを 2、3 秒押し続けます。



AUD0110



AUD0120

しばらくすると、受信が始まります。

↓ 補足

- ・ [オンフック] を押してから、一定時間何も操作しないと回線が切断されます。その時間をオンフック解除時間といいます。オンフック解除時間は「ファクス初期設定」の「基本設定」で設定できます。
- ・ [スタート] キーを押して手動受信するときは、ファクス機能が選択されていて、さらに原稿がセットされていないことを確認してください。
- ・ ハンドセットを付けているときは、[オンフック] を押す代わりに、受話器を上げても同様の操作ができます。
- ・ ハンドセットを使っているときは、[スタート] キーを押すか、または [ファクス] キーを 2、3 秒押し続けて、受話器を置きます。
- ・ 「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 17 ビット 7）で「受信する」に設定すると、[スタート] キーを押して受信できます。工場出荷時は「[スタート] キーを押す（受信する）」に設定されています。

📖 参照

- ・ 『初期設定編』 「ファクス初期設定」

Fコード取り出し機能を使うとき

情報提供元からポーリング受信（ポーリングモード）を指定されることがあります。そのときは「Fコード取り出し」を使います。

参照

- ・ P.106 「Fコード（SEP）が設定された文書を受信する」

マークシートを送信してサービスを受けるとき

★重要

- ・ 自動原稿送り装置（ADF）は使用しないでください。
- ・ マークシートの向きは、必ず□の向きにセットしてください。向きを間違えたり、斜めにセットすると正しく送信されません。

銀行のアンサーシステムやレインズシステム（財団法人首都圏不動産流通機構の不動産情報検索システム）をご利用の際に、マークシートを送信するときは、次のように操作します。

- 1 マークシートにマークを濃くはっきりと記入します。
- 2 マークシートを原稿ガラスにまっすぐにセットします。
- 3 「読み取り条件」で「文字」が選択されていることを確認します。
- 4 相手先を指定して、[スタート] キーを押します。

↓補足

- ・ 以上のように操作しても正しく送信できないときは、「解像度」を「小さな字」に、「濃度」をもっとも濃い設定にしてください。それでも送信できないときは、サービス実施店に連絡してください。

参照

- ・ P.55 「解像度を設定する」
- ・ P.63 「濃度を調整する」

通信網について

通信網には国内でサービスを受けられるものと、国際電話でサービスを受けられるものがあります。なお、サービス内容、利用方法については各会社にお問い合わせください。

国際ダイヤル通話

国際電話のダイヤル手順は、「マイライン」または「マイラインプラス」に登録しているときと登録していないときで手順が異なります。「マイライン」または「マイラインプラス」に登録しているときは、010のあとに国番号、0を除いた市外局番、相手先のファクス番号の順でダイヤルします。「マイライン」または「マイラインプラス」に登録していないときは、国際電話でサービスを行っている各会社専用の番号のあとに、010、国番号、0を除いた市外局番、相手先のファクス番号の順でダイヤルします。

会社によっては、あらかじめ登録や申し込みをしていないと利用できないことがあります。この方法を利用できない地域もあります。詳しくは利用する会社に直接お問い合わせください。

(例) KDDI でニューヨークの 1234567 にファクスを送信するとき

1 原稿をセットし、読み取り条件を指定します。

2 相手先を指定します。

「マイライン」または「マイラインプラス」に登録しているとき

010 + 1 + 212 + 1234567

国番号 市外局番 相手先の
ファクス番号

「マイライン」または「マイラインプラス」に登録していないとき

001(KDDI) + 010 + 1 + 212 + 1234567

各会社 国番号 市外局番 相手先の
専用番号 ファクス番号

3 [スタート] キーを押します。

↓ 補足

・国番号の前に3回くらい[ポーズ]を押さなければならないことがあります。

国際オペレータ通話

KDDI を利用するときは、オペレータを呼び出して国際電話を申し込むことができます。

★重要

- この方法は KDDI だけが取り扱っています。
- ISDN では使えません。
- オペレータには、ファクスを送信することを伝えてください。

1 原稿をセットし、読み取り条件を選択します。

2 受話器を上げて、[0] [0] [5] [1] をダイヤルします。

KDDI のオペレータが応答します。

3 相手先のファクス番号とこちらのファクス番号を伝え、オペレータの指示に従います。

↓補足

- 一度受話器を置き、KDDI からの呼び出しを受けてから送信することがあります。そのときは、あらかじめ受信モードを手動受信または自動切り替え（電話優先）に切り替えておきます。

📖参照

- P.147 「受信の種類」
- P.152 「受信モードについて」

F ネットのサービスを利用する

NTT の F ネット（ファクシミリ通信網サービス）を利用すると、ファクス通信に関するいろいろなサービスを受けられます。

◆ F ネットの主なサービス

- ・再コール
受信側が通話中のとき、自動的にダイヤルし直します。
- ・不達通知
再コールしても送信できないときは、不達通知が送られてきます。
- ・一斉同報送信
1 回の送信操作で、個別に相手先を複数指定したり、あらかじめ F ネットに登録してあるグループ番号を指定することにより、同じ原稿を複数の相手先に送信（同報送信）できます。
- ・通知メッセージ（UUI）
相手先のファクスに正常に送信できなかった場合など、F ネットから通知メッセージが返ってきます。通知メッセージを受け取るとそのメッセージ内容を画面に表示したり、不達レポートなどに印字したりします。
（例）「通信が混み合っています。」
- ・電話番号などの自動記載
送信する原稿の上部に発信年月日、時刻、電話番号、ページ番号を記載して送信します。

★ 重要

- ・ F ネットを利用するときは、NTT との契約（有料）が必要です。詳しくは NTT にお問い合わせください。

↓ 補足

- ・ G4 ユニットを使用し、ISDN を F ネット契約すると、F ネットとの送受信に G4 が使えます。
- ・ F ネットの詳しいサービス内容については、NTT から発行されている「ご利用の手引き」を参照してください。
- ・ F ネットの一斉同報送信サービスは、本機の一斉同報送信機能とは別の機能です。
- ・ 通知メッセージ（UUI）サービスは、ISDN に接続しているときに利用できます。

📖 参照

- ・ P.70 「一斉同報送信」

F ネットに送信する

F ネットを利用してファクスを送信します。
操作方法は通常の送信と同じです。

- 1** 原稿をセットし、読み取り条件を選択します。
- 2** テンキーで [1] [6] [1] または [1] [6] [2] を押します。
- 3** 相手先のファクス番号や F ネットのサービスコードをテンキーで入力します。
- 4** [スタート] キーを押します。



- ・アドレス帳でも相手先を指定できます。

F ネットから受信する

F ネットを利用してファクスを受信します。

7

加入電話回線るとき

受信モードを自動切り替え（ファクス優先）または「自動受信」に設定しておくとも自動的に受信します。NTT と F ネットの利用契約を結ぶ際に「1300Hz 呼び出し」を指定しておけば、自動切り替え（電話優先）または「手動受信」に設定していても、呼び出し音を鳴らさずに自動的に受信します。



- ・1300Hz 呼出しで受信するかどうか「ファクス初期設定」の「パラメーター設定」（スイッチ 11 ビット 3）で設定できます。工場出荷時は「着信しない」に設定されています。



- ・『初期設定編』「ファクス初期設定」

ISDN のとき

NTT と G4 F ネットの利用契約を結ぶと、受信モード（自動切り替え、自動受信、手動受信）にかかわらず、自動的に受信します。

F ネットに送信以外の操作をする

F ネットの短縮ダイヤルに電話番号を登録したり、F ネットから親展通信の文書を受け取ったりするときは、原稿をセットしないで操作します。

加入電話回線するとき

加入電話回線を使用して、F ネットに送信以外の操作をするときの手順を説明します。

- 1** [オンフック] を押すか、受話器を上げます。
発信音が聞こえます。
- 2** テンキーで [1] [6] [1] または [1] [6] [2] を押します。
- 3** F ネットのサービスコードをテンキーで入力します。
- 4** 受信するときは、[スタート] キーを押すか、または [ファクス] キーを2、3秒押し続けて、受話器を置きます。
- 5** 受信しないときは、そのまま受話器を置きます。

↓ 補足

- ・アドレス帳でも相手先を指定できます。

オプション

各オプションの機能について説明します。

FAX メモリー

FAX メモリーを使うと 28MB（標準 4MB）に増設できます。

「微細字」での送受信、および「細かい字」での受信が可能になります。また、メモリーに蓄積できる原稿の枚数を増やすことができます。

 参照

- ・ P.326 「項目別最大値一覧」

ハンドセット

オンフックダイヤルやマニュアルダイヤル機能が使えるようになり、本機を電話として使うことができるようになります。

 参照

- ・ P.97 「オンフックダイヤル（オンフックを使った送信）」
- ・ P.99 「マニュアルダイヤル（受話器を使った送信）」

G4 ユニット

ISDN と接続できます。

次の機能を使えるようになります。

- ・ サブアドレス
- ・ UUI

 補足

- ・ マイラインの事業者選択で NTT 以外の事業者を選択されている場合、各種レポートの通話料金は記載されません。

 参照

- ・ P.111 「サブアドレスを指定する」
- ・ P.113 「UUI を指定する」

増設 G3 ユニット

G3 回線がもう 1 つ増えます。

G4 ユニットの装着していないときは、最大 2 つまで装着できます。

仕様

◆ ファクス送受信

形式	デスクトップ型トランシーバー
規格	G3 規格、G4 規格（オプション）
適用回線	加入電話回線（PSTN）、自営構内回線（PBX）、サービス総合デジタル網（ISDN）（オプション）
接続方法	ダイレクトカブル
走査線密度	G3:8×3.85 本/mm・200×100dpi（ふつう字）、8×7.7 本/mm・200×200dpi（小さな字）、8×15.4 本/mm（細かい字・オプション）、16×15.4 本/mm・400×400dpi（微細字・オプション） G4:200×100dpi（ふつう字）、200×200dpi（小さな字）、400×400dpi（微細字・オプション）
電送時間 *1	G3: 約 3 秒（JBIG 通信時 :2 秒台） G4: 約 3 秒
走査方式	平面走査
符号化方式	MH、MR、MMR、JBIG
変調方式	メッセージモデム :V.34 V.17 V.29 V.27ter（G3） プロトコルモデム :V.21（G3）V.8
最大原稿サイズ	定形サイズ :A2ロまたは 17"×22"（ANSI-C） 不定形サイズ :縦の長さ 432mm、横の長さ 594mm
最大読取サイズ	縦の長さ 432mm、横の長さ 594mm
記録方式	レーザーによる普通紙記録
相互通信	G3:PSTN、PBX、INS ネット 64 G4:INS ネット 64
通信速度	300bps（制御信号） G3:33,600 / 31,200 / 28,800 / 26,400 / 24,000 / 21,600 / 19,200 / 16,800 / 14,400 / 12,000 / 9,600 / 7,200 / 4,800 / 2,400bps （自動シフトダウン方式） I-G3 時 : max26,400bps G4: 64/56kbps（自動速度整合）
直流抵抗値	358Ω
消費電力	ファクスユニット装着時 直接送信時 : 約 310W メモリー送信時 : 約 290W メモリー受信時 : 約 290W 受信文書印刷時 : 約 800W
最大消費電力	1500W 以下
届出番号（識別番号）	000128（識別番号 : 000128ACD06）

本装置は、電話回線や地域などの条件によっては、ご利用になれない場合があります。

*1 A4 版 700 文字程度 of 原稿を標準的画質で送ったときの速さです。標準的画質とは、G4 は 200×200dpi、G3 は 8×3.85 本/mm です。ただし、G3 は画像情報だけの通信速度で、通信の制御時間は含まれておりません。実際の通信時間は、原稿の内容、相手機種、回線状態により異なります。

◆ インターネットファクス送受信

適用回線	LAN：ローカルエリアネットワーク Ethernet/10base-T、100base-TX、IEEE802.11b（無線 LAN）
伝送機能	電子メール
走査線密度	200×100dpi（ふつう字）、200×200dpi（小さな字）、200×400dpi（細かい字・オプション）*1、400×400dpi（微細字・オプション）*1
原稿サイズ：検知できる縦の長さ	297mm（A3□）*1、257mm（B4□）*1、210mm（A4□）
伝送手順	- 電子メール送信 SMTP 手順、TCP/IP 通信 - 電子メール受信 POP3 手順、SMTP 手順、IMAP4 手順、TCP/IP 通信
電子メール形式	シングル / マルチパート、MIME 変換 添付ファイル形式：TIFF-F（MH、MR *1、MMR *1 圧縮）
交信可能機種	W-NET FAX 対応機種
インターネットとの相互交信	電子メールアドレスを持ったパソコンと電子メールの送受信が可能です。
認証方法	SMTP-AUTH、POP before SMTP、A-POP
メール送信機能	メールアドレス指定時、送信原稿を自動的に電子メール形式に変換して送信します。 すべてメモリー送信となります。
メール受信機能	TIFF-F の添付ファイル形式を自動認識して印字出力します。 ひらがな、カタカナ、英数字および第一水準、第二水準漢字のテキストメールの文字を自動認識して印字出力します。 すべてメモリー受信となります。

*1 フルモード時

W-NET FAX について



W-NET FAX とは、TTC 標準 JT-T37 に適合したインターネットファクシミリの呼称です。以下の相互接続試験（HATS 推進会議実施）で相互接続性が実証された製品に使用します。

◆ 確認した項目

- ・ A4 版 200×200 dpi / 200×100 dpi 各 1 ページの送受信
- ・ A4 版 200×200 dpi 2 ページの送受信
- ・ 受信能力以外の画像を受信したときのエラー通知発行

◆ 製品の形態

- ・ LAN 接続型 / ダイアルアップ接続型

◆ 基本仕様

- ・ 通信プロトコル
送信：SMTP
受信：SMTP あるいは POP3
- ・ メールフォーマット
フォーマット：MIME、Base64
Content-Type：Image/tiff、Multipart/mixed [text/plain,Image/tiff]（添付ファイル形式）
- ・ データフォーマット
Profile：TIFF-S
符号化方式：MH
原稿サイズ：A4
解像度（dpi）：200×100 / 200×200 あるいは 204×98 / 204×196

7

電波障害について

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- ・ テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- ・ テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
- ・ コンセントを別にする。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

項目別最大値一覧

各機能の登録できる数および最大値について説明します。

項目	標準	FAX メモリー (オプション) 装着時
メモリー容量	4MB	28MB
メモリーに蓄積できるメモリー送信の文書数	400 文書	400 文書
メモリーに蓄積できる文書の枚数 (ITU-T No.1 チャート、 解像度「ふつう字」、文字原稿の標準原稿)	約 320 枚	約 2240 枚
アドレス帳に登録できる宛先の件数	2000 件	2000 件
登録できるグループの件数	100 件	100 件
1 グループに登録できる宛先数	500 件	500 件
1 文書で同報送信できる宛先数	500 件	500 件
すべての文書で指定できる宛先数 (送信待機文書を含む)	500 件	500 件
[宛先検索] で一度に検索できる宛先数	100 件	100 件
記憶できる宛先履歴の件数	10 件	10 件
宛先を直接入力できる桁数	128 桁	128 桁
F コードとして入力できる桁数	20 桁	20 桁
サブアドレスとして入力できる桁数	19 桁	19 桁
UII として入力できる桁数	110 桁	110 桁
送信するメールの件名として入力できる文字数	64 文字 (半角 128 文字)	64 文字 (半角 128 文字)
本機で確認できる通信結果の表示件数	200 件	200 件
通信管理レポートに印刷される通信結果の表示件数	50 件	50 件
登録できる特定相手先の件数	30 件	30 件
Network Monitor for Client、Network Monitor for Admin、および Web Image Monitor で確認できる、PC FAX ドライバーからの 送信結果の件数	70 件	70 件
PC FAX ドライバーからの送信文書を送信待機文書として本機 で保持できる件数	400 件	400 件
プログラムに登録できる宛先数	500 件	500 件
登録できるプログラムの件数	100 件	100 件
プログラムの名称として登録できる文字数	10 文字 (半角 20 文字)	10 文字 (半角 20 文字)
ハードディスクに蓄積できる受信文書の件数	400 件	400 件
[蓄積受信文書印刷/消去] で一度に印刷できる文書数	30 件	30 件

項目	標準	FAX メモリー (オプション) 装着時
〔蓄積受信文書印刷／消去〕 で一度に消去できる文書数	30 件	30 件
〔蓄積文書指定〕 で一度に指定できる文書数	30 件	30 件
〔蓄積文書指定〕 で一度の操作で送信できる原稿の枚数	1000 枚	1000 枚
〔蓄積文書指定〕 の〔先頭ページ印刷〕 で一度に印刷できる文書数	30 件	30 件
〔蓄積文書指定〕 の〔文書印刷〕 で一度に印刷できる文書数	30 件	30 件
ファクス機能を使ってドキュメントボックスに蓄積できる文書数	3000 文書	3000 文書
ドキュメントボックスに蓄積できる 1 文書あたりの枚数	1000 枚	1000 枚
ドキュメントボックスに蓄積できる文書の枚数（コピー機能、ファクス機能、プリンター機能、およびスキャナー機能の合計） （ITU-T No.4 チャート）	約 9000 枚	約 9000 枚

↓ 補足

- ・ 文書や原稿の種類によって、最大値まで蓄積したり、送信したりすることができないことがあります。

索引

アルファベット索引

- 180 度回転印刷 175
- 1 枚目から 40
- 2 枚目から 40
- A2/B3 サイズの用紙しかセットされていないときに代行受信する 151
- Bcc 送信 129
- CIL → 受信側・送信側情報印字 180
- CSI → 発信元ファクス番号 150
- FAX メモリー 322
- F コード (PWD) 108
- F コード (SEP) 106, 144
- F コード (SID) 106
- F コード (SUB) 103, 143, 163, 165, 230
- F コード掲示板ボックス 234
- F コード掲示板ボックス文書登録／消去／印刷 235, 237, 238
- F コード親展ボックス 163, 230
- F コード親展ボックス受信文書印刷 .. 231
- F コード送信 103, 143
- F コード中継結果レポート 166
- F コード中継ボックス 165
- F コード取り出し 106, 144
- F コード取り出し機能を使うとき 316
- F コード取り出し結果レポート 110
- F コード取り出しの結果を確認する .. 110
- F コード取り出しの予約内容を
確認する 109
- F コード取り出し予約レポート 109
- F コードボックス設定 17
- F コードボックス設定：リスト印刷 17
- F コードを利用した配信 163
- F ネットから受信する 320
- F ネットに送信以外の操作をする 321
- F ネットに送信する 320
- F ネットのサービスを利用する 319
- G3 66
- G3 空き回線使用 66
- G3 選択時の回線について 69
- G4 66
- G4 ユニット 322
- ID 送受信用 ID 142, 150
- ID 送受信用 ID 登録 17
- ID 送信 142
- IPP を使ってポートを設定する 268
- ISDN-G3 回線登録 17
- ISDN-G4 回線登録 17
- ISDN ダイヤルイン番号を
利用した配信 164
- ISDN のとき 320
- JBIG 受信 171
- JBIG 送信 54
- LDAP サーバー 85
- LDAP サーバーから検索する 85
- MDN 127
- Network Monitor for Admin でファクス機能を
管理する 293
- PC FAX 送付状エディター 264, 290
- PC FAX ドライバー 261, 263
- PC FAX ドライバーのプロパティを
設定する 270
- PC FAX ドライバーを使った送信を
確認する 283
- PC FAX ドライバーを使っているときに
表示されるメッセージ 293
- PC ファクス結果通知メール 284
- PC ファクス結果レポート 285
- RTI → 発信元名称（表示用） 150
- SMTP サーバー経由を変更する 194
- SMTP サーバーを経由しないで
送信する 76
- SMTP 受信 169
- SMTP 受信したメールの配信 170
- SMTP 受信ファイル配信設定 17
- SMTP 選択 76, 194
- T.37 フルモード 36, 300
- TCP/IP を使ってポートを設定する 267
- TID → 送信側情報印字（G4 用） 181
- TIFF-F 形式 32
- TSI → 送信側情報印字 180
- UUI 113, 319
- Web Image Monitor から相手先の機種情報
を登録する 300

Web Image Monitor からファクス受信情報 を印刷する	296
Web Image Monitor からファクス受信情報 を削除する	298
Web Image Monitor からファクス受信文書 を見る	294
Web Image Monitor からファクス蓄積受信 文書を閲覧する	294
Web Image Monitor からファクス蓄積受信 文書を確認する	294
W-NET FAX について	325

あ行

相手先別迷惑ファクス防止設定	17
相手先を新しく登録する	286
相手先を指定する	71
新しい相手先を追加する	302
宛先キー	79, 80
宛先検索	85
宛先検索対象	17
宛先種別を選択する	22
宛先追加	189
宛先登録	81, 84
あて先表編集ツール	263, 286
宛先表見出し切り替え	17
あて先表を使って相手先を 指定する	276
あて先表を編集する	286
宛先編集	74
宛先履歴	81
宛先履歴から選択する	81
宛先をアドレス帳に登録する	83
宛先を追加する	189
宛名差し込み	140
アドレス帳から選ぶ	79
アドレス帳から検索する	85
一斉同報送信	70
一致条件	92
印刷終了ブザー	172
印刷設定をする	270
インターネットファクス	22
インターネットファクス使用上の ご注意	34
インターネットファクス設定	17

インターネットファクス送信を 取り消す	115
インターネットファクスで受信する ..	160
インターネットファクスで送信する ...	74
インターネットファクスとは	32
インターネットファクスの SMTP 受信に ついて	169
大きく	97
オートランプログラム	264
同じサイズ用の紙がないとき	181
オプション	11, 322
オプション構成を設定する	272
オプション設定	137
おもなオプションと略称	11
おもな機能の略称	11
音声応答	154
音声ガイダンスにしたがって 操作するとき	313
オンフック	97, 321
オンフック解除時間	17
オンフックダイヤル（オンフックを 使った送信）	97
音量調節	17, 97

か行

海外送信モード	81
海外への送信	81
回線選択	66
回線の自動識別	69
回線別排紙先設定	17, 186
回線を選択する	66
解像度	55
回転送信	51
回転レシーブ	176
拡張宛先	103
拡張宛先機能を活用する	103
拡張送信	125, 127, 129, 130, 132, 135
加入電話回線のとき	320, 321
紙原稿+蓄積文書	248
画面について	13
簡単画面キー	16
簡単画面について	16
キー色反転	16
機器本体に登録したアドレス帳・グループ 宛先を使って相手先を指定する	275

基本設定	17
給紙トレイ選択	17
給紙トレイ優先設定	183
切り替え	80
記録分割・縮小	178
クイック操作キー	17
クイックメモリー送信	21, 26
組み合わせ濃度調整	63
クリア/ストップキー	115, 116
グループで送信する	80
グループを指定する	80
掲示板ボックスとは	234
掲示板ボックスに文書を登録する	235
掲示板ボックスの文書を印刷する	237
掲示板ボックスの文書を消去する	238
継続待機	116, 118
原稿送り	39, 40
原稿ガラスで複数の原稿を 送信する	26, 30
原稿ガラスにセットしているとき	47
原稿ガラスにセットする	37
原稿サイズ	37, 46
原稿サイズと読み取り範囲	47
原稿種類	53
原稿セット方向を設定する	39
原稿の向きとサイズの表し方に ついて	12
原稿の読み取り中に取り消す	115
原稿の読み取り前に取り消す	115
原稿をセットする	37
件名	132
項目別最大値一覧	326
国際オペレータ通話	318
国際ダイヤル通話	317
ご使用になる前に	262
この本の読みかた	10
コピー機能/ドキュメントボックス 機能編	1
こんなときには	1

さ行

サイズ混載	62
サイズを読み取りにくい原稿	50
最適なサイズ用の用紙に印刷する	183
作成した送付状を添付する	292

サブアドレス	111
サブアドレス /UII	111, 113
左右ひらき	40
残メモリー	305
しおり印字	17
しおり印字機能	172
時刻指定送信	125
時刻指定送信する	278
時刻を指定して送信する	125
システム状態	305
自動切り替え	153
自動切り替え（電話優先モード）	154
自動切り替え （ファクス優先モード）	155
自動原稿送り装置（ADF）に セットしているとき	48
自動原稿送り装置（ADF）に セットする	37
自動検知	57
自動縮小（受信時）	179
自動縮小（送信時）	139
自動受信	158
自動的に読み取れる原稿サイズ	50
自動電源受信機能	171
自動濃度	63
自動濃度調整	63
自動リダイヤル	27
写真（原稿種類）	53
受信イメージ	161
受信確認	127
受信確認応答メール	127
受信側縮小	179
受信側・送信側情報印字	180
受信結果表示	214
受信結果を確認する	214
受信結果を確認する（画面表示）	214
受信時刻印字	17, 173
受信紙に印字される機能	185
受信時に使用できない機能	35
受信紙の排出先について	186
受信するときの機能	163
受信設定	17
受信の種類	147
受信文書印刷部数	17
受信文書印刷部数設定	176
受信文書設定	17

受信文書の中継	165
受信文書の転送	168
受信文書の配信	163
受信モード切替	17, 152, 159
受信モード自動切り替え時設定	17
受信モードタイマー切り替え	17, 152
受信モードについて	152
受信モードの切り替えかた	159
出力するときの機能	172
手動受信	157
手動濃度調整	63
手動メール受信	161
受話器（ハンドセット）	322
仕様	323
消去	309
消去する	227, 238
上下ひらき	40
詳細条件	92
詳細条件を指定して検索する	92
使用説明書について	1
初期画面の初期値を登録する	311
初期設定 / カウンター /	
問合せ情報キー	17
初期設定項目一覧	17
初期設定編	1
親展受信ランプ	228
親展通知レポート	233
親展ボックスとは	230
親展ボックスの受信文書を	
印刷する	231
スキャナー機能編	1
すべての文書を代行受信する	150
済スタンプ	51
スリープモード	171
セキュリティ編	1
設定確認	31
設定した内容を確認する	31
セットできる原稿のサイズと紙厚	46
センターマーク印字	17, 173
先頭ページ印刷	253
全文書転送	17
全文書表示	250
全文書表示から検索する	250
送信イメージ出力機能	285
送信イメージをファイルに	
出力する	281

送信オプションを指定する	278
送信側情報印字	180
送信側情報印字（G4 用）	181
送信結果表示	204
送信結果メール通知	100, 130, 206, 283
送信結果を確認する	204
送信結果を確認する（画面表示）	204
送信結果をメールで確認する	130, 283
送信時刻を変更する	191
送信時に使用できない機能	35
送信者	100
送信者名印字	100
送信する	23, 29
送信設定	17
送信待機中に取り消す	118
送信待機中の文書を印刷する	197
送信待機中文書の設定を変更する	187
送信待機文書リスト	200
送信待機文書リストを印刷する	199
送信待機文書を確認する	199
送信中止	116, 118
送信中に取り消す	116
送信内容を確認する	121
送信の種類	21
送信文書確認／中止	118, 121, 187
送信文書を確認する	187
送信文書を蓄積する	243
送信変更 / 通信情報	187, 197, 199
送信メールサイズ制限	17
送信用 F コード（SUB）	103
送信を取り消す	115
増設 G3 ユニット	322
送付状編集	292
送付状を作成する	290
送付状を添付する	279
送付状を編集する	290
外付け電話機	99
ソフトウェアについて	263
ソフトウェアを個別に	
インストールする	265

た行

第 1 発信元名称	145
第 2 発信元名称	145
待機中の状態に戻す	13

代行受信	149	通信管理レポート印刷	216
代行受信ランプ	149	通信結果レポート	207
大サイズ原稿の等倍送信	43	通信結果を確認する	207
大サイズ原稿の分割送信	44	通信中ランプ	116
大サイズ原稿を等倍受信する	177	通信枚数カウンター	17
ダイヤルイン機能	155	通信網について	317
ダイヤルイン設定	17, 164	定形サイズ	59
ダイヤルイン番号を利用した配信 （PSTN のとき）	164	定型文印字	137
ダイヤル／プッシュ選択	17	定型文登録／変更／消去	17
縦置き	12	定型文字列	132
縦の長さ	12	停電のとき	155
小さく	97	手差しトレイの用紙に受信・ 印刷する	184
小さな字（解像度）	55	デュアルアクセス	27
蓄積結果レポート	123	テンキーで入力する	71
蓄積した結果を確認する	123	電源キー	171
蓄積した文書情報を変更する	255	電波障害について	325
蓄積した文書を印刷する	253	電話へ切り替える	158
蓄積した文書を消去する	259	導入設定	17
蓄積した文書を送信する	248	同報送信	28
蓄積受信文書印刷／消去	226, 227	同報送信した宛先の一部を消去する	187
蓄積受信文書ユーザー設定	17	同報送信の送信順	28
蓄積受信文書を印刷する	225, 226	登録	306
蓄積受信文書を消去する	225, 227	登録外文字列	245, 250
蓄積＋送信	243	登録サイズ	60
蓄積のみ	243	登録サイズ 1	60
蓄積文書＋紙原稿	248	登録サイズ 2	60
蓄積文書管理／消去	255, 259	登録された相手先の機種情報を 編集する	300
蓄積文書指定	248, 253, 255	登録されている相手先を削除する	289
蓄積文書のみ送信	248	登録されている相手先を編集する	288
中継結果を確認する	166	登録情報	84
直接入力して相手先を指定する	277	登録番号	95
直接受信	147	登録番号から検索する	95
直接送信を取り消す	115	トーン	73
直接送信	21, 29	トーンを押してプッシュ回線に 切り替える	73
直接送信結果レポート	209	ドキュメントボックスを利用する	241
直接送信結果を確認する	209	特定相手先設定	17
直接送信で送る	29	特定相手先設定：リスト印刷	17
直接入力	74	取出し用 F コード（SEP）	106
直接入力した宛先をアドレス帳に 登録する	84		
追加	28	な行	
通常印刷	217	内容確認／変更	121, 187, 189, 191, 194
通信管理情報のメール	223	名前／ヨミガナ	85
通信管理情報のメール送信	222		
通信管理レポート	215, 220		

名前／ヨミガナから検索する	85
ネットワークガイド	1
濃度を調整する	63

は行

排紙位置シフト機能	186
配信	163
パスワード	247
パスワード (PWD)	108
パスワード (SID)	106
パスワード変更	258
パソコンから送信する	274
パソコンからファクス機能を 活用する	261
パソコンからファクスを送信する	261
バックアップ送信設定	17
発信元情報登録	17
発信元名称印字	145, 279
パラメーター設定	17
パラメーター設定にしたがって 代行受信する	150
パラメーター設定：リスト印刷	17
ハンドセット	322
ハンドセット (受話器)	99
微細字 (解像度)	55
表示画面とキー操作について	14
ファクス	22
ファクス宛先	88
ファクス簡単画面	16
ファクスキー	13, 157, 313, 321
ファクス情報サービスを利用する	313
ファクス初期画面	14
ファクス初期設定	17
ファクス番号から検索する	88
ファクス番号で送る	71
ファクスへ切り替える	157
ファクスを利用したサービスに ついて	313
封筒 ID 登録	17
封筒受信	17
封筒受信した文書を印刷する	228
封筒受信文書印刷	228
フォルダー転送結果メール通知	17
不達文書の再送信	202
不達文書を送り直す	202

不達レポート	211
ふつう字 (解像度)	55
プリンター機能編	1
フルモード	36, 300
プレビュー	252
プレビュー表示	280
プレビュー表示する	252
プログラムキー	306
プログラムの使いかた	310
プログラムの名称を変更する	308
プログラムを消去する	309
プログラムを使う	306
プログラムを登録する	306
プログラムを変更する	306
プロトコルを選択する	66
プロパティ	270
文書印刷	197, 226, 253
文書消去	238, 259
文書蓄積	243, 282
文書蓄積を利用する	241
文書番号別印刷	218
文書名	246
文書名検索	251
文書名変更	257
文書を蓄積する	241
ページごとに読み取り条件を 設定する	65
ポーズ	72
ポーズを入力する	72
本機のアドレス帳のデータを PC ファクス のあて先表で使う	290
本機のご利用にあたって	1
本文	135

ま行

マークシートを送信してサービスを 受けるとき	316
マークについて	10
マイライン	317
マニュアル一覧表	2
マニュアルダイヤル (受話器を使った送信)	99
マルチポート	66
見出し 1	80
見出し 2	80

見出し 3	80
見出しキー	14
見出しの種類を切り替える	80
名称変更	308
メール宛先を BCC に設定する	129
メールアドレス	90
メールアドレスから検索する	90
メールアドレスで送る	74
メールアドレスを入力する	74
メールで確認する	206
メールの件名について	35
メールの自動受信	160
メールの手動受信	161
メールの本文について	161
メニュープロテクト設定	17
メモリー受信	148
メモリー使用状況を確認する	305
メモリー送信	21
メモリー送信で送る	23
メモリー送信と直接送信を 切り替える	21
メモリー送信の送信順	28
メモリー送信を取り消す	115
メモリー転送先	168
メモリー転送設定	17
文字（原稿種類）	53
文字・写真（原稿種類）	53
文字・図表（原稿種類）	53

や行

ユーザー追加	302
ユーザー別印刷	219
ユーザー名	245
ユーザー名検索	250
ユーザー名変更	256
ユーザー名を登録する	245
用紙の優先順位表	181
横置き	12
横の長さ	12
呼び出し	310
読み取った原稿に印を付ける	51
読み取りサイズ	57
読み取りサイズ登録／変更／消去	17
読み取り条件	53
読み取り条件を変更する	65

読み取り設定	17
--------	----

ら行

リスト印刷	199
リスト／レポート	109, 110, 123, 166, 200, 207, 209, 211, 220, 233, 285
リセットキー	13, 115
リモート切替	157, 158
両面印刷	17, 174, 280
両面原稿	40
両面原稿を読み取る	40
両面に印刷する	174
リングング回数設定	154
留守番電話機を接続する	154
レポートで確認する	205, 215
レポートとメールで確認する	206

★重要

- ・ 本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスしたり本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。
- ・ 本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本機の使用により生じた損害について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とおお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラ ミタ株式会社 京セラ ミタジャパン株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-15

<http://www.kyoceramita.co.jp>

お 客 様
相 談 窓 口



市内通話料でOK
ナビダイヤル

0570-046562

受付時間

● 9:00～17:00

(但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く)

市内通話料金でご利用いただけます。